

国立国語研究所学術情報リポジトリ

統語・意味解析コーパス (NPCMJ)

メタデータ	言語: ja 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2024-07-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/0002000284

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



NPCMJ アノテーションマニュアル

スティーブン・ライト・ホーン, 長崎郁, 岡野伸哉,
林則序, アラスデア・バトラー, 吉本啓

Contents

1	はじめに	6
2	解析されたデータのフォーマット	7
3	タグ	8
3.1	タグの一般的な原則	8
3.2	品詞タグ	8
3.3	統語タグ	9
3.4	その他のタグ	11
4	一般的な解析の原則	11
4.1	概要	11
4.2	終端ノード	12
4.3	句構造のスキーマ	12
4.4	フラットな句構造	12
4.5	内心構造とその例外	12
5	単位分割および品詞アノテーション	14
6	基本的な節の構造	16
7	断片 (FRAG)	17
8	空要素	19
8.1	インデックスを使用しない空要素	19
8.1.1	ゼロ要素	19
8.1.2	虚辞	20
8.1.3	一般的非人称指示のゼロ代名詞	21
8.1.4	その他のゼロ代名詞	21
8.1.5	関係節におけるトレース	22
8.2	いつでもインデックス付けされる空要素	24
8.3	空要素の位置	27
9	文法役割のアノテーション	32
9.1	主要文法役割	32
9.1.1	明示的な文法役割表示を伴う項	32
9.1.2	明示的な文法役割表示を伴わない項	34
9.1.3	NPとPP以外の項	35
9.1.4	項の省略	36
9.2	任意文法役割	37

9.2.1	格助詞を伴う付加句	37
9.2.2	格助詞を伴わない付加詞	38
9.2.3	関係節における付加句のトレース	42
10	IPタグを持つ節	43
10.1	主節 (IP-MAT) と準主節 (IP-SUB)	43
10.1.1	関係節 (IP-REL) と空所なし連体節 (IP-EMB)	46
10.2	名詞化節 (IP-NMZ)	48
10.3	小節 (IP-SMC)	50
10.4	副詞節 (IP-ADV)	50
10.4.1	節の連結	50
10.4.2	平板な構造を保つための等位節へのアノテーション	52
10.4.3	従属節と等位節の区別	52
10.4.4	IP-ADVの他の用法	53
11	CPタグを持つ節	55
11.1	疑問節 (CP-QUE)	56
11.2	感嘆節 (CP-EXL)	58
11.3	命令節 (CP-IMP)	59
11.4	終助詞節 (CP-FINAL)	63
11.5	IP節とCP節	64
11.6	CP節と述語	65
11.7	CP節とコントロール・ATB	65
12	コントロール環境としての従属節	65
12.1	副詞節 (IP-ADV-SCON(-CND)) へのコントロール	66
12.1.1	IP-ADV-SCON(-CND) へのコントローラーとしてのOB2	67
12.1.2	IP-ADV-SCON(-CND) へのコントローラーとしてのOB1	67
12.1.3	IP-ADV-SCON(-CND) へのコントローラーとしてのSBJ	68
12.2	空所なし名詞修飾節 (IP-EMB) へのコントロール	69
12.2.1	IP-EMBへのコントローラーとしてのOB2	69
12.2.2	IP-EMBへのコントローラーとしてのOB1	70
12.2.3	IP-EMBへのコントローラーとしてのSBJ	70
12.3	名詞化節 (IP-NMZ) へのコントロール	72
12.4	小節 (IP-SMC) へのコントロール	73
12.4.1	IP-SMCへのコントローラとしてのOB2	73
12.4.2	IP-SMCへのコントローラとしてのOB1	73
12.4.3	IP-SMCへのコントローラとしてのSBJ	74
12.5	IP-*2 へのコントローラーとしてのSBJ	75
12.6	空要素によるコントロールの防止	75
13	節の等位接続とATB抽出	77
13.1	2つの節が並ぶ場合	77
13.2	3つ以上の節が並ぶ場合	80
14	助詞 (P)	82
14.1	複合助詞	82
14.2	主要文法役割を示す格助詞 (P-ROLE) : が, を, に, と, の, 等	85
14.2.1	「が」	86
14.2.2	「を」	87
14.2.3	「に」	89

14.2.4	「と」	94
14.2.5	「の」	96
14.2.6	論理的な主語 (LGS) を表示する格助詞	98
14.2.7	被使役者 (CZZ) を表示する格助詞	100
14.2.8	第二目的語 (OB2) を表示する格助詞	102
14.2.9	主語 (SBJ) および第一目的語 (OB1) を表示するその他の格助詞	102
14.3	任意文法役割を示す格助詞 (P-ROLE) : の, に, へ, で, から, まで, と, 等	104
14.4	非節的要素の等位接続に現れる接続助詞 (P-CONN)	108
14.5	節連結に現れる接続助詞 (P-CONN)	111
14.5.1	条件を表す従属節に現れる接続助詞 (P-CONN)	111
14.5.2	条件以外の意味を持つ従属節に現れる接続助詞 (P-CONN)	115
14.5.3	IP の等位接続に現れる接続助詞 (P-CONN)	117
14.6	補文助詞 (P-COMP) : と, という, 等	118
14.6.1	述語に対する補部節を導く補文助詞 (P-COMP)	118
14.6.2	名詞に対する補部節を導く補文助詞 (P-COMP)	119
14.6.3	命名動詞と共に用いられる補文助詞 (P-COMP) 「と」	120
14.7	終助詞 (P-FINAL) : か, ね, よ, 等	121
14.8	間投助詞 (P-INTJ)	123
14.9	とりたて助詞 (P-OPTR) : か, しか, は, ばかり, も, 等	123
14.9.1	主題助詞句 (PP-TPC)	124
14.10	助詞が節に直接支配される場合	125
14.10.1	副詞節 (IP-ADV) の終末部に置かれる接続助詞 (P-CONN)	125
14.10.2	複雑な述部に含まれる接続助詞・とりたて助詞・格助詞 (P-CONN, P-OPTR, P-ROLE)	127
14.10.3	動作名詞に「を」が付く場合	131
14.11	助詞を名詞句の下に置く場合	132
14.12	助詞が続く場合	133
14.13	助詞の省略	135
15	述語	136
15.1	動詞 (VB)	136
15.2	述語の拡張	138
15.3	軽動詞 (VB0)	139
15.4	補助動詞 (VB2)	141
15.5	動詞「する」「なる」に関して	147
15.6	イ形容詞 (ADJI)	150
15.7	特別な場合 (イ形容詞と関連して)	154
15.8	テンス標識 (AXD)	154
15.9	助動詞 (AX)	155
15.10	「た・だ」の特別な場合	155
15.11	モーダル要素 (MD, ADJI-MD, ADJN-MD)	155
15.12	コピュラ表現	159
15.12.1	コピュラおよびコピュラの脱落	160
15.12.2	コピュラの形	162
15.13	ナ形容詞 (ADJN)	165
15.14	ナ形容詞分析の特例と例外	169
15.15	名詞句述語 (NP-PRD)	169
15.16	助詞句述語 (PP-PRD)	173
15.17	副詞句述語 (ADVP-PRD)	173
15.18	IP が述語となるケース (IP-ADV-PRD, IP-NMZ-PRD)	174

15.19	CPが述語となるケース (CP-THT-PRD, CP-QUE-PRD)	175
15.20	形式名詞 (FN) + コピュラ (AX)	175
15.21	のだ構文	176
15.22	「の」をコピュラの連体形と見なす際の基準	177
15.22.1	連体形「の」の等位節テスト	182
16	名詞句 (NP)	183
16.1	名詞句の主要部	183
16.2	中間名詞節 (NML)	185
16.3	所有名詞句 (NP-POS)	186
16.4	名詞修飾部	186
16.4.1	限定詞 (D) と疑問限定詞 (WD)	186
16.4.2	連体詞 (PNL)	188
16.5	名詞修飾節	189
16.5.1	関係節 (IP-REL)	189
16.5.2	空所なし名詞修飾節 (IP-EMB)	192
16.5.3	名詞を修飾する補部節 (CP-THT)	196
16.5.4	主要部内在型関係節	197
16.5.5	残留代名詞	198
16.5.6	連体句 (PNLP)	199
16.6	呼格名詞句 (NP-VOC)	199
17	副詞句 (ADVP)	200
18	副詞節でない要素の並列 (CONJP)	204
18.1	名詞句 (NP) の並列	204
18.2	助詞句 (PP) の並列	206
18.3	副詞句 (ADVP) の並列	207
18.4	疑問節 (CP-QUE) の並列	208
19	括弧挿入句 (PRN)	211
20	量化表現	216
20.1	3種類の量化作用素	216
20.1.1	量化詞 (Q)	216
20.1.2	助数詞句 (NUMCLP)	217
20.1.3	疑問詞を伴う量化表現 (W表現)	222
20.2	量化的NPの真正な等位接続と、見せかけの等位接続	223
20.3	量化的NPとホスト名詞との関連付け	225
20.4	連体修飾するW表現のためのフラットなアノテーション	228
20.5	量化的NPの様々な構文	230
20.5.1	主要部として働く Q / NUMCLP / W表現で、修飾を受けるような場合 : [N の] Q / NUMCLP / W	230
20.5.2	同格の Q / NUMCLP : N Q / NUMCLP	230
20.5.3	Qによる連体修飾 : [Q の] N	233
20.5.4	NUMCLPによる連体修飾 : [NUMCLP の] N	234
20.5.5	遊離量化表現の Q / NUMCLP / W表現	237
20.5.6	Qによる指示表現, NUMCLPによる指示表現	242
20.5.7	ホストなしの副詞的な Q または NUMCLP	245
21	句読点	247

22	メタデータ (META)	248
23	会話特有の表現	248
23.1	間投詞句 (INTJP)	248
23.2	言い誤り (FS)	251
23.3	省略	252
23.4	付け足し	253
23.5	縮約	254
24	様々な構文	255
24.1	二重主語文	255
24.2	N-bar 削除	257
24.3	右方節点繰上げ構文	257
24.4	動詞なしの付帯状況構文	260
24.5	複数の文から成る引用	262
24.6	焦点を伴う擬似分裂文	264
24.7	二重ヲ格構文	266
24.8	直接受動文	268
24.8.1	受動文における目的語	269
24.9	使役文	271
24.10	使役受動文	271
24.11	間接受動文	272
24.12	テアル構文	273
24.13	テモラウ構文とテアゲル/クレル構文	278
24.14	比較構文	279
24.15	移動の目的を表す節	279
24.16	間接疑問文および関連する構文	281
24.16.1	項としての間接疑問文	281
24.16.2	同格的な間接疑問文	286
24.16.3	副詞的な疑問節 (CP-QUE-ADV)	288
24.16.4	述語としての疑問節 (CP-QUE-PRD)	289
24.16.5	引用された疑問節	290
24.17	様々な補部節 (CP-THT)	291
24.17.1	伝達動詞・認識動詞の補部としての補部節	291
24.17.2	項としての補部節	292
24.17.3	同格的な補部節	296
24.17.4	目的を表す補部節	298
24.17.5	副詞的な補部節(CP-THT-ADV)	299
24.17.6	述語としての補部節 (CP-THT-PRD)	300
24.18	目的語繰り上げ構文	301
24.18.1	補部節からの繰り上げ	301
24.18.2	小節からの繰り上げ	302
24.19	主語繰り上げ構文	304
24.19.1	補部節から主語位置に至る繰り上げ	304
24.19.2	小節から主語位置に至る繰り上げ	304
25	曖昧な語形	305
25.1	「助詞」対「コピュラ」	305
25.1.1	で	306
25.1.2	に	313
25.1.3	と	317

25.1.4	の	324
25.2	れる・られる	329
25.2.1	直接受動	329
25.2.2	間接受動	330
25.2.3	自発	331
25.2.4	可能	332
25.2.5	尊敬	335
25.3	よう	335
25.3.1	証拠性を表す「よう」	335
25.3.2	直喩的な「よう」	337
25.3.3	「NP+の」に続く「よう (だ)」	340

1 はじめに

このマニュアルでは、日本語解析のためのアノテーションの枠組みについて詳しく解説する。統語構造はタグ付き括弧によって表示されるが、そのやり方は Penn Treebank (Bies, Ferguson, Katz, and MacIntyre 1995), とりわけ, *Annotation manual for the Penn Historical Corpora and the Parsed Corpus of Early English Correspondence (PCEEC)*(Santorini 2010) 等の、ペン通時統語解析コーパスのグループで提案された方式を採用する。この方式の特徴は、生成文法研究者にとって親しみやすいタグが使われていること、動詞句 (VP) 構造がないこと、句ノード (NP, PP, ADVP, 等) が句の主要部 (N, P, ADP, 等) を直接支配すること、すべての節 (clause) ノードおよび節の構成素についてその機能がマークされることである。

また、本コーパスのアノテーション方式は、構文分析の採用に関して、そしてとりわけ、複雑な表現を従属ないし等位接続によって表す方法に関して、SUSANNEスキーム(Sampson 1995)に多く着想を得ている。

一方で、本アノテーションは革新的な点も数多く含んでいる。例えば、例外的なスコープに関する情報を明示的にアノテートしていたり、文中および文間の両方における照応的依存関係を談話的に解決するための情報を含んでいたりする。

本アノテーションはテキストファイルに対して、一般的なテキストエディタ (実地ではvi(m)あるいはemacs)により行われる。

実際のアノテーションは第一に観察的妥当性を指すものでなければならない。その目的は、データにおける同定可能な関係・過程に一定の言語学的な分析を示すことである。このような関係・過程は可能な限り均一に取り扱われる。本マニュアルではそれらを詳述する。アノテーションは、記述のシステムが理論的に正しいか否かという問題を別として、語彙的・機能的要素、品詞、様々なカテゴリーに属し様々な機能を持つ構成素、ある特徴を持つと捉えられる構造に対し、明瞭な方法で行われる。本マニュアルはアノテーター (単位分割, タグ, 構造における位置を指定する) とユーザー (要素のクラス, カテゴリー, 要素間の関係を検索する) の両方に向けられたものである。検索の条件には終端文字列, 節点のタグ, 付加的な拡張タグ, そしてこれらの間の構造関係の組み合わせを指定する。解析されたデータを修正を加えることなしに検索できるツールとしては, CorpusSearch (Randall 2009),¹ および Tregex (Levy and Andrew 2006).² が挙げられる。加えて、本プロジェクトでは以下のような他のフォーマットへの変換も提供する:

- Alpino XML フォーマット (Noord, Bouma, Eynde, de Kok, van der Linde, Schuurman, Sang, and Vandeghinste 2013) これはTgrep-liteを含む, NPCMJのオンラインでのインターフェースに用いられているフォーマットである。

¹<http://corpussearch.sourceforge.net/>

²<http://nlp.stanford.edu/software/tregex.shtml>

現行のアノテーションは、統語的な分析をベースに **Trebank Semantics (Butler 2015)**³ の方式を用いて、述語論理に基づく意味表示を生成することも目指しており、統語的な分析から意味的な分析を計算するために曖昧性解消情報が加えられている。その1つは、節連結のタイプ（つまり、非終結節のタイプ）を特定するための拡張タグである。従属的な節連結に対しては、拡張タグ **SCON (subordinate conjunction)** を認めている。従属節はその節における空主語の配置、およびより上位の階層の項との照応関係に影響を与える（これは、「コントロール」と呼ばれる照応計算に従う）。このタイプの従属節と区別されるのが、拡張タグ **CONJ (coordinating conjunction)** を与えられる等位的な節連結である。等位節は他の節と共有される項の配置に影響を与える（これは、**ATB (Across the Board)** 抽出と呼ばれる照応計算に従う）。これらの拡張タグが適切に与えられ、それに基づいて計算が行われることにより、日本語の照応関係は多くの場合、明示的なインデクス付けをすることなしに適切に測定することができる。この実践により、意味計算を行うための確固とした基盤を築くこと、記述として正しいアノテーション体系を単純化すること、そして、空要素の分布に関する制約のうち、例えばゼロ代名詞の配置などに関して興味深い帰結をもたらすようなものを把握することが可能になる。

2 解析されたデータのフォーマット

NPCMJの全てのファイルは、**CorpusSearch**プログラム (**Randall 2009**)⁴ に適合するよう整形されている。より具体的には、解析済みファイル内の括弧に囲まれた木のそれぞれが「ラッパー」(wrapper)をもたなければならない。このラッパーはIDノードを含み、IDノードは次のように構成される文字列を支配する：

ファイル内での木の番号+アンダースコア (_) +ファイル名 (拡張子.psdを除く)

ファイル名の後には、セミコロン (;) を挟むことで上記以外の文字列を続けることができる。例えば、以下は「textbook_kisonihongo.psd」という名のファイルに含まれている場合、正しいフォーマットをもつといえる。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 輪))
                  (P-ROLE が))
  (VB 回る)
  (PU 。))
(ID 1_textbook_kisonihongo;page_13;JP))

( (IP-MAT (NP-SBJ;{MAN_2} *pro*)
  (PP-OB1 (NP (N 輪))
          (P-ROLE を))
  (VB 回す)
  (PU 。))
(ID 2_textbook_kisonihongo;page_13;JP))

( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 人))
                  (P-ROLE が))
  (VB 集まる)
  (PU 。))
(ID 3_textbook_kisonihongo;page_13;JP))

( (IP-MAT (NP-SBJ;{MAN_4} *pro*)
  (PP-OB1 (NP (N 人))
```

³<http://www.compling.jp/ts>

⁴<http://corpussearch.sourceforge.net/CS-manual/YourCorpus.html>

(P-ROLE を))

(VB 集める)

(PU 。))

(ID 4_textbook_kisonihongo;page_13;JP))

番号を振ったり、振り直したり、行間隔を空けたりといったことは、ファイルの内容を `csearch_fix_numbering` コマンドにパイプで渡すことにより可能である。

IDの文字列の中に含まれている `;JP` は、後に続く木の自動処理、とりわけ解析木から意味表示を得る際に用いられる `Treebank Semantics` のツール類に向けて、言語の種類を認識させるためのものである。

ID下のファイル名とそれを含む実際のファイルの名前が一致しない状況が生じた場合は、`csearch_fix_numbering` コマンドの実行時には無視される。名付けに問題があるかどうかを確認するために、`csearch_check_naming` コマンド (フラグ無し) を、確認したいファイルのあるディレクトリで実行することが可能である。このコマンドは名付けに問題がない場合は何も返さず、エラーのある場合はエラー箇所についての情報を与える。また、番号付けを確認するためのプログラムとして、`csearch_check_numbering` というコマンドも存在する。これは番号付けに問題がない場合は何も返さず、エラーのある場合はエラー箇所を報告する。

3 タグ

3.1 タグの一般的な原則

タグは語レベルのカテゴリー (つまり、名詞 (N)、助詞 (P)、副詞 (ADV) 等の品詞) か、または句レベルのカテゴリーを表す。タグは、構成素の形式を最低限度表す基本的なタグ (NP=名詞句, PP=助詞句, ADVP=副詞句, 等) に加えて、ハイフンに後続して機能を示す拡張タグを伴うことがある (P-ROLE=格助詞, NP-SBJ=主語名詞句, IP-REL=関係節, IP-SMC=小節, 等)。大多数の場合、拡張タグは1つだけであるが、2つ以上付加されることもありうる。

以下に、使用されるすべてのタグを一覧表として掲げる。

3.2 品詞タグ

ADJI	イ形容詞 (イ-adjective)
ADJI-MD	モーダルなイ形容詞 (modal イ-adjective)
ADJN	ナ形容詞 (ナ-adjective)
ADJN-MD	モーダルなナ形容詞 (modal ナ-adjective)
ADV	副詞 (adverb)
AX	助動詞 (auxiliary verb (including copula))
AXD	テンス標識(助動詞の一部) (auxiliary verb, past tense), 過去
テンス	
CL	助数詞 (classifier)
CONJ	等位接続詞 (coordinating conjunction)
D	限定詞 (determiner)
FN	形式名詞 (formal noun)
FW	他言語の要素 (foreign word)
INTJ	間投詞 (interjection)
MD	モーダル要素 (modal element)

N	名詞 (noun)
N-MENTION	表現の言及的用法 (mentioned expression)
NEG	否定辞 (negation)
NPR	固有名詞 (proper noun)
NUM	数詞 (numeral)
P-COMP	補文助詞 (complementizer)
P-CONN	接続助詞 (conjunctive particle)
P-FINAL	終助詞 (final particle)
P-INTJ	間投助詞 (interjectional particle)
P-OPTR	とりたて助詞 (toritate particle)
P-ROLE	格助詞 (role particle)
PASS	受動助動詞 (direct passive)
PASS2	間接受動助動詞 (indirect passive)
PNL	連体詞 (prepositional)
PRO	代名詞 (pronoun)
PU	句読点 (punctuation)
PUL	左括弧 (left bracket)
PUR	右括弧 (right bracket)
Q	量化詞 (quantifier)
QUOT	引用符 (quote)
SYM	記号 (symbol)
VB	動詞 (語幹) (verb (or verb stem))
VB0	軽動詞 (light verb)
VB2	補助動詞 (secondary verb)
WADV	疑問副詞 (indeterminate adverb)
WD	疑問限定詞 (indeterminate determiner)
WNUM	疑問数詞 (indeterminate numeral)
WPRO	疑問代名詞 (indeterminate pronoun)

3.3 統語タグ

ADVP	副詞句 (adverb phrase)
ADVP-CMPL	補語的副詞句 (complement adverb phrase)
ADVP-MSR	数量副詞句 (measurement adverb phrase)
ADVP-PRD	述語副詞句 (predicate adverb phrase)
ADVP-TMP	時間副詞句 (temporal adverb phrase)
. VERBATIM	
CONJP	接続詞句 (conjunction phrase)
CP-EXL	感嘆節 (exclamative)
CP-FINAL	終助詞節 (projection for sentence final particle)
CP-IMP	命令節 (imperative)
CP-QUE	疑問節 (直接または間接) (question (direct or indirect))
CP-QUE-ADV	副詞的な疑問節 (question used adverbially)
CP-QUE-OB1	目的語として用いられた疑問節 (question used as object)
CP-QUE-PRD	述語として用いられた疑問節 (question used as a nominal predicate)
CP-QUE-SBJ	主語として用いられた疑問節 (question used as subject)
CP-THT	補部節 (complementizer clause)
CP-THT-ADV	副詞的な補部節 (complementizer clause used adverbially)
CP-THT-OB1	目的語として用いられた補部節 (complementizer clause used as object)
CP-THT-PRD	述語として用いられた補部節 (complementizer clause used as predicate)

CP-THT-PRP	目的を表す補部節 (purposive complementizer clause)
CP-THT-SBJ	主語として用いられた補部節 (complementizer clause used as subject)
FRAG	断片 (fragment)
FS	言い誤り (false start)
INTJP	間投詞句 (interjection phrase)
IP-ADV	副詞節 (adverbial clause)
IP-ADV-CONJ	等位的な節 (coordinated clause)
IP-ADV-PRD	述語として用いられた名詞化節 (adverbial clause used as predicate)
IP-ADV-SCON	従属的な節 (subordinate conjunctive clause)
IP-ADV-SCON-CND	条件節 (conditional clause)
IP-EMB	空所なし名詞修飾節 (gapless noun-modifying clause)
IP-MAT	主節 (matrix clause)
IP-NMZ	名詞化節 (nominalized clause)
IP-NMZ-PRD	述語として用いられた名詞化節 (nominalized clause used as predicate)
IP-REL	関係節 (relative clause)
IP-SMC	小節 (small clause)
IP-SMC-CNT	連用形小節 (small clause in continuative form)
IP-SMC-OB1	目的語として用いられた小節 (small clause used as object)
IP-SMC-SBJ	主語として用いられた小節 (small clause used as subject)
IP-SUB	準主節 (clause under CP* layer)
multi-sentence	多重文 (multiple sentence)
NML	中間名詞句 (intermediate nominal layer)
NP	名詞句 (noun phrase)
NP-ADV	副詞的名詞句 (adverbial noun phrase)
NP-CZZ	被使役者名詞句 (causee noun phrase)
NP-DOB1	派生された (繰り上がった) 第一目的語名詞句 (derived primary object noun phrase)
NP-DSBJ	派生された (繰り上がった) 主語名詞句 (derived subject noun phrase)
NP-LGS	論理的主語名詞句 (logical subject noun phrase)
NP-LOC	場所名詞句 (locational noun phrase)
NP-MSR	数量名詞句 (measure noun phrase)
NP-OB1	第一目的語名詞句 (primary object noun phrase)
NP-OB2	第二目的語名詞句 (second object noun phrase)
NP-POS	所有名詞句 (possessive noun phrase)
NP-PRD	述語名詞句 (predicate noun phrase)
NP-SBJ	主語名詞句 (subject noun phrase)
NP-SBJ2	第二主語名詞句 (secondary subject noun phrase)
NP-TMP	時間名詞句 (temporal noun phrase)
NP-TPC	主題名詞句 (topic noun phrase)
NP-VOC	呼格名詞句 (vocative noun phrase)
NUMCLP	助数詞句 (numeral-classifier phrase)
PNLP	連体句 (prenominal phrase)
PP	助詞句 (particle phrase)
PP-ADV	副詞的助詞句 (adverbial particle phrase)
PP-CMPL	補語的助詞句 (complement particle phrase)
PP-CONJ	等位的助詞句 (coordination particle phrase)
PP-CZZ	被使役者助詞句 (causee particle phrase)
PP-DOB1	派生された (繰り上がった) 第一目的語助詞句 (derived primary object particle phrase)
PP-DSBJ	派生された (繰り上がった) 主語助詞句 (derived subject particle phrase)

PP-LGS	論理的主語助詞句 (logical subject)
PP-LOC	場所助詞句 (locational particle phrase)
PP-MSR	数量助詞句 (measurement particle phrase)
PP-OB1	第一目的語助詞句 (primary object particle phrase)
PP-OB2	第二目的語助詞句 (secondary object particle phrase)
PP-PRD	述語助詞句 (predicate particle phrase)
PP-PRP	目的助詞句 (purposive particle phrase)
PP-SBJ	主語助詞句 (subject particle phrase)
PP-SBJ2	第二主語助詞句 (second subject particle phrase)
PP-SCON	従属節助詞句 (subordination particle phrase)
PP-SCON-CND	条件を表す助詞句 (conditional particle phrase)
PP-TMP	時間助詞句 (temporal particle phrase)
PP-TPC	主題助詞句 (topical particle phrase)
PP-VOC	呼格助詞句 (vocative particle phrase)
PRN	括弧挿入句 (parenthetical)

3.4 その他のタグ

CLEAN	呼格要素を文内で照応可能にする
LS	リスト項目 (list item)
LST	リスト (list)
META	メタデータ (metadata)

4 一般的な解析の原則

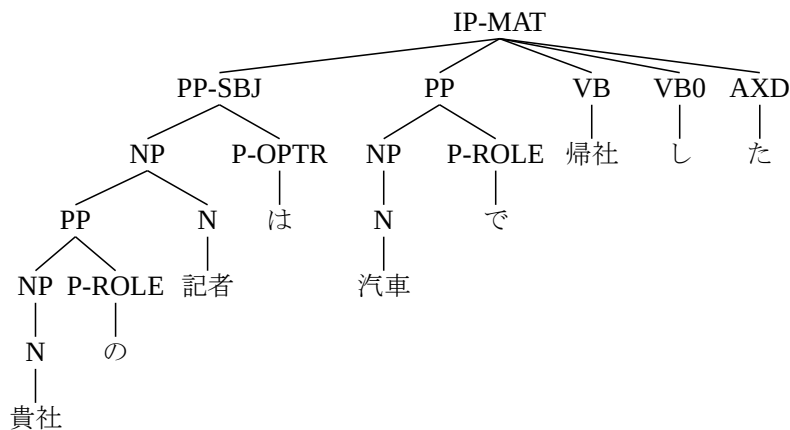
4.1 概要

本アノテーション体系では、統語構造をタグ付きの括弧によって表示する。すべての左括弧にタグが付加されるが、これは終端ノード以外の木構造のノードを示している。

構造には VP (動詞句) のレベルは表示されず、そのため節の構造は一般に平坦で、複数の枝分かれノードを持つ。その中で、IP (節) がすべての節レベルの構成素を直接支配する。狭義の動詞 (VB), 動詞に類する語 (VB0, VB2), 助動詞やコピュラ (AXD, AX, 等), モダリティを意味するもの (MD), そして場合によって助詞 (P) は、それぞれ個別にタグを与えられ、IP に支配される。助詞 (P-ROLE あるいは P-OPTR) は名詞句や節に付加されて助詞句 (PP) を作る。

(1) 貴社の記者は汽車で帰社した

上記の例の統語解析木は以下の通りである。



同じ例の括弧表示は以下のようなになる。

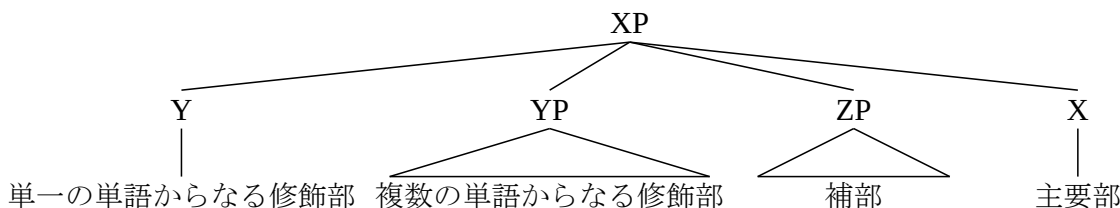
```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 貴社))
                        (P-ROLE の))
                        (N 記者))
                    (P-OPTR は))
    (PP (NP (N 汽車))
        (P-ROLE で))
    (VB 帰社)
    (VB0 し)
    (AXD た))
  (ID 34_misc_BUFFALO))
```

4.2 終端ノード

すべての語には、語レベルの品詞タグが付加される。テキストに明示されていなくとも、構造を記述するための空要素（ゼロ代名詞、トレース、等）が終端ノードの要素として導入される。空要素はすべて、その両端に「*」を伴う（詳しくは8節を参照）。また、空要素は典型的には句レベルのノードの直下に置かれ、品詞にあたるノードを投射しない。

4.3 句構造のスキーマ

句構造は以下のように記述することができる。



括弧表示にすると、以下のようなになる。

```
(XP (Y 単一の単語からなる修飾部)
     (YP 複数の単語からなる修飾部)
     (ZP 補部)
     (X 主要部))
```

4.4 フラットな句構造

句を投射する語（N, P, ADV, 等）は句の主要部である。句の主要部は句のノード（NP, PP, ADVP, 等）に直接支配され、主要部に対する修飾部（modifier）と補部（complement）は、主要部の姉妹となる。Xバー理論で用いられているような中間レベルの構造（N', ADV', 等）が明示的に表示されることは原則としてない。このようなフラットな句構造を補うために、句タグを拡張して機能表示を行い、修飾部と補部を区別する。

4.5 内心構造とその例外

主要部（N, P, ADV, 等）は明示されるのが原則であり、それを直接支配する句レベルのカテゴリー（NP, PP, ADVP, 等）と一致する。

(PP (NP (N 街))
(P-ROLE で))

(ADVP (ADV とても))

ただし、主要部となる語が明示的に存在しないか、あるいは存在してもそのカテゴリのタグと句レベルのカテゴリのタグが一致しないこともある。単語レベルの構成素が、それ自身が投射する句のカテゴリと一致しないものには、以下に述べるように様々なケースがある。:

- 主要部が一般的なカテゴリのタグではなく、特殊なタグである場合（下の例の名詞句 (NP) の主要部である代名詞 (PRO) は名詞 (N) の下位クラスである）

(NP (PRO 彼)) ← 主要部のタグが特殊

- NP の主要部に対する特殊なタグとして、固有名詞 (NPR)、量化詞 (Q)、代名詞 (PRO)、疑問代名詞 (WPRO)、他言語の要素 (FW)、表現の言及的用法 (N-MENTION) および中間名詞句 (NML) がある。また、例外的に、数量詞句 (NUMCLP) はこれ自体が句カテゴリだが、常に NP を投射する。
- IP の主要部は述語 (屈折要素) であるが、述語自体はその核として様々な品詞に属する要素を持つ: 動詞 (VB)、イ形容詞 (ADJI)、ナ形容詞 (ADJN+AX)、述語名詞句 (NP-PRD+AX) 等。そのため、IP というタグと述語 (の核) のタグは一致しない。
- 数量詞句 (NUMCLP) を構成する数詞 (NUM) と助数詞 (CL) は互いに依存しており、最も右側の要素 (通常は CL) が主要部ではあるが、NUM と CL の両方が句カテゴリである NUMCLP によって直接支配される。
- 副詞句 (ADVP) は、副詞 (ADV) だけでなく、ナ形容詞 (ADJN+AX) やイ形容詞 (ADJI) の連用形を主要部とすることがある。
- 連体句 (PNLP) はさまざまな数のさまざまなカテゴリを支配することができる。
- 接続詞句 (CONJP) の主要部として、助詞 (P) (典型的には P-CONN)、等位接続詞 (CONJ) や「裸」の句カテゴリが現れることがある。

主要部は省略されることがある (以下は「右方節点繰上げ構文」の例であるが、等位的な副詞節 (IP-ADV-CONJ) の述語「迎える」が省略されている)。

- (2) 仙台フィルハーモニー管弦楽団の第279回定期演奏会は、指揮にヘンリック・シェーファー、ピアノに萩原麻未を迎えます。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
(PP-TPC (NP (PP (NP; {ORG} (NPR 仙台フィルハーモニー管弦楽団))
(P-ROLE の))
(NUMCLP (NUM 第279)
(CL 回))
(N 定期演奏会))
(P-OPTR は))
(PU 、)
(IP-ADV-CONJ (PP (NP (N 指揮))
(P-ROLE に))

```

(NP-OB1;{PERSON} (NPR ヘンリク・シェーファー))
(PU 、)
(PP (NP (N ピアノ))
(P-ROLE に))
(PP-OB1 (NP;{PERSON} (NPR 萩原麻未))
(P-ROLE を))
(VB 迎え)
(AX ます)
(PU 。))
(ID 99_news_KAHOKU_40))

```

5 単位分割および品詞アノテーション

単位分割と品詞タグ付与は、純粋に語彙的な要素の中に機能的な要素を取り込むことを避けながら、終端ノードをできるだけ大きくとるという方針に従う。これはおおむね、Corpus of Spontaneous Japanese (CSJ; Maekawa 2003) および Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese (BCCWJ; Maekawa, Yamazaki, Ogiso, Maruyama, Ogura, Kashino, Koiso, Yamaguchi, Tanaka, and Den 2014) の長単位基準に従っている。長単位は少なくとも1つの短単位から成るが、2つ以上の短単位から成る複合的なものが普通である。短単位は UniDic (Den, Nakamura, Ogiso, and Ogura 2008) のエントリーと一致するものである。

長単位分析から得られるチャンキングは複合名詞や複合的述語に限らない。文法化された様々な要素（例えば、形式名詞と助詞のペア、モーダルな表現、等）も1つにまとめられる。複合的な長単位は通常、1つの単位として扱われる。例えば、数詞は短単位としては1桁ずつ別々に分析されるが、解析の際には長単位に従って、これらを1つの単位として扱う。

BCCWJ と CSJによる長単位のチャンキングは統語的な分析のために定められた単位であるが、妥当な統語論の記述を行おうとしながら、直接構成素のツリーを生成するためには情報が不十分な場合がある。そのため、環境によっては短単位をさらに分割することがある（例えば、動詞の意志形は語幹と意志を表す形態素から成る (VB 結ば) (AX う) のように分析される)。逆に、長単位の連続を1つにまとめることもある（例えば、複合的な固有名詞を構成する複数の長単位をまとめて1つにする)。さらに、統語論に影響しないような形態論的な細かな分析は無視されることがある（例えば、人名と地名の区別)。その一方で、重要と考えられるものについては独自の分析を与える（例えば、同音ではあるが、文法的な機能という観点から、2つ以上の品詞に分けられる要素)。これらは、フラットで検索が容易であるという特徴を保持しながら言語の基本的な機能的構造を洗い出すという目的から行われるものである。

チャンキングは自動解析で可能な限り大きな単位にまとめるという方針で行う。これらはアノテーターがまず最初に目にする単位である。しかし、そのような単位の中に明らかに構造として表現されるべきものが含まれる場合、あるいは、構造の意味的な影響を示す必要がある場合には、チャンキングがなされないこともある。前者の例として、「中(ちゅう)」という形態素を考える。これは「旅行」のような動作名詞に後続することがあり、UniDic では名詞化接尾辞として分析され、先行する動作名詞とともに長単位にまとめられる。この分析は、「旅行」が名詞修飾要素を伴う場合には問題ない。

(3) 彼は旅行中にして、病に倒れた。

```

( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼))
(P-OPTR は))
(PP (NP (N 旅行中))
(P-ROLE にして))

```

(PU 、)
 (PP (NP (N 病))
 (P-ROLE に))
 (VB 倒れ)
 (AXD た)
 (PU 。))

(ID 696_textbook_particles))

しかし、以下のように「旅行」が項をとったり、あるいは副詞を伴ったりして、「中」を名詞として分析した方がよい場合もある。

(4) 佐藤さんは海外を旅行中だ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 佐藤さん))
 (P-OPTR は))
 (NP-PRD (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (N 海外))
 (P-ROLE を))
 (VB 旅行))
 (N 中))
 (AX だ)
 (PU 。))

(ID 16_misc_EXAMPLE2))

もうひとつは、通常は複合的な助詞とされるものを分割する場合である。UniDICは様々な動詞と助詞の組み合わせを複合助詞としてチャンキングしている。以下のように、「にしたがって」では「従う」という動詞の意味が希薄である。

(5) 「地は生き物を種類にしたがっていだせ。

((CP-IMP (PUL 「)
 (IP-SUB (PP-SBJ (NP (N 地))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (N 生き物))
 (P-ROLE を))
 (PP (NP (N 種類))
 (P-ROLE にしたがって))
 (VB いだせ))
 (PU 。))

(ID 49_bible_ot))

このように、UniDicの分析は正しいことが多いが、以下のように「にしたがって」という複合助詞ではなく、「したがう」という動詞が用いられていると分析されるべき場合がある。

(6) モーセは主の命にしたがって、パランの荒野から彼らをつかわした。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR モーセ))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-CONJ (PP (NP (PP (NP (N 主))
 (P-ROLE の))
 (N 命))
 (P-ROLE に))
 (VB したがっ)
 (P-CONN て))
 (PU 、)


```

      (PP (NP (PP (NP (NPR パラン))
                  (P-ROLE の))
            (N 荒野))
          (P-ROLE から))
      (PP-OB1 (NP;{LEADERS} (PRO 彼ら))
              (P-ROLE を))
      (VB つかわし)
      (AXD た)
      (PU 。))
      (ID 418_bible_ot))

```

このような場合には、アノテーターが単位分割を行い、取り出された要素のそれぞれに適切なラベルを与える必要がある。

6 基本的な節の構造

主節は IP-MAT とラベル付けされる。主語（明示的に表されているか否かに関わらない）と述語の対が節を投射する。典型的な場合、1つの節には1つの主たる述語がある。例えば、動詞 (VB)、イ形容詞 (ADJI)、ナ形容詞 (ADJN) + コピュラ (AX)、述語名詞句 (NP-PRD) + コピュラ (AX)、である。本コーパスでは VP のレベルを設定しない。したがって、IP の構造は平坦で、節のレベルの構成素は動詞や助動詞等と同じレベルに表示される。

- 動詞述語の例：

```

(7) 花子が泣いた。
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{PERSON} (NPR 花子))
              (P-ROLE が))
  (VB 泣い)
  (AXD た)
  (PU 。))
  (ID 1823_misc_JSeM_beta_150530))

```

- 形容詞（イ形容詞）述語の例:

```

(8) この料理はおいしい。
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (D この)
                    (N 料理))
              (P-OPTR は))
  (ADJI おいしい)
  (PU 。))
  (ID 1358_misc_JSeM_beta_150530))

```

- 形容詞（ナ形容詞）述語の例:

```

(9) キムは有能だ。
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR キム))
              (P-OPTR は))
  (ADJN 有能)
  (AX だ)
  (PU 。))
  (ID 1442_misc_JSeM_beta_150530))

```

- 名詞述語の例:

(10) メアリーは女性である。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR メアリー)
                      (P-OPTR は))
                (NP-PRD (N 女性))
                (AX で)
                (VB2 ある)
                (PU 。))
  (ID 1053_misc_JSeM_beta_150530))
```

IP を構成するのは、原則として、述語と句レベルの構成素（語レベルの構成素ではない）であるが、述語の核となる語（動詞, イ形容詞, ナ形容詞+コピュラ, 名詞句+コピュラ）の他にも、少数の他の語レベルの構成素が IP の直下に置かれることが出来る。これには、等位接続詞 (CONJ), 1 語から成る間投詞 (INTJ), 軽動詞・助動詞の類 (VB0, VB2, PASS, AX, 等), 否定辞 (NEG), モーダル助動詞 (MD), いくつかの形式名詞 (FN), 助詞 (P) がある。

(11) 電話番号を聞き違えたか、またはもうこの電話は使われていないのだろう。

```
( (IP-MAT (PP (IP-ADV (NP-SBJ *speaker*)
                    (PP-OB1 (NP (N 電話番号))
                            (P-ROLE を))
                    (VB 聞き)
                    (VB2 違え)
                    (AXD た))
        (P-CONN か))
  (PU 、)
  (NP-LGS *pro*)
  (CONJ または)
  (ADVP (ADV もう))
  (PP-SBJ (NP (D この)
              (N 電話))
          (P-OPTR は))
  (VB 使わ)
  (PASS れ)
  (P-CONN て)
  (VB2 い)
  (NEG ない)
  (FN の)
  (MD だろう)
  (PU 。))
  (ID 165_textbook_djg_intermediate))
```

7 断片 (FRAG)

1 個またはそれ以上の句が連なっているが、全体で1つの IP を構成していない場合、そのような文は断片と呼ばれ、それを構成する句はFRAG の下に置かれる。

(12) まったく。

((FRAG (ADVP (ADV まったく))
 (PU 。))
 (ID 229_aozora_Harada-1960))

(13) = 2011年4月、遠野市

((FRAG (SYM =)
 (NP-TMP (NUMCLP (NUM 2011)
 (CL 年))
 (NUMCLP (NUM 4)
 (CL 月)))
 (PU 、)
 (NP;{LOC} (NPR 遠野市)))
 (ID 52_news_KAHOKU_65))

(14) おそらく、ある観念も。

((FRAG (ADVP (ADV おそらく))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (D ある)
 (N 観念))
 (P-OPTR も))
 (PU 。))
 (ID 184_aozora_Hayashida-2015))

単一の名詞句や助詞句で感嘆節として用いられたものはこの文型に含まれる。

(15) 泥棒！

((FRAG (NP (N 泥棒))
 (PU !))
 (ID 28_aozora_Kunieda-1925))

これは形式名詞「こと」を使った次のような命令文にも適用される。

(16) この第6作については『仮面ライダー（スカイライダー）』を参照のこと。

((CP-IMP (FRAG (NP (PP (IP-NMZ (NP-SBJ *hearer*)
 (PP (NP;{SKYRIDER_SERIES} (D この)
 (NUMCLP (NUM 第6)
 (CL 作)))
 (P-ROLE について)
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (PUL 『)
 (NPR 仮面ライダー)
 (PRN (PUL ()
 (NP (NPR スカイライダー))
 (PUR)))
 (PUR 』)))
 (P-ROLE を))
 (VB 参照))
 (P-ROLE の))
 (N こと)))
 (PU 。))
 (ID 11_wikipedia_Kamen_Rider))

FRAG は CP-THT や CP-QUE の下にも現れる。

(17) 糞坊主めとはがみをした。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (CP-THT-ADV (FRAG (NP (N 糞坊主め)))
    (P-COMP と))
  (PP-OB1 (NP (N はがみ))
    (P-ROLE を))
  (VB し)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 116_aozora_Natsume-1908))
```

(18) 何の？

```
( (CP-QUE (FRAG (PP (NP (WPRO 何))
  (P-ROLE の)))
  (PU ?))
(ID 30_spoken_JF6))
```

8 空要素

この節では、ノードを割り当てられる空要素について説明する。なお、コントロールを受ける主語位置の空要素（12節を参照）およびATB抽出による空要素（13節を参照）がノードを割り当てられることはない。

8.1 インデクスを使用しない空要素

インデクスを使用しない空要素には、関係節のトレース、虚辞 (expletive)、および様々な種類のゼロ代名詞がある。インデクスを与えられない空要素のリストをその用法の説明とともに表1に示す。

空要素	意味
*	ゼロ要素
T	関係節のトレース
exp	虚辞
arb	一般的非人称指示に用いるゼロ代名詞
pro	定の指示に用いるゼロ代名詞 (small pro)
hearer	聞き手を指示するゼロ代名詞
hearer+pro	聞き手および定の個体を指示するゼロ代名詞
speaker	話し手を指示するゼロ代名詞
speaker+hearer	話し手および聞き手を指示するゼロ代名詞
speaker+pro	話し手および定の個体を指示するゼロ代名詞

表 1: インデクスを使用しない空要素のリスト

8.1.1 ゼロ要素

ゼロ要素が用いられるのは、構成素の投射を支えるために何かしらの要素の存在が要求されるものの、その内容については言及したくない場合である。注目すべき事例としては受動文の論理的な主語 (NP-LGS *) が挙げられる。これは受動文の要求を満たすだけのために存在しており、論理的主語が何であるのかについては何も表していない。

(19) 財政は借金まみれで不利益の分配を迫られる。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 財政))
                    (P-OPTR は))
  (IP-ADV-CONJ (NP-PRD (N 借金まみれ))
               (AX で))
  (NP-LGS *)
  (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 不利益))
                  (P-ROLE の))
             (N 分配))
          (P-ROLE を))
  (VB 迫ら)
  (PASS れる)
  (PU 。))
(ID 31_news_KAHOKU_706))
```

8.1.2 虚辞

主語を持たないように見える文は、空要素の主語 (NP-SBJ *exp*) を加える。これには、以下のような文が含まれる。

- 天候を表す述語：

(20) 明日は寒くないだろう、

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *exp*)
  (PP-TMP (NP (N 明日))
          (P-OPTR は))
  (ADJI 寒く)
  (NEG ない)
  (MD だろう)
  (PU 、))
(ID 450_textbook_purple_intermediate))
```

- 述語名詞句だけで構成される特殊な節

(21) 非常に落胆した石森だったが、50枚以上のデザイン画を描いた。

```
( (IP-MAT (PP-CONJ (IP-ADV (NP-SBJ *exp*)
                           (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                                             (ADVP (ADJN 非常)
                                                    (AX に))
                                             (VB 落胆)
                                             (VB0 し)
                                             (AXD た))
                                           (NPR 石森))
                               (AX だっ)
                               (AXD た))
                           (P-CONN が))
  (PU 、)
  (NP-SBJ;{ISHINOMORI} *pro*)
  (PP-OB1 (NP (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
                  (NP-PRD (NUMCLP (NUM 50))
```

(CL 枚))
 (N 以上))
 (AX の))
 (N デザイン画))
 (P-ROLE を))
 (VB 描い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 56_wikipedia_Kamen_Rider))

- 発話がある状況に関する完全な叙述と見なされるのであれば、主語が文脈から復元可能でなくとも節として解釈し、主語を *exp* としてアノテーションを行う。

(22) 「火事だ！」

((IP-MAT (PUL 「)
 (NP-SBJ *exp*)
 (NP-PRD (N 火事))
 (AX だ)
 (PU !)
 (PUR 」))
 (ID 631_aozora_Doyle-1905))

8.1.3 一般的非人称指示のゼロ代名詞

以下の例に見るように、*arb* は一般的な非人称指示に用いられる。

(23) 論文を書くのはとてもたいへんです。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *arb*)
 (PP-OB1 (NP (N 論文))
 (P-ROLE を))
 (VB 書く))
 (N の))
 (P-OPTR は))
 (ADVP (ADV とても))
 (ADJN たいへん)
 (AX です)
 (PU 。))
 (ID 2_misc_EXAMPLE))

8.1.4 その他のゼロ代名詞

代名詞と同様に、*pro* は談話コンテキスト中の実体を指示するか、または同一の文中の要素を先行詞として取る。*hearer*、*hearer+pro*、*speaker*、*speaker+hearer*、および *speaker+pro* は *pro* の特殊な場合であり、条件が満たされる場合には *pro* に優先して使用される。

(24) 何を買ってあげようか。

((CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
 (NP-OB2 *hearer*)
 (PP-OB1 (NP (WPRO 何))

```

(P-ROLE を))
(VB 買っ)
(P-CONN て)
(VB2 あげ)
(AX よう))
(P-FINAL か)
(PU 。))
(ID 694_textbook_purple_basic))

```

(25) 「先生、もうお忘れですか？」

```

((CP-QUE (PUL 「)
  (IP-SUB (NP-VOC;{ADDRESSEE} (N 先生))
    (CLEAN *VOC*)
    (NP-SBJ;{ADDRESSEE} *hearer*)
    (PU 、)
    (NP-OB1 *pro*)
    (ADV (ADV もう))
    (VB お忘れ)
    (AX です))
  (P-FINAL か)
  (PU ?)
  (PUR 」))
(ID 92_aozora_Hayashida-2015))

```

(24) と (25) に見るように、ゼロ代名詞は、コントロールを受けず、かつ明示的に表現されていない主要文法役割 (NP-SBJ, NP-OB1, NP-OB2), すなわち節内の述語の解釈にとって必須だが省略されている項 (argument) を表示する。ただし、コントロール関係 (12節を参照) や ATB 抽出に起因する束縛関係 (13節を参照) から復元可能な項については、ゼロ代名詞は用いられない。

8.1.5 関係節におけるトレース

トレースは、主名詞を修飾する関係節 (IP-REL) の内部に空の位置が存在し、その位置に主名詞が対応づけられることを示す。詳しくは、16.5.1 節を参照。以下の例 (26) では、トレース (NP-SBJ *T*) によって主名詞「人」が関係節中の主語の役割に関係付けられている。

(26) わかった人は手をあげてごらんください。」

```

((CP-IMP (IP-SUB (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
  (VB わかつ)
  (AXD た))
  (N 人))
  (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (NP (N 手))
  (P-ROLE を))
  (VB あげ)
  (P-CONN て)
  (VB2 ごらん)
  (VB2 ください))
  (PU 。))

```

(PUR]))

(ID 140_aozora_Miyazawa-1934))

トレースは、主要文法役割だけでなく、任意の文法役割や付加句 (adjunct) の「ギャップ」も表すことができる。この意味でトレースは、(NP-SBJ *pro*) のようなゼロ代名詞が項に対応するものに限定されるのと対照をなしている。詳しくは、9.2.3 節を参照のこと。

関係節 (IP-REL) が等位節を含まない場合、修飾を受ける主名詞に対応するローカルなトレースはひとつしかない。関係節が等位節を含む場合、それらの各々が最大でひとつのトレースを持つが、トレースの文法役割については制約が無いし、またすべての等位節がトレースを持たねばならないという制約も無い。以下の例 (27) では、最初の IP-ADV-CONJ の下のトレースは主名詞を第一目的語役割に関係付け、ふたつ目の IP-REL に直接支配されるトレースは主語役割に関係付けている。

(27) 彼女は皆が愛しそして皆を愛する人です。

```

( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{WOMAN_28} (PRO 彼女))
      (P-OPTR は))
  (NP-PRD (IP-REL (IP-ADV-CONJ (NP-OB1 *T*)
      (PP-SBJ (NP (Q 皆))
        (P-ROLE が))
      (VB 愛し))
    (CONJ そして)
    (NP-SBJ *T*)
    (PP-OB1 (NP (Q 皆))
      (P-ROLE を))
    (VB 愛する))
  (N 人))
  (AX です)
  (PU 。))

```

(ID 28_misc_EXAMPLE))

(27) において、2つ目のトレースは等位接続された最初の節の後に置かれている。もしもこれを前に置くと、ATB (Across the Board) 抽出となって、両方の等位節において指示対象も文法役割も同じくする位置が生じてしまうからである。

なお、関係節に含まれる明示的な代名詞あるいは *pro* がトレースと同一指示である場合、この関係はトレースへのソート情報ではなく、修飾される名詞が投射する NP に付与される。ソート情報については、??節を参照されたい。

(28) 有間皇子がどうしてもそこから逃れることのできなかつた悲運

```

( (FRAG (NP;{MISFORTUNE} (IP-REL (PP-SBJ (NP (NPR 有間皇子))
      (P-ROLE が))
    (PP-SCON-CND (IP-ADV (ADVP-CMPL (WADV どう))
      (VB し)
      (P-CONN て))
      (P-OPTR も))
    (PP-OB1 (NP (IP-EMB (PP (NP *T*)
      (P-ROLE **))
    (PP (NP;{MISFORTUNE}
      (P-ROLE から))
    (VB 逃れる))

```



```

(N こと))
(P-ROLE の))
(VB でき)
(NEG なかつ)
(AXD た))
(N 悲運)))
(ID 7_misc_EXAMPLE2))

```

8.2 いつでもインデクス付けされる空要素

前節で述べた空要素はすべてインデクス付けされないものであるが、インデクスの付加が必要な空要素も存在する。

空要素	意味
ICH	この位置で構成素を解釈せよ

表 2: インデクス付けをとまなう空要素

ICH (“Interpret Constituent Here (この位置で構成素を解釈せよ)”の省略形)は、不連続構造を表示するためのトレースとして使用される。ここで不連続構造とは、文末への倒置 (23.4 節を参照のこと)、長距離スクランブリングおよび他の転置のうち、句レベルの要素を横断するが、コントロール、ATB、関係節に関する計算によらず、またソート情報 (8.3 節を参照のこと) によっても表されないものを指す。インデクス付けは、インデクス番号を転置された構成素のラベルに付加し、またその構成素が解釈されるべき位置に同カテゴリーのダミーの構成素を作り、その子ノードとして *ICH* を付け加えることで機能する。以下の例文では外置されたPPはインデクス付きの*ICH*に対応している。文法役割を表す拡張タグ (下の例の -SBJ) は、外置された要素のノードでなく、*ICH* の親ノードに付加されることに注意すること。

(29) 美しい街ですよ、神戸は。

```

( (CP-FINAL (IP-SUB (PP-SBJ *ICH*-1)
                    (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                                   (ADJI 美しい))
                               (N 街))
                            (AX ですよ)
                    (P-FINAL よ)
                    (PU 、)
                    (PP-1 (NP (NPR 神戸))
                          (P-OPTR は))
                    (PU 。)))
  (ID 989_textbook_kisonihongo))

```

下の例のように、単一の要素が複数個の *ICH* と同一のインデックスを付けられることがある。

(30) 2012年末の男性平均寿命80.18歳、女性平均寿命84.67歳、戸籍人口平均寿命82.41歳。

```

( (IP-MAT (PP-1 (NP (NUMCLP (NUM 2012)
                           (CL 年))
                     (N 末))
                (P-ROLE の))
  (IP-ADV-CONJ (IP-ADV-CONJ (NP-SBJ (PP *ICH*-1)

```

(N 男性平均寿命))
 (NP-PRD (NUMCLP (NUM 80.18)
 (CL 歳)))
 (AX *))
 (PU 、)
 (NP-SBJ (PP *ICH*-1)
 (N 女性平均寿命))
 (NP-PRD (NUMCLP (NUM 84.67)
 (CL 歳)))
 (AX *))
 (PU 、)
 (NP-SBJ (PP *ICH*-1)
 (N 戸籍人口平均寿命))
 (NP-PRD (NUMCLP (NUM 82.41)
 (CL 歳)))
 (AX *)
 (PU 。))
 (ID 53_wikipedia_Shanghai))

(31) 訪問診療の患者は月20人程度おり、定期的な巡回診療は町外の仮設住宅で月3回、離島の出島で月2回、江島で月1回をそれぞれこなす。

((IP-MAT (IP-ADV-CONJ (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 訪問診療))
 (P-ROLE の))
 (N 患者))
 (P-OPTR は))
 (NP-ADV (N 月)
 (NUMCLP (NUM 20)
 (CL 人))
 (N 程度))
 (VB おり))
 (PU 、)
 (NP-SBJ *pro*)
 (PP-TPC (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 定期的)
 (AX な))
 (N 巡回診療))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-CONJ (PP (NP (PP (NP (N 町外))
 (P-ROLE の))
 (N 仮設住宅))
 (P-ROLE で))
 (NP-OB1 (N 月)
 (NUMCLP (NUM 3)
 (CL 回))))))
 (PU 、)
 (IP-REL-1 (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (N 離島))
 (AX の))
 (IP-ADV-CONJ (PP (NP; {LOC} (IP-REL *ICH*-1)
 (NPR 出島))

```

(P-ROLE で))
(NP-OB1 (N 月)
          (NUMCLP (NUM 2)
                  (CL 回))))
(PU 、)
(PP (NP;{LOC} (IP-REL *ICH*-1)
      (NPR 江島))
  (P-ROLE で))
(PP-OB1 (NP (N 月)
            (NUMCLP (NUM 1)
                    (CL 回)))
  (P-ROLE を))
(NP;*で* (Q それぞれ))
(VB こなす)
(PU 。))
(ID 46_news_KAHOKU_93))

```

構成素が左側に移動しているが同一の節のレベルにとどまっている場合（例えば、主題化や近距離スクランブリング等）は、*ICH* を用いたインデクス付けは行われないうことに注意すること。

(32) この服は太った人でも着られます。

```

( (IP-MAT (PP-OB1 (NP;{CLOTHES_859} (D この)
                                     (N 服))
                  (P-OPTR は))
  (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                     (VB 太っ)
                     (AX た))
            (N 人))
    (P-OPTR でも))
  (VB 着)
  (VB2 られ)
  (AX ます)
  (PU 。))
(ID 859_textbook_kisonihongo))

```

これに対して右方への外置が行われる場合、主節述語は節の中で最右方の位置を占めなければならないため、外置された句は当該の節とは異なる節に属することになり、したがって *ICH* を用いたインデクス付けが行われる。

(33) 「見よ、神の小羊」。

```

( (CP-IMP (PUL 「)
  (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
          (NP-OB1 *ICH*-1)
          (VB 見よ)
          (PU 、))
  (NP-1 (PP (NP (N 神))
            (P-ROLE の))
    (N 小羊))
  (PUR 」)
  (PU 。))
(ID 64_bible_nt))

```

*ICH*に関連する特別なアノテーションとして、遊離した名詞の補部節がある。ある名詞の補部節が遊離し、主節に付加されている場合、PRN 投射を加えた上で、そのPRN投射に対して*ICH*分析を行う（19節，24.17.3節，および24.16.2節を参照）。

(34) 先生はまた玄関の前に戻って、「前へならえ。」と号令をかけました。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 先生))
                    (P-OPTR は))
  (IP-ADV-CONJ (ADVP (ADV また))
               (PP (NP (PP (NP (N 玄関))
                            (P-ROLE の))
                       (N 前))
                   (P-ROLE に))
               (VB 戻っ)
               (P-CONN て))
  (PU 、 )
  (PRN-1 (CP-THT (CP-IMP (IP-SUB (PUL 「)
                                (NP-SBJ *hearer*)
                                (PP (NP (N 前))
                                    (P-ROLE へ))
                                (VB なら)
                                (VB2 え)
                                (PU 。)
                                (PUR 」)))
        (P-COMP と)))
  (PP-OB1 (NP (N 号令)
              (PRN *ICH*-1))
          (P-ROLE を))
  (VB かけ)
  (AX まし)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 100_aozora_Miyazawa-1934))
```

8.3 空要素の位置

空要素は目に見えないために、どこにそれを置くかという点で迷うことが少なくない。これは以下のような方針で行う。

- 関係節のトレース (*T*) は基本的には IP-REL (関係節) の先頭に置かれる。ただし、本節で後述するように、ATB 抽出による同一指示が保持されるように、等位節の後にトレースを置く場合がある (8.1.5 節の例 (27) も参照)。
- 虚辞 (*exp*) は IP の先頭に置かれる。ただし、トレース (*T*) が存在する場合は、その次に置かれる。
- 一般に、ゼロ代名詞 (*arb*, *exp*, *pro*, *speaker*, *hearer*, *speaker+hearer*, 等) は IP の先頭に、すなわち並列句や左方転置された要素の前に置かれる。ただし、トレース (*T*) や虚辞 (*exp*) や命令文のためのダミー要素 (*voc*) がある場合には、それらの後に置かれる (命令文については 11.3 節を参照)。ただし、本節で後述するように、照応関係の計算の影響により *arb*, *exp*, *pro*, *speaker*, *hearer*, *speaker+hearer* がさらに別の場所に置かれることがあることに注意。

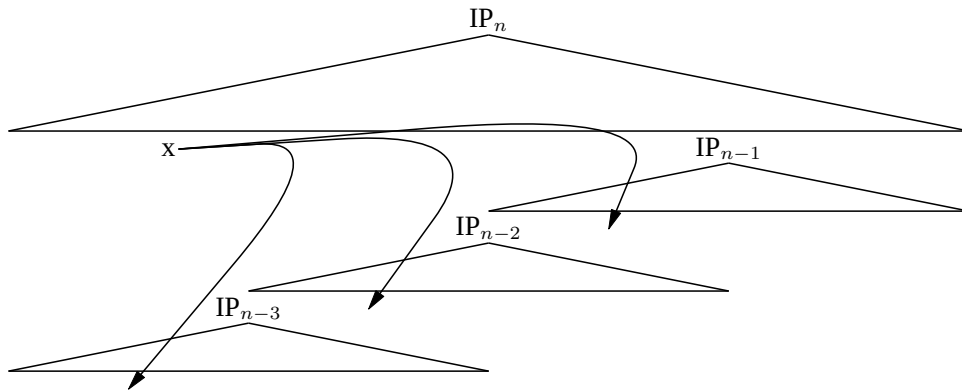
(35) よそから、もらったお酒が二升あった。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{DAZAI_LIQUOR_2_SHO} (IP-REL (NP-OB1 *T*)
                                                    (NP-SBJ;{DAZAI} *speaker*)
                                                    (PP-OB2 (NP (N よそ))
                                                            (P-ROLE から))
                                                    (PU 、)
                                                    (VB もらっ)
                                                    (AXD た))
                                                    (N お酒))
      (P-ROLE が))
  (NP;*SBJ* (NUMCLP (NUM 二)
                    (CL 升)))
  (VB あっ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 66_aozora_Dazai-1-1940))
```

(36) このビルは、現在の耐震基準に照らし合わせると、強度が不足している。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{BUILDING_1818} (D この)
                                         (N ビル))
      (P-OPTR は))
  (PU 、)
  (PP-SCON (IP-ADV (NP-SBJ *exp*)
                  (NP-OB1;{BUILDING_1818} *pro*)
                  (PP (NP (PP (NP (N 現在))
                              (P-ROLE の))
                          (N 耐震基準))
                    (P-ROLE に))
                (VB 照らし合わせる))
          (P-CONN と))
  (PU 、)
  (PP-SBJ2 (NP (N 強度))
           (P-ROLE が))
  (VB 不足)
  (VB0 し)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる)
  (PU . ))
(ID 1818_dict_vv-lexicon))
```

空要素と先行詞の照応計算はゼロ代名詞の位置に影響を与える。例えば、照応計算は等位節における同一指示を保持するために、Across the Board extraction (ATB) と呼ばれるルールに従う。より具体的には、 IP_n における、任意の明示的なカテゴリー x は、以下の条件を満たす場合に、その文法的な機能を保持しながら、拡張タグ -CONJ の付いた節 $IP_{1,2,..n-1}$ における空要素の先行詞となる： x が IP_{n-1} の姉妹であり、かつそれに先行し、 IP_{n-2} が IP_{n-1} の先頭要素となり、 IP_{n-3} が IP_{n-2} の先頭要素となり、等々。つまりこのとき、 IP_n における $IP_{1,2,..n-1}$ のそれぞれが IP_n 中のカテゴリー x を先行詞として「継承」することが要求される（下図参照）。以下の例に見るように、 IP_n におけるゼロ代名詞の位置は、ゼロ代名詞が最後（主節）を除くすべての等位節の先行詞になるかどうかによって左右され、もしそうであれば最も先頭に置かれる。



(37) 「和国の教主」として尊敬し、観音菩薩の化身として崇拝した。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
  (NP-OB1 *pro*)
  (IP-ADV-CONJ (PP (NP (PUL 「
    (PP (NP (NPR 和国))
      (P-ROLE の))
    (N 教主)
    (PUR 」))
      (P-ROLE として))
    (VB 尊敬)
    (VB0 し))
  (PU 、)
  (PP (NP (PP (NP (NPR 観音菩薩))
    (P-ROLE の))
    (N 化身))
    (P-ROLE として))
    (VB 崇拝)
    (VB0 し)
    (AXD た)
    (PU 。))
  (ID 15_wikipedia_KYOTO_7))
```

以下の例では終結節（主節）の主語のゼロ代名詞は非終結節（等位節の前項）の空要素の先行詞である。非終結節の先頭には第一目的語のゼロ代名詞が置かれ、一方、終結節はそれ自身の明示された第一目的語を持っている。

(38) 火鉢にかざして、文字をあぶり出した。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
  (IP-ADV-CONJ (NP-OB1 *pro*)
    (PP (NP (N 火鉢))
      (P-ROLE に))
    (VB かざし)
    (P-CONN て))
  (PU 、)
  (PP-OB1 (NP (N 文字))
    (P-ROLE を))
  (VB あぶり出し)
  (AXD た))
```

(PU .)

(ID 34_dict_vv-lexicon))

以下の例でも，終結節（主節）の主語のゼロ代名詞は非終結節（等位節の前項）の空要素の先行詞であるが，第一目的語のゼロ代名詞はそうではない。つまり，非終結節にはそれ自身の第一目的語が明示されている。この場合，終結節の第一目的語のゼロ代名詞は，ゼロ代名詞を節の先頭に置くというデフォルトに従わず，非終結節の後に置かれる。

(39) 「私たちの話を聞いて、監視しているのよ」

((CP-FINAL (PUL 「

(IP-SUB (NP-SBJ *pro*)

(IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (PP (NP (PRO 私たち))

(P-ROLE の))

(N 話))

(P-ROLE を))

(VB 聞き

(P-CONN て))

(PU 、)

(NP-OB1 *speaker+hearer*)

(VB 監視)

(VB0 し)

(P-CONN て)

(VB2 いる)

(FN の))

(P-FINAL よ)

(PUR 」))

(ID 360_fiction_DICK-1952))

ゼロ代名詞を節の最初の位置に置くというデフォルト的処理によって，コントロール関係（詳細は 12 節を参照）が確立することもあるが，これが望ましくないこともある。そのような状況は，同一指示関係を持つ先行詞を計算するに当たって，目的語先行詞の方が主語先行詞よりもアクセス可能性が強いことを規定する「先行詞アクセス可能性の階層」に起因する。この階層によれば，主語先行詞が従属節をコントロールするためには，その従属節の左側に目的語が存在してはならないことになる。以下の例では，主節の述語は他動詞であって明示的な目的語を含まず，従属節と NP-SBJ を共有しているが，NP-OB1 を共有していない。よりアクセス可能性の強い NP-OB1 が従属節の左側に出現することは，その内部を束縛してしまう（つまり前者が後者の主語として解釈される）ために許されない。したがって，NP-OB1 は従属節の後に置かれる。

(40) 急いで食べないで。

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)

(IP-ADV-SCON (VB 急い)

(P-CONN で))

(NP-OB1 *pro*)

(VB 食べ)

(NEG ない)

(P-CONN で))

(PU 。))

(ID 568_textbook_purple_basic))

他の環境については，同一指示関係を引き出すための条件はより緩やかである。下の例で，接続助詞「たら」が導く節は明示的な第一目的語を含み，その指示対象は上位

の節の主語ゼロ代名詞と同一である。ここで同一指示関係が可能だと推論するには、従属節の第一目的語 (PP-OB1) が、上位の節における主語 (NP-SBJ) のゼロ代名詞に先行することが十分条件となる。よって、主語ゼロ代名詞は節の先頭ではなく、従属節の後に置かれる。このようにすると、従属節の第一目的語が上位の節における主語のゼロ代名詞の先行詞として解釈されることが可能になる。とは言え、他に情報が与えられないかぎり、同一指示は単に可能性にとどまり、決定的なものとはならない。下の例について言えば、従属節中の動詞「あげ(る)」の第一目的語「それ」と主節の動詞「なくなった」の主語とが「ソート情報」を共有している。

(41) それを三つ彼にあげたらなくなった。
 ((IP-MAT (IP-ADV-SCON-CND (NP-SBJ;{SPEAKER_35} *speaker*)
 (PP-OB1 (NP;{MIKAN} (PRO それ))
 (P-ROLE を))
 (NP;*OB1* (NUMCLP (NUM 三)
 (CL つ)))
 (PP-OB2 (NP;{MAN_35} (PRO 彼))
 (P-ROLE に))
 (VB あげ)
 (P-CONN たら))
 (NP-SBJ;{MIKAN} *pro*)
 (VB なくなっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 35_misc_EXAMPLE))

以下の例では、従属節と上位の節は主語と第一目的語の両方を共有している。しかし、このような場合、ゼロ代名詞の目的語を主節の先頭に置くことはできない。第一目的語のゼロ代名詞がコントロール計算によって、従属節の主語と解釈されてしまうからである。したがって、従属節と上位の節の両方に第一目的語のゼロ代名詞を置くことになるが、上位の節のそれが従属節の後に置かれる。また、両者にはソート情報が必要になる。

(42) ダウンロードして印刷すれば、学校や家庭で手軽に取り組める。
 ((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (IP-ADV-SCON-CND (NP-OB1;{FILE} *pro*)
 (IP-ADV-CONJ (VB ダウンロード)
 (VB0 し)
 (P-CONN て))
 (VB 印刷)
 (VB0 すれ)
 (P-CONN ば))
 (PU 、)
 (NP-OB1;{FILE} *pro*)
 (PP (NP (CONJP (NP (N 学校))
 (P-CONN や))
 (NP (N 家庭)))
 (P-ROLE で))
 (ADVP (ADJN 手軽)
 (AX に))
 (VB 取り組める)
 (PU 。))
 (ID 55_news_KAHOKU_97))

9 文法役割のアノテーション

この節では、様々な環境において文法役割およびそれらを表示する助詞のアノテーションをどのように行うべきかについて説明する。まず主要文法役割について説明し、次に任意文法役割について述べる。

9.1 主要文法役割

まず、単文において明示的な名詞句が主要文法役割を持つ場合について論じる。主要文法役割とは、名詞句によって表される項 (argument) が、それを選択する述語に対して持つ文法的な役割である。項は原則としては、述語の完全な解釈のために不可欠な構成素である。しかし、与えられた述語と共起する構成素が必須要素なのか、任意要素なのか判断に苦しむ場合も多くある。そのような例のひとつとして、移動動詞に対する経路を示す表現が挙げられる。また、認知動詞や伝達動詞に対する補部節のステータスも曖昧である。前者に関しては、明示した形で現われる経路を項 (OB1) とするが、経路を伴わない移動動詞の場合はゼロ代名詞を補わない。後者に関しては、現在のコーパスでは述語が「言う」であろうと「話す」であろうと、補部節に同じ分析 (つまり、CP-THT-OB1) を与える。ただし、命題の内容を必要としない述語と共起した補部節は副詞的なもの (CP-THT-ADV) として扱う (24.17.5 を参照)。

主要文法役割は、SBJ (主語)、SBJ2 (第二主語)、LGS (論理的主語)、OB1 (第一目的語)、OB2 (第二目的語)、CMPL (補語)、および CZZ (被使役者) というラベルが拡張タグとして与えられる。これらは典型的には、「が」「に」「を」「の」等の助詞 (P-ROLE) によって表示される (14.2 節を参照)。また、これらは「は」や「も」のようなどりたて助詞 (P-OPTR) によって表示されることもある。助詞を全く伴わずに現れることもある。つまり、助詞の形だけではその項がどの主要文法役割を持つか判断することはできない。

9.1.1 明示的な文法役割表示を伴う項

主要文法役割を担う構成素のノード・ラベルに対しては、文法役割を示すための拡張タグが付加される。下の例では、3つの助詞句 (PP 漁夫が)、(PP その女房に)、(PP 金を) に、それぞれSBJ (主語)、OB2 (第二目的語)、OB1 (第一目的語) という拡張タグが付いている。

(43) 漁夫がその女房に金を渡しているところだった。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 漁夫))
                    (P-ROLE が))
  (PP-OB2 (NP (D その)
              (N 女房))
          (P-ROLE に))
  (PP-OB1 (NP (N 金))
          (P-ROLE を))
  (VB 渡し)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる)
  (FN ところ)
  (AX だっ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 88_aozora_Kobayashi-1929))
```

IP を投射するすべての述語は必ず主語の文法役割を担う構成素を持つと想定される。したがって、一項述語は項として主語のみをとることになる。一般に主語は再帰代名詞「自分」の先行詞となり、述語の尊敬語化を認可する。意味的に見ると、典型的な主語というのは、他動詞および非能格動詞の動作主、非対格述語の対象、および状態述語の経験者、所有者、または属性保持者である。

6節で述べたように、一般原則として、すべての IP は主語を持ち、すべての主語／述語の対は IP を投射する。主語を持たないように見える文は、空要素としての主語 (NP-SBJ *exp*) を与えられる (8.1 節を参照)。すべての IP が主語 (句カテゴリーとして表現されるか、あるいはコントロールによって決定される主語) を持つという原則は、日本語の節の構造一般に関して何らかの主張をしようとするものではない。常に完全に満たされた項構造を要求することは、モデルを単純化し、アノテーションの正確さをチェックするために役立つ。(NP-SBJ *exp*) のラベル付けのためにはネイティブのアノテーターの判断が必要である。また、これによってコントロールを受ける要素と区別できるので、「主語のない文」の検索が容易になり、アクセスしやすくなる。以上のことから、コントロール環境とはなりえない IP (すなわち、IP-MAT, IP-SUB, IP-REL) には常に主語のアノテーションがなされる。コントロール環境になることのできる IP (すなわち、IP-ADV, IP-SMC, IP-EMB) において主語が上位の節の項によりコントロールされる場合は、そのアノテーションはなされない。具体例については、12 節、13 節を参照のこと。

本コーパスでは、主語以外の文法役割を指すのに伝統的な意味論的表現を避けることにする。二項述語の主語でない項は、形式的に OB1 (第一目的語) として扱われることに注意されたい。このため、例えば「に」によって示される非主語項は、伝統的には「直接目的語」とはみなされないが、NPCMJ では OB1 の拡張タグを与えられる。

(44) この宝石は猫の目に似ているところから「猫目石」と名付けられている。

```
( (IP-MAT (NP-LGS *pro*)
  (PP-SBJ (NP (D この)
    (N 宝石))
    (P-OPTR は))
  (PP (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
    (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 猫))
      (P-ROLE の))
      (N 目))
      (P-ROLE に))
    (VB 似)
    (P-CONN て)
    (VB2 いる))
    (N ところ))
    (P-ROLE から))
  (PP-CMPL (NP (PUL 「)
    (N 猫目石)
    (PUR 」))
    (P-COMP と))
  (VB 名付け)
  (PASS られ)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる)
  (PU 。))
(ID 565_textbook_djg_advanced))
```

三項述語が「を」によって表示された (あるいは表示されうる) 項を伴う場合、それ

は規則的に OB1 (第一目的語) とされる。代表的な三項動詞である授与動詞の「に」によって表示された受益者格名詞句は、OB2 (第二目的語) の文法的役割を与えられる。

(45) 叔父は花子に小遣いを与えた。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 叔父))
                    (P-OPTR は))
  (PP-OB2 (NP;{HANAKO_204} (NPR 花子))
          (P-ROLE に))
  (PP-OB1 (NP (N 小遣い))
          (P-ROLE を))
  (VB 与え)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 204_textbook_kisonihongo))
```

「二重主語文」における二番目の主語 (述語に近い方) は、しばしば「が」によって示される。第二主語のノード・ラベルには SBJ2 という拡張タグが用いられる。

(46) 太郎は背が高い。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{PERSON} (NPR 太郎))
                    (P-OPTR は))
  (PP-SBJ2 (NP (N 背))
           (P-ROLE が))
  (ADJI 高い)
  (PU 。))
(ID 1609_misc_JSeM_beta_150530))
```

注意が必要なのは、SBJ と表示されているからといって、それらが実際にすべてローカルな述語の主語とは限らないということである。SBJ が SBJ2 の姉妹であり、かつそれに先行するとき、SBJ2 の方が実際の主語だと解釈される。そのため、主語をすべて検索しようという場合には、二重主語文については SBJ2 の姉妹である SBJ を除外し、その代わりに SBJ2 を含めなければならない。

受動文では「に」等の助詞が論理的主語を表示する。これは意味的には、主動詞が表す行為の動作主 (agent) に対応する。論理的主語には LGS の拡張タグが用いられる。

(47) ジョンは先生にしかられた。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR ジョン))
                    (P-OPTR は))
  (PP-LGS (NP (N 先生))
          (P-ROLE に))
  (VB しから)
  (PASS れ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 22_misc_BUFFALO))
```

9.1.2 明示的な文法役割表示を伴わない項

主要文法役割を持つ名詞句であっても、述語との文法役割関係を表示する助詞をつねに伴うとは限らない。まず、「は」や「も」のようなとりたて助詞だけを伴う場合がある。このような場合にも、適切な拡張タグを付ける必要がある。以下の例では、とりたて助詞「は」の投射する PP に拡張タグ SBJ が付加されている。

(48) 花子はまだ学生に見える。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{HANAKO_374} (NPR 花子))
      (P-OPTR は))
  (ADVP (ADV まだ))
  (PP-OB1 (NP (N 学生))
    (P-ROLE に))
  (VB 見える)
  (PU 。))
(ID 374_textbook_kisonihongo))
```

格助詞が省略されている場合、どのような助詞が省略されているかについての情報提供は行われない。また、文法役割を示す拡張タグは、NP-SBJ, NP-OB1 のように、NP に直接付加される。

(49) 君、あの本読んだ。

```
( (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ;{HEARER_952} (PRO 君))
      (PU 、)
      (NP-OB1;{BOOK_952} (D あの)
        (N 本))
      (VB 読ん)
      (AXD だ))
  (PU 。))
(ID 952_textbook_kisonihongo))
```

9.1.3 NPとPP以外の項

NP と PP 以外の句カテゴリーをもち、述語の項となりうる句で重要なものには CP-THT と IP-SMC がある。これらの項は、拡張タグ (OB1, SBJ 等) によって付加句 (adjunct) とは区別される (付加句については、9.2 節を参照)。詳しくは、CP-THT については15.5節を、IP-SMC については15.5節、24.9節、24.11節を参照のこと。

さらに、動詞「する・なる」と共起する擬態語・擬声語的な、あるいは指示的な副詞句 (ADVP) については、補部としての働きを示す CMPL (complement) という拡張タグを与える。

(50) ナシャがイライラして言った。

```
( (IP-MAT (NP-OB1 *pro*)
      (PP-SBJ (NP (NPR ナシャ))
        (P-ROLE が))
      (IP-ADV-CONJ (ADVP-CMPL (ADV イライラ))
        (VB し)
        (P-CONN て))
      (VB 言っ)
      (AXD た)
      (PU 。))
(ID 449_fiction_DICK-1952))
```

(51) こうなった以上、もうどうしようもない。

```
( (IP-MAT (NP-ADV (IP-EMB (NP-SBJ;{SITUATION_1190} *pro*)
      (ADVP-CMPL (ADV こう))
      (VB なっ)
```

```

                (AXD た))
            (N 以上))
        (PU 、)
        (ADVP (ADV もう))
        (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ;{MAN_1190} *pro*)
                        (ADVP-CMPL (WADV どう))
                        (VB し))
                (N よう))
            (P-OPTR も))
        (ADJI ない)
        (PU 。))
    (ID 1190_textbook_kisonihongo))

```

9.1.4 項の省略

主要文法役割を担う名詞句が文中で明示されない場合でも、従属節の主語が上位の節の項によりコントロールされている場合や ATB 抽出が働く場合は、空要素の位置を表すノードを付与しない。関係節内部のトレースの場合は、空要素を終端ノード *T* により表示する。その他の空要素は虚辞 *exp*、あるいはゼロ代名詞 *arb*、*pro*、*hearer*、*speaker*、*hearer+speaker* 等で示される。空要素を示すために用いるこれらの終端ノードは、NP-SBJ, NP-OB1, NP-OB2, NP-SBJ2, NP-LGS のような文法役割を示す句ノードの直下に置かれる。詳細に関しては、8 節を参照。

(52) けれども、いつ来るか、わからない。

```

( (IP-MAT (NP-SBJ;{DAZAI} *speaker*)
  (CONJ けれども)
  (PU 、)
  (CP-QUE-OB1 (IP-SUB (NP-SBJ;{DAZAI_FRIENDS_DRINKING} *pro*)
                  (NP-TMP (WPRO いつ))
                  (VB 来る))
              (P-FINAL か))
  (PU 、)
  (VB わから)
  (NEG ない)
  (PU 。))
(ID 80_aozora_Dazai-1-1940))

```

従属節の主語は、それが明示されていなくても、上位の節の項によりコントロールされていることから理解が可能な場合が多い。このような場合、それを空要素としてアノテーションする必要はない。以下の例では、接続助詞「て/で」によって導かれた従属節の主語が明示されていない。しかし、主節の主語「わたし」からのコントロールによって、従属節の主語も「わたし」であるということが理解される。

(53) 急いでわたしは出かけました。

```

( (IP-MAT (IP-ADV-SCON (VB 急い)
                      (P-CONN で))
  (PP-SBJ (NP;{SPEAKER_25} (PRO わたし))
          (P-OPTR は))
  (VB 出かけ)
  (AX まし)
  (AXD た))

```

(PU 。))
(ID 25_misc_EXAMPLE))

9.2 任意文法役割

任意文法役割は付加句（様々な助詞句、副詞句、副詞節）によって担われる。付加句は任意的な構成素であり、述語の解釈に際して本質的なものではない。

9.2.1 格助詞を伴う付加句

名詞句に「に」「へ」「で」「から」「まで」「と」等の格助詞が後続して作られた助詞句 (PP) が付加詞として用いられた場合には、その意味的な性質に応じて、PP に、LOC (場所)、TMP (時間)、MSR (時間軸上の範囲または頻度)、ADV (その他の副詞的意味) のような拡張タグを加えることが望まれる。以下にその例を示す。

(54) あそこのベンチで食べましょう。

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *speaker+hearer*)
 (NP-OB1 *pro*)
 (PP-LOC (NP (PP (NP (PRO あそこ))
 (P-ROLE の))
 (N ベンチ))
 (P-ROLE で))
 (VB 食べ)
 (AX ましょ)
 (AX う))
 (PU 。))
 (ID 172_textbook_purple_basic))

(55) つぎの汽車は七時に出る。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N つぎ))
 (P-ROLE の))
 (N 汽車))
 (P-OPTR は))
 (PP-TMP (NP (NUMCLP (NUM 七)
 (CL 時)))
 (P-ROLE に))
 (VB 出る)
 (PU 。))
 (ID 59_aozora_Harada-1960))

(56) この手の話は何回も聞きました

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (D この)
 (N 手))
 (AX の))
 (N 話))
 (P-OPTR は))
 (PP-MSR (NP (NUMCLP (WNUM 何)
 (CL 回)))

(P-OPTR も))
 (VB 聞き)
 (AX まし)
 (AXD た))
 (ID 36_ted_talk_8))

(57) 太郎は500メートルも泳げた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{TARO_445} (NPR 太郎))
 (P-OPTR は))
 (PP-ADV (NP (NUMCLP (NUM 500)
 (CL メートル)))
 (P-OPTR も))
 (VB 泳げ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 445_textbook_kisonihongo))

ただし、現行のアノテーションでは、このような助詞句に対しては、項として用いられた助詞句と異なり、拡張タグによる文法役割情報の付加が常になされているわけではない。例えば、次の例における格助詞「で」や「に」の投射するPPのように、拡張タグのないPPは数多く存在する。

(58) ビルは列車でパリに行った。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR ビル))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (N 列車))
 (P-ROLE で))
 (PP (NP (NPR パリ))
 (P-ROLE に))
 (VB 行っ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 1181_misc_JSeM_beta_150530))

「に」のように、主要文法役割と任意文法役割双方の表示に使用される格助詞もあることに注意されたい。主要文法役割を表示する「に」については、9.1.1節を参照。

9.2.2 格助詞を伴わない付加詞

格助詞の後続しない名詞句やとりたて助詞のみが後続した助詞句が付加詞として用いられた場合は、その意味的な性質に応じて、LOC (場所)、TMP (時間)、MSR (時間軸上の範囲または頻度)、ADV (その他の副詞的意味) の拡張タグがNPあるいはPPに加えられる。

以下の例の「あちこち」と「この町は」は、場所を表している。

(59) 両親は子供をあちこち連れ回した。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (Q 両親))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (N 子供))
 (P-ROLE を))
 (NP-LOC (PRO あちこち))
 (VB 連れ回し)

(AXD た)
(PU .)
(ID 1801_dict_vv-lexicon))

(60) この町はいいレストランが少ないです。

((IP-MAT (PP-LOC (NP (D この)
(N 町))
(P-OPTR は))
(PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(ADJI いい))
(N レストラン))
(P-ROLE が))
(ADJI 少ない)
(AX です)
(PU .))
(ID 285_textbook_djg_basic))

以下の例の「先週の土曜日」と「きのうは」は、事態の生じた時間を表している。

(61) 先週の土曜日、街で昔の友人に会った。

((IP-MAT (NP-SBJ; {MAN_270} *pro*)
(NP-TMP (PP (NP (N 先週))
(P-ROLE の))
(N 土曜日))
(PU 、)
(PP (NP (N 街))
(P-ROLE で))
(PP (NP (PP (NP (N 昔))
(P-ROLE の))
(N 友人))
(P-ROLE に))
(VB 会っ)
(AXD た)
(PU .))
(ID 270_textbook_kisonihongo))

(62) きんうはかぜをひきました。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
(PP-TMP (NP (N きんう))
(P-OPTR は))
(PP-OB1 (NP (N かぜ))
(P-ROLE を))
(VB ひき)
(AX まし)
(AXD た)
(PU .))
(ID 268_textbook_djg_basic))

以下の例の「5年間」と「食事中は」は、事態や状態の続く時間軸上の長さ（範囲）を表している。3つ目の例における「一度」は、出来事の頻度（分布）を表している。

(63) また5年間使い続けるぞい！

((CP-FINAL (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
 (NP-OB1 *pro*)
 (ADVP (ADV また))
 (NP-MSR (NUMCLP (NUM 5)
 (CL 年間)))
 (VB 使い)
 (VB2 続ける))
 (P-FINAL ぞい)
 (PU !))
 (ID 100_misc_KNB))

(64) 食事中はテレビを見ません。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (PP-MSR (NP (N 食事中))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (N テレビ))
 (P-ROLE を))
 (VB 見)
 (AX ませ)
 (NEG ん)
 (PU 。))
 (ID 351_textbook_purple_basic))

(65) 私は、途中で一度、悪い夢を見た。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP (NP (N 途中))
 (P-ROLE で))
 (NP-MSR (NUMCLP (NUM 一)
 (CL 度)))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJI 悪い))
 (N 夢))
 (P-ROLE を))
 (VB 見)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 423_aozora_Dazai-2-1940))

否定文や状態述語文では、事態の生じた時間 (TMP) と事態の継続時間 (MSR) の区別は時として困難なことがある。区別のための手懸かりとして、MSR が意味する継続期間の終端が状態の変化や出来事の終了を含意するのに対し、TMP についてはこのことは当てはまらないことに留意しておくと同役立つだろう。

(66) 今日は、誰にも会わない。

((IP-MAT (NP-SBJ; {MAN_95} *pro*)
 (PP-TMP (NP (N 今日))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP (NP (WPRO 誰))

(P-ROLE に)
(P-OPTR も))
(VB 会わ)
(NEG ない)
(PU 。))
(ID 95_textbook_kisonihongo))

また、表現の組み合わせによって出来事の継続時間が示されている場合、その表現はMSRとして扱われる。

- 息を(NP-MSR 2分間) 止めてから、さらに(NP-MSR 30秒) 粘ってみせた。

以下の例の「予定通り」と「本当は」は、上記のいずれにも該当しない副詞的な意味を表している。

(67) 会議は、予定通り3時に始まった。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 会議))
(P-OPTR は))
(PU 、)
(NP-ADV (N 予定通り))
(PP-TMP (NP (NUMCLP (NUM 3)
(CL 時)))
(P-ROLE に))
(VB 始まっ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 788_textbook_kisonihongo))

(68) 本当は叔母のアイリーンですが

((FRAG (PP (IP-ADV (NP-SBJ *pro*)
(PP-ADV (NP (N 本当))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (N 叔母))
(AX の))
(NPR アイリーン))
(AX です))
(P-CONN が)))
(ID 161_ted_talk_10))

任意文法役割を表示する格助詞が省略された名詞句の場合は、助詞句 (PP) の投射が作られ、省略された助詞が終端ノード「*に*」等の形で補われる。

(69) それ、おれ行くんだけどさー

((CP-FINAL (FRAG (PP (IP-ADV (PP (NP (PRO それ))
(P-ROLE *に*))
(PU 、)
(NP-SBJ (PRO おれ))
(VB 行く)
(FN ん)
(AX だ))

(P-CONN けど))
(P-FINAL さー))
(ID 93_spoken_JM1))

終端ノードを補完する場合の詳細については、14.13 節を参照されたい。

9.2.3 関係節における付加句のトレース

インデックスの付かない空要素が任意文法役割と結びつけられるのは、ATB 環境の空所以外は、関係節中のトレースしかない。任意文法役割を持つゼロ代名詞やコントロール等というものは存在しない。付加詞が時間や場所を表す場合には、その情報はラベルの拡張として付け加えることができる。例えば、(70) には (NP-LOC *T*) のトレースが現れる。

(70) ここが高津さんが講演したところだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP; {CURRENT_PLACE_1198} (PRO ここ))
(P-ROLE が))
(NP-PRD (IP-REL (NP-LOC *T*)
(PP-SBJ (NP; {TAKATSU_1198} (NPR 高津さん))
(P-ROLE が))
(VB 講演)
(VB0 し)
(AXD た))
(N ところ))
(AX だ)
(PU 。))
(ID 1198_textbook_kisonihongo))

修飾される主名詞の文法役割が時間や場所以外であって、さらにそれ表示するために格助詞を使用するのが通常である場合、その格助詞を * で囲み、NP のトレースと共に PP の下に示してもよい。次の例のトレースは (PP (NP *T*) (P *に*)) のように、*に* を主要部とする PP の下に置かれている。

(71) 早朝、彼は住み慣れた町を出で立った。

((IP-MAT (NP-TMP (N 早朝))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (PRO 彼))
(P-OPTR は))
(PP-OB1 (NP (IP-REL (PP (NP *T*)
(P-ROLE *に*))
(NP-SBJ *pro*)
(VB 住み)
(VB2 慣れ)
(AXD た))
(N 町))
(P-ROLE を))
(VB 出で立つ)
(AXD た)
(PU .))
(ID 163_dict_vv-lexicon))

10 IPタグを持つ節

IP節とは、述語が投射する節であり、述語と項との関係を表現する。述語が何であるのかに関しては、6節と15節で定めてある。この節では、様々なIP節の下位分類について説明する。

IPは、その統語的環境と機能によって、拡張タグが必ず付与される。以下その一覧である。

統語タグ	解説
IP-MAT	主節
IP-SUB	(CPに埋め込まれる) 準主節
IP-REL	関係節
IP-EMB(2)	空所なし名詞修飾節
IP-ADV-CONJ	等位接続節
IP-ADV(2)-SCON(-CND)	従属節・条件節
IP-NMZ(2)	名詞化節
IP-SMC(2)	小節

Table 3: IPの下位分類

10.1 主節 (IP-MAT) と準主節 (IP-SUB)

主節 (IP-MAT) は、トップレベルに位置するような節である。基本的に、IP-MATは他のIP節やCP節の中に埋め込まれることはない。

IP-MATが等位接続することは、原則的にはない。なぜなら、2つのIP-MATの連なりは2つの発話の単位であり、別々の木としてコーパスの中で保存されるはずだからである。ある文の中に補部節があり、そこで複数の発話が同時に引用されるような場合は、IP-MATが並置され、multi-sentenceを通じてCP-THTに埋め込まれる。multi-sentenceには、IP-MATのほか、独立した発話を形成しているCP, FRAGおよびINTJPが置かれることもある (詳しくは24.5節を参照)。

(72) さつき町内会長の亀卦川正一さん (79) は「3月なら釧路の最低気温はマイナス20度前後、昼でもプラスになるかどうか。屋外では凍死してしまう」などと話した。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                        (NP-PRD (NPR さつき町内会長))
                        (AX の))
                        (NPR 亀卦川正一さん)
                        (PRN (PUL (
                            (NP (NUMCLP (NUM 79)))
                            (PUR ))))
                        (P-OPTR は))
    (CP-THT-OB1 (multi-sentence (PUL 「
                        (IP-MAT (PP (NP (NUMCLP (NUM 3)
                        (CL 月)))
                        (P-OPTR なら))
                        (PP-SBJ (NP (PP (NP (NPR 釧
路))
                                (P-ROLE の))
                                (N 最低気温))
```

(P-OPTR は))
 (NP-PRD (N マイナス)
 (NUMCLP (NUM 20)
 (CL 度))
 (N 前後))
 (AX *))
 (PU 、)
 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ; {DAYTIME_TEMPERATURE}
 pro))
 (PP (NP (N 昼))
 (P-OPTR でも))
 (IP-SMC-OB1 (NP-PRD
 (N プラス)) (AX に))
 (VB なる))
 (P-FINAL かどうか)
 (PU 。))
 (IP-MAT (NP-SBJ *pro*))
 (PP (NP (N 屋外))
 (P-ROLE で)
 (P-OPTR は))
 (VB 凍死)
 (VB0 し)
 (P-CONN て)
 (VB2 しまう))
 (PUR 」))
 (P-OPTR など)
 (P-COMP と))
 (VB 話し)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 10_news_KAHOKU_95))

(73) 谷藤裕明市長は2月27日の定例記者会見で「予定していた事業がなかなか進まない。何とか工夫を凝らし打開しなければならない」と懸念した。

((IP-MAT (NP-OB1 *pro*))
 (PP-SBJ (NP (NPR 谷藤裕明市長))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (PP (NP (NUMCLP (NUM 2)
 (CL 月))
 (NUMCLP (NUM 27)
 (CL 日)))
 (P-ROLE の))
 (N 定例記者会見))
 (P-ROLE で))
 (CP-THT-ADV (multi-sentence (PUL 「)
 T)) (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-OB1
 (NP-SBJ
 speaker+pro))

定) (VB 予)

(VB0 し)

て) (P-CONN)

(VB2 い)

(AXD た))

(N 事業))

(P-ROLE が))

(ADVP (ADV なかなか))

(VB 進ま)

(NEG ない)

(PU 。))

(IP-MAT (NP-SBJ *speaker+pro*))

(ADVP (ADV 何とか))

(IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (N

工夫)) (P-ROLE

を)) (P-ROLE

(VB 凝らし))

(NP-OB1 *pro*))

(VB 打開)

(VB0 し)

(NEG なけれ)

(P-CONN ば)

(VB2 なら)

(NEG ない))

(PUR 」))

(P-COMP と))

(VB 懸念)

(VB0 し)

(AXD た)

(PU 。))

(ID 66_news_KAHOKU_51))

(74) 気迫が通じたものか、「よろしい。わかりました」と相手側の代表者が意外な柔軟さをみせていった。

((IP-MAT (CP-QUE-ADV (IP-SUB (NP-PRD (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 気迫))

(P-ROLE が))

(VB 通じ)

(AXD た))

(N もの))

(AX *))

(P-FINAL か))

(PU 、)

(CP-THT-OB1 (multi-sentence (PUL 「)

(IP-MAT (NP-SBJ;{REDO} *pro*))

(ADJI よろしい)

(PU 。))

(IP-MAT (NP-SBJ *speaker*))

(NP-OB1;{REDO} *pro*)
 (VB わかり)
 (AX まし)
 (AXD た))
 (PUR じ))
 (P-COMP と))
 (PP-SBJ (NP;{PARTNER_COMPANY_DELEGATE} (PP (NP;{PARTNER_COMPANY}
 (N 相手側))
 (P-ROLE の))
 (N 代表者))
 (P-ROLE が))
 (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 意外)
 (AX な))
 (N 柔軟さ))
 (P-ROLE を))
 (VB みせ)
 (P-CONN て))
 (VB いっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 24_misc_1709kytext2))

準主節 (IP-SUB) は、CPレベルの下でのトップレベルのIPである。これもまた、様々なCPの中に埋め込まれる (11 節を参照) もの、IP-MATと同様、他のIP節の中に埋め込まれることはなく、IPに関して常にトップレベルに位置する。

主節と準主節は、どちらも、コントロール (12 節) や ATB抽出 (13 節) に関与しない。

10.1.1 関係節 (IP-REL) と空所なし連体節 (IP-EMB)

空所あり名詞修飾節はIP-RELとアノテートされ、修飾する名詞の姉妹位置に置かれる。IP-RELの内部には、トレース *T* が少なくとも1つ以上なければならぬ。

同じ名詞を修飾する複数のIP-RELは、名詞句の下で単に並置される。

(75) イギリス人の偉大なテノール歌手がいる。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (N イギリス人))
 (AX の))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 偉大)
 (AX な))
 (N テノール歌手))
 (P-ROLE が))
 (VB いる)
 (PU 。))
 (ID 162_misc_JSeM_beta_150530))

(76) とはいっても、壁はぎざぎざやとがったところがたくさんある念入りに彫刻された家具でさえぎられていた。

((IP-MAT (CONJ とはいっても)
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (N 壁))
 (P-OPTR は))
 (PP-LGS (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP-OB1 (NP (CONJP (NP (N ぎざぎざ))
 (P-CONN や))
 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (VB とがっ)
 (AX た))
 (N ところ)))
 (P-ROLE が))
 (NP;*OB1* (Q たくさん))
 (VB ある))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-LGS *pro*)
 (ADVP (ADJN 念入り)
 (AX に))
 (VB 彫刻)
 (VB0 さ)
 (PASS れ)
 (AX た))
 (N 家具))
 (P-ROLE で))
 (VB さえぎら)
 (PASS れ)
 (P-CONN て)
 (VB2 い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 819_aozora_Harada-1960))

IP-RELは、コントロール (12 節) や ATB抽出 (13 節) に関与しない。

被修飾主名詞に相当する空要素をもたない名詞修飾節は、IP-EMBとタグ付けされる。IP-EMBは典型的には絵画名詞 (走る姿), 内容名詞 (新病棟のベッドを減らす計画), 事態名詞 (長男を失った経験, 持ち直す可能性), 相対名詞 (食べたあと, 回復するはず), 機能名詞 (チーターの走る速度) 等に帰せられる命題内容を表す。

同じ名詞を修飾する複数のIP-EMBは、IP-RELと同様、名詞句NPの下で単に並置される。

(77) いかにも立派な邸ではあるが、なんとなく様式離れのした、趣味の無い、そして陰気な構造のように感ぜられる。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP-CONJ (IP-ADV (ADVP (WADV いかにも)
 (P-OPTR も))
 (NP-PRD;{MANSION} (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 立派)
 (AX な))
 (N 邸))
 (AX で)
 (P-OPTR は)
 (VB2 ある))

(P-CONN が))
 (PU 、)
 (NP-DOB1;{MANSION} *pro*)
 (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (PP (NP (IP-EMB (ADVP (ADV なんとなく))
 (PP-SBJ (NP (N 様式離れ))
 (P-ROLE の))
 (VB し)
 (AX た))
 (PU 、)
 (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 趣味))
 (P-ROLE の))
 (ADJI 無い))
 (PU 、)
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (CONJ そして)
 (ADJN 陰気)
 (AX な))
 (N 構造))
 (P-ROLE の))
 (N よう))
 (AX に))
 (VB 感ぜ)
 (VB2 られる)
 (PU 。))
 (ID 25_aozora_Mori-1912))

IP-EMBは、IP-RELとは異なり、後述するコントロール環境をなす(12節)。

IP-RELおよびIP-EMBの、名詞修飾節としての詳細は16.5.1節および16.5.2節を参照。

10.2 名詞化節 (IP-NMZ)

IPの中には、修飾すべき名詞や名詞化接辞がないにもかかわらず、名詞的な環境に現れるような、特殊なものがある。このようなIPにはIP-NMZ(名詞化節)のタグが与えられる。

(78) 弟子たちは食物を買いに町に行っていたのである。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 弟子たち))
 (P-OPTR は))
 (PP-PRP (IP-NMZ (PP-OB1 (NP (N 食物))
 (P-ROLE を))
 (VB 買い))
 (P-ROLE に))
 (PP (NP (N 町))
 (P-ROLE に))
 (VB 行っ)
 (P-CONN て)
 (VB2 い)
 (AXD た)
 (FN の)
 (AX で)

(VB2 ある)
 (PU 。))
 (ID 217_bible_nt))

(79) しかし幹細胞治療を臨床応用するには長い道のりがあります

((IP-MAT (CONJ しかし)
 (PP (IP-NMZ (NP-SBJ *speaker+pro*)
 (PP-OB1 (NP (N 幹細胞治療))
 (P-ROLE を))
 (VB 臨床応用)
 (VB0 する))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR は))
 (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJI 長い))
 (N 道のり))
 (P-ROLE が))
 (VB あり)
 (AX ます))
 (ID24_ted_talk_9))

上に挙げたような例は、節が事態全体、あるいは動作を示す事態名詞化 (event nominalization) の例と考えることができる。この意味的な特徴を踏まえると、IP-NMZ は、以下のような、単なる修飾先なしの関係節 (targetless relative clauses) とは区別されなければならない。

(80) 残るは勾坂甚内だけ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (VB 残る)))
 (P-OPTR は))
 (PP-PRD (NP;{KOSAKA_JINNAI} (NPR 勾坂甚内))
 (P-OPTR だけ))
 (AX *)
 (PU 。))
 (ID 280_aozora_Kunieda-1925))

IP-NMZの等位接続は、その名詞的な性質に従い、NPに準じることとする。NPの等位接続は、18節にあるように、CONJPを通して行われる。

(81) 性格が明るいか、あるいは暗いかによって、人生は非常に変わってくる。

((IP-MAT (NP-SBJ *arb*)
 (PP (CP-QUE (CONJP (CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ2 (NP (N 性格))
 (P-ROLE が))
 (ADJI 明るい))
 (P-CONN か)
 (PU 、)
 (CONJ あるいは)))
 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ2 *pro*)
 (ADJI 暗い)))
 (P-CONN か))
 (P-ROLE によつて))

(PU 、)
 (PP-SBJ2 (NP (N 人生))
 (P-OPTR は))
 (ADVP (ADJN 非常)
 (AX に))
 (VB 変わっ)
 (P-CONN て)
 (VB2 くる)
 (PU 。))

(ID 14_textbook_djg_advanced))

IP-NMZはコントロール環境をなす (12 節)。

10.3 小節 (IP-SMC)

本コーパスにおける小節 (IP-SMC) は、一般的な言語学の用法よりも広い意味で使われ、何かしらの述語が選択する (この点で、後述するIP-ADVとは異なる)、格が付与されない (この点で、IP-NMZとは異なる) 補文であり、時制または項について何かしらの欠陥がある (この点で、IP-SUBとは異なる) ようなものである。IP-SMCは、特定の述語によって要求される。特定の述語が何であるかについては、9.1.3 節、15.5 節、15.7 節、24.18 節、24.19 節、25.1.2 節、25.1.3 節、25.3 節を参照。

IP-SMCは、「と」、「という」などの補文標識を伴うことがある。この場合、IP-SMCはCP-THTの下に直接置かれる。

(82) 温度を一定だとする

((IP-MAT (NP-SBJ; {SPEAKER_30} *speaker*)
 (PP-DOB1 (NP (N 温度))
 (P-ROLE を))
 (CP-THT-OB1 (IP-SMC (ADJN 一定)
 (AX だ))
 (P-COMP と))
 (VB する))

(ID 30_misc_EXAMPLE))

IPに直接支配されるIP-SMCに対しては、文法的な役割を拡張タグとして明示する (15.5 節、24.9 節、24.11 節、および9.1.3 節)。

IP-SMCの等位接続は、もしあるとすれば、述語の右方節点繰り上げ (24.3 節) の例として扱われる。IP-SMCはコントロール環境をなす (12 節)。

10.4 副詞節 (IP-ADV)

10.4.1 節の連結

以上で挙げられたものに分類されないような節 (以後、節1と呼ぶ) として、述語の連用形、接続助詞、あるいは接続副詞で終わり、もう1つの節 (節2) に後続されるようなものが存在する。

さらに、この種の節の配置を、「節の連結」と呼ぶことにする。本コーパスでは、2つの節の間の意味関係に拘わらず、節1が節2によって支配されるようにアノテーションを行う。

「節の連結」における節1は、従属節と等位節に二分される。いずれの場合も、節1はIP-ADVとしてアノテートされる。IP-ADVは、どちらの場合であっても、後続する節2の直下に置かれるか、接続助詞 (P-CONN) による投射PPを介して節2の下に置かれる。IP-ADV (接続助詞による投射PPがあれば、それ) は、必ず追加の拡張タグが付

与される。-SCON は従属節であり，-SCON-CND は，従属節の中でも，条件節を表す。
-CONJ は等位節のことである。

IP-ADV-SCON(-CND) (またはPP-SCON(-CND)) は，コントロール環境をなす (12 節)。一方で，IP-ADV-CONJ (またはPP-CONJ) は，ATB抽出 (13 節) を許す。

複数のIP-ADV-SCON(-CND) (またはPP-SCON(-CND)) 同士が並置されるかどうかは，これらの節がそれぞれ自らを支配する節と「節の連結」の関係にあるかどうかで判断される。

以下は並置ではない例：

(83) 鶏が鳴いても女が来なければ、自分は逢わずに殺されてしまう。

```
( (IP-MAT (IP-ADV-SCON-CND (PP-SCON-CND (IP-ADV (PP-SBJ (NP (N 鶏))
(P-ROLE が))
(VB 鳴い)
(P-CONN て))
(P-OPTR も))
(PP-SBJ (NP (N 女))
(P-ROLE が))
(VB 来)
(NEG なけれ)
(P-CONN ば))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (PRO 自分))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-SCON (NP-OB1 *pro*)
(VB 逢わ)
(NEG ずに))
(NP-LGS *pro*)
(VB 殺さ)
(PASS れ)
(P-CONN て)
(VB2 しまう)
(PU 。))
(ID 316_aozora_Natsume-1908))
```

以下は2つの IP-ADV2-SCON が並置である例：

(84) 盗んだ金だけに糸目をつけず惜し気なくパツパツと使うのでどこへ行ってもモテルのであった。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ;{KOSAKA_JINNAI} *pro*)
(PP-SCON (IP-ADV (PP-SCON (IP-ADV (NP-SBJ;{GOLD} *pro*)
(NP-PRD (IP-REL (NP-OB1 *T*)
(NP-SBJ;{KOSAKA_JINNAI}
*pro*)
(VB 盗ん)
(AXD だ))
(N 金))
(AX *))
(P-CONN だけに))
(IP-ADV2-SCON (PP-OB1 (NP (N 糸目))
(P-ROLE を))
(VB つけ)
```

(NEG ず))
 (IP-ADV2-SCON (NP-SBJ (N 惜し気))
 (ADJI なく))
 (ADVP (ADV パツパツ)
 (AX と))
 (VB 使う))
 (P-CONN ので))
 (PP-SCON-CND (IP-ADV (PP (NP (WPRO どこ))
 (P-ROLE へ))
 (VB 行っ)
 (P-CONN て))
 (P-OPTR も))
 (VB モテル)
 (FN の)
 (AX で)
 (VB2 あっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 198_aozora_Kunieda-1925))

一方で、IP-ADV-CONJ（またはPP-CONJ）は、その名の通り、（節2との）等位接続の関係を表現する「節の連結」である。これらが置かれる位置については、その解説を次節に譲る。

10.4.2 平板な構造を保つための等位節へのアノテーション

等位接続とは、普通、「カテゴリー X_n に支配された $X_{1,2,...n-1}$ が姉妹の関係にあること (X は IP のこともあれば、VP のような中間的な節のこともある)」を指すものとされる。これは、意味計算を行うため、そして、構造を捉えるための一般的なやり方ではあるが、しかし、このツリーバンクにおいて、 X_n の層を加えると、(i) X_n に支配される等位節 $X_{1,2,...n-1}$ の文法的機能、および (ii) X_n が自らを支配するカテゴリー（つまり、上位の節）に対してもつ機能が不明瞭になってしまう。本ツリーバンクは、すべての構成素の文法的機能を明示的に示そうとしており、そのおかげで、文法現象が常に最小限の構造によって定義され、そして予測不能でアドホックなツリー構造に頼らずに、その現象を検索することが可能になるものである。この方針のために、節の並列を、CONJ を伴った節の付加として捉えるための特別の戦略をとることにする。

方針として、節1と節2の並列は、節1が節2によって支配されるものとしてアノテーションし、節1に -CONJ 拡張タグを加える。節1の具体的な形としては、節2の直下にあるような IP-ADV-CONJ か、接続助詞の投射する PP-CONJ の下に置かれる IP-ADV（全体として、(PP-CONJ (IP-ADV ...) (P ...))）かのいずれかである。（接続助詞については 14.5.3 節を参照のこと。）等位接続の関係にある節が3つ以上ある場合には、すべての節が積み上げられているものとする。つまり、節1が節2の下に、節2が節1と共に節3の下に置かれる。詳しくは 13.2節を参照。

10.4.3 従属節と等位節の区別

従属節 IP-ADV-SCON(-CND) と等位節 IP-ADV-CONJ は当然、何かしらの基準に基づくものでなければ、その区別には意味がない。

述語の不定形の活用で終わる節（すなわち、述語連用形の節およびテ節）に関しては、現時点では、基準を、日本語記述文法研究会 2008 の 282-287ページに掲げられたものを利用して定めている。すなわち、「並列」「対比」「継起」用法は等位節 IP-ADV-CONJ、順接条件は IP-ADV-SCON-CND、その他の用法は IP-ADV-SCON とする。

それ以外の節，すなわち，接続助詞もしくは接続副詞で終わる節は，それらの助詞または副詞に従って決まる。以下，主なものを挙げる。

- IP-ADV-SCON : つつ，とも-なく
- PP-SCON : から (理由)，とともに，と同時に，やいなや，ので，けど，けれど，けれども，のに，ものの，にもかかわらず，からといって，だけに，(せず)に，(する)に(は) (目的)，ほど，より(は)，につれて，というより，どころか，からには，(て)から，まで
- IP-ADV-SCON-CND : たら (仮定)，れば，(た)って，て-は，ちゃ
- PP-SCON-CND : なら，ならば，ものなら，と (条件)，(て)も (譲歩)，であれ，にしても，(て)は (意外)，(て)こそ
- IP-ADV2-SCON : がてら，ながら
- IP-ADV-CONJ : たり，でも (最小)，のみ-なら-ず
- PP-CONJ : が (順接・逆接)，やら，とか，し (並列)，にして，なり，か (選言)

10.4.4 IP-ADVの他の用法

定形節全体に対して，程度や限定を表す「だけ」「ばかり」「くらい」がつくことがある。この場合，IP-ADV が用いられる。

(85) やれるだけやってみよう。

```
( (CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *speaker+hearer*)
  (PP (IP-ADV (VB やれる))
    (P-OPTR だけ))
  (VB やっ)
  (P-CONN て)
  (VB2 み)
  (AX よう))
  (PU 。))
(ID 56_textbook_particles))
```

(86) だが、それを見届けるだけの生命が私にあるかどうかの自信はなかった。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ; {AUTHOR} *speaker*)
  (CONJ だが)
  (PU 、)
  (PP-OB1 (NP (PP (CP-QUE (IP-SUB (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
    (PP-PRD (IP-ADV
(NP-SBJ; {AUTHOR} *pro*)
    (PP-OB1
(NP; {MASAKO+MIGIFUMI'S_FUTURE} (PRO それ))
    (VB
を))
    (VB
見届ける))
    (P-OPTR
だけ))
```

(AX の))
 (N 生命))
 (P-ROLE が))
 (PP-SBJ (NP;{AUTHOR} (PRO 私))
 (P-ROLE に))
 (VB ある))
 (P-FINAL かどうか))
 (P-ROLE の))
 (N 自信))
 (P-OPTR は))
 (ADJI なかつ))
 (AXD た))
 (PU 。))
 (ID 97_aozora_Tsuboi-1968))

(87) どの演奏も若さと情熱があふれんばかりに満ちていた。

((IP-MAT (PP-LOC (NP (WD どの)
 (N 演奏))
 (P-OPTR も))
 (PP-SBJ (NP (CONJP (NP (N 若さ))
 (P-CONN と))
 (NP (N 情熱))
 (P-ROLE が))
 (PP (IP-ADV (VB あふれん))
 (P-OPTR ばかり)
 (P-ROLE に))
 (VB 満ち)
 (P-CONN て)
 (VB2 い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 325_textbook_djg_advanced))

(88) ともかく、両足をふだんとはちがうくらい高く上げた。

((IP-MAT (NP-SBJ;{FATHER} *pro*)
 (ADVP (ADV ともかく))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (Q 両足))
 (P-ROLE を))
 (ADVP (PP (IP-ADV (NP-SBJ *pro*)
 (PP (NP (N ふだん))
 (P-ROLE と)
 (P-OPTR は))
 (VB ちがう))
 (P-OPTR くらい))
 (ADJI 高く))
 (VB 上げ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 804_aozora_Harada-1960))

テ形節に直接「の」が付き、連体修飾を行うような構文もある。

(89) 生まれついでての芸術家

```
( (FRAG (NP (PP (IP-ADV (VB 生まれついでて))
                    (P-CONN て))
          (P-ROLE の))
  (N 芸術家)))
(ID 346_dict_vv-lexicon))
```

(90) 見てのとおり、道から部屋の中を覗きこめるんだ。

```
( (IP-MAT;{LOOK_FROM_OUTSIDE} (NP-SBJ *arb*)
  (NP-ADV (PP (IP-ADV (NP-SBJ *arb*)
                    (VB 見)
                    (P-CONN て))
          (P-ROLE の))
  (N とおり))
  (PU 、)
  (PP (NP (N 道))
    (P-ROLE から))
  (PP-OB1 (NP (PP (NP;{OLDACRE_HOUSE_BEDROOM}
                (P-ROLE の))
              (N 中))
            (P-ROLE を))
    (VB 覗きこめる)
    (FN ん)
    (AX だ)
    (PU 。))
  (ID 374_aozora_Doyle-1905))
```

11 CP タグを持つ節

CP節とは、終助詞（引用の助詞を含む）が、文の残りの要素を自身の補部（IP, CP, FRAG）としながら投射するものである。CP節の中に含まれるものとして以下がある：

- 終助詞（P-FINAL）
- 補部となる節（次のいずれか）
 - 準主節（IP-SUB）
 - 小節（IP-EMB）
 - 断片（FRAG）
 - 別のCP節

CPの下位分類として、疑問節（CP-QUE）、感嘆節（CP-EXL）、命令節（CP-IMP）、終助詞節（CP-FINAL）、補部節（CP-THT）の5つがある。この節では、CP-THTを除いた4つを解説する。CP-THTについては24.17節を参照のこと。

11.1 疑問節 (CP-QUE)

疑問の内容を表す節 (IP-SUB や FRAG 等) は CP-QUE の直下に、疑問の終助詞 (P-FINAL) があるならばそれとともに、置かれる。一般的に、終助詞 (P-FINAL) は、疑問節に伴うこともあれば、伴わないこともある。

疑問には直接疑問と間接疑問の2種類があるが、ラベル (CP-QUE) によってそれらを区別することはしない。以下直接疑問と間接疑問のそれぞれの場合について解説する。

直接疑問文については、文全体が CP-QUE とラベル付けされ、その下に疑問の内容を表す節 (IP-SUB や FRAG 等) が置かれる。

(91) 目ざましが鳴らなかったのだろうか。

```
( (CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ (NP; {ALARM_CLOCK} (N 目ざまし))
                    (P-ROLE が))
  (VB 鳴ら)
  (NEG なかつ)
  (AXD た)
  (FN の)
  (MD だろう))
  (P-FINAL か)
  (PU 。))
(ID 53_aozora_Harada-1960))
```

(92) あなた、明日の会議お出になる。

```
( (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ; {HEARER_691} (PRO あなた))
  (PU 、)
  (PP (NP (PP (NP (N 明日))
              (P-ROLE の))
      (N 会議))
  (P-ROLE *に*))
  (VB お出)
  (AX に)
  (VB2 なる))
  (PU 。))
(ID 691_textbook_kisonihongo))
```

(93) 「それから？」

```
( (CP-QUE (PUL 「)
  (FRAG (CONJ それから))
  (PU ?))
(ID 696_aozora_Miyazawa-1934))
```

(94) 頭痛がひどいって？

```
( (CP-QUE (FRAG (CP-THT (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
  (PP-SBJ2 (NP (N 頭痛))
            (P-ROLE が))
  (ADJI ひどい))
  (P-COMP って)))
  (PU ?))
(ID 883_textbook_particles))
```

間接疑問については、一つの場合として、まず、疑問節 (CP-QUE) に補文助詞 (P-COMP) が続き、全体として補部節 (CP-THT) を作るものが挙げられる。

(95) 最後に自分に神を信仰するかと尋ねた。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
  (PP (NP (N 最後))
    (P-ROLE に))
  (PP (NP (PRO 自分))
    (P-ROLE に))
  (CP-THT-OB1 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
    (PP-OB1 (NP (N 神))
      (P-ROLE を))
    (VB 信仰)
    (VB0 する))
    (P-FINAL か))
  (P-COMP と))
  (VB 尋ね)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 434_aozora_Natsume-1908))
```

また、補文助詞を伴わない間接疑問もある。このような場合には、疑問節 (CP-QUE) を、適切な拡張タグをつけた上で、上位の節 (IP) の直下に置く。なお、間接疑問における CP-QUE への拡張タグについては、24.16 節を参照されたい。

(96) 新聞紙面の中で、スポーツ面がどれだけ、復興の力になるのか、正直分からない。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ;{SAT0} *speaker*)
  (CP-QUE-OB1 (IP-SUB (PP (NP (PP (NP (N 新聞紙面))
    (P-ROLE の))
    (N 中))
    (P-ROLE で))
  (PU 、)
  (PP-SBJ (NP (N スポーツ面))
    (P-ROLE が))
  (PP-ADV (NP (WPRO どれ))
    (P-OPTR だけ))
  (PU 、)
  (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (PP (NP (N 復興))
    (P-ROLE の))
    (N 力))
    (AX に))
  (VB なる)
  (FN の))
  (P-FINAL か))
  (PU 、)
  (ADVP (ADV 正直))
  (VB 分から)
  (NEG ない)
  (PU 。))
(ID 61_news_KAHOKU_206))
```

さらに、本コーパスでは、並列された疑問節に「か」のような同じ助詞が後続する場合には、「か」をP-FINALとする分析と、「か」をP-CONNとする分析の2種類を設ける。この2種類の分析については、18.4 節を参照されたい。

11.2 感嘆節 (CP-EXL)

感嘆節は CP-EXL とラベル付けされる。このコーパスでは、現在のところ、以下のような構文を CP-EXL として扱っている。

- 「なんて/なんと/なんていう/なんという」を含み、「な-の」「こと」「だろう」、コピュラや「か」で終わる文

(97) なんて奇妙な状況なのだろう！

```
( (CP-EXL (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
                (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                                (ADVP (WADV なんて))
                                (ADJN 奇妙)
                                (AX な))
                            (N 状況))
                (AX な)
                (FN の)
                (MD だろう))
    (PU !))
  (ID 143_fiction_DICK-1952))
```

(98) 「ああ、なんと彼を愛しておられたことか」。

```
( (CP-EXL (PUL 「)
          (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
                  (INTJ ああ)
                  (PU 、)
                  (ADVP (WADV なんと))
                  (PP-OB1 (NP;{LAZARUS} (PRO 彼))
                          (P-ROLE を))
                  (VB 愛し)
                  (P-CONN て)
                  (VB2 おら)
                  (VB2 れ)
                  (AXD た))
          (P-FINAL こと)
          (P-FINAL か)
          (PUR 」)
          (PU 。))
  (ID 988_bible_nt))
```

ただし、感嘆符がついていても、その発話が名詞句のみから構成されている文は、CP-EXL とラベル付けはしない。

(99) 「うわあ、おいしそうなケーキ！」

```
( (IP-MAT (PUL 「)
        (NP-SBJ *pro*)
        (INTJ うわあ)
        (PU 、)
        (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                        (ADJI おいし)
                        (AX そう))
```

(AX な))
 (N ケーキ))
 (AX *)
 (PU !)
 (PUR 」))
 (ID 1089_textbook_particles))

- とりたて助詞 (P-OPTR)「なんて」あるいは「とは」を文末に持つ文。このとき、「なんて」あるいは「とは」は補部節 (CP-THT) の下に置かれ、その補部節は全体として断片 (FRAG) として扱われる。

(100) こんなにうれしいことがあるなんて！

((CP-EXL (FRAG (CP-THT (IP-SUB (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADVP (ADJN こんな)
 (AX に))
 (ADJI うれしい))
 (N こと))
 (P-ROLE が))
 (VB ある))
 (P-OPTR なんて)))
 (PU !))
 (ID 3_misc_EXAMPLE2))

11.3 命令節 (CP-IMP)

命令文は CP-IMP とラベル付けされる。命令形やテ形の動詞を主たる述語として伴う CP-IMP は IP-SUB を直接支配する一方で、他の CP-IMP は FRAG を支配することもある。現在のところ、述語が次のような形をとるものを命令文として扱っている。

- 文末に動詞の命令形が用いられた文

(101) 「こっちに来いよ。」

((CP-IMP (PUL 「
 (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (PP (NP (PRO こっち))
 (P-ROLE に))
 (VB 来い))
 (P-FINAL よ)
 (PU 。)
 (PUR 」))
 (ID 314_fiction_DICK-1952))

- 動作名詞に軽動詞 (VB0)「願います」および「ください (下さい)」が続く文

(102) これにお名前をご記入の上ご提出ください

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (NP-ADV (PP (IP-ADV (PP (NP (PRO これ))
 (P-ROLE に))
 (PP-OB1 (NP (N お名前))
 (P-ROLE を))

(VB ご記入))
 (P-ROLE の))
 (N 上))
 (VB ご提出)
 (VB2 ください))
 (ID 19_misc_EXAMPLE2))

- 文末で動作名詞が軽動詞なしで用いられた文

(103) 投票箱閉鎖。

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (NP-OB1 (N 投票箱))
 (VB 閉鎖))
 (PU 。))
 (ID 14_diet_kaigiroku-10))

- 文末で、動詞のテ形に補助動詞 (VB2) 命令形「ください (下さい)」、「くれ (くれ、くれえ、おくれ、お呉れ)」、「ごらん」、「ちょうだい (頂戴)」が続く文

(104) 取り替えてください。

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (VB 取り替え)
 (P-CONN て)
 (VB2 ください))
 (PU 。))
 (ID 251_textbook_purple_intermediate))

- 文末が動詞のテ形であり、命令の意で発されている文

(105) 「見て！

((CP-IMP (PUL 「)
 (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (NP-OB1 *pro*)
 (VB 見)
 (P-CONN て))
 (PU !))
 (ID 54_fiction_DICK-1952))

- 文末が動詞の終止形+否定辞「な」である文

(106) こら、笑うな。

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (INTJ こら)
 (PU 、)
 (VB 笑う)
 (NEG な))
 (PU 。))
 (ID 282_textbook_purple_intermediate))

- 「～ように」で終わり，その後で動詞の命令形（例えば，「しろ」「しなさい」「なれ」「あれ」）が省略されていると考えられる文。

(107) /福がいっぱいありますように！

```
( (CP-IMP (PU /)
  (IP-SUB (PP-SBJ (NP (N 福))
              (P-ROLE が))
            (NP;*SBJ* (Q いっぱい))
            (VB あり)
            (AX ます))
    (P-FINAL ように)
    (PU !))
  (ID 37_news_KAHOKU_105))
```

- 文末の動詞が「タ形」である文が命令文となっている場合。

(108) さっさと行った。

```
( (CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
                  (ADVP (ADV さっさと))
                  (VB 行っ)
                  (AX た))
  (PU 。))
  (ID 532_textbook_kisonihongo))
```

- 改まった文体では「～のこと」（「IP-NMZ (の) +こと」と分析される）「～すること」（「IP-REL+こと」）のような形で命令文となることがある。これらの形の命令文に対しては，NPを断片（FRAG）の下に置き，FRAGをCP-IMPの下に置く。FRAGについては7節を参照のこと。

(109) (戒名と道号については「戒名」の項目を参照のこと。)

```
( (CP-IMP (FRAG (PUL ( )
                   (NP (PP (IP-NMZ (PP (NP (CONJP (NP (N 戒名))
                                                    (P-CONN と))
                                                  (NP (N 道号)))
                                                (P-ROLE について)
                                                (P-OPTR は))
                                              (PP-OB1 (NP (PP (NP (PUL 「)
                                                            (N 戒名)
                                                            (PUR 」))
                                                          (P-ROLE の))
                                                        (N 項目))
                                                        (P-ROLE を))
                                                    (VB 参照))
                                                  (P-ROLE の))
                                                (N こと)))
                   (PU 。)
                   (PUR )))
  (ID 11_wikipedia_KYOTO_5))
```

- 命令文の主語は，それが表現されていない場合でも必ずアノテーションされる。主語が明示されていない例では，空要素 (NP-SBJ *hearer*) を加える。

(110) 「助けて！

```
( (CP-IMP (PUL 「)
  (IP-SUB (NP-SBJ;{GREGOR} *hearer*)
    (NP-OB1;{MOTHER} *speaker*)
    (VB 助け)
    (P-CONN て))
  (PU !))
(ID 406_aozora_Harada-1960))
```

聞き手を示す名詞句が格助詞 (P-ROLE) またはとりたて助詞 (P-OPTR) を伴って現れている場合、それは主語を示しているものと解釈し、その句に -SBJ の拡張タグを付ける。

(111) 君が行ってくれ。

```
( (CP-IMP (IP-SUB (PP-SBJ (NP (PRO 君))
  (P-ROLE が))
  (VB 行っ)
  (P-CONN て)
  (VB2 くれ))
  (PU 。))
(ID 293_textbook_purple_intermediate))
```

(112) 君はここにいなさい。

```
( (CP-IMP (IP-SUB (PP-SBJ (NP;{HEARER_537} (PRO 君))
  (P-OPTR は))
  (PP (NP;{CURRENT_PLACE_537} (PRO ここ))
  (P-ROLE に))
  (VB い)
  (VB2 なさい))
  (PU 。))
(ID 537_textbook_kisonihongo))
```

聞き手を示す名詞句が助詞なしで現れている場合、通常は、呼格の名詞句 NP-VOC としてラベル付けし、空要素との関連付けを次のような方法で行う：(i) NP-VOC にソート情報を加える。(ii) ソート情報の直後に代替要素 (CLEAN *VOC*) を置く。(iii) 代替要素の直後に空要素 (NP-SBJ *hearer*) を置き、NP-VOC と共通のソート情報を付け加える。これら3つのノードがこの順番で並んで現れることが肝要であり、空要素を節の先頭に置くという方針 (8.3 節) に従う必要はない。呼格の名詞句については、16.6 節も参照。

(113) 田中君、取引先に資料を送りなさい。

```
( (CP-IMP (IP-SUB (NP-VOC;{TANAKA} (NPR 田中君))
  (CLEAN *VOC*)
  (NP-SBJ;{TANAKA} *hearer*)
  (PU 、)
  (PP-OB2 (NP (N 取引先))
  (P-ROLE に))
  (PP-OB1 (NP (N 資料))
  (P-ROLE を))
  (VB 送り)
  (VB2 なさい))
```

(PU 。))
 (ID 312_textbook_purple_intermediate))
 なお、聞き手を示す名詞句が助詞なしで現れているが、呼格の名詞句と解釈できない場合がある。このような場合には、名詞句を NP-SBJ としてラベル付けするものとする。

(114) 前向きな姿勢、政府示せ

((CP-IMP (IP-SUB (SYM □)
 (NP-OB1 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-OB1;{ATTRACTION} *pro*)
 (ADJN 前向き)
 (AX な))
 (N 姿勢))
 (PU 、)
 (NP-SBJ (N 政府))
 (VB 示せ)))
 (ID 67_news_KAHOKU_89))

11.4 終助詞節 (CP-FINAL)

終助詞 (P-FINAL) を伴う文が、疑問、命令、感嘆という特定の発話行為の表現と分類されないような場合、それらは終助詞節 (CP-FINAL) とラベル付けされる。終助詞はそれに先行する準主節 (IP-SUB) の姉妹として、終助詞節の直下に置かれる。以下は、終助詞「よ」を含む終助詞節の例である (加えて、14.7 節の用例も参照)。

(115) 私たちは船を着陸させなければならないのだよ。」

((CP-FINAL (IP-SUB (PP-SBJ (NP (PRO 私たち))
 (P-OPTR は))
 (PP-CZZ (NP (N 船))
 (P-ROLE を))
 (VB 着陸)
 (VB0 さ)
 (VB2 せ)
 (NEG なけれ)
 (P-CONN ば)
 (VB2 なら)
 (NEG ない)
 (FN の)
 (AX だ))
 (P-FINAL よ)
 (PU 。)
 (PUR 」))
 (ID 106_fiction_DICK-1952))

次の例のように、節 (IP) を構成しない断片 (FRAG) に終助詞が続くこともある。

(116) 行きたいんだけどなー。

((CP-FINAL (FRAG (PP (IP-ADV (NP-SBJ *speaker*)
 (VB 行き)
 (AX たい)
 (FN ん)
 (AX だ))

(P-CONN けど))
 (P-FINAL なー)
 (PU 。))
 (ID 89_spoken_JM9))

先行する節 (IP) のある構成素が、終助詞 (P-FINAL) の後のところにまで後置された場合、それはその終助詞の姉妹位置に置かれる。このような例は不連続構造の構文としての扱いを受ける。不連続構造については、8.2 節を参照のこと。

(117) 「文字だよ、確かに。」

((CP-FINAL (PUL 「
 (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
 (ADVP *ICH*-1)
 (NP-PRD (N 文字))
 (AX だ))
 (P-FINAL よ)
 (PU 、)
 (ADVP-1 (ADJN 確か)
 (AX に))
 (PU 。))
 (PUR 」))
 (ID 321_fiction_DICK-1952))

また、終助詞がない場合でも、構成素の節外への転置を適切にアノテーションするための方策として、CP-FINAL (あるいは別の種類の CP) が投射され、節と後置される要素とが、そのCPの下に置かれる。

(118) 世界を動かしますそれ！

((CP-FINAL (IP-SUB (NP-SBJ *ICH*-1)
 (PP-OB1 (NP (N 世界))
 (P-ROLE を))
 (VB 動かし)
 (AX ます))
 (NP-1 (PRO それ))
 (PU !))
 (ID 91_ted_talk_7))

11.5 IP節とCP節

CP節は、IP節を補部として取ることが多い。別の言い方をすれば、IP節の上に、さらにCP投射が設けられることが少なからずある。IP投射は、述語がある限り必ず存在するが、CP投射はそうではない。CPが投射されるのは、

- 明示的な、あるいは省略されたと考えられるような文末助詞がある場合、もしくは
- 文末助詞が決して現れないが、それが陰に現れているような節だと分析するに値するような、特殊な機能を持つ節 (例：肯定命令文：これは文末助詞によって実現されることはない)

の場合だけである。これら以外の場合、CPが投射されることは決していない。

CP投射に支配されるIPは、IP-SUB (準主節) のみである (10.1)。

11.6 CP節と述語

CP節が、他の節に項、または付加的な節のいずれかとして埋め込まれていることがある。どちらの場合であっても、-OB1, -ADV, -CMPLなどの、主節における役割を表現するような拡張タグを、CP節のスタックの一番外側につけなければならない(9.1.3節)。内側には逆につけてはならない。

(119) 「大丈夫？先生！」と驚いた声で僕らは聞いた。

```
( (IP-MAT (CP-THT-OB1 (CP-QUE (PUL 「)
                                (IP-SUB (NP-SBJ;{TEACHER} *pro*)
                                           (ADJN 大丈夫))
                                (PU ?)
                                (NP-VOC;{TEACHER} (N 先生))
                                (PU !)
                                (PUR 」))
                                (P-COMP と))
  (PP (NP (IP-EMB2 (VB 驚い)
                  (AX た))
      (N 声))
    (P-ROLE で))
  (PP-SBJ (NP;{STUDENTS} (PRO 僕ら))
    (P-OPTR は))
  (NP-OB2;{TEACHER} *pro*)
  (VB 聞い)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 6_misc_discourse_1))
```

11.7 CP節とコントロール・ATB

CP投射自体は、後で述べるコントロール環境(12節)、及びATB(Across the Board Extraction; 13節)の認可に、直接的には関与はしない。ただし、CP投射がよく取る準主節(IP-SUB)は、これらを必ず阻害する。

12 コントロール環境としての従属節

拡張タグSCONまたはSCON-CNDを伴う副詞的な従属節(IP-ADV)、小節(IP-SMC)、空所なし名詞修飾節(IP-EMB)あるいは名詞化節(IP-NMZ)において、主語のゼロ代名詞が何に言及しているかが、先行詞(antecedent)であるすぐ上位の節の項によって決まることがある。このような状況における先行詞とゼロ主語代名詞の関係を、言語学では、コントロール(control)と呼ぶ。このうち、ゼロ主語代名詞は普通(big)PROと呼ばれるが、これは本コーパスでは明示的な代名詞のラベルと衝突するため、以降、これを「(コントロールの)受け手」(controllee)と呼ぶことにする。

インデクス付けを可能な限り避けるという、本アノテーション体系の、大枠における目標(例えば8節における空要素のアノテーションを参照)に従い、下位の節の中の(big)PROのアノテーション(*pro*を置くこと)は行わない。したがって、コントロール関係はアノテーションでは明示されない。それにもかかわらず、コントロールに関する情報は、アノテーション中の構造から得ることが出来る。この節では、コントロ

ール環境を作り出すアノテーションの統語的な配置 (configurations) について述べる。表4にどのタイプの節がコントロール環境を生じるかを示す。

統語タグ	コントロール環境の有無
IP-MAT (主節)	no
IP-SUB (CPに埋め込まれる準主節)	no
IP-REL (関係節)	no
IP-ADV-CONJ (等位接続節)	no
IP-ADV-SCON(-CND) (従属節)	yes
IP-ADV2-SCON(-CND) (従属節)	yes (義務的)
IP-EMB (空所なし名詞修飾節)	yes
IP-NMZ (名詞化節)	yes
IP-SMC (小節)	yes (義務的)

Table 4: コントロール環境の有無の一覧

表4にあるように、コントロール環境は関係節 (IP-REL) および主節 (IP-MAT) の層を挟んで成り立つことはない。コントロール環境は IP-SUB の層 (CP* が必ず直ぐ上に置かれる) の層を挟んで成り立つこともない。ただし、CPが全てコントロール環境を阻害するわけでは必ずしもなく、小節 (IP-SMC) の層が、CP-THT の下に直接置かれていても、CPを跨いでコントロール環境が成り立つことに注意が必要である。また、副詞節 (IP-ADVもしくはPP) の層については、拡張タグ -SCON(-CND) を伴う場合にはコントロール環境が成り立ち、拡張タグ -CONJ では成り立たないことにも注意されたい。

上位の節中のコントロール元 (先行詞) として複数の可能性がある時、照応関係はアクセス可能性の階層により決定される。この階層は先行詞の文法役割に基づいており、アクセス可能性の高い順から並べると、以下のようになる。

OB2 > OB1 > SBJ2 > SBJ

以上のコントロールのアクセス階層の例外として、先行詞として主語のみを取りうるようなコントロール節がある。アクセス階層を無視して、特定の意味役割ものを先行詞としたい場合、節のラベルを IP-ADV2 とする。ひとつの例として、接続詞「ながら」が後続する節が挙げられる。

より一般的に、全てのコントロール環境 (上記の表 12.5 参照) において、タグに「2」をつける (IP-EMB2, IP-SMC2, IP-NMZ2) ことで上位の節の主語によるコントロールを保証することが可能である。

殆どのコントロール環境においては、主語の役割以外の先行詞は、コントロールの受け手に対して先行することが条件である。一方で、主語先行詞の場合、副詞節 (IP-ADV-SCON(-CND)) に後続しても先行詞となりうる。また、小節 (IP-SMC), 「2」節に関しては、先行するという条件はどの役割の先行詞にも課されない。

以下、コントロールを容認する節の配置パターンを、コントロール関係と共に示す。

12.1 副詞節 (IP-ADV-SCON(-CND)) へのコントロール

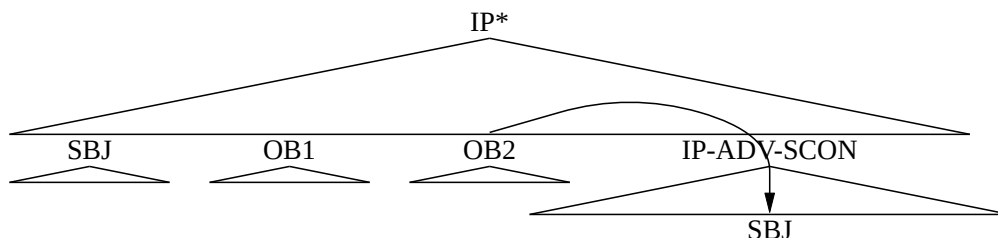
本節では SCON または SCON-CND によって曖昧性解消を受ける IP-ADV について述べる。IP-ADVが助詞句 PP の補部で、その PP が SCON や SCON-CND の拡張タグを持つものも該当する。IP-ADV が SCON / SCON-CND ではなく CONJ の拡張タグを持つ場合、上位の先行詞と (従属節中の) 空要素との間の照応はコントロールとは異なる関係でなされるものと考えられる。この環境については、13 節を参照されたい。

IP-ADV内に SBJ が現れない場合、コントロールの受け手に対するすぐ上位の節からのコントロール継承は、上位の節に項が存在し、アクセス可能であれば、OB2, OB1, SBJ2, SBJ の順で行われる。ただし、SBJ は語順に関わらず常にコントロールされる側

からアクセス可能なのに対し、他の項については IP-ADV に先行するもののみがアクセス可能であるとする。

12.1.1 IP-ADV-SCON(-CND) へのコントローラーとしてのOB2

以下は OB2 がコントロールを行っている場合を図示したものである。



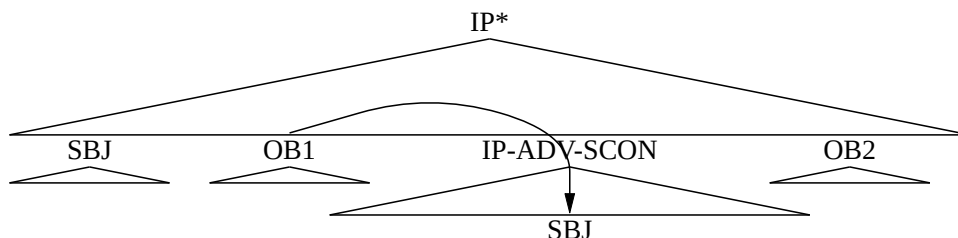
次は、OB2 が (PP-SCONの中の) IP-ADVへのコントロールを行う例である。

(120) ランドセルは孫に、小学校に上がったのであげました。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ; {SPEAKER_21} *speaker*)
  (PP-OB1 (NP (N ランドセル))
    (P-OPTR は))
  (PP-OB2 (NP (N 孫))
    (P-ROLE に))
  (PU , )
  (PP-SCON (IP-ADV (PP (NP (N 小学校))
    (P-ROLE に))
    (VB 上がっ)
    (AXD た))
    (P-CONN ので))
  (VB あげ)
  (AX まし)
  (AXD た)
  (PU 。 ))
(ID 21_misc_EXAMPLE))
```

12.1.2 IP-ADV-SCON(-CND) へのコントローラーとしてのOB1

• 以下は OB1 がコントロールを行っている場合を図示したものである。



• 次は、OB1 がコントロールを行う例である。

(121) そのお菓子は、まずかったので弟にやった。

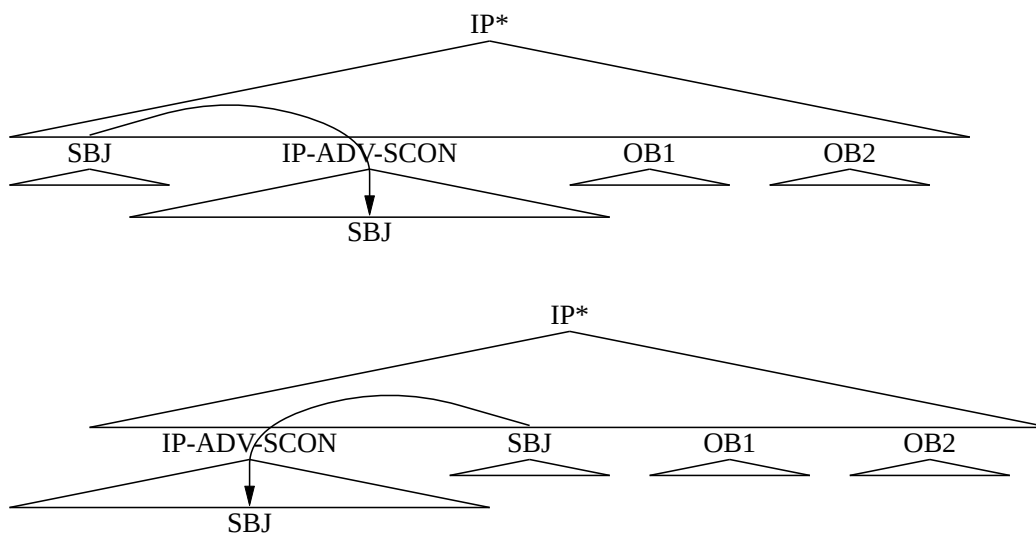
```
( (IP-MAT (NP-SBJ;{SPEAKER_20} *speaker*)
  (PP-OB1 (NP;{SWEET_20} (D その)
            (N お菓子))
          (P-OPTR は))
  (PU . )
  (PP-SCON (IP-ADV (ADJI まずかつ)
                  (AXD た))
            (P-CONN ので))
  (PP-OB2 (NP (N 弟))
          (P-ROLE に))
  (VB やっ)
  (AXD た)
  (PU . ))
(ID 20_misc_EXAMPLE))
```

(122) ビールはよく冷えていても飲みたくない。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ;{SPEAKER_26} *speaker*)
  (PP-OB1 (NP (N ビール))
          (P-OPTR は))
  (PP-SCON-CND (IP-ADV (ADVP (ADJI よく))
                      (VB 冷え)
                      (P-CONN て)
                      (VB2 い)
                      (P-CONN て))
              (P-OPTR も))
  (VB 飲み)
  (AX たく)
  (NEG ない)
  (PU . ))
(ID 26_misc_EXAMPLE))
```

12.1.3 IP-ADV-SCON(-CND) へのコントローラーとしてのSBJ

- 以下は SBJ がコントロールを行っている場合を図示したものである。



- SBJ がコントロールを行っている例を以下に示す。

(123) 寂しかったので私は友人を呼んだ。

```
( (IP-MAT (PP-SCON (IP-ADV (ADJI 寂しかっ)
                             (AXD た))
                       (P-CONN ので))
  (PP-SBJ (NP;{SPEAKER_19} (PRO 私))
          (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (NP (N 友人))
          (P-ROLE を))
  (VB 呼ん)
  (AXD だ)
  (PU 。))
(ID 19_misc_EXAMPLE))
```

(124) ギョツとして武士は足を早める。

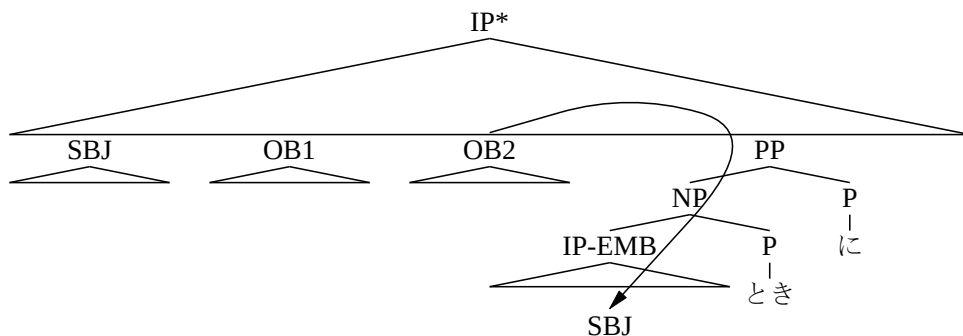
```
( (IP-MAT (IP-ADV-SCON (ADVP-CMPL (ADV ギョツと))
                       (VB し)
                       (P-CONN て))
  (PP-SBJ (NP;{KOSAKA_JINNAI} (N 武士))
          (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (NP (N 足))
          (P-ROLE を))
  (VB 早める)
  (PU 。))
(ID 57_aozora_Kunieda-1925))
```

12.2 空所なし名詞修飾節 (IP-EMB) へのコントロール

IP-ADV におけるコントロール継承 (12.1 節を参照のこと) と同様、IP-EMB でも上位の節からのコントロール継承は、それらが存在する場合、OB2、OB1、SBJ2、SBJ の順で行われる。IP-ADV の場合と同様に、上位節中の IP-EMB に対する NP の位置がアクセス可能性を決める。すなわち、主語が常にアクセス可能であることを除けば、コントロール元となる名詞句は IP-EMB よりも前に位置しなければならない。

12.2.1 IP-EMB へのコントローラーとしての OB2

- 以下の図は、OB2 がコントロールを行う場合を示したものである。



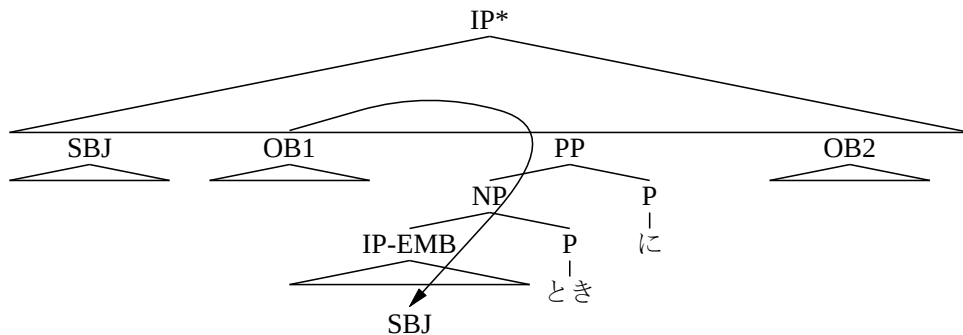
OB2 がコントロールを行う例を以下に示す:

(125) 手紙は太郎にここへ来たときに渡した。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ; {SPEAKER_24} *speaker*)
  (PP-OB1 (NP (N 手紙))
    (P-OPTR は))
  (PP-OB2 (NP (NPR 太郎))
    (P-ROLE に))
  (PP-TMP (NP (IP-EMB (PP (NP; {SPEAKER_CURRENT_POS_24} (PRO ここ))
    (P-ROLE へ))
    (VB 来)
    (AXD た))
    (N とき))
    (P-ROLE に))
  (VB 渡し)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 24_misc_EXAMPLE))
```

12.2.2 IP-EMBへのコントローラーとしてのOB1

以下の図は、OB1がコントロールを行う場合を示したものである。



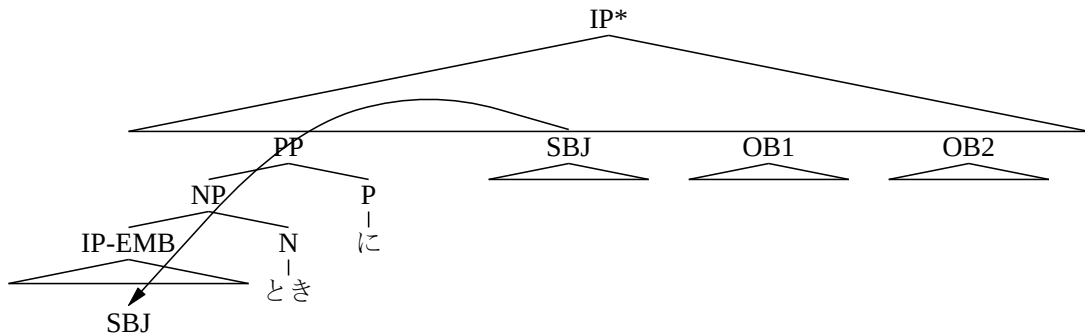
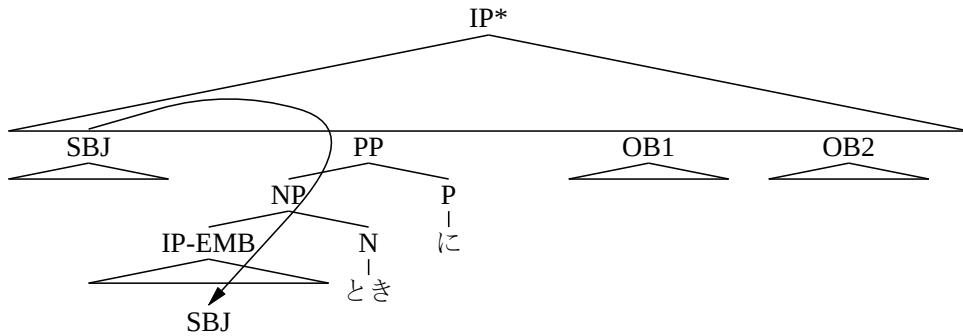
OB1がコントロールを行う例を以下に示す:

(126) 二郎はたこ焼を熱いうちに太郎に渡した。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 二郎))
  (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (NP (N たこ焼))
    (P-ROLE を))
  (PP (NP (IP-EMB (ADJI 熱い))
    (N うち))
    (P-ROLE に))
  (PP-OB2 (NP (NPR 太郎))
    (P-ROLE に))
  (VB 渡し)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 23_misc_EXAMPLE))
```

12.2.3 IP-EMBへのコントローラーとしてのSBJ

- 以下の図は、SBJがコントロールを行う場合を示したものである。



上位節の主語が外の NP を通してその主要部の名詞を修飾する IP-EMB の中へとコントロールするためには、その NP の中に主要部の N と IP-EMB 以外に何も入っていないことが条件である。

SBJ がコントロールを行う例を以下に示す。

(127) 試験を受ける前に、トイレに行った。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (PP (NP (IP-EMB (PP-OB1 (NP (N 試験))
    (P-ROLE を))
    (VB 受ける))
    (N 前))
    (P-ROLE に))
  (PU 、)
  (PP (NP (N トイレ))
    (P-ROLE に))
  (VB 行っ)
  (AXD た)
  (PU 。))
```

(ID 1111_textbook_kisonihongo))

(128) 小さかったころ私は犬を怖がっていた。

```
( (IP-MAT (NP-TMP (IP-EMB (ADJI 小さかつ)
  (AXD た))
  (N ころ))
  (PP-SBJ (NP; {SPEAKER_22} (PRO 私))
    (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (NP (N 犬))
    (P-ROLE を))
  (VB 怖がっ)
  (P-CONN て)
```


(VB2 い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 22_misc_EXAMPLE))

12.3 名詞化節 (IP-NMZ) へのコントロール

IP-ADV-SCON(-CND) と IP-EMB におけるコントロール継承と同様, IP-NMZ でも上位の節からのコントロール継承は, それらが存在する場合, OB2, OB1, SBJ2, SBJ の順で行われる。IP-ADV, IP-EMB の場合と同様に, 上位節中の IP-EMB に対する NP の位置がアクセス可能性を決める。すなわち, 主語が常にアクセス可能であることを除けば, コントロール元となる名詞句は IP-EMB よりも前に位置しなければならない。

SBJ がコントロールを行う例を以下に示す。

(129) 彼の子孫はそれを所有するにいたるであろう。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP;{CALEB} (PRO 彼))
 (P-ROLE の))
 (N 子孫))
 (P-OPTR は))
 (PP (IP-NMZ (PP-OB1 (NP;{LAND_THAT_CALEB_EXPLORED} (PRO それ))
 (P-ROLE を))
 (VB 所有)
 (VB0 する))
 (P-ROLE に))
 (VB いたる)
 (MD であろう)
 (PU 。))
 (ID 502_bible_ot))

(130) 辺の部分にフラップを作るには、円の2分の1が必要です

((IP-MAT (NP-SBJ *arb*)
 (PP (IP-NMZ (PP (NP (PP (NP (N 辺))
 (P-ROLE の))
 (N 部分))
 (P-ROLE に))
 (PP-OB1 (NP (N フラップ))
 (P-ROLE を))
 (VB 作る))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 円))
 (P-ROLE の))
 (NUMCLP (NUM 2分の1)))
 (P-ROLE が))
 (ADJN 必要)
 (AX です))
 (ID 105_ted_talk_1))

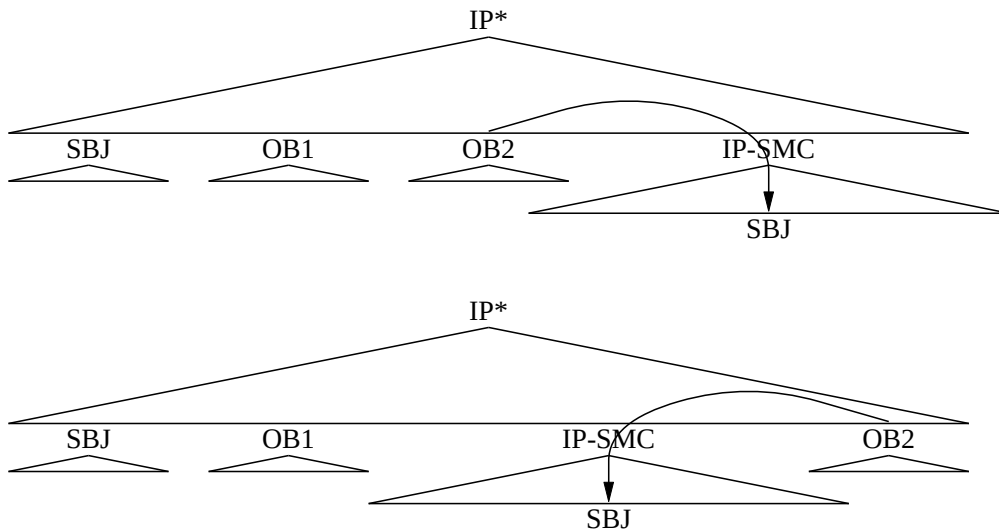
なお, 現状では主語以外の項がコントロール元となる例は見つかっていない。

12.4 小節 (IP-SMC) へのコントロール

IP-SMC は主語を持つ節としてアノテーションされることはなく、従って、義務的にコントロール環境がそこで生じる。IP-SMC は典型的には、それを直接埋め込む節の述語の補部を形作り、上位の節の中のすべての種類の項によりコントロールを受けることが出来る。コントロール元となる優先順位は、OB2, OB1, SBJとなる。その際、これらの名詞句の位置は、IP-ADV-SCON(-CND), IP-EMB, IP-NMZの場合とは異なり、無関係である。

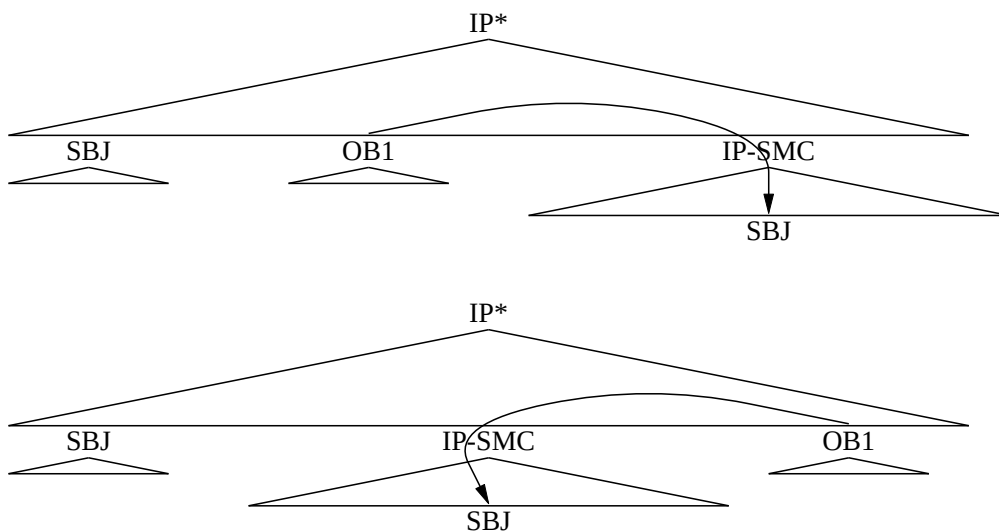
12.4.1 IP-SMCへのコントローラとしてのOB2

次の2つの図は、OB2 がコントロールを行っている場合を示している。埋め込む節の中のOB2の項が束縛を行う結果として、IP-SMC 中の SBJ が束縛されている。



12.4.2 IP-SMCへのコントローラとしてのOB1

次の図は、OB1 がコントロールを行っている場合である。



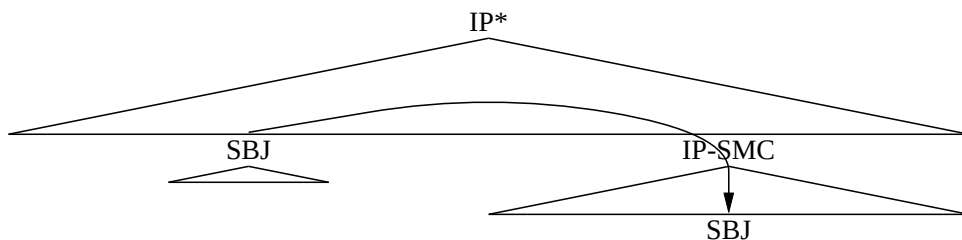
OB1 がコントロールを行っている例を以下に示す。

(131) 私は弟に買い物に行ってもらった。
 ((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{SPEAKER_16} (PRO 私))
 (P-OPTR は))
 (IP-SMC-OB1 (PP-DOB1 (NP (N 弟))
 (P-ROLE に))
 (IP-SMC-OB1 (PP-PRP (NP (N 買い物))
 (P-ROLE に))
 (VB 行っ)
 (P-CONN て))
 (VB もらっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 16_misc_EXAMPLE))

(132) わたくしの考えを述べさせていただきます。
 ((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (NP-DOB1 *hearer*)
 (IP-SMC-OB1 (NP-CZZ *speaker*)
 (PP-OB1 (NP (PP (NP;{SPEAKER_1292} (PRO わたくし))
 (P-ROLE の))
 (N 考え))
 (P-ROLE を))
 (VB 述べ)
 (VB2 させ)
 (P-CONN て))
 (VB いただき)
 (AX ます)
 (PU 。))
 (ID 1292_textbook_kisonihongo))

12.4.3 IP-SMCへのコントローラとしてのSBJ

次の図は、SBJがコントロールを行っている場合である。



SBJがコントロールを行っている例を以下に示す。

(133) 死にたく思う。
 ((IP-MAT (NP-SBJ;{DAZAI} *speaker*)
 (IP-SMC-OB1 (VB 死に)
 (AX たく))
 (VB 思う)
 (PU 。))
 (ID 96_aozora_Dazai-1-1940))

12.5 IP-*2 へのコントローラーとしてのSBJ

「2」と標示されたIP (すなわち, IP-ADV2-SCON(-CND), IP-EMB2, IP-NMZ2, IP-SMC2) は、IP-SMCと同様に、義務的なコントロール環境をもたらす。IP-SMCと異なるのは、コントロール元だけでなく、先行詞もまた主語 (SBJまたはSBJ2) でなければならない、という点である。先行詞の位置は問われない。

以下は SBJ が IP-ADV2-SCON の内部に対してコントロールを行っている例である。

(134) 絵本を買った子供が、それをおやつを食べながら読んでいた。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                        (PP-OB1 (NP;{PICTBOOK} (N 絵本))
                                (P-ROLE を))
                        (VB 買っ)
                        (AXD た))
                (N 子供))
  (P-ROLE が))
  (PU 、)
  (PP-OB1 (NP;{PICTBOOK} (PRO それ))
    (P-ROLE を))
  (IP-ADV2-SCON (PP-OB1 (NP (N おやつ))
                    (P-ROLE を))
    (VB 食べ)
    (P-CONN ながら))
  (VB 読ん)
  (P-CONN で)
  (VB2 い)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 22_misc_EXAMPLE2))
```

12.6 空要素によるコントロールの防止

当該の環境の上位節の項によるコントロール (これは、埋め込みIP節の種類とアクセス可能性の階層によって一意に定まる) が望まれない場合、NP-SBJとして *pro*, *speaker*, *hearer*, *arb* 等 8節を参照のこと) の適切な空要素を付加して、コントロール継承を妨げなければならない。これは、コントロール継承が、条件さえ満たせば (他に指定がない限り) 自ずと出現するという性質によるものである。

以下の例では、IP-EMB 内部に *arb* が付加され、その *arb* が、埋め込み節の主語が主節の SBJ により束縛されることを妨げている。

(135) 私の趣味は料理をすることです。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP;{SPEAKER_29} (PRO 私))
                        (P-ROLE の))
                (N 趣味))
  (P-OPTR は))
  (NP-PRD (IP-EMB (NP-SBJ *arb*)
    (PP-OB1 (NP (N 料理))
      (P-ROLE を))
    (VB する))
  (N こと))
  (AX です)
```

(PU 。))
(ID 29_misc_EXAMPLE))

天候を表す述語のように、コントロール継承も ATB による束縛 (13節) も不適切な場合がある。このような場合、人手で *exp* とアノテーションすることによって、コントロール関係を防止することが出来る。次に示すのは、述語「寒くなる」を伴う例である。

(136) 春子は寒くなると学校に来なくなる。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 春子))
(P-OPTR は))
(PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-SBJ *exp*)
(IP-SMC-OB1 (ADJI 寒く))
(VB なる))
(P-CONN と))
(IP-SMC-OB1 (PP (NP (N 学校))
(P-ROLE に))
(VB 来)
(NEG なく))
(VB なる)
(PU 。))
(ID 12_misc_TOPTEN))

上位の項とコントロール環境中の空要素との間に同一指示関係があっても、(i) 正しい先行詞がコントロール元からアクセスできない、(ii) 空要素が主語でない (そもそもコントロールの対象外であるのだが)、あるいは (iii) (i) と (ii) の両方があてはまる、のいずれかの理由でコントロール関係が適切でない場合、ゼロ代名詞 (NP-SBJ *pro*) を付加し、さらに、ゼロ代名詞と先行詞の両方に共通のソート情報を与えることで同一指示関係を確保することができる。

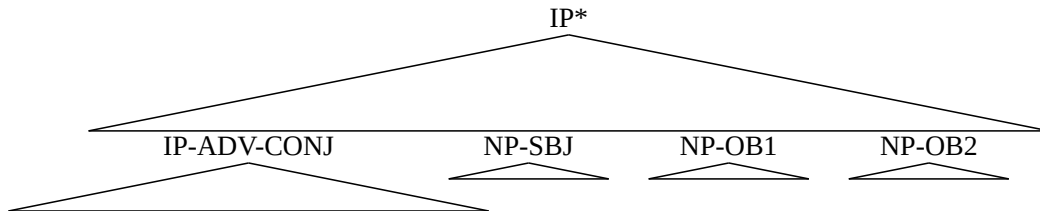
(42) ダウンロードして印刷すれば、学校や家庭で手軽に取り組める。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
(IP-ADV-SCON-CND (NP-OB1;{FILE} *pro*)
(IP-ADV-CONJ (VB ダウンロード)
(VB0 し)
(P-CONN て))
(VB 印刷)
(VB0 すれ)
(P-CONN ば))
(PU 、)
(NP-OB1;{FILE} *pro*)
(PP (NP (CONJP (NP (N 学校))
(P-CONN や))
(NP (N 家庭)))
(P-ROLE で))
(ADVP (ADJN 手軽)
(AX に))
(VB 取り組める)
(PU 。))
(ID 55_news_KAHOKU_97))


```

(P-ROLE が))
(VB 増加)
(VB0 し)
(P-CONN て))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(P-ROLE の))
(N 隣県))
(N メディア))
(P-ROLE に))
(VB 進出)
(VB0 する))
(N 者))
(P-OPTR も))
(VB 表れ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 263_wikipedia_Sendai_City))

```



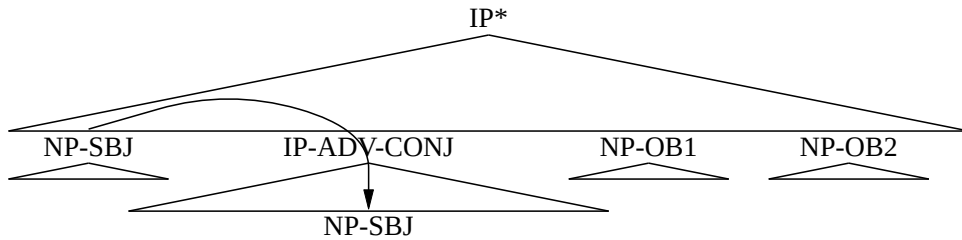
• IP-ADV 中に NP-SBJ の束縛のみが入り込む例:

(139) それは1万5千円のものですが、今はバーゲンで1万円です。

```

( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{COMMODITY_7} (PRO それ))
(P-OPTR は))
(PP-CONJ (IP-ADV (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (NUMCLP (NUM 1万5千)
(CL 円)))
(AX の))
(N もの))
(AX です))
(P-CONN が))
(PU 、)
(PP-TMP (NP (N 今))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-SCON (NP-PRD (N バーゲン))
(AX で))
(NP-PRD (NUMCLP (NUM 1万)
(CL 円)))
(AX です)
(PU 。))
(ID 8_misc_EXAMPLE))

```



- 次の例では上記の例と同様に NP-SBJ の束縛がある。しかし、NP-OB1 はそれぞれの節で別々に明示されている。また、NP-SBJ と並んで付加詞「昨日は」も IP-ADV に継承されている。

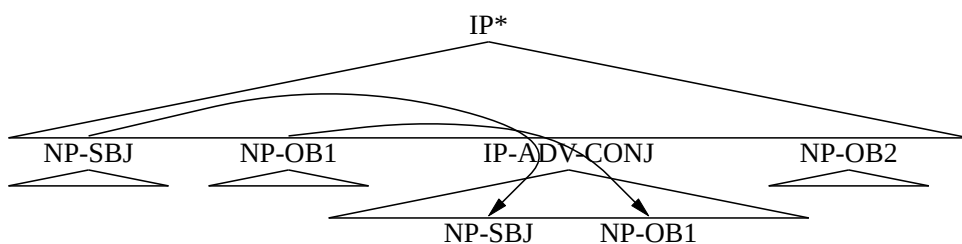
(140) 昨日は刺身を食べて、お腹を壊してしまいました。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ; {SPEAKER_13} *speaker*)
  (PP-TMP (NP (N 昨日))
    (P-OPTR は))
  (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (N 刺身))
    (P-ROLE を))
    (VB 食べ)
    (P-CONN て))
  (PU , )
  (PP-OB1 (NP (N お腹))
    (P-ROLE を))
  (VB 壊し)
  (P-CONN て)
  (VB2 しまい)
  (AX まし)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 13_misc_EXAMPLE))
```

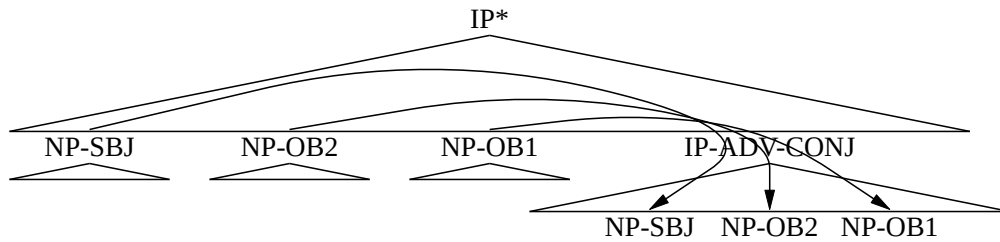
- IP-ADV 中に NP-SBJ と NP-OB1 の束縛が入り込む例:

(141) 晩ごはんを作って、食べます。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (PP-OB1 (NP (N 晩ごはん))
    (P-ROLE を))
  (IP-ADV-CONJ (VB 作っ)
    (P-CONN て))
  (PU , )
  (VB 食べ)
  (AX ます)
  (PU 。))
(ID 11_misc_EXAMPLE))
```



- IP-ADV中に NP-SBJ, NP-OB1, NP-OB2 すべての束縛が入り込む例はコーパス内にまだ見つかっていない。しかし、これを図示すると次のようになる。



もしも接続詞 (CONJ) が明示的に存在する場合は、それは上位の節の構成素、言い換えれば IP レベルの語として扱われる。

(142) 私は長い間この動きを観察してそして参加してきました

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
                    (P-OPTR は)
                    (NP-MSR (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                                   (ADJI 長い))
                            (N 間))
                    (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (D この)
                                             (N 動き))
                                         (P-ROLE を))
                                (VB 観察)
                                (VB0 し)
                                (P-CONN て))
                                (CONJ そして)
                                (VB 参加)
                                (VB0 し)
                                (P-CONN て)
                                (VB2 き)
                                (AX まし)
                                (AXD た))
                    (ID 15_ted_talk_5))
```

13.2 3つ以上の節が並ぶ場合

10.4.2 節にあるように、等位接続の関係にある節が3つ以上ある場合には、すべての節が積み上げられているものとする。つまり、節1が節2の下に、節2が(節1と共に)節3の下に置かれる。積み上げられる節は、そのすぐ上位の節の(それが積み上げられた節の中の最後の節である場合を除いて)最も左側に置かれる。以下の(143), (144), および以下の図を参照。

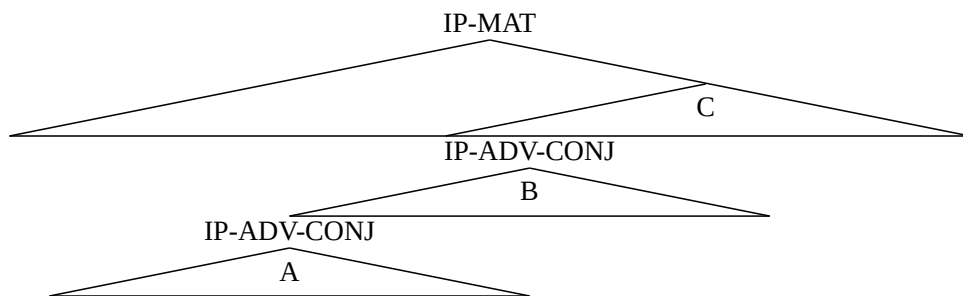
(143) 暗くて、たくましくて、ちょっとした悲しいリアス式海岸は、僕にとっての東北の原点。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                              (IP-ADV-CONJ (IP-ADV-CONJ (ADJI 暗く)
                                                          (P-CONN て))
                              (PU 、)
                              (ADJI たくましく)
```

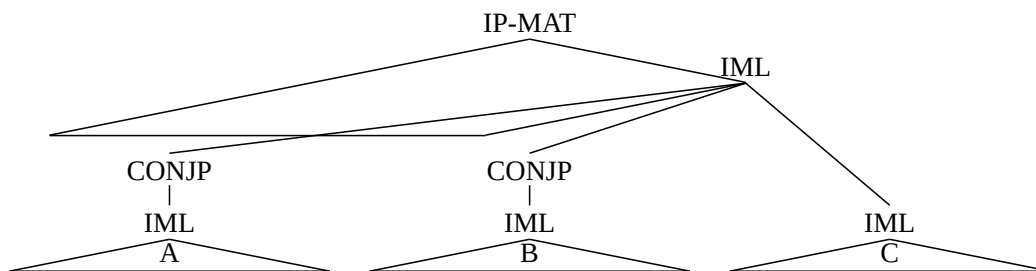
(P-CONN て))
 (PU 、)
 (ADVP (ADV ちょっと))
 (ADJI もの悲しい))
 (N リアス式海岸))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (NP-PRD (PP (NP (PP (NP (PRO 僕))
 (P-ROLE にとって)
 (P-ROLE の))
 (NPR 東北))
 (P-ROLE の))
 (N 原点))
 (AX *)
 (PU 。))
 (ID 36_news_KAHOKU_303))

(144) 僕は集めて集めて集めまくった。

((IP-MAT (NP-OB1; {STUFF_38} *pro*)
 (PP-SBJ (NP (N 僕))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-CONJ (IP-ADV-CONJ (VB 集め)
 (P-CONN て))
 (VB 集め)
 (P-CONN て))
 (VB 集め)
 (VB2 まくっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 1_misc_EXAMPLE2))



上図の積み上げ構造に従うアノテーションを解釈する際には、以下のような派生されたCONJP構造 (18を参照) が基礎となると考えてよい。このような (自動的な正規化プロセスにより得られる) 派生構造は、18節で見る、非節的要素の並列に与えられる明示的なCONJP構造と本質的に同じである。



14 助詞 (P)

助詞のタグは **P** で、何らかの拡張が必ず付く。助詞は、典型的には名詞句や節に付加され、さまざまな機能を果たす。本アノテーションの目的から、**P** はその機能に従って拡張タグを与えられる。

1. 主要文法役割を表示する格助詞 (P-ROLE)
2. 任意文法役割を表示する格助詞 (P-ROLE)
3. 非節的要素の並列の中に現れる接続助詞 (P-CONN)
4. 従属節に現れる接続助詞 (P-CONN)
5. 等位節に現れる接続助詞 (P-CONN)
6. 補部節を導く助詞 (P-COMP)
7. 終助詞 (P-FINAL)
8. とりたて助詞 (P-OPTR)

同一の音形を持つ助詞が同一のグループの中で複数の機能または役割を果たすことがある。例えば、主要文法役割を表示する助詞の中では、「に」は主語 (SBJ), 第二主語 (SBJ2), 論理的主語 (LGS), 第一目的語 (OB1), および第二目的語 (OB2) を示すことができる。また、同一の音形を持つ助詞が複数のグループに現れることがある。例えば、「と」は主要文法役割を示す格助詞 (P-ROLE), 任意文法役割を示す格助詞 (P-ROLE), 条件節を作る接続助詞 (P-CONN), および補部節を導く助詞 (P-COMP) のいずれのグループにも現れる。逆に、同じグループで同じ機能をもつ助詞が複数の音形をもつこともある。

なお、「格助詞」という用語は、主要文法役割か任意文法役割を担う助詞という意味で用いることにする。本アノテーションではこの二つのグループはいずれも **P-ROLE** のタグを取る。

14.1 複合助詞

いくつかの語が連語となって助詞としての機能を果たす場合、それは単一の独立した助詞 **P** としてラベル付けされる。このような複合助詞の多くは、BCCWJ および CSJ の解析に従ってチャンキングを行ったものである。むろん、それらの中には1つまたはそれ以上の構成要素が語彙素として機能していることがありうる。そのような場合、単位分割の修正は手で行う必要がある。

コーパスは、60以上の数の複合助詞が認められる。以下に、そのうちの比較的頻度の高いものを示す。

との, という, というより, といった, と同時に, において, におきまして, における, にかけて, にして, にしても, について, につきまして, につれて, にとって, にむけて, にむけた, にもかかわらず, によって, によると, によれば, にわたって, に係る, に向けて, に対し, に対して, に対する, に関して, に関する, をもって, を以て, を通して, を通じてまでも, ものの

例えば, 複合助詞「によって」は, 受動文における論理的な主語 LGS を示すのに用いられる。

(145) このデザイン画は平山によって渡邊専務にもたらされた。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{DESIGN} (D この)
(N デザイン画))
(P-OPTR は))
(PP-LGS (NP (NPR 平山))
(P-ROLE によって))
(PP-OB2 (NP (NPR 渡邊専務))
(P-ROLE に))
(VB もたらさ)
(PASS れ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 60_wikipedia_Kamen_Rider))
```

次の例では, 複合助詞「について」が任意文法役割を示している。

(146) モーセは, わたしについて書いたのである。

```
( (IP-MAT (NP-OB1 *pro*)
(PP-SBJ (NP (NPR モーセ))
(P-OPTR は))
(PU 、)
(PP (NP;{JESUS} (PRO わたし))
(P-ROLE について))
(VB 書い)
(AXD た)
(FN の)
(AX で)
(VB2 ある)
(PU 。))
(ID 390_bible_nt))
```

しかし, 次の例では, 「について」は複合助詞ではなく, 動詞を含む語列として分析される。

(147) 彼は新しい仕事について, まるで生き返ったようだ。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-CONJ (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(ADJI 新しい))
(N 仕事))
(P-ROLE に))
(VB つい)
(P-CONN て))
```

(PU 、)
 (ADVP (ADV まるで))
 (NP-PRD (IP-EMB (VB 生き返っ
 (AXD た))
 (N よう))
 (AX だ)
 (PU .))

(ID 134_dict_vv-lexicon))

上記の2つの例における「について」の違いは、「つく」という語の表す意味が全く異なっているという点で明らかである。

「につれて」は(148)では複合助詞として、(149)では助詞と動詞の連続として分析される。複合助詞の「につれて」はほぼすべての場合に述語に後続するため、この違いの判断も難しくはない。

(148) 経済が発展するにつれて、社会の矛盾も拡大してきた。

((IP-MAT (PP-SCON (IP-ADV (PP-SBJ (NP (N 経済)
 (P-ROLE が))
 (VB 発展)
 (VB0 する))
 (P-CONN につれて))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 社会))
 (P-ROLE の))
 (N 矛盾))
 (P-OPTR も))
 (VB 拡大)
 (VB0 し)
 (P-CONN て)
 (VB2 き)
 (AXD た)
 (PU 。))

(ID 1196_textbook_kisonihongo))

(149) ディズニーランドに連れて行かれました。

((IP-MAT (NP-SBJ;{MAN_43} *pro*)
 (PP (NP (N ディズニーランド))
 (P-ROLE に))
 (VB 連れ)
 (P-CONN て)
 (VB2 行か)
 (VB2 れ)
 (AX まし)
 (AXD た)
 (PU 。))

(ID 6_misc_EXAMPLE2))

複合助詞「にむけて・にむけた」についてはより難しい判断が必要である。例えば(150)では、「むけ(向け)」が、項として主語と目的語と着点を表す項を取るかどうかという点が判断の基準になる。述語として完全な項構造を持たなければ複合助詞「にむけて・にむけた」とする。

(150) 「国際交渉に向け日本政府の意思表示が必要だ」と国が早期に誘致を決断するよう訴えた。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ;{EVANS} *pro*)
  (CP-THT-OB1 (IP-SUB (PUL 「)
    (NP-SBJ;{CORPORATION} *pro*)
    (PP (NP (N 国際交渉))
      (P-ROLE に向け))
    (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 日本政府))
        (P-ROLE の))
      (N 意思表示))
      (P-ROLE が))
    (ADJN 必要)
    (AX だ)
    (PUR 」))
    (P-COMP と))
  (NP-ADV (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 国))
    (P-ROLE が))
    (PP (NP (N 早期))
      (P-ROLE に))
    (PP-OB1 (NP (N 誘致))
      (P-ROLE を))
    (VB 決断)
    (VB0 する))
    (N よう))
  (VB 訴え)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 19_news_KAHOKU_89))
```

14.2 主要文法役割を示す格助詞 (P-ROLE) : が, を, に, と, の, 等

主要文法役割を表示する格助詞 (P-ROLE) は述語の項となる助詞句 (PP) を投射する。主要文法役割と助詞の間の一対一の対応関係があるわけではない。そのため、アノテーションの際には基本ラベル PP に項の文法役割を示すための拡張ラベルを付加した、PP-SBJ, PP-OB1, PP-OB2, PP-CMPL, PP-SBJ2, PP-LGS, PP-CZZ のいずれかが使われる。例えば、「が」を伴う助詞句が PP-SBJ とラベルを与えられていれば、それは主語の文法役割を持つことを示す。

以下の例では、「が」が主語 (SBJ) を、「を」が第一目的語 (OB1) を、「に」が第二目的語 (OB2) を示している。

(151) それが私に何とやら奇妙な感じを与えたのである。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO それ))
  (P-ROLE が))
  (PP-OB2 (NP (PRO 私))
    (P-ROLE に))
  (ADVP (ADV 何とやら))
  (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
    (ADJN 奇妙)
    (AX な))
    (N 感じ))
```

(P-ROLE を))
 (VB 与え)
 (AXD た)
 (FN の)
 (AX で)
 (VB2 ある)
 (PU 。))
 (ID 39_aozora_Edogawa-1929))

14.2.1 「が」

格助詞「が」は多く場合、主語 (SBJ) を表示する。ただし、「に」等、他の格助詞によって主語が表示されることもある (14.2.3 節, 14.2.9 節を参照)。とりわけ、名詞修飾節では主語が「の」によって表示されることがある (14.2.5 節を参照)。

一方で、格助詞「が」は主語以外の文法役割を表示する際にも用いられる。以下に挙げるような述語では、第一目的語 (OB1) を表示する。ただし、同じ述語であっても当該の文法役割が他の格助詞によって表示されることがしばしばありうる。例えば、能力を表す述語の第一目的語が「が」ではなく、「を」を伴うこともある。

- 存在や所有を表す述語 (ある, いる, ない, 等)

(152) 太郎は財産がある。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{TARO_282} (NPR 太郎))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (N 財産))
 (P-ROLE が))
 (VB ある)
 (PU 。))
 (ID 282_textbook_kisonihongo))

- 能力や知覚を表す動詞 (できる, 分かる, 見える, 聞こえる, 等); 可能動詞 (五段動詞語幹+eru・上一段/下一段動詞語幹+られる); 動作名詞+できる (実感できる, 説明できる, 等)

(153) スミスさんは中国語が分かる。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR スミスさん))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (N 中国語))
 (P-ROLE が))
 (VB 分かる)
 (PU 。))
 (ID 64_textbook_djg_gram_terms))

- 必要を表す動詞・ナ形容詞 (要る, 必要だ, 不要だ, 等)

(154) 救急車が必要ですか。

((CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (PP-OB1 (NP (N 救急車))
 (P-ROLE が))
 (ADJN 必要)

(AX です))
(P-FINAL か)
(PU 。))
(ID 740_textbook_TANAKA))

- 好悪, 得手不得手や感情を表す動詞・イ形容詞・ナ形容詞 (好きだ, 嫌いだ, 憎い, 欲しい, 動詞語幹+たい, 上手だ, 下手だ, 得意だ, 苦手だ, うまい, うれしい, なつかしい, こわい, 等)

(155) 私は虫が嫌いです。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
(P-OPTR は))
(PP-OB1 (NP (N 虫))
(P-ROLE が))
(ADJN 嫌い)
(AX です)
(PU 。))
(ID 31_textbook_purple_basic))

(156) おしぼりが欲しいのです。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
(PP-OB1 (NP (N おしぼり))
(P-ROLE が))
(ADJJI 欲しい)
(FN の)
(AX です)
(PU 。))
(ID 363_textbook_TANAKA))

格助詞「が」は, 「二重主語文」における第二主語 (SBJ2) を表示することもある。

(157) 象は鼻が長い。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 象))
(P-OPTR は))
(PP-SBJ2 (NP (N 鼻))
(P-ROLE が))
(ADJJI 長い)
(PU 。))
(ID 3_misc_EXAMPLE))

14.2.2 「を」

格助詞「を」は主要文法役割としては第一目的語 (OB1) を表示する。本アノテーションでは, いわゆる対象項だけでなく, 「出る, 降りる, 発つ, 出発する, 離れる, やめる, 卒業する」等の出離を表す動詞の起点を表す項, 「歩く, 走る, ジョギングする, 旅行する, 飛ぶ, 通る, 渡る, 行く, 来る」等, 移動動詞の経路を表す項, 「過ごす, 明かす, 暮らす」等の時間的経過を表す動詞に対する期間を表す項も, 第一目的語 (OB1) として分析することにする。

(158) 午前6時に家を出ました。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (PP-TMP (NP (N 午前)
 (NUMCLP (NUM 6)
 (CL 時)))
 (P-ROLE に))
 (PP-OB1 (NP (N 家)
 (P-ROLE を))
 (VB 出)
 (AX まし)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 71_textbook_purple_intermediate))

(159) 私たちはショッピングセンターをぶらぶら歩いた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私たち))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (N ショッピングセンター))
 (P-ROLE を))
 (ADVP (ADV ぶらぶら))
 (VB 歩い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 188_textbook_TANAKA))

(160) 私たちはトランプをしながら楽しい時間を過ごした。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私たち))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-SCON (PP-OB1 (NP (N トランプ))
 (P-ROLE を))
 (VB し)
 (P-CONN ながら))
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJI 楽しい))
 (N 時間))
 (P-ROLE を))
 (VB 過ごし)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 534_textbook_TANAKA))

ただし、移動動詞が経路の助詞句と共起していない場合、それにあたる第一目的語をゼロ代名詞としてアノテーションすることは、文脈が必要としない限り、必要ではない。

(161) ビルはベルリンに車で行った。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR ビル))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (NPR ベルリン))
 (P-ROLE に))
 (PP (NP (N 車))
 (P-ROLE で))
 (VB 行っ))

(AXD た)
 (PU 。))
 (ID 1185_misc_JSeM_beta_150530))

また、時間的経過を表す動詞に対する期間を表す名詞句は、「を」を伴わずに裸で現れることがある。この場合には、期間を表す名詞句は、NP-OB1 とラベルを付ける積極的な理由がなければ、NP-MSR とラベル付けすることとなる (MSR という拡張タグについては、9.2.2 節を参照)。

(162) 何をするかと言うと誰かの家で1週間過ごします

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-SBJ *exp*)
 (CP-THT-OB1 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (WPRO
 何))
 (P-ROLE
 を))
 (VB する))
 (P-FINAL か))
 (P-COMP と))
 (VB 言う))
 (P-CONN と))
 (PP (NP (PP (NP (WPRO 誰)
 (P-OPTR か))
 (P-ROLE の))
 (N 家))
 (P-ROLE で))
 (NP-MSR (NUMCLP (NUM 1)
 (CL 週間)))
 (VB 過ごし)
 (AX ます))
 (ID 96_ted_talk_10))

格助詞「を」は稀に、ひとつの節の中に二度現れることがある。このような構文 (二重ヲ格構文) における「を」のアノテーションについては 24.7 節で取り上げる。

14.2.3 「に」

格助詞「に」は授受動詞を代表例とする多くの三項述語 (やる, あげる, もらう, くれる, 与える, 貸す, 借りる, 渡す, 届ける, 贈る, 提出する, 聞く, 教える, 伝える, たずねる, 報告する, 命じる, 相談する, 紹介する, 等) の第二目的語 (OB2) を表示する ((151) を参照)。次の例では、第二目的語が「に」によって示されており、第一目的語はゼロ代名詞 *pro* によって表されている。

(163) そこで彼らは、もう一度この盲人に聞いた、

((IP-MAT (NP-OB1 *pro*)
 (CONJ そこで)
 (PP-SBJ (NP; {PHARISEES} (PRO 彼ら))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (NP-MSR (ADV もう)
 (NUMCLP (NUM 一)

(CL 度))
 (PP-OB2 (NP;{MAN_BLIND} (D この
 (N 盲人))
 (P-ROLE に))
 (VB 聞い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 786_bible_nt))

所有 (ある, いる, ない, 等), 能力・知覚 (できる, 分かる, 見える, 聞こえる, 等), 必要 (必要だ, 不要だ, 要る, 等), 感情 (うれしい, 悲しい, 等) を表す述語では, 主語 (SBJ) は格助詞「に」によって表示されうる。このような述語は, 第一目的語を「が」で表示するものと重なっている (14.2.1 節を参照)。

(164) 実をいうと、私にもその理由はわからない。

((IP-MAT (PP-SCON-CND (IP-ADV (PP-OB1 (NP (N 実))
 (P-ROLE を))
 (VB いう))
 (P-CONN と))
 (PU 。))
 (PP-SBJ (NP;{SPEAKER_129} (PRO 私))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR も))
 (PP-OB1 (NP;{REASON_129} (D その)
 (N 理由))
 (P-OPTR は))
 (VB わから)
 (NEG ない)
 (PU 。))
 (ID 129_textbook_kisonihongo))

二項述語において主語以外の項は原則として第一目的語 (OB1) とする。したがって, 第一目的語が「に」で表示されることもある。以下にいくつかの典型的な場合を挙げる。

- 何らかの具体的な動作が向かう対象: さからう, はむかう, 反対する, ぶつかる, かみつく, 掛け合う, 話しかける, 取り組む, 会う, 触れる, さわる, 勝つ, 負ける, 携わる, 等

(165) その手にさわった革財布。

((FRAG (NP-ADV;{ELDER_WALLET} (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP-OB1 (NP (D;{ELDER} その)
 (N 手))
 (P-ROLE に))
 (VB さわつ)
 (AXD た))
 (N 革財布))
 (PU 。))
 (ID 47_aozora_Kunieda-1925))

- 心理的な活動の対象: 恋する, 惚れる, 甘える, 頼る, 満足する, 不満だ, 見とれる, あこがれる, あきれる, 感心する, 悩む, こだわる, 等

(166) 犬が飼い主に甘える

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 犬))
(P-ROLE が))
(PP-OB1 (NP (N 飼い主))
(P-ROLE に))
(VB 甘える))
(ID 202_dict_pth_i))

- 認知の対象：気づく，着目する，等

(167) 私はハタとある事に気がついたのです。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADV ハタと))
(PP-OB1 (NP (D ある)
(N 事))
(P-ROLE に))
(VB 気がつい)
(AXD た)
(FN の)
(AX です)
(PU 。))
(ID 268_aozora_Edogawa-1929))

- 比較や適切さを含む判断の対象：まさる，劣る，準ずる，ふさわしい，等

(168) 彼女は経営者にふさわしい

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 彼女))
(P-OPTR は))
(PP-OB1 (NP (N 経営者))
(P-ROLE に))
(ADJI ふさわしい))
(ID 768_dict_pth_u))

「(て) もらう」構文や「(て) ほしい」構文における動作主は「に」によって表示されるが，このような「に」の投射する助詞句は PP-DOB1 (派生された第一目的語) とラベル付けされる。これらの構文では，述語に先行する小節 (IP-SMC-OB1) が「に」の付加された第一目的語 (DOB1) によってコントロールされる (「(て) ほしい」構文については 15.7 節を参照のこと)。

(169) 文章にするときはさ、ワトスン、兎に働いてもらうんだね」

((CP-FINAL (IP-SUB (PP (NP (IP-EMB (NP-OB1;{INCIDENT} *pro*)
(IP-SMC-CNT (NP-PRD (N 文章))
(AX に))
(VB する))
(N とき))
(P-OPTR は)
(P-INTJ さ))
(PU 、)
(NP-VOC;{WATSON} (NPR ワトスン))

(PU 、)
 (PP-DOB1 (NP (N 兎))
 (P-ROLE に))
 (IP-SMC-OB1 (VB 働い)
 (P-CONN て))
 (VB もらう)
 (FN ん)
 (AX だ))
 (P-FINAL ね)
 (PUR ー))
 (ID 781_aozora_Doyle-1905))

(170) みなさんには、限りある時間で助け合い、命を守るすべをさまざまな視点で考
 えてほしい。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (PP-DOB1 (NP (Q みなさん))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (IP-SMC-OB1 (PP-OB1 (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
 (IP-ADV-CONJ (PP (NP (PNL 限り
 ある)

(N 時間))

(P-ROLE で))

(VB 助け)

(VB2 合い))

(PU 、)

(PP-OB1 (NP (N 命))

(P-ROLE を))

(VB 守る))

(N すべ))

(P-ROLE を))

(PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)

(ADJN さまざま)

(AX な))

(N 視点))

(P-ROLE で))

(VB 考え)

(P-CONN て))

(ADJI ほしい)

(PU 。))

(ID 78_news_KAHOKU_112))

また、「に」は受動文の論理的主語を表示することもある。その場合、「に」の投射す
 る助詞句は PP-LGS とラベル付けされる。

(47) ジョンは先生にしかられた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR ジョン))
 (P-OPTR は))
 (PP-LGS (NP (N 先生))
 (P-ROLE に))

(VB しから)
(PASS れ)
(AXD た)
(PU 。))

(ID 22_misc_BUFFALO))

「に」の投射する助詞句が動詞「する・なる」の項となり、かつその助詞句が他の項の述語と見なせない場合、PP-CMPLとラベル付けされる。(助詞句が述語と見なせるケースについては15.5節を参照)。

(172) 日本人が働き者だということを我々はよく耳にする。

((IP-MAT (PP-OB1 (NP (CP-THT (IP-SUB (PP-SBJ (NP (N 日本人))
(P-ROLE が))
(NP-PRD (N 働き者))
(AX だ))
(P-COMP という))
(N こと))
(P-ROLE を))
(PP-SBJ (NP (PRO 我々))
(P-OPTR は))
(ADV (ADV よく))
(PP-CMPL (NP (N 耳))
(P-ROLE に))
(VB する)
(PU 。))

(ID 111_textbook_TANAKA))

(173) 一過去の大災害での支援活動を通して、参考になる事例は。

((CP-QUE (SYM -)
(IP-SUB (PP (NP (PP (NP (PP (NP (N 過去))
(P-ROLE の))
(N 大災害))
(P-ROLE で)
(P-ROLE の))
(N 支援活動))
(P-ROLE を通して))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(PP-CMPL (NP (N 参考))
(P-ROLE に))
(VB なる))
(N 事例))
(P-OPTR は))
(PU 。))

(ID 90_news_KAHOKU_65))

さらに、格助詞「に」は任意文法役割の表示に用いられることもある(14.3節で取り上げる)。ただし、「に」の表示する主要文法役割と任意文法役割の違い、言い換えればOB1やOB2としての機能と付加詞としての機能とは区別しがたいことがある。また、同一の動詞であっても、「当たる」のように「に」によって表示されたOB1を伴うこと(例：役目に当たった)もあるし、伴わないこと(例：宝くじが当たった)もある。

14.2.4 「と」

格助詞「と」は「似る」「会う」「喧嘩する」「デートする」「いちゃつく」といった述語の第一目的語 (OB1) を表示する。

(174) 彼女とは、去年会ったきり、手紙も出していない。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (PP-SCON (IP-ADV (PP-OB1 (NP (PRO 彼女))
    (P-ROLE と)
    (P-OPTR は))
    (PU 、)
    (NP-TMP (N 去年))
    (VB 会っ)
    (AXD た))
    (P-OPTR きり))
  (PU 、)
  (PP-OB1 (NP (N 手紙))
    (P-OPTR も))
  (VB 出し)
  (P-CONN て)
  (VB2 い)
  (NEG ない)
  (PU 。))
  (ID 369_textbook_particles))
```

(175) だって彼女はいつも風といちゃついてるんだから」

```
( (FRAG (PP (IP-ADV (CONJ だって)
  (PP-SBJ (NP (PRO 彼女))
    (P-OPTR は))
  (ADVP-MSR (ADV いつも))
  (PP-OB1 (NP (N 風))
    (P-ROLE と))
  (VB いちゃつい)
  (VB2 てる)
  (FN ん)
  (AX だ))
  (P-CONN から)
  (PUR 」)))
  (ID 37_aozora_Yuki-1-2000))
```

こういった述語の多くは相互性を持ち、主語要素が複数性を示すときには項構造が飽和される。

(176) ヘプバーンは「私とユベールはよく似ています。好みが同じなのです」と語っている。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR ヘプバーン))
  (P-OPTR は))
  (CP-THT-OB1 (multi-sentence (PUL 「)
    (IP-MAT (PP-SBJ (NP (CONJP (NP (PRO
私))
    (P-CONN
```

と))

(NP (NPR ユベール))

ル)))

(P-OPTR は))

(ADVP (ADJI よく))

(VB 似)

(P-CONN て)

(VB2 い)

(AX ます)

(PU 。))

(IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 好み))

(P-ROLE が))

(ADJN 同じ)

(AX な)

(FN の)

(AX です))

(PUR 」))

(P-COMP と))

(VB 語っ)

(P-CONN て)

(VB2 いる)

(PU 。))

(ID 362_wikipedia_Audrey_Hepburn))

「と」はまた、相互性を表す三項述語の第二目的語 (OB2) を表示する。

(177) 彼は、弟と一等賞を競り合った。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼))

(P-OPTR は))

(PU 、)

(PP-OB2 (NP (N 弟))

(P-ROLE と))

(PP-OB1 (NP (NUMCLP (NUM 一)

(CL 等))

(N 賞))

(P-ROLE を))

(VB 競り)

(VB2 合っ)

(AXD た)

(PU .))

(ID 1431_dict_vv-lexicon))

「と」の投射する助詞句が動詞「する・なる」等の項となり、かつその助詞句が他の項の述語と見なせない場合、PP-CMPLとラベル付けされる。(助詞句が述語と見なせるケースについては15.5節を参照)。

(178) 英雄を襲うのは、黒々とした死の闇である。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)

(PP-OB1 (NP (N 英雄))

(P-ROLE を))

(VB 襲う))

(N の))

(P-OPTR は)
 (PU 、)
 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADVP-CMPL (ADV 黒々)
 (AX と))
 (VB し)
 (AX た))
 (PP (NP (N 死))
 (P-ROLE の))
 (N 闇))
 (AX で)
 (VB2 ある)
 (PU 。))
 (ID 19_book_excerpt-52))

(179) 一体支那人はいざとなると、覚悟が好い。

((IP-MAT (ADVP (ADV 一体))
 (PP-SBJ (NP (N 支那人))
 (P-OPTR は))
 (PP-SCON-CND (IP-ADV (PP-CMPL (ADVP (ADV いざ))
 (P-ROLE と))
 (VB なる))
 (P-CONN と))
 (PU 、)
 (PP-SBJ2 (NP (N 覚悟))
 (P-ROLE が))
 (ADJI 好い)
 (PU 。))
 (ID 179_aozora_Mori-1912))

「名付ける」や「呼ぶ」といった命名の動詞と共に用いられる助詞「と」は、補文助詞 (P-COMP) として扱われることに注意されたい (14.6.3 節を参照)。

14.2.5 「の」

名詞修飾節の主語 (SBJ) は多くの場合「が」によって表示されるが、「の」がその代わりに使われることがある。

(180) これは、わが社の開発した最新型のワープロです。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{STUFF_898} (PRO これ))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (NP-PRD (IP-REL (NP-OB1 *T*)
 (PP-SBJ (NP;{SPEAKER_899} (NP-POS (PRO わが))
 (N 社))
 (P-ROLE の))
 (VB 開発)
 (VB0 し)
 (AXD た))
 (PP (NP (N 最新型))
 (P-ROLE の))

(N ワープロ))
 (AX です)
 (PU 。))
 (ID 899_textbook_kisonihongo))

(181) 私の知らぬお名前であった。

((IP-MAT (NP-SBJ; {INDUSTRY_POST_SAMPLE_SENDER} *pro*)
 (NP-PRD (IP-REL (NP-OB1 *T*)
 (PP-SBJ (NP; {DAZAI} (PRO 私))
 (P-ROLE の))
 (VB 知ら)
 (NEG ぬ))
 (N お名前))
 (AX で)
 (VB2 あっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 17_aozora_Dazai-1-1940))

先に述べたとおり、「が」は第一目的語 (OB1) の表示にも用いられる (14.2.1 節を参照)。名詞修飾節では、このような第一目的語を表示する「が」に代わって、「の」が使われることもある。

(182) 高価な物品を購うことのできない者たちは、草鞋を作っている。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP-OB1 (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ
 T)
 (ADJN
 高価)
 (AX
 な))
 (N 物品))
 (P-ROLE を))
 (VB 購う))
 (N こと))
 (P-ROLE の))
 (VB でき)
 (NEG ない))
 (N 者たち))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (N 草鞋))
 (P-ROLE を))
 (VB 作っ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (PU 。))
 (ID 44_aozora_Hayashida-2015))

14.2.6 論理的主語 (LGS) を表示する格助詞

直接受動文における論理的主語 (LGS) を表示する最も一般的な格助詞は「に」である (例 (47) を参照)。コーパスには他にも、格助詞「によって」「により」「から」「より」「で」等の助詞によって論理的主語が表示された例が見られる。

(183) 東大寺は745年に聖武天皇によって建てられた。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 東大寺))
                    (P-OPTR は))
  (PP (NP (NUMCLP (NUM 745)
                  (CL 年)))
    (P-ROLE に))
  (PP-LGS (NP (NPR 聖武天皇))
    (P-ROLE によって))
  (VB 建て)
  (PASS られ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 138_textbook_purple_intermediate))
```

(184) 本山は、足利義満により建立された京都の相国寺。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 本山))
                    (P-OPTR は))
  (PU 、)
  (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
    (PP-LGS (NP (NPR 足利義満))
      (P-ROLE により))
    (VB 建立)
    (VB0 さ)
    (PASS れ)
    (AXD た))
  (PP (NP (NPR 京都))
    (P-ROLE の))
  (NPR 相国寺))
  (AX *)
  (PU 。))
(ID 113_wikipedia_KYOTO_2))
```

(185) ワシントンの桜は、1912年に日本から贈られました。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (NPR ワシントン))
                          (P-ROLE の))
                        (N 桜))
          (P-OPTR は))
  (PU 、)
  (PP (NP (NUMCLP (NUM 1912)
                  (CL 年)))
    (P-ROLE に))
  (PP-LGS (NP (NPR 日本))
    (P-ROLE から))
  (VB 贈ら)
```

(PASS れ)
(AX まし)
(AXD た)
(PU 。))

(ID 142_textbook_purple_intermediate))

(186) 質疑を終わりましたところ、日本共産党を代表して西山委員より修正案が提出されました。

((IP-MAT (NP-ADV (IP-EMB (NP-SBJ *speaker+pro*)
(PP-OB1 (NP (N 質疑))
(P-ROLE を))
(VB 終わり)
(AX まし)
(AXD た))
(N ところ))
(PU 、)
(IP-ADV-SCON (PP-OB1 (NP (NPR 日本共産党))
(P-ROLE を))
(VB 代表)
(VB0 し)
(P-CONN て))
(PP-LGS (NP (N 西山委員))
(P-ROLE より))
(PP-SBJ (NP (N 修正案))
(P-ROLE が))
(VB 提出)
(VB0 さ)
(PASS れ)
(AX まし)
(AXD た)
(PU 。))

(ID 149_diet_kaigiroku-17))

(187) ああ、この土地の南も北も、皆敵で埋め尽くされている

((IP-MAT (INTJ ああ)
(PU 、)
(NP-SBJ (PP (NP (D この)
(N 土地))
(P-ROLE の))
(NML (CONJP (NP (N 南))
(P-CONN も))
(NP (N 北))
(P-CONN も)))
(PU 、)
(NP;*SBJ* (Q 皆))
(PP-LGS (NP (N 敵))
(P-ROLE で))
(VB 埋め)
(VB2 尽くさ)
(PASS れ)

(P-CONN て)
 (VB2 いる))
 (ID 356_aozora_Hayashida-2015))

14.2.7 被使役者 (CZZ) を表示する格助詞

使役文における被使役者 (CZZ) を表示する最も一般的な格助詞は「に」および「を」である (例 (188) および (189) を参照)。コーパスには他にも、格助詞「から」「において」「に対し」「に対して」「について」「へ」「をして」等の助詞によって被使役者が表示された例が見られる。

(188) これは神の子たちが人の娘たちのところにはいって、娘たちに産ませたものである。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO これ))
 (P-OPTR は))
 (NP-PRD (IP-REL (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 神))
 (P-ROLE の))
 (N 子たち))
 (P-ROLE が))
 (IP-ADV-CONJ (PP (NP (PP (NP (PP (NP (N 人))
 (P-ROLE の))
 (N 娘たち))
 (P-ROLE の))
 (N ところ))
 (P-ROLE に))
 (VB はいっ)
 (P-CONN て))
 (PU 、)
 (PP-CZZ (NP (N 娘たち))
 (P-ROLE に))
 (NP-OB1 *T*))
 (VB 産ま)
 (VB2 せ)
 (AXD た))
 (N もの))
 (AX で)
 (VB2 ある)
 (PU 。))
 (ID 163_bible_ot))

(189) わたしは、その人々を終りの日によみがえらせるであろう。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO わたし))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-CZZ (NP; {PEOPLE} (D その)
 (N 人々))
 (P-ROLE を))
 (PP (NP (PP (NP (N 終り))
 (P-ROLE の))
 (N 日))

(P-ROLE に)
 (VB よみがえら)
 (VB2 せる)
 (MD であろう)
 (PU 。))
 (ID 468_bible_nt))

(190) 独裁者が部族に対しその降伏条件に無理矢理同意させた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 独裁者))
 (P-ROLE が))
 (PP-CZZ (NP (N 部族))
 (P-ROLE に対し))
 (PP (NP (D その)
 (N 降伏条件))
 (P-ROLE に))
 (ADVP (ADV 無理矢理))
 (VB 同意)
 (VB0 さ)
 (VB2 せ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 298_textbook_TANAKA))

(191) しかるに女子解放運動は、女子をしてその母性を失わしめるから宜《よろし》くない。

((IP-MAT; {CRITICISING_WOMENS_EMANCIPATION_MOVEMENT_2} (CONJ しかるに)
 (PP-SBJ (NP; {WOMENS_EMANCIPATION_MOVEMENT_2} (N 女子解放運動))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-SCON (IP-ADV (PP-CZZ (NP; {WOMEN} (N 女子))
 (P-ROLE を)
 (P-ROLE して))
 (PP-OB1 (NP; {MATERNITY} (D; {WOMEN} その)
 (P-ROLE 母性))
 (P-ROLE を))
 (VB 失わ)
 (VB2 しめる))
 (P-CONN か
 ら))
 (ADJI 宜《よろし》く)
 (NEG ない)

(ID 66_aozora_Yosano-1921))

14.2.8 第二目的語 (OB2) を表示する格助詞

授受動詞等多くの三項述語で、第二目的語は格助詞「に」によって示される (14.2.3 を参照)。加えて、第二目的語を表示するために用いられている格助詞として、本コーパスでは現在のところ、「から」「に対し」「に対して」が見つかっている。

(192) その家は我々から光を奪った。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D その)
(N 家))
(P-OPTR は))
(PP-OB2 (NP (PRO 我々))
(P-ROLE から))
(PP-OB1 (NP (N 光))
(P-ROLE を))
(VB 奪っ)
(AXD た)
(PU。))
(ID 756_textbook_TANAKA))

(193) なお、本件に対し附帯決議が付されております。

((IP-MAT (CONJ なお)
(PU、)
(NP-LGS *pro*)
(PP-OB2 (NP (N 本件))
(P-ROLE に対し))
(PP-SBJ (NP (N 附帯決議))
(P-ROLE が))
(VB 付さ)
(PASS れ)
(P-CONN て)
(VB2 おり)
(AX ます)
(PU。))
(ID 36_diet_kaigiroku-17))

14.2.9 主語 (SBJ) および第一目的語 (OB1) を表示するその他の格助詞

主語や第一目的語の表示には、「が」や「を」のような典型的なもの以外の格助詞が用いられることがある。以下に、主語を表示する格助詞、第一目的語を表示する格助詞の順に現在のコーパスから得られるリストを挙げておく。

- 主語を表示する格助詞：が、の、に、から、より、で、からして、といたしまして、として、において、におかれまして、について、につきまして、によって/に由って、により
- 第一目的語を表示する格助詞：を、が、に、と、で、へ、において、について、につきまして、によって、により、に対し、に対して、をして、をば、をもって/を以て

以下は「から」および「で」が主語 (SBJ) を表示した例である。

(194) 鈴木さんにはあなたから伝えて下さい。

```
( (CP-IMP (IP-SUB (NP-OB1;{MATTER_218} *pro*)
      (PP-OB2 (NP;{SUZUKI_218} (NPR 鈴木さん))
        (P-ROLE に)
        (P-OPTR は))
      (PP-SBJ (NP;{HEARER} (PRO あなた))
        (P-ROLE から))
      (VB 伝え)
      (P-CONN て)
      (VB2 下さい))
  (PU 。))
(ID 218_textbook_kisonihongo))
```

(195) 後は私達でやります。

```
( (IP-MAT (PP-TMP (NP (N 後))
      (P-OPTR は))
  (PP-SBJ (NP;{SPEAKER_MEN_237} (PRO 私達))
    (P-ROLE で))
  (VB やり)
  (AX ます)
  (PU 。))
(ID 237_textbook_kisonihongo))
```

以下は「で」および「について」が第一目的語 (OB1) を表示した例である。

(196) 彼の人生は困難でいっぱいです。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (PRO 彼))
      (P-ROLE の))
      (N 人生))
      (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (NP (N 困難))
    (P-ROLE で))
  (ADJN いっぱい)
  (AX です)
  (PU 。))
(ID 814_textbook_TANAKA))
```

(197) 私はその問題についてじっくり考えた。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
      (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (NP (D その)
      (N 問題))
    (P-ROLE について))
  (ADVP (ADV じっくり))
  (VB 考え)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 170_textbook_TANAKA))
```


14.3 任意文法役割を示す格助詞 (P-ROLE) : の, に, へ, で, から, まで, と, 等

助詞句の中の何を任意的なものとするかという判断は助詞を根拠にして行うだけではなく、述語との関係を見なければならない。方向を表す「まで」(あるいは文脈によっては「に」)は移動を表す基本的な動詞である「行く」にとっては任意的であるかもしれない。しかし、「到着する」や「来る」のような動詞については、終点が解釈上必須で、そのためにアノテータは「在来線がとうとう村まで来た」における「まで」を PP-OB1 を投射するものとして扱う、といったこともありうる。また、「へ」も「行く」にとっては任意的かもしれない(以下の(200)のように)。しかし、「向かう」のような述語にとっては主要文法役割をもつ項をマークするものと扱えるかもしれない。基本動詞の項構造を取り決めたリストがあれば、このような細かな点の多くを解決することができるであろうが、そのようなものが存在しないため、アノテータはこのような問題について細やかに対応することが求められる。

格助詞 (P-ROLE) はそれ自身が文法役割に関する情報を明らかにすることがあるかもしれないが、その役割をより詳しくアノテートすることは、とりわけ助詞が「に」のように多義的なものである場合に役に立つ。例えば以下の(198)には「に」を伴う助詞句が2つあり、一方は時間的な位置を、もう一方は空間的な位置を示している。これらの情報は拡張タグ -TMP と -LOC を付加することによって特定することができる。

- 特定の時点および場所情報を表示する「に」

(198) 1997年には仙台市泉区にホームスタジアムである仙台スタジアムが建設された。

```
( (IP-MAT (NP-LGS *pro*)
  (PP-TMP (NP (NUMCLP (NUM 1997)
                    (CL 年)))
    (P-ROLE に)
    (P-OPTR は))
  (PP-LOC (NP (NPR 仙台市泉区)
    (P-ROLE に))
  (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                    (NP-PRD (N ホームスタジアム))
                    (AX で)
                    (VB2 ある))
    (NPR 仙台スタジアム))
    (P-ROLE が))
  (VB 建設)
  (VB0 さ)
  (PASS れ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 194_wikipedia_Sendai_City))
```

「に」は上記のような時や場所を表示するほかに、移動の着点(例:山に登る)、変化の結果(例:日本語に翻訳する)、移動の目的(例:釣りに出かける)、原因(例:酒に酔う、合格に喜ぶ)、割合(例:一日に三度ご飯を食べる)、等がある(以上、益岡・田窪 1992, 日本語記述文法研究会 2009 を参考にした)。このうち、移動の目的を示す例については、以下のように、助詞句のラベルとして PP-PRP を与えるものとする。移動の目的は「に」を伴う節によって示されることも多いが、この場合のアノテーションについては、24.15 節を参照されたい。

(199) 彼女のお母さんは買い物に行きました。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (PRO 彼女))
(P-ROLE の))
(N お母さん))
(P-OPTR は))
(PP-PRP (NP (N 買い物))
(P-ROLE に))
(VB 行き)
(AX まし)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 237_textbook_TANAKA))

以上のような拡張タグの付与は、アノテータが個別に判断して行う必要があり、非常な労力を伴うため、現在のコーパスでは網羅的にはなされていない。以下の任意文法役割を表示する助詞句の例では、このような拡張タグはアノテーションされていない。

- 移動の方向を示す「へ」

(200) 次の日、ツバメは波止場へ行きました。

((IP-MAT (NP-TMP (PP (NP (N 次))
(P-ROLE の))
(N 日))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (N ツバメ))
(P-OPTR は))
(PP (NP (N 波止場))
(P-ROLE へ))
(VB 行き)
(AX まし)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 205_aozora_Yuki-1-2000))

- 原因を表示する「で」

(201) 爺さんは酒の加減でなかなか赤くなっている。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 爺さん))
(P-OPTR は))
(PP (NP (PP (NP (N 酒))
(P-ROLE の))
(N 加減))
(P-ROLE で))
(IP-SMC-OB1 (ADVP (ADV なかなか))
(ADJI 赤く))
(VB なっ)
(P-CONN て)
(VB2 いる)
(PU 。))
(ID 234_aozora_Natsume-1908))

- 始点を示す「から」および終点を示す「まで」

(202) ITELは1988年から1992年までAPCOMを所有していた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{ORG} (NPR ITEL))
(P-OPTR は))
(PP (NP (NUMCLP (NUM 1988)
(CL 年)))
(P-ROLE から))
(PP (NP (NUMCLP (NUM 1992)
(CL 年)))
(P-ROLE まで))
(PP-OB1 (NP;{ORG} (NPR APCOM))
(P-ROLE を))
(VB 所有)
(VB0 し)
(P-CONN て)
(VB2 い)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 1778_misc_JSeM_beta_150530))

- 共同動作者を示す「と」

(203) 私はアンディーと一緒にパーティーに行きました。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
(P-OPTR は))
(PP (NP (NPR アンディー))
(P-ROLE と))
(ADVP (ADJN 一緒)
(AX に))
(PP (NP (N パーティー))
(P-ROLE に))
(VB 行き)
(AX まし)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 329_textbook_djg_basic))

共同動作者を示す「と」は、共起する述語によっては、第一または第二目的語として扱われることに注意されたい (14.2.4 節を参照)。

助詞「の」の例で最も多く見られるのは「属格」、つまり、ある名詞句ともうひとつの名詞句 (主要部) を関係 (所有者・所有物, 全体・部分, 集合・要素, 等) づける用法である。

(204) 私の心は、不安と期待に掻き乱れた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (PRO 私))
(P-ROLE の))
(N 心))
(P-OPTR は))
(PU 、)
(PP (NP (CONJP (NP (N 不安))
(P-CONN と))
(NP (N 期待)))
(P-ROLE に))
(VB 掻き乱れ)

(AXD た)
 (PU .))
 (ID 710_dict_vv-lexicon))

(205) 日本語の勉強の時間

((FRAG (NP (PP (NP (PP (NP (N 日本語))
 (P-ROLE の))
 (N 勉強))
 (P-ROLE の))
 (N 時間)))
 (ID 4_misc_EXAMPLE))

主要部名詞句が動作を表すとき、「の」の投射する助詞句が上記の例の主語や目的語と同じ意味役割を表すことがある。例えば、以下の(206)と(207)において、「の」でマークされた助詞句はそれぞれ、「決定」の対象(theme)および動作主(agent)を表す。しかし、これらは述語の項ではないので、文法役割の情報が与えられることはない。

(206) どれを優先するかは、今後の課題だ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ;{MAN_1214} *pro*)
 (PP-OB1 (NP (WPRO どれ))
 (P-ROLE を))
 (VB 優先)
 (VB0 する))
 (P-FINAL か))
 (P-ROLE の))
 (N 決定))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (NP-PRD (PP (NP (N 今後))
 (P-ROLE の))
 (N 課題))
 (AX だ)
 (PU 。))
 (ID 1214_textbook_kisonihongo))

(207) 4内閣総理大臣は、前項の規定による閣議の決定があったときは、遅滞なく、基本方針を公表しなければならない。

((IP-MAT (LST (LS 4))
 (PP-SBJ (NP (N 内閣総理大臣))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-TMP (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (PP (NP (PP (NP (N 前項))
 (P-ROLE の))
 (N 規定))
 (P-ROLE による))
 (PP (NP (N 閣議))
 (P-ROLE の))
 (N 決定))
 (P-ROLE が))
 (VB あっ))

(AXD た))
 (N とき))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (IP-ADV-SCON (NP-SBJ (N 遅滞))
 (ADJI なく))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (N 基本方針))
 (P-ROLE を))
 (VB 公表)
 (VB0 し)
 (NEG なけれ)
 (P-CONN ば)
 (VB2 なら)
 (NEG ない)
 (PU 。))
 (ID 49_law_h15A119))

「の」という形式は、コンピュータの連体形として現れることもあるので注意が必要である(15.12.1 節を参照)。

任意文法役割を表示する格助詞は上記以外にも多くのものがある。その多くは、いくつかの語が連語となって単一の助詞を作る「複合助詞」である(複合助詞については14.1 節を参照)。

14.4 非節的要素の等位接続に現れる接続助詞 (P-CONN)

2つ以上の名詞句 (NP) や助詞句 (PP), 副詞句 (ADVP), 補部節 (CP-THT) 等を接続することで形成された等位接続構造では、要素間に助詞(接続助詞-P-CONN)が現れることが多い。このような接続助詞は接続詞句 (CONJP) を投射するものとしてアノテートされる。このタイプの等位接続を、(CP は節ではあるが) 非節的要素の等位接続と呼ぶことにする。

- 2つの NP を結びつける接続助詞「と」の例:

(208) 鈴木さんと高津さんが協議した。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (CONJP (NP; {SUZUKI_317} (NPR 鈴木さん))
 (P-CONN と))
 (NP; {SUZUKI_317} (NPR 高津さん)))
 (P-ROLE が))
 (VB 協議)
 (VB0 し)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 317_textbook_kisonihongo))

- 3つの NP を結びつける接続助詞「か」の例:

(209) スミスかジョーンズかアンダーソンが契約書にサインした。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (CONJP (NP (NPR スミス))
 (P-CONN か))
 (CONJP (NP (NPR ジョーンズ))

(P-CONN か))
 (NP (NPR アンダーソン))
 (P-ROLE が))
 (PP (NP (N 契約書))
 (P-ROLE に))
 (VB サイン)
 (VB0 し)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 964_misc_JSeM_beta_150530))

- 2つの NP を結びつける接続助詞「や」の例:

(210) 机や椅子を並べて下さい。
 ((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (PP-OB1 (NP (CONJP (NP (N 机))
 (P-CONN や))
 (NP (N 椅子)))
 (P-ROLE を))
 (VB 並べ)
 (P-CONN て)
 (VB2 下さい))
 (PU 。))
 (ID 894_textbook_kisonihongo))

- 2つの PP を結びつける接続助詞「も」の例:

(211) 捕り方衆の叫び声があっちからもこっちからも聞こえて来る。
 ((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 捕り方衆))
 (P-ROLE の))
 (N 叫び声))
 (P-ROLE が))
 (PP (CONJP (PP (NP (PRO あっち))
 (P-ROLE から))
 (P-CONN も))
 (PP (NP (PRO こっち))
 (P-ROLE から))
 (P-CONN も))
 (VB 聞こえ)
 (P-CONN て)
 (VB2 来る)
 (PU 。))
 (ID 5_aozora_Kunieda-1925))

- 2つの CP-THT を結びつける接続助詞「も」の例:

(212) しかし運慶の方では不思議とも奇体ともとんと感じ得ない様子で一生懸命に彫っている。

((IP-MAT (CONJ しかし)
 (PP-SBJ (NP (PP (NP (NPR 運慶))
 (P-ROLE の))
 (N 方))
 (P-ROLE で)
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-SCON (NP-PRD (IP-EMB (CP-THT-OB1 (CONJP (CP-THT (IP-SUB
 (NP-SBJ *pro*)) (ADJN
 不思議)) (P-COMP
 と)) (P-CONN も))
 (CP-THT (IP-SUB (NP-SBJ
 pro)) (ADJN
 奇体)) (P-COMP と))
 (P-CONN も))
 (ADVP (ADV とんと))
 (VB 感じ)
 (VB2 得)
 (NEG ない))
 (N 様子))
 (AX で))
 (NP-OB1 *pro*))
 (ADVP (ADJN 一生懸命)
 (AX に))
 (VB 彫っ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (PU 。))

(ID 372_aozora_Natsume-1908))

また、上記の接続助詞と同じ位置にはさまざまな接続詞 (CONJ) が現れうる。

- 以下は、接続詞「あるいは」が2つの NP を結びつけている例である。

(213) 近代以降は女子あるいは成人女性が舞う場合も多い。

((IP-MAT (PP-TMP (NP (N 近代以降))
 (P-OPTR は))
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-OB1 *pro*))
 (PP-SBJ (NP (CONJP (NP (N 女子))
 (CONJ あるいは))
 (NP (N 成人女性))))
 (P-ROLE が))
 (VB 舞う))
 (N 場合))
 (P-OPTR も))
 (ADJI 多い)
 (PU 。))

(ID 78_wikipedia_KYOTO_12))

- 以下は、接続詞「かつ」が2つのADVPを結びつけている例である。

(214) 外国語は、楽しく、かつ効果的に勉強したい。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *arb*)
  (PP-OB1 (NP (N 外国語))
    (P-OPTR は))
  (PU 、)
  (ADVP (CONJP (ADVP (ADJI 楽しく))
    (PU 、)
    (CONJ かつ))
  (ADVP (ADJN 効果的)
    (AX に)))
  (VB 勉強)
  (VB0 し)
  (AX たい)
  (PU 。))
```

(ID 193_textbook_djg_advanced))

非節的要素の等位接続構造のアノテーション方法の詳細は、18節を参照されたい。

14.5 節連結に現れる接続助詞 (P-CONN)

同一（あるいは類似した）タイプの節を連結することで、さまざまな種類の構造が生じうる。副詞節に関しては従属接続あるいは等位接続という接続があり、主名詞を共有する複数の名詞修飾節に関しては単純な並列となる（後者については16.5.1節を参照）。

節連結の環境における接続助詞 (P-CONN) には副詞節 (IP-ADV) を補部とし、助詞句 (PP) を投射するものと、副詞節の述部に後続する形で副詞節 (IP-ADV) の下に置かれるものがある。前者の場合は、IP-ADV が従属節であれば SCON が、等位節であれば CONJ が PP に拡張タグとして加えられ、PP-SCON, PP-CONJ のようになる (PP-SCON には、従属節が条件を表す場合、拡張タグ CND がさらに加えられ、PP-SCON-CND のようになる)。後者の場合、拡張タグは IP-ADV に加えられ、IP-ADV-SCON, IP-ADV-CONJ のようになる (従属節が条件を表す場合、拡張タグ CND がさらに加えられ、IP-ADV-SCON-CND のようになる)。以下では、このような節連結に現れる接続助詞について述べる。なお、副詞節に付随するコントロール関係に関する議論については 12.1 節を、従属節と等位節の区別については 10.4.3 節を参照されたい。

14.5.1 条件を表す従属節に現れる接続助詞 (P-CONN)

接続助詞 (P-CONN) によって導かれる副詞節 (IP-ADV) が従属節であり、また条件を表すとき、接続助詞の投射する助詞句は、PP-SCON-CND とラベル付けされる。

- 以下の例では「と」が条件節を導いている。

(215) 試験があまり難しいと、合格者は出ないだろう。

```
( (IP-MAT (PP-SCON-CND (IP-ADV (PP-SBJ (NP (N 試験))
  (P-ROLE が))
  (ADVP (ADV あまり))
  (ADJI 難しい))
  (P-CONN と))
  (PU 、)
  (PP-SBJ (NP (N 合格者)))
```


(P-OPTR は)
 (VB 出)
 (NEG ない)
 (MD だろう)
 (PU 。))
 (ID 100_textbook_kisonihongo))

ただし、上記の接続助詞が常に条件節を導くわけではないので注意が必要である。例えば、次の例における「と」は従属節を導いているが、それが条件を表しているわけではない。

(216) 太郎がギターを弾くと春子が歌った。

((IP-MAT (PP-SCON (IP-ADV (PP-SBJ (NP (NPR 太郎))
 (P-ROLE が))
 (PP-OB1 (NP (N ギター))
 (P-ROLE を))
 (VB 弾く))
 (P-CONN と))
 (PP-SBJ (NP (NPR 春子))
 (P-ROLE が))
 (VB 歌っ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 3_misc_TOPTEN))

また、以下のように、(P-CONN と) が等位節を導く例もある。

(217) あの教授は学生が分かろうと分かるまいとかまわず授業を進めていく。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D あの)
 (N 教授))
 (P-OPTR は))
 (PP-SCON-CND (IP-ADV (PP-SBJ (NP (N 学生))
 (P-ROLE が))
 (PP-CONJ (IP-ADV (VB 分かる)
 (AX う))
 (P-CONN と))
 (VB 分かる)
 (NEG まい))
 (P-CONN と))
 (IP-ADV-SCON (NP-OB1 *pro*))
 (VB かまわ)
 (NEG ず))
 (PP-OB1 (NP (N 授業))
 (P-ROLE を))
 (VB 進め)
 (P-CONN て)
 (VB2 いく)
 (PU 。))
 (ID 639_textbook_djg_advanced))

「と」はまた、非節的要素の等位接続に現れる接続助詞 (P-CONN) として用いられたり、文法役割を表示する格助詞 (P-ROLE) として用いられたり、補部節を導く補文助詞 (P-COMP) として用いられたりもする。

「接続助詞 (P-CONN)」は、実際の形態的な特性として接尾辞に相当すると考えられる場合には、副詞節 (IP-ADV) の終末部に置かれる。その際、拡張タグは IP-ADV に加えられる。この種の接続助詞のうち、条件を表すものとして以下が挙げられる。

たら, だら, ば, たって, て, ちゃ

- 以下は「たら」を伴った条件節の例である。

(218) だって携帯の会社変えたらアドレスとか全部変わるもんね。

```
( (CP-FINAL (IP-SUB (CONJ だって)
    (IP-ADV-SCON-CND (NP-SBJ *arb*)
        (NP-OB1 (PP (NP (N 携帯))
            (P-ROLE の))
            (N 会社))
        (VB 変え)
        (P-CONN たら))
    (PP-SBJ (NP (N アドレス))
        (P-OPTR とか))
    (NP;*SBJ* (Q 全部))
    (VB 変わる))
    (P-FINAL もん)
    (P-FINAL ね)
    (PU 。))
(ID 89_misc_KNB))
```

- 以下は「ば」を伴った条件節の例である。

(219) まっすぐに王城に行き着けば、それでよいのだ。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
    (IP-ADV-SCON-CND (ADVP (ADJN まっすぐ)
        (AX に))
        (PP (NP (N 王城))
            (P-ROLE に))
        (VB 行き着け)
        (P-CONN ば))
    (PU 、)
    (PP (NP (PRO それ))
        (P-ROLE で))
    (ADJI よい)
    (FN の)
    (AX だ)
    (PU 。))
(ID 198_aozora_Dazai-2-1940))
```

- 以下は動詞の「テ形」に、とりたて助詞 (P-OPTR) 「も」が後続して、条件節を作った例である。この場合、とりたて助詞は助詞句 (PP) を投射し、拡張タグ SCON-CND は PP に加えられることに注意されたい。

(122) ビールはよく冷えていても飲みたくない。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ;{SPEAKER_26} *speaker*)
  (PP-OB1 (NP (N ビール))
    (P-OPTR は))
  (PP-SCON-CND (IP-ADV (ADVP (ADJI よく))
    (VB 冷え)
    (P-CONN て)
    (VB2 い)
    (P-CONN て))
    (P-OPTR も))
  (VB 飲み)
  (AX たく)
  (NEG ない)
  (PU 。))
(ID 26_misc_EXAMPLE))
```

上記のリストに挙げた接続助詞には、条件節を作る用法のほかに、条件節ではない従属節用法（拡張タグ **SCON** のみが付加される）、さらに接続助詞ではない助詞としての用法もあることに注意されたい。例えば、(221)の「たら」の導く節は従属節ではあるが、条件を表しているわけではない。

(221) 奇体だと思っていましたら、また腹かけから何か出しました。

```
( (IP-MAT (IP-ADV-SCON (NP-SBJ *pro*)
  (CP-THT-OB1 (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
    (ADJN 奇体)
    (AX だ))
    (P-COMP と))
  (VB 思っ)
  (P-CONN て)
  (VB2 い)
  (AX まし)
  (P-CONN たら))
  (PU 、)
  (NP-SBJ *pro*)
  (ADVP (ADV また))
  (PP (NP (N 腹かけ))
    (P-ROLE から))
  (NP-OB1 (WPRO 何)
    (P-OPTR か))
  (VB 出し)
  (AX まし)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 773_aozora_Miyazawa-1934))
```

接続助詞「ば」も条件を表さない場合がある。以下は「ば」の導く節が等位節の例である。

(222) 漆も塗ってなければ磨きもかけてない。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *arg*)
  (NP-OB2 *pro*)
  (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (N 漆))
    (P-OPTR も))
  (VB 塗っ)
```

```

(VB2 て)
(NEG なけれ)
(P-CONN ば))
(PP-OB1 (NP (N 磨き))
(P-OPTR も))
(VB かけ)
(VB2 て)
(NEG ない)
(PU 。))
(ID 292_aozora_Natsume-1908))

```

14.5.2 条件以外の意味を持つ従属節に現れる接続助詞 (P-CONN)

条件を表す従属節以外にも、従属節は譲歩、逆説、目的、原因、根拠、理由、付加、選択肢、同時や先行といった時間的關係等多様な意味を表す。接尾辞とされない助詞を伴う場合、このような従属節 (IP-ADV) は、拡張タグ SCON をもつ助詞句 (PP) における補部となる。

- 以下は、「けれども」が従属節を導き、拡張タグ SCON を伴った例である：

(223) この論文は2度読んでみたけれども、理解できなかった。

```

( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
(PP-OB1 (NP;{PAPER_1171} (D この)
(N 論文))
(P-OPTR は))
(PP-SCON (IP-ADV (NP-SBJ *speaker*)
(NP-OB1;{PAPER_1171} *pro*)
(NP-MSR (NUMCLP (NUM 2)
(CL 度)))
(VB 読ん)
(P-CONN で)
(VB2 み)
(AXD た))
(P-CONN けれども))
(PU 、)
(VB 理解)
(VB0 でき)
(NEG なかつ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 1171_textbook_kisonihongo))

```

- 以下の例は「から」の導く従属節が理由を表している：

(224) 用事がありますから、失礼します。

```

( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
(PP-SCON (IP-ADV (NP-SBJ *speaker*)
(PP-OB1 (NP (N 用事))
(P-ROLE が))
(VB あり)

```

(AX ます))
 (P-CONN から))
 (PU 、)
 (VB 失礼)
 (VB0 し)
 (AX ます)
 (PU 。))
 (ID 1134_textbook_kisonihongo))

- 以下のように、「テ形」に後続した「から」は時間的先行を表す：

(225) 毎朝ご飯を食べてから、コーヒーを飲みます。

((IP-MAT (NP-SBJ; {SPEAKER_5} *speaker*)
 (NP-TMP (Q 毎朝))
 (PP-SCON (IP-ADV (PP-OB1 (NP (N ご飯))
 (P-ROLE を))
 (VB 食べ)
 (P-CONN て))
 (P-CONN から))
 (PU ,)
 (PP-OB1 (NP (N コーヒー))
 (P-ROLE を))
 (VB 飲み)
 (AX ます)
 (PU 。))
 (ID 5_misc_EXAMPLE))

- 以下は理由を表す従属節を導く「ので」の例である：

(226) この薬はにがくないので、飲みやすいです。

((IP-MAT (NP-SBJ; {MAN_6} *pro*)
 (PP-SCON (IP-ADV (PP-SBJ (NP; {DRUG_6} (D この)
 (N 薬))
 (P-OPTR は))
 (ADJI にがく)
 (NEG ない))
 (P-CONN ので))
 (PU ,)
 (NP-OB1; {DRUG_6} *pro*)
 (VB 飲み)
 (AX やすい)
 (AX です)
 (PU 。))
 (ID 6_misc_EXAMPLE))

「ながら」、「たら/だら」、「て/で」は時間的關係（同時や先行）や原因・根拠・理由を表す副詞節を形成することがある。これらの接続助詞は IP-ADV の外（直後）ではなくその下に置かれる。その場合、拡張タグ SCON は IP-ADV に加えられる。以下は同時性を表す接続助詞「ながら」の例である。

(227) 太郎がギターを弾きながら歌った。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 太郎))
                    (P-ROLE が))
  (IP-ADV-SCON (PP-OB1 (NP (N ギター))
                       (P-ROLE を))
               (VB 弾き)
               (P-CONN ながら))
  (VB 歌っ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 22_misc_TOPTEN))
```

14.5.3 IP の等位接続に現れる接続助詞 (P-CONN)

節連結のもう1つのタイプに、IP の等位接続がある。IP の等位接続では、前件となるPP (接続助詞が IP-ADV の下に置かれる場合は、IP-ADV) に拡張タグ CONJ を付ける。等位節が2つ以上あるときには、従属節のときとは異なり、等位節はそれぞれ直後の節の下に置かれるものとする。しかしながら、意味解釈においては等位節はすべて同一の構造的レベルに存在するものとして扱われる。この構文における、空所と同一指示となる先行詞に課される条件については13節を参照のこと。

等位節を導く接続助詞には次のようなものがある。

が、けれども、けども、し、とともに/と共に、ども、やら、わ、

等位節を導く助詞と従属節を導く助詞には重複がある。等位節にしか使われない接続助詞はわずかしかない。ある節が後続の節から独立し、埋め込まれていないかどうかということは、文全体の意味および、節と節がどんなパターンで項を共有しうるか、という2つの点で決定する。詳しくは10.4.3節を参照。下の例では、最初の節に接続助詞「が」続いている。両方の節の主語項が同一の先行詞(ここでは、最左端のATB位置のゼロ代名詞)を取ることに注意。

(228) 前回は民主党の推薦を受け大勝したが、今回は市民党の立場で戦う。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
  (PP-CONJ (IP-ADV (PP-TMP (NP (N 前回))
                            (P-OPTR は))
              (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (PP (NP;{ORG}) (NPR 民
主党))
                                  (P-ROLE の))
                              (N 推薦))
                          (P-ROLE を))
              (VB 受け))
  (VB 大勝)
  (VB0 し)
  (AXD た))
  (P-CONN が))
  (PU 、)
  (PP-TMP (NP (N 今回))
          (P-OPTR は))
  (PP (NP (PP (NP (N 市民党))
               (P-ROLE の))
        (N 立場))
      (P-ROLE で))
  (VB 戦う))
```

(PU 。))
(ID 135_news_KAHOKU_28))

等位接続の前件末尾の「て/で」、「たり/だり」、「たら/だら」、「ば」、「たって」は IP-ADV の外ではなく、その下に置かれる。拡張タグ -CONJ は IP-ADV に加えられる。以下の例では、等位節の間にゼロ代名詞の主語の他に三つの構成素が共有されている。

(229) 公園では肩掛け送風機で落ち葉を吹き寄せて一箇所に集めている。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP (NP (N 公園))
 (P-ROLE で)
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (N 肩掛け送風機))
 (P-ROLE で))
 (PP-OB1 (NP (N 落ち葉))
 (P-ROLE を))
 (IP-ADV-CONJ (VB 吹き寄せ)
 (P-CONN て))
 (PP (NP (NUMCLP (NUM 一)
 (CL 箇所)))
 (P-ROLE に))
 (VB 集め)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (PU .))
(ID 2724_dict_vv-lexicon))

14.6 補文助詞 (P-COMP) : と, という, 等

「と」や「という」のような補文助詞 (P-COMP) は典型的には、発話、思考、表現、および感覚の内容を述語や名詞の補部として節の形で導入する。補文助詞は、準主節 (IP-SUB)、疑問節 (CP-QUE)、命令節 (IP-IMP)、終助詞節 (CP-FINAL)、感嘆節 (CP-EXL)、間投詞句 (INTJP)、多重文 (multi-sentence)、小節 (IP-SMC)、等、様々な句カテゴリーをその姉妹としてとり、補部節 (CP-THT) を投射する (補部節に対するアノテーションの詳細は 24.17 節を参照されたい)。また、「と」は名詞句 (NP) を姉妹としてとり、命名の動詞のとする補部を投射する。

14.6.1 述語に対する補部節を導く補文助詞 (P-COMP)

述語に対する補部節を導く動詞には次のようなものがある。

って、と、とか、なんて

- 以下は、「と」が動詞「言う」の (平叙文の) 補部節を導く例である。

(230) ジョンは、ビルが自分を傷つけたと言った。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR ジョン))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (CP-THT-OB1 (IP-SUB (PP-SBJ (NP (NPR ビル))
 (P-ROLE が))

```

(P-OB1 (NP (PRO 自分))
(P-ROLE を))
(VB 傷つけ)
(AXD た))
(P-COMP と))
(VB 言っ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 1151_misc_JSeM_beta_150530))

```

14.6.2 名詞に対する補部節を導く補文助詞 (P-COMP)

名詞に対する補部節を導く助詞には次のようなものがある。

いう, って, っていう, という (と云う, と言う), といった (と言った), とかいう (とか言う), とする, との, なんて, なんていう, なんと云う, の

- 以下は、「という」が名詞「意味」に対する補部節を導く例である:

(231) ギリシャ語の忘我 (エクスタシー) は何かの横に立つという意味です

```

( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N ギリシャ語))
(P-ROLE の))
(N 忘我)
(PRN (PUL ( )
(NP (N エクスタシー))
(PUR ) )))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (CP-THT (IP-SUB (NP-SBJ *arb*)
(PP (NP (PP (NP (WPRO 何)
(P-OPTR か))
(P-ROLE の))
(N 横))
(P-ROLE に))
(VB 立つ))
(P-COMP という))
(N 意味))
(AX です))
(ID 35_ted_talk_3))

```

上記のような助詞が疑問節を名詞修飾節として導くこともある。

(232) こんなことを続けてもいいのかという疑問が絶えず私を苦しめた。

```

( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (CP-THT (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
(PP-OB1 (NP; {ACTIVITY_1211}
(D こんな)
(N
こと))
(P-ROLE を))
(VB 続け)
(P-CONN て)
(P-OPTR も)

```



```

(ADJI-MD いい)
(FN の))
(P-FINAL か))
(P-COMP という))
(N 疑問))
(P-ROLE が))
(ADVP (ADV 絶えず))
(PP-OB1 (NP;{SPEAKER_1211} (PRO 私))
(P-ROLE を))
(VB 苦しめ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 1211_textbook_kisonihongo))

```

補文助詞「という」や「って」と同形の助詞が節ではなく名詞句につき、名詞を修飾する場合、その助詞は P-ROLE とラベル付けされ、助詞句 (PP) を投射することに注意されたい。

(233) 晩年の政宗は、『酔余口号』という漢詩を残している。

```

( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{MASAMUNE} (PP (NP (N 晩年))
(P-ROLE の))
(NPR 政宗))
(P-OPTR は))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP (PP (NP (PUL 『)
(NPR 酔余口号)
(PUR 』))
(P-ROLE という))
(N 漢詩))
(P-ROLE を))
(VB 残し)
(P-CONN て)
(VB2 いる)
(PU 。))
(ID 194_wikipedia_Datemasamune))

```

14.6.3 命名動詞と共に用いられる補文助詞 (P-COMP) 「と」

「名付ける」や「呼ぶ」といった命名動詞を述語とする構文では、「固有名詞 (あるいは言及 (mention) 用法の語) + P-COMP 「と」」に対して CMPL という拡張タグを与える。

(234) オンラインコミュニティの中に、「伊達 f a n」と名付けた特設ページを設ける。

```

( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
(PP (NP (PP (NP (NPR オンラインコミュニティ))
(P-ROLE の))
(N 中))
(P-ROLE に))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
(NP-SBJ *pro*))

```

(PP-CMPL (NP (PUL 「
(NPR 伊達 f a n)
(PUR 」))
(P-COMP と))
(VB 名付け)
(AXD た))
(N 特設ページ)
(P-ROLE を))
(VB 設ける)
(PU 。))
(ID 49_news_KAHOKU_87))

(235) あらゆる自然災害に備え、暮らしの安全安心を生み出す事業活動を「減災産業」と呼ぶ。

((IP-MAT (NP-SBJ *arb*)
(PP-OB1 (NP (IP-EMB (NP-SBJ *arb*)
(IP-ADV-SCON (PP (NP (D あらゆる)
(N 自然災害))
(P-ROLE に))
(VB 備え))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP (PP (NP (N 暮らし))
(P-ROLE の))
(N 安全安心))
(P-ROLE を))
(VB 生み出す))
(N 事業活動))
(P-ROLE を))
(PP-CMPL (NP (PUL 「
(N 減災産業)
(PUR 」))
(P-COMP と))
(VB 呼ぶ)
(PU 。))
(ID 5_news_KAHOKU_82))

14.7 終助詞 (P-FINAL) : か, ね, よ, 等

主節の終末部には次のような助詞が現れる。これらは、叙述よりも発話行為に関係するものである。

か/かー, かい, かしら, かな/かなあ/かなー/がな, かね, かの, こと, さ/さー/さー, じゃ/ぢや, じゃん, ずら, ぜ, ぞ/ぞオ, ぞい, だい, だって, だと, ぢやあ, ぢやい, つけ, ったら, っちゃ, って/ッて/つてえ, ってば, っと/ッと, で, とも, ど, な/なあ/なあ/なア/なー/ナ, ね/ねえ/ねえ/ねー, ねん, ので/のでー, のに, べ, ぺ, もの/も, や/や/やー/哉, やい, やら, やん, よ/よう/よー/ヨ, わ/わあ/わー, わい

このような終助詞を、準主節 (IP-SUB) を補部として取る CP 投射の主要部としてラベル付けする。CP のタイプは、終助詞と共に起する IP-SUB の組み合わせに応じて、CP-QUE (疑問節), CP-EXL (感嘆節), または CP-FINAL (終助詞節 – 疑問節でも感嘆節でもないもの) のいずれかとされる。

(236) 「この船は西へ行くんですか」

```
( (CP-QUE (PUL 「)
  (IP-SUB (PP-SBJ (NP (D この)
              (N 船))
            (P-OPTR は))
        (PP (NP (N 西))
            (P-ROLE へ))
        (VB 行く)
        (FN ん)
        (AX です))
  (P-FINAL か)
  (PUR 」))
(ID 404_aozora_Natsume-1908))
```

(98) 「ああ、なんと彼を愛しておられたことか」。

```
( (CP-EXL (PUL 「)
  (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
          (INTJ ああ)
          (PU 、)
          (ADVP (WADV なんと))
          (PP-OB1 (NP;{LAZARUS} (PRO 彼))
                 (P-ROLE を))
          (VB 愛し)
          (P-CONN て)
          (VB2 おら)
          (VB2 れ)
          (AXD た))
  (P-FINAL こと)
  (P-FINAL か)
  (PUR 」)
  (PU 。))
(ID 988_bible_nt))
```

(238) それは残念ですね。

```
( (CP-FINAL (IP-SUB (PP-SBJ (NP (PRO それ))
                          (P-OPTR は))
              (ADJN 残念)
              (AX です))
  (P-FINAL ね)
  (PU 。))
(ID 163_aozora_Edogawa-1929))
```

複数の終助詞が現れる文では、すべての終助詞が同じ CP のもとフラットに現れる。

(239) 「多分、あなたは食用豆類をいくつか見つけることができるわよ。

```
( (CP-FINAL (PUL 「)
  (IP-SUB (ADVP (ADV 多分))
          (PU 、)
          (PP-SBJ (NP (PRO あなた))
                 (P-OPTR は))
```

```

      (PP-OB1 (NP (IP-EMB (PP-OB1 (NP (N 食用豆類))
                                   (P-ROLE を))
                                (NP;*OB1* (NUMCLP (WNUM いく)
                                                    (CL つ))
                                             (P-OPTR か))
                                (VB 見つける))
          (N こと))
      (P-ROLE が))
      (VB できる))
      (P-FINAL わ)
      (P-FINAL よ)
      (PU 。))
(ID 164_fiction_DICK-1952))

```

14.8 間投助詞 (P-INTJ)

間投助詞 (P-INTJ) の分布は、呼びかけ句を導入する場合を含め、様々である。以下に間投助詞のリストを示す。

さ/さー、な/なー、ね/ねー、よ

14.9 とりたて助詞 (P-OPTR) : か, しか, は, ばかり, も, 等

とりたて助詞 (副助詞とも呼ばれる) は P-OPTR とラベル付けされる。とりたて助詞はおおよそ構成素を談話領域に関係づける働きをする。例えば、「は」は談話の中でトピックとされるものか、または談話中の他のものと対比される要素を表示する。「も」は肯定文では限られた談話領域に付け加えられるものを表示する。とりたて助詞の分布は比較的自由である。NP, ADVP や IP を導く場合、とりたて助詞は PP を投射する。助詞を主要部とする構成素 (PP 或いは CP-THT が典型的) に続く場合、とりたて助詞はその主要部の助詞の横に置かれる。

このグループに含まれる助詞は以下の通りである:

か, きり, くらい, ぐらい, こそ, ごと, さえ, しか, しも, すら, だけ, だって, って, でも, とか, とも, ともあれ, など, なら, ならば, なんか, なんて, にしてからが, にしても, にせよ, に限って, のみ, は, ばかり, ばかりか, ばかりか, ほど, 程, も, やら

- 以下は時間を表す名詞句と共起したとりたて助詞「は」の例である。

(240) その時は母も笑った。

```

( (IP-MAT (PP-TMP (NP (D その)
                     (N 時))
                  (P-OPTR は))
  (PP-SBJ (NP (N 母))
          (P-OPTR も))
  (VB 笑っ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 538_aozora_Natsume-1908))

```

- 以下は、格助詞「と」と共起したとりたて助詞「も」の例である。ここでは、「も」は疑問代名詞「何」と呼応し、否定のスコープに含まれる。

(241) 子供は何とも云わなかった。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 子供))
                    (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (NP (WPRO 何))
          (P-COMP と)
          (P-OPTR も))
  (VB 云わ)
  (NEG なかつ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 535_aozora_Natsume-1908))
```

- 以下の例では、とりたて助詞「は」の投射する PP に第一目的語 (OB1) の拡張タグが加えられている。また、とりたて助詞「しか」の投射する PP には主語 (SBJ) の拡張タグが加えられている。

(242) 解決策は当事者しか導き出せない。

```
( (IP-MAT (PP-OB1 (NP (N 解決策))
                   (P-OPTR は))
  (PP-SBJ (NP (N 当事者))
          (P-OPTR しか))
  (VB 導き出せ)
  (NEG ない)
  (PU 。))
(ID 86_news_KAHOKU_65))
```

14.9.1 主題助詞句 (PP-TPC)

「は」によって表示された助詞句で、文中での機能が不明なものは通常 PP-TPC とラベル付けされる。

(243) 自分も確にこれは死ぬなと思った。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 自分))
                    (P-OPTR も))
  (CP-THT-OB1 (CP-FINAL (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
                                (ADVP (ADJN 確)
                                       (AX に))
                                (PP-TPC (NP (PRO これ))
                                         (P-OPTR は))
                                (VB 死ぬ))
              (P-FINAL な))
            (P-COMP と))
  (VB 思っ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 10_aozora_Natsume-1908))
```

(244) 帰りは私が先生をお送りします。

((IP-MAT (PP-TPC (NP (N 帰り))
(P-OPTR は))
(PP-SBJ (NP (PRO 私))
(P-ROLE が))
(PP-OB1 (NP (N 先生))
(P-ROLE を))
(VB お送り)
(VB0 し)
(AX ます)
(PU 。))

(ID 773_textbook_purple_intermediate))

ただし、「は」表示の名詞句の文法役割が明確にできる場合には、SBJやTMPのような曖昧性解消のための拡張タグが付加され、TPCが付加されることはない。

(245) 今は国産的なものは安い。

((IP-MAT (PP-TMP (NP (N 今))
(P-OPTR は))
(PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(ADJN 国産的)
(AX な))
(N もの))
(P-OPTR は))
(ADJI 安い)
(PU 。))

(ID 188_aozora_Nomura-19-1950))

また、二重主語構文における1つ目の主語はしばしば助詞「は」を伴うが、これに対してもTPCタグを与えずに、SBJタグを与える。2つ目の主語（しばしば助詞「が」を伴う）に対してはSBJ2を与える。

(246) 彼は財布がすっからかんだ

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 彼))
(P-OPTR は))
(PP-SBJ2 (NP (N 財布))
(P-ROLE が))
(ADJN すっからかん)
(AX だ))

(ID 230_dict_pth_q))

14.10 助詞が節に直接支配される場合

助詞(P)は助詞句(PP)を投射せず、節(IP)に直接支配されることがある。以下、基本的なケースについて述べる。

14.10.1 副詞節(IP-ADV)の終末部に置かれる接続助詞(P-CONN)

14.5.1節、14.5.2節で述べたとおり、接続助詞(P-CONN)に分類される助詞の中でも、実際は形態的に接尾辞に相当するものは、副詞節(IP-ADV)の外ではなくその終末部に置かれる。以下は、そのような接続助詞のリストである。

- て/てー/で/でー (例(122)を参照) ,
- ながら (例(227)を参照) ,

- ば/ばー (例 (219), (222) を参照)
- たら/たらー/だら (例 (218), (221) を参照) ,
- つつ,
- たって/だって,
- たり/だり,
- がてら

接続助詞「つつ」「たって/だって」「たり/だり」の例を以下に示す。

(247) 太郎が新聞を読みつつご飯を食べている。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 太郎))
                    (P-ROLE が))
  (IP-ADV-SCON (PP-OB1 (NP (N 新聞))
                        (P-ROLE を))
                (VB 読み)
                (P-CONN つつ))
  (PP-OB1 (NP (N ご飯))
          (P-ROLE を))
  (VB 食べ)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる)
  (PU 。))
(ID 2_misc_TOPTEN))
```

(248) あの人には話したって分かりません。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
  (IP-ADV-SCON-CND (NP-SBJ *pro*)
                   (NP-OB1 *pro*)
                   (PP-OB2 (NP (D あの)
                               (N 人))
                           (P-ROLE に)
                           (P-OPTR は))
                   (VB 話し)
                   (P-CONN たって))
  (VB 分かり)
  (AX ませ)
  (NEG ん)
  (PU 。))
(ID 315_textbook_djg_basic))
```

(249) 彼女はそわそわと行ったり来たりした。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼女))
            (P-OPTR は))
  (ADVP (ADV そわそわ)
        (AX と))
  (IP-ADV-CONJ (VB 行っ)
               (P-CONN たり))
```

(VB 来)
(P-CONN たり)
(VB2 し)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 120_fiction_DICK-1952))

14.10.2 複雑な述部に含まれる接続助詞・とりたて助詞・格助詞 (P-CONN, P-OPTR, P-ROLE)

「VB て/でいる・ある・おく」「VB て/であげる・やる」「VB て/でいく・くる」等、ヴォイスやアスペクトに関する述部の中に含まれる接続助詞の「て/で」は節 (IP) に直接支配され、フラットな構造としてアノテーションされる。「て/で」の後の補助動詞は VB2 とラベル付けされる (VB2 については、15.4 節を参照)。

(250) あいつはきっとデートをしているんだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP; {TANAKA_654} (PRO あいつ))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADV きっと))
(PP-OB1 (NP (N デート))
(P-ROLE を))
(VB し)
(P-CONN て)
(VB2 いる)
(FN ん)
(AX だ)
(PU 。))
(ID 655_textbook_kisonihongo))

「VB たり/だりする」における接続助詞「たり/だり」も、後続の「する」(補助動詞 VB2 とラベル付けされる) と姉妹の関係をなすフラットな構造としてアノテーションされる。「たり/だり」は「VB₁ たり/だり, VB₂ たり/だりする」のように連続して現れることが多いが、前の「たり/だり」は副詞節 (IP-ADV) の終端部に置かれ、後ろの「たり/だり」は補助動詞と共に述部を構成することに注意されたい (例 (249) も参照)。

(251) うちのスタッフが殴られたり、罵倒されたりすることもあります。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-LGS *pro*)
(PP-SBJ (NP (PP (NP (N うち))
(P-ROLE の))
(N スタッフ))
(P-ROLE が))
(IP-ADV-CONJ (VB 殴ら)
(PASS れ)
(P-CONN たり))
(PU 、)
(VB 罵倒)
(VB0 さ)
(PASS れ)
(P-CONN たり)
(VB2 する))
(N こと))

(P-OPTR も))
 (VB あり)
 (AX ます)
 (PU 。))
 (ID 102_news_KAHOKU_37))

「VB などする」におけるとりたて助詞「など」と後続する「する」についても上記と同様のアノテーションがなされる。「VB なりする」の接続助詞「なり」と「する」も同様である。

(252) 暑い日は帽子をかぶるなどしなさい

(((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (PP-TMP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJI 暑い))
 (N 日))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (N 帽子))
 (P-ROLE を))
 (VB かぶる)
 (P-OPTR など)
 (VB2 し)
 (VB2 なさい))))
 (ID 28_misc_EXAMPLE2))

(253) 読めない漢字は辞書を引くなり、日本人に聞くなりしなさい。

(((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (PP-TPC (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
 (NP-SBJ *hearer*)
 (VB 読め)
 (NEG ない))
 (N 漢字))
 (P-OPTR は))
 (PP-CONJ (IP-ADV (PP-OB1 (NP (N 辞書))
 (P-ROLE を))
 (VB 引く))
 (P-CONN なり))
 (PU 、)
 (NP-OB1 *pro*)
 (PP-OB2 (NP (N 日本人))
 (P-ROLE に))
 (VB 聞く)
 (P-CONN なり)
 (VB2 し)
 (VB2 なさい))
 (PU 。))
 (ID 215_textbook_djg_intermediate))

否定文では、とりたて助詞「は」が NEG と共起することが多い。

(254) 岩ではない、

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (NP-PRD (N 岩))
 (AX で)
 (P-OPTR は)
 (NEG ない)
 (PU 、))
 (ID 59_fiction_DICK-1952))

また、上記の接続助詞「て・で」やコピュラ「だ」の連用形「で」の直後等、述語部分の内部に現れたとりたて助詞「は」「も」「しか」「ばかり」「さえ」等もまた、IPに直接支配されるものとする。

(255) 女子は遊んでばかりいます。
 ((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 女子))
 (P-OPTR は))
 (VB 遊ん)
 (P-CONN で)
 (P-OPTR ばかり)
 (VB2 い)
 (AX ます)
 (PU 。))
 (ID14_textbook_djg_basic))

(256) さっきまでの絶対的な自信はややゆらいだようではあったが。
 ((FRAG (PP (IP-ADV (PP-SBJ (NP (PP (NP (N さっき))
 (P-ROLE まで)
 (P-ROLE の))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 絶対的)
 (AX な))
 (N 自信))
 (P-OPTR は))
 (NP-PRD (IP-EMB (ADVP (ADV やや))
 (VB ゆらい)
 (AXD だ))
 (N よう))
 (AX で)
 (P-OPTR は)
 (VB2 あっ)
 (AXD た))
 (P-CONN が))
 (PU 。)))
 (ID 297_aozora_Doyle-1905))

述部を構成する「～ざるを得ない」「～に違いない」「～わけに(も/は)いかない」「～がいい・～がよい」に現れる格助詞 (P-ROLE) 「を」「に」「が」、 「～といい」「～といけない」「～なければならない」に現れる接続助詞 (P-CONN) 「と」「ば」についても、IPに直接支配されるものとする。

(257) 結果、江戸幕府は院政の存在を黙認せざるをえなくなる。
 ((IP-MAT (NP-ADV (N 結果))
 (PU 、))

(PP-SBJ (NP (NPR 江戸幕府))
(P-OPTR は))
(IP-SMC-OB1 (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 院政))
(P-ROLE の))
(N 存在))
(P-ROLE を))
(VB 黙認)
(VB0 せ)
(NEG ざる)
(P-ROLE を)
(VB2 え)
(NEG なく))
(VB なる)
(PU 。))
(ID 59_wikipedia_KYOTO_17))

(258) その国はたいへん美しいに違いない。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D その)
(N 国))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADV たいへん))
(ADJI 美しい)
(P-ROLE に)
(MD 違いない)
(PU 。))
(ID 210_textbook_TANAKA))

(259) この機会を逃がすわけに行かないのだ。

((IP-MAT (NP-SBJ; {IZAWA} *speaker*)
(PP-OB1 (NP (D この)
(N 機会))
(P-ROLE を))
(VB 逃がす)
(FN わけ)
(P-ROLE に)
(VB2 行か)
(NEG ない)
(FN の)
(AX だ)
(PU 。))
(ID 337_aozora_Sakaguchi-1947))

(260) その身代りを呼ぶがよい。

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
(PP-OB1 (NP (D その)
(N 身代り))
(P-ROLE を))
(VB 呼ぶ)
(P-ROLE が))

(ADJI-MD よい))
(PU 。))
(ID 113_aozora_Dazai-2-1940))

(261) ▼埋蔵資源があるといい。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
(SYM ▼)
(PP-SCON-CND (IP-ADV (PP-SBJ (NP (N 埋蔵資源))
(P-ROLE が))
(VB ある))
(P-CONN と))
(ADJI-MD いい)
(PU 。))
(ID 10_news_KAHOKU_8795))

(262) 明日の朝は6時に起きないといけない。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
(PP-TMP (NP (PP (NP (N 明日))
(P-ROLE の))
(N 朝))
(P-OPTR は))
(PP-TMP (NP (NUMCLP (NUM 6)
(CL 時)))
(P-ROLE に))
(VB 起き)
(NEG ない)
(P-CONN と)
(VB2 いけ)
(NEG ない)
(PU 。))
(ID 562_textbook_kisonihongo))

(263) 生活費はかせがなければならない。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
(PP-OB1 (NP (N 生活費))
(P-OPTR は))
(VB かせが))
(NEG なけれ)
(P-CONN ば)
(VB2 なら)
(NEG ない)
(PU 。))
(ID 603_aozora_Harada-1960))

14.10.3 動作名詞に「を」が付く場合

動作名詞 (VB) に「を」が付く例がいくつか見られる。このような場合には、(P-ROLE を) が VB と姉妹関係に IP のすぐ下に置かれる。

(264) そして、ある定められた日には床の間で彼らを供養をするのです」

```

( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
  (CONJ そして)
  (PU 、)
  (PP (NP (D ある)
    (IP-REL (NP-SBJ *T*)
      (NP-LGS *pro*)
      (VB 定め)
      (PASS られ)
      (AXD た))
    (N 日))
    (P-ROLE に)
    (P-OPTR は))
  (PP (NP (N 床の間))
    (P-ROLE で))
  (PP (NP (PRO 彼ら))
    (P-ROLE を))
  (VB 供養)
  (P-ROLE を)
  (VB0 する)
  (FN の)
  (AX です)
  (PUR 」))
(ID 259_aozora_Hayashida-2015))

```

14.11 助詞を名詞句の下に置く場合

名詞句が並列される時、「とか」「と」「やら」「か」「も」等の接続助詞が最後の並列句の後に現れる時、それは並列句をまとめた NP の下に置かれる。

(265) この近くには温泉とか野球場とかがあって、とても楽しいです。

```

( (IP-MAT (PP (NP;{VICINITY_884} (D この)
  (N 近く))
  (P-ROLE に)
  (P-OPTR は))
  (IP-ADV-CONJ (PP-SBJ (NP (CONJP (NP (N 温泉))
    (P-CONN とか))
    (NP (N 野球場))
    (P-CONN とか))
    (P-ROLE が))
  (VB あっ)
  (P-CONN て))
  (PU 、)
  (NP-SBJ *speaker*)
  (ADVP (ADV とても))
  (ADJI 楽しい)
  (AX です)
  (PU 。))
(ID 884_textbook_kisonihongo))

```

また、「か」「も」等のとりたて助詞が疑問詞と結びついて不定性を示す場合にも、これらを NP の下に置く（詳しくは 20.1.3 を参照）。

(266) 誰かが助けるだろう。

((IP-MAT (NP-OB1;{MAN_67} *pro*)
 (PP-SBJ (NP (WPRO 誰)
 (P-OPTR か))
 (P-ROLE が))
 (VB 助ける)
 (MD だろう)
 (PU 。))
 (ID 67_textbook_kisonihongo))

(267) 誰もその問題を解けなかった。

((IP-MAT (NP-SBJ (WPRO 誰)
 (P-OPTR も))
 (PP-OB1 (NP;{PROBLEM_737} (D その)
 (N 問題))
 (P-ROLE を))
 (VB 解け)
 (NEG なかつ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 737_textbook_kisonihongo))

14.12 助詞が続く場合

助詞句 (PP) が積み重なることは基本的にはない。すなわち、助詞句 (PP) は通常、助詞 (P) の補部とはならない。複数の助詞が続く場合は、同じ助詞句 (PP) や補部節 (CP-THT) 下に複数の助詞 (P) がフラットに配置される。

- 2つの格助詞が隣接する場合 (へ+と) :

(268) そのカートは都市へと方向転換した。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D その)
 (N カート))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (N 都市))
 (P-ROLE へ)
 (P-ROLE と))
 (VB 方向転換)
 (VB0 し)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 714_fiction_DICK-1952))

- 格助詞にとりたて助詞が続く場合 (について+も) :

(269) この点はどの作物についても言えることでもあります。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D この)
 (N 点))
 (P-OPTR は))
 (NP-PRD (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
 (PP (NP (WD どの)
 (N 作物))

(P-ROLE について)
(P-OPTR も))
(VB 言える))
(N こと))
(AX で)
(VB2 あり)
(AX ます)
(PU 。))
(ID 36_diet_kaigiroku-7))

- 接続助詞にとりたて助詞が続く場合 (から+こそ) :

(270) 脇役が良いからこそ、主役が引き立つ。
((IP-MAT (PP-SCON (IP-ADV (PP-SBJ (NP (N 脇役))
(P-ROLE が))
(ADJI 良い))
(P-CONN から)
(P-OPTR こそ))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (N 主役))
(P-ROLE が))
(VB 引き立つ)
(PU .))
(ID 2569_dict_vv-lexicon))

- 補文助詞にとりたて助詞が続く場合 (と+は) :

(271) そんなに頼まれてはいやとは言えないね。
((CP-FINAL (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
(PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-LGS *pro*)
(ADVP (ADJN そんな)
(AX に))
(VB 頼ま)
(PASS れ)
(P-CONN て))
(P-OPTR は))
(CP-THT-OB1 (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
(ADJN いや))
(P-COMP と)
(P-OPTR は))
(VB 言え)
(NEG ない))
(P-FINAL ね)
(PU 。))
(ID 994_textbook_particles))

この方針に関する唯一の例外となるのが、助詞句 (PP) の等位構造である (詳しくは 14.4 節, 18 節を参照)。

(272) 「……卑猥にも不潔にもなじむことがない。

```

( (IP-MAT (PUL 「)
  (PU ……))
  (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *hearer*)
    (PP (CONJP (PP (NP (N 卑猥))
      (P-ROLE に))
      (P-CONN も))
      (PP (NP (N 不潔))
        (P-ROLE に))
        (P-CONN も))
      (VB なじむ))
      (N こと))
      (P-ROLE が))
      (ADJI ない)
      (PU 。))
  (ID 553_aozora_Hisao-1939))

```

14.13 助詞の省略

文法役割を表す「が、を、へ、に」等の格助詞が、会話や新聞記事の見出し等で省略されることがしばしばある。このような裸の名詞句が文の左端に現れる場合、主題としての談話的役割を帯びることが多い。しかし、述語に対する裸の名詞句が果たす文法機能(主語なのか第一目的語なのか等)が分かる場合には、名詞句(NP)のタグに文法機能を示す拡張タグを直接付けるか、あるいはその機能を表示すると考えられる助詞を書き入れ、それが投射する助詞句(PP)のタグに拡張タグを付ける。このような助詞を便宜上、「省略された助詞」と呼ぶことにする。基本的に、裸の名詞句が主要文法役割を担う項である場合、省略された助詞についての言及はなされず、当該の項はNP-SBJ, NP-OB1等のラベルを貼られる。例えば、下の(273)の例では「掲示板のポスター」という名詞句につくはずの「を」が省略されているが、この場合は「を」を補うことはなく、単にその名詞句が直接NP-OB1とラベル付けされ、述語「見た」の目的語であることが示される。

(273) なんか、美奈子、掲示板のポスター、見た？

```

( (CP-QUE (IP-SUB (ADVP (ADV なんか))
  (PU 、)
  (NP-VOC;{ADDRESSEE} (NPR 美奈子))
  (CLEAN *VOC*)
  (NP-SBJ;{ADDRESSEE} *hearer*)
  (PU 、)
  (NP-OB1 (PP (NP (N 掲示板))
    (P-ROLE の))
    (N ポスター))
  (PU 、)
  (VB 見)
  (AXD た))
  (PU ?))
  (ID 28_spoken_JF6))

```

一方、裸名詞句が付加詞である(つまり、任意文法役割を示す)場合は、PP投射が作りだされ、省略された助詞が補完される。この際、終端ノードとして、*に挟まれた形で本来の助詞が挿入される。例えば、以下の(274)では、裸名詞句「炊き出し準備」が、省略された助詞*で*の補部として扱われている。

(274) 炊き出し準備、高台避難後に自宅に戻る(宮城県七ヶ浜町)


```
( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
  (PP (NP (N 炊き出し準備))
    (P-ROLE *で*))
  (PU 、)
  (PP (NP (N 高台避難後))
    (P-ROLE に))
  (PP (NP (N 自宅))
    (P-ROLE に))
  (VB 戻る)
  (PRN (PUL ( )
    (NP (NPR 宮城県七ヶ浜町))
    (PUR ) )))
(ID 77_news_KAHOKU_34))
```

15 述語

述語は節の中でもっとも重要な統語上の単位であり、他のほとんどすべての構成素はこれと結びついた機能を果たしている。日本語の述語は、ボイス、アスペクト、極性、モダリティ、証拠性等を示す要素によって拡張される。以下、述語をなす基本的な要素について論じていく。

15.1 動詞 (VB)

動詞 (VB) を中心として形成された述語は、主語と共に現れて節を投射する。以下は、「覚った」が主節 (IP-MAT) を、「達したのだ」が準主節 (IP-SUB) を投射した例である。

(275) 芳一は大きな門口に達したのだと覚った——

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 芳一))
  (P-OPTR は))
  (CP-THT-OB1 (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
    (PP (NP (PNL 大きな)
      (N 門口))
      (P-ROLE に))
    (VB 達し)
    (AXD た)
    (FN の)
    (AX だ))
    (P-COMP と))
  (VB 覚っ)
  (AXD た)
  (PU —))
(ID 59_aozora_Togawa-1937-1))
```

・ 副詞節 (IP-ADV) を投射する例：

(276) 家事一切に関わらず、のんびりと心のぜいたくをする。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (IP-ADV-CONJ (PP (NP (N 家事)
    (PRN (NP;* (Q 一切))))
    (P-ROLE に))
```

(VB 関わら)
 (NEG ず))
 (PU 、)
 (ADVP (ADV のんびり)
 (AX と))
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 心))
 (P-ROLE の))
 (N ぜいたく))
 (P-ROLE を))
 (VB する)
 (PU 。))
 (ID 15_news_KAHOKU_10414))

- 小節 (IP-SMC) を選択する例 (IP-SMC が用いられるのは、「もらう」「いただく」「する」「なる」等が後接する場合である。詳しくは 15.5 および 15.7 節を参照) :

(277) 冷蔵庫に入れても硬くならない不思議な「バター餅」。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-SBJ *pro*)
 (PP (NP (N 冷蔵庫))
 (P-ROLE に))
 (VB 入れ)
 (P-CONN て))
 (P-OPTR も))
 (IP-SMC-OB1 (ADJI 硬く))
 (VB なら)
 (NEG ない))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 不思議)
 (AX な))
 (PUL 「)
 (N バター餅)
 (PUR 」))
 (AX *)
 (PU 。))
 (ID 40_news_KAHOKU_457))

- 関係節 (IP-REL) を投射する例:

(278) 邦彦はいったんやめたたばこをまた吸い出した。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 邦彦))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
 (NP-SBJ *pro*)
 (ADVP (ADV いったん))
 (VB やめ)
 (AXD た))
 (N たばこ))

(P-ROLE を))
 (ADVP (ADV また))
 (VB 吸い出し)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 148_textbook_djg_advanced))

- 空所なし名詞修飾節 (IP-EMB) を投射する例:

(279) ただ餅を搗く音だけする。

((IP-MAT (ADVP (ADV ただ))
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (N 餅))
 (P-ROLE を))
 (VB 搗く))
 (N 音))
 (P-OPTR だけ))
 (VB する)
 (PU 。))
 (ID 505_aozora_Natsume-1908))

本アノテーションでは、BCCWJ および CSJ で語彙的複合動詞として扱われている表現 (例えば「かきわける」「そぎとる」「とりいれる」「はりつける」等) を単一のセグメントとして扱う。その一方で、BCCWJ および CSJ で長単位としてチャンクされている様々なタイプの補助動詞は本コーパスでは構成素に分割され、大抵 VB2 とラベル付けされる。補助動詞は伝統的な定義では、ある文脈では主要な語彙的動詞として現れるが、二次的な動詞としての位置に現れて、ダイクシス、アスペクト、極性等の文法カテゴリーの値を表すこともある形式とされる。

15.2 述語の拡張

倒置法 (23.4 節) を除けば、節中の述語本体には次のような要素が後続し、述語拡張形を作る。

- P-CONN (接続助詞) ・ P-OPTR (とりたて助詞)
- VB0 (軽動詞)
- VB2 (補助動詞)
- AX (助動詞)
- MD (モーダル要素)
- FN (形式名詞)

6 節で述べたように、上記の要素は IP に直接支配され、フラットな構造を作る。要素のラベル付けに関しては、次のような特別なケースを設ける。

- 助動詞 (AX) に分類されるべき要素のうち、直接受動の「られ・れ」には PASS のラベルを与える (24.8 参照)。また、間接受動の「られ・れ」には PASS2 のラベルを与える (24.11 参照)。
- 助動詞 (AX) あるいはモーダル要素 (MD) に分類されるべき要素のうち、否定辞「ない」「ず」や否定的意志・推量を表す「まい」等には NEG のラベルを与える。

- ・ テンス標識 (AXD) 「た・だ」は、過去ではなく状態性の意味を表すような連体修飾用法の場合に助動詞 (AX) のラベルを与える (15.10を参照)。

15.3 軽動詞 (VB0)

軽動詞 (VB0) として、まず、「する」「いたす (致す)」「なさる」「申し上げる」「下さる」「できる」等の動詞が挙げられる。VB0は「移動, チェック」のような「動作名詞」と呼ばれる VB に後続して現れる。また、補助動詞 (VB2), 受動 (PASS), 否定 (NEG) 等の要素を後続させることがある。さらに、VB0 に先行する動作名詞 VB がとりたて助詞 (P-OPTR) の「は」「も」等を伴うことがある。

(280) 「やあ耕助君、失敬したねえ。」

```
( (CP-FINAL (PUL 「)
      (IP-SUB (INTJ やあ)
        (NP-SBJ (NPR 耕助君))
        (PU 、)
        (VB 失敬)
        (VB0 し)
        (AXD た))
      (P-FINAL ねえ)
      (PU 。)
      (PUR 」))
(ID 669_aozora_Miyazawa-1934))
```

(281) 誰も殺害に対する責任を主張しなかった。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ (WPRO 誰)
      (P-OPTR も))
      (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 殺害))
        (P-ROLE に対する))
      (N 責任))
      (P-ROLE を))
      (VB 主張)
      (VB0 し)
      (NEG なかつ)
      (AXD た)
      (PU 。))
(ID 54_news_Voice_of_America))
```

(282) 軍隊は一般的な職業で、また軍人は名誉であり、尊敬もされる。」

```
( (IP-MAT (IP-ADV-CONJ (PP-SBJ (NP (N 軍隊))
      (P-OPTR は))
      (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
        (ADJN 一般的)
        (AX な))
      (N 職業))
      (AX で))
      (PU 、)
      (CONJ また)
      (PP-SBJ (NP (N 軍人))
      (P-OPTR は))
```

(IP-ADV-CONJ (ADJN 名誉)
 (AX で)
 (VB2 あり))
 (PU 、)
 (NP-LGS *arb*)
 (VB 尊敬)
 (P-OPTR も)
 (VB0 さ)
 (PASS れる)
 (PU 。)
 (PUR 」))
 (ID 431_fiction_DICK-1952))

VB0 を後続させる動作名詞 (VB) は、接頭辞「お」または「ご (御)」を伴い尊敬語や謙讓語を作ることがある。

(283) 花子は鈴木先生に結果をご報告した。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{HANAKO_1311} (NPR 花子))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB2 (NP;{SUZUKI_1311} (NPR 鈴木先生))
 (P-ROLE に))
 (PP-OB1 (NP (N 結果))
 (P-ROLE を))
 (VB ご報告)
 (VB0 し)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 1311_textbook_kisonihongo))

また、VB0が「なさる」や「下さる」のような敬語形をとることもある。これは後述する補助動詞 (VB2) の用法とは区別しなければならない。判断の基準として、動作名詞に接頭辞「お・ご (御)」がある場合はそれを取り、さらにVB0候補を「する」に置き換えることができれば、そのような候補は実際にVB0の敬語形であると見なすことができる (例：(284)において「御安心なさい」は「安心する」に置き換え可能)。そうでない場合はVB2である (例：(285)において「置きなさい」は「*置きする」に置き換え不可能)。

(284) もう大丈夫ですから、御安心なさい。

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (PP-SCON (IP-ADV (ADVP (ADV もう))
 (ADJN 大丈夫)
 (AX です))
 (P-CONN から))
 (PU 、)
 (VB 御安心)
 (VB0 なさい))
 (PU 。))
 (ID 254_aozora_Akutagawa-1921))

(285) 「鉛筆を置きなさい！」

((CP-IMP (PUL 「
 (IP-SUB (NP-SBJ;{SHAKESPEARE} *hearer*))

(PP-OB1 (NP (N 鉛筆))
(P-ROLE を))
(VB 置き)
(VB2 なさい))
(PU !)
(PUR ー))
(ID 105_ted_talk_11))

15.4 補助動詞 (VB2)

補助動詞 (VB2) は、活用可能な動詞や形容詞に続いて現れる動詞のことである。以下、補助動詞として分類される要素を示す。動詞 (連用形) の直後に現れる VB2 には次のようなものがある。

- アスペクトを表すもの (始める, 出す, かける, 続ける, 終わる, 終る, 止む, あげる, 等)
- 可能性を表すもの (兼る, 得る, 抜く, 損う, おおす, 等)
- 程度を表すもの (過ぎる, 尽す, 果てる, 切る, 足りる, 等)
- 方向を表すもの (込む, 回る, 去る, 等)
- 他の様々な意味を表すもの (忘れる, 間違える, 直す, 合う, 慣れる, 等)

(286) やがて光は消え始めた。

((IP-MAT (ADVP (ADV やがて))
(PP-SBJ (NP (N 光))
(P-OPTR は))
(VB 消え)
(VB2 始め)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 513_fiction_DICK-1952))

動詞の「て形」の後に現れる VB2 には次のようなものがある。「て・で」は接続助詞 (P-CONN) とラベル付けされることに注意されたい。

- いる, ある, おく, しまう, みる, みせる, あげる, くれる, やる, くださる, いく, くる, いらっしゃる, まいる, お出で, ご覧, 頂戴, 等

(287) 今、調べています。

((IP-MAT (NP-SBJ;{MAN_478} *pro*)
(NP-OB1;{MATTER_478} *pro*)
(NP-TMP (N 今))
(PU 、)
(VB 調べ)
(P-CONN て)
(VB2 い)
(AX ます)
(PU 。))
(ID 478_textbook_kisonihongo))

(288) 震災は人々の記憶から薄れ始めているのか。

((CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ (NP (N 震災))
(P-OPTR は))
(PP (NP (PP (NP (N 人々))
(P-ROLE の))
(N 記憶))
(P-ROLE から))
(VB 薄れ)
(VB2 始め)
(P-CONN て)
(VB2 いる)
(FN の))
(P-FINAL か)
(PU 。))
(ID 6_news_KAHOKU_39))

イ形容詞 (ADJI)・ナ形容詞 (ADJN) の直後に現れる次のような要素も VB2 として扱われる。

- すぎる : 多すぎる, 元気すぎる
- ござる・存じる : ありがとうございます, ありがとうございます

(289) 逆に階段の段差は小学生には高すぎる。

((IP-MAT (ADVP (ADJN 逆)
(AX に))
(PP-SBJ (NP (PP (NP (N 階段))
(P-ROLE の))
(N 段差))
(P-OPTR は))
(PP (NP (N 小学生))
(P-ROLE に)
(P-OPTR は))
(ADJI 高)
(VB2 すぎる)
(PU 。))
(ID 83_news_KAHOKU_37))

助動詞 (AX)「だ」の連用形に続く「ある」, イ形容詞の連用形に続く「ある」も VB2 として扱われる。

(290) 彼はいと高き神の祭司である。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{MELCHIZEDEK} (PRO 彼))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (PP (NP (PNLP (ADVP (ADV いと))
(ADJI 高き))
(N 神))
(P-ROLE の))
(N 祭司))
(AX で)
(VB2 ある)
(PU 。))
(ID 368_bible_ot))

(291) この本はあまりよくありません。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D この)
(N 本))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADV あまり))
(ADJI よく)
(VB2 あり)
(AX ませ)
(NEG ん)
(PU 。))

(ID 6_textbook_djg_basic))

義務的モダリティを表す複雑な表現中に現れる動詞は VB2 として扱われる。

- なら：なければならぬ、なくてはならぬ、てはならぬ
- いけ：なければいけない、なくてはいけない、てはいけない

(292) それらは雄と雌とでなければならぬ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{PAIR} (PRO それら))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (CONJP (NP (N 雄))
(P-CONN と))
(NP (N 雌))
(P-CONN と))
(AX で)
(NEG なけれ)
(P-CONN ば)
(VB2 なら)
(NEG ない)
(PU 。))

(ID 186_bible_ot))

(293) 「もちろん他の像を立てなくてはならぬ」と市長は言いました。

((IP-MAT (CP-THT-OB1 (IP-SUB (PUL 「)
(NP-SBJ *speaker+pro*)
(ADVP (ADV もちろん))
(PP-OB1 (NP (PP (NP (N 他))
(P-ROLE の))
(N 像))
(P-ROLE を))
(VB 立て)
(NEG なくて)
(P-OPTR は)
(VB2 なら)
(NEG ない)
(PUR 」))
(P-COMP と))
(PP-SBJ (NP (N 市長))
(P-OPTR は))
(VB 言い)

(AX まし)
(AXD た)
(PU 。)
(ID 318_aozora_Yuki-1-2000))

(294) 学校では携帯を使ってはいけない。

((IP-MAT (NP-SBJ *hearer*)
(PP (NP (N 学校))
(P-ROLE で)
(P-OPTR は))
(PP-OB1 (NP (N 携帯))
(P-ROLE を))
(VB 使っ)
(P-CONN て)
(P-OPTR は)
(VB2 いけ)
(NEG ない)
(PU 。))

(ID 610_textbook_purple_basic))

「する」は以下のような環境で VB2 として扱われる。

・「述語の連用形 + 接続助詞「たり・だり」」に後続した「する」

(295) 「それは鉄とまぜたり、薬をつくったりするのだそうです。」

((IP-MAT (PUL 「)
(NP-SBJ *pro*)
(PP-TPC (NP (PRO それ))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-CONJ (NP-OB1 *pro*)
(PP (NP (N 鉄))
(P-ROLE と))
(VB まぜ)
(P-CONN たり))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP (N 薬))
(P-ROLE を))
(VB つくっ)
(P-CONN たり)
(VB2 する)
(FN の)
(AX だ)
(MD そう)
(AX です)
(PU 。)
(PUR 」))

(ID 192_aozora_Miyazawa-1934))

・「VB + とりたて助詞「など」「とか」」に後続した「する」(例 (252) も参照)

(296) 国が所有者から土地を一時的に借り上げるなどし、復興を加速させるべきだった」

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 国))
(P-ROLE が))
(IP-ADV-CONJ (PP-OB2 (NP (N 所有者))
(P-ROLE から))
(PP-OB1 (NP (N 土地))
(P-ROLE を))
(ADVP (ADJN 一時的)
(AX に))
(VB 借り上げる)
(P-OPTR など)
(VB2 し))
(PU 、)
(PP-CZZ (NP (N 復興))
(P-ROLE を))
(VB 加速)
(VB0 さ)
(VB2 せる)
(MD べき)
(AX だっ)
(AXD た)
(PUR 」))
(ID 105_news_KAHOKU_51))

- 「VB + 接続助詞「なり」」に後続した「する」(例 (253) を参照)。
- 「すれ + 接続助詞「ば」 + する + ほど・だけ」における「する」

(297) 早くすればするだけ有利だ。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
(PP-SCON (IP-ADV (ADVP (ADJI 早く))
(VB すれ)
(P-CONN ば)
(VB2 する))
(P-OPTR だけ))
(ADJN 有利)
(AX だ)
(PU 。))
(ID 58_textbook_particles))

- 「VB (連用形) + とりたて助詞「は」「も」「さえ」「や」「でも」 + する」における「する」

(298) あの男には説明しても分かりはしない。

((IP-MAT (NP-OB1 *pro*)
(PP-SBJ (NP (D あの)
(N 男))
(P-ROLE に)
(P-OPTR は))
(PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-SBJ *pro*)
(NP-OB1 *pro*)
(VB 説明)

(VB0 し)
(P-CONN て))
(P-OPTR も))
(VB 分かり)
(P-OPTR は)
(VB2 し)
(NEG ない)
(PU 。))
(ID 493_textbook_djg_intermediate))

- 副詞節 (IP-ADV) 末の「なく+し+て」「ず+し+て」における「し」

(299) 努力なくしてはこの事業はできない。

((IP-MAT (NP-SBJ *arb*)
(PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-SBJ (N 努力))
(ADJI なく)
(VB2 し)
(P-CONN て))
(P-OPTR は))
(PP-OB1 (NP (D この)
(N 事業))
(P-OPTR は))
(VB でき)
(NEG ない)
(PU 。))
(ID 271_textbook_djg_advanced))

(300) インカ帝国を知らずして南米大陸を語ることはできない。

((IP-MAT (NP-SBJ *arb*)
(PP-OB1 (NP (IP-EMB (IP-ADV-SCON-CND (PP-OB1 (NP (NPR インカ帝
国))
(P-ROLE を))
(VB 知ら)
(NEG ず)
(VB2 し)
(P-CONN て))
(PP-OB1 (NP (N 南米大陸))
(P-ROLE を))
(VB 語る))
(N こと))
(P-OPTR は))
(VB でき)
(NEG ない)
(PU 。))
(ID 648_textbook_djg_advanced))

敬語形をつくる接頭辞「お」または「ご (御)」を伴った動詞が助詞「に」を後続させ、それに動詞「なる」が続く場合、「なる」は VB2 として扱われる。

(301) 鈴木先生は本をお書きになった。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{SUZUKI_1295} (NPR 鈴木先生))
(P-OPTR は))
(PP-OB1 (NP (N 本))
(P-ROLE を))
(VB お書き)
(AX に)
(VB2 なっ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 1295_textbook_kisonihongo))

15.5 動詞「する」「なる」に関して

動詞「する」(および類似の動詞「いたす」「なさる」等も)および「なる」の前に「イ形容詞の連用形」,「ナ形容詞の語幹+に」または「名詞述語+に/と」があるとき,これらはしばしば小節(IP-SMC)を投射し,このとき「する」「なる」は動詞述部の最初の要素,すなわちVBのラベルを与えられる。次の3つの条件が全て満たされていれば,「イ形容詞の連用形」,「ナ形容詞の語幹+に」,「名詞述語+に/と」は小節を投射すると判断できると考えられる:(i)小節の主要部はイベントでなく属性を表す,(ii)「する」のとり第一目的語(OB1)あるいは「なる」の主語(SBJ)が小節(IP-SMC)の主語と解釈できる,(iii)「する」のとり第一目的語(OB1)あるいは「なる」の主語(SBJ)が小節(IP-SMC)に先行する(ただし,小節にとりたて助詞(P-OPTR)が付く場合を除く)。

上記の構文における,「する」に先行するIP-SMCは拡張タグCNT(連用形)を与えられる。次の例の「細帯を長くして」において「長い」は「細帯」の属性であると解釈できる。また,「言語学者(だ)」は「息子」の属性であると解釈できる。したがって,「長く」「言語学者に」はIP-SMC-CNTを投射すると判断される。

(302) そうして細帯を長くして、子供を縛っておいて、その片端を拝殿の欄干に括りつける。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
(CONJ そうして)
(IP-ADV-CONJ (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (N 細帯))
(P-ROLE を))
(IP-SMC-CNT (ADJI 長く))
(VB し)
(P-CONN て))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP (N 子供))
(P-ROLE を))
(VB 縛っ)
(P-CONN て)
(VB2 おい)
(P-CONN て))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP (D その)
(N 片端))
(P-ROLE を))
(PP (NP (PP (NP (N 拝殿))
(P-ROLE の))
(N 欄干))
(P-ROLE に))

(VB 括りつける)
(PU 。))
(ID 566_aozora_Natsume-1908))

(303) 息子を言語学者にしたいなんて。

((CP-EXL (FRAG (CP-THT (IP-SUB (NP-SBJ; {MAN_349} *pro*)
(PP-OB1 (NP (N 息子))
(P-ROLE を))
(IP-SMC-CNT (NP-PRD (N 言語学者))
(AX に))
(VB し)
(AX たい))
(P-OPTR なんて)))
(PU 。))
(ID 349_textbook_kisonihongo))

このような分析は「形容詞+する」を含む他の構文には適用されないことに注意。「する」が第一目的語 (OB1) をもたず、「する」の主語が形容詞の主語として解釈可能な場合、そのような形容詞はIP-SMC-OB1を投射する。

(304) 花子はその時おとなしくしていたらしい。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP; {HANAKO_356} (NPR 花子))
(P-OPTR は))
(NP-TMP (D その)
(N 時))
(IP-SMC-OB1 (ADJI おとなしく))
(VB し)
(P-CONN て)
(VB2 い)
(AXD た)
(MD らしい)
(PU 。))
(ID 356_textbook_kisonihongo))

一方、「なる」に先行する IP-SMC は拡張タグ OB1 を与えられる。下の例では、「路はだんだん暗くなる」、「花子はきれいになった」の表す事象が実現した際には、「路」について属性「暗い」が当てはまることを、「花子」については属性「きれい (だ)」が当てはまることが含意される。そのため、「暗く」「きれいに」は IP-SMC-OB1 を投射する。

(305) 路はだんだん暗くなる。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 路))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADV だんだん))
(IP-SMC-OB1 (ADJI 暗く))
(VB なる)
(PU 。))
(ID 209_aozora_Natsume-1908))

(306) 花子はきれいになった

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 花子))
(P-OPTR は))
(IP-SMC-OB1 (ADJN きれい)
(AX に))
(VB なっ)
(AXD た))
(ID 25_misc_EXAMPLE2))

時には、第二主語名詞句 (SBJ2) が小節にコントロールを及ぼすこともある。

(307) 気が変になりそうなんです。

((IP-MAT (NP-SBJ;{MCFARLANE} *speaker*)
(PP-SBJ2 (NP (PP (NP;{MCFARLANE} *pro*)
(P-ROLE *の*))
(N 気))
(P-ROLE が))
(IP-SMC-OB1 (ADJN 変)
(AX に))
(VB なり)
(AX そう)
(AX な)
(FN ん)
(AX です)
(PU 。))
(ID 40_aozora_Doyle-1905))

「なる」の前のイ形容詞、ナ形容詞が2つの項を必要とするものであれば、2つ目の項、つまり第一目的語 (OB1) は形容詞の投射する IP-SMC-OB1 の中に含まれる。

(308) おかあさんが恋しくなったわけではない、

((IP-MAT (NP-SBJ;{HARU} *speaker*)
(IP-SMC-OB1 (PP-OB1 (NP;{OKASAN} (N おかあさん))
(P-ROLE が))
(ADJI 恋しく))
(VB なっ)
(AXD た)
(FN わけ)
(AX で)
(P-OPTR は)
(NEG ない)
(PU 、))
(ID 7_book_excerpt-22))

(309) 私はまたあの花火というやつが好きになった。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
(P-OPTR は))
(CONJ また)
(IP-SMC-OB1 (PP-OB1 (NP (D あの)
(PP (NP (N 花火))
(P-ROLE という))
(N やつ))
(P-ROLE が))
(ADJN 好き))

(AX に)
 (VB なっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 28_aozora_Kajii-1925))

この小節としての分析は、上記のような主述関係が成り立たず（主語が構造のより深い部分をコントロールすることはありうるが）、また属性の解釈もできないような例には適用されない。

(310) 新しい機種も気になるし。

((FRAG (PP (IP-ADV (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJI 新しい))
 (N 機種))
 (P-OPTR も))
 (PP-CMPL (NP (N 気))
 (P-ROLE に))
 (VB なる))
 (P-CONN し)
 (PU 。)))
 (ID 80_misc_KNB))

(311) 今後の医療運営は被災地の人口流出にも向き合うことになる。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 今後))
 (P-ROLE の))
 (N 医療運営))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (IP-EMB (PP (NP (PP (NP (N 被災地))
 (P-ROLE の))
 (N 人口流出))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR も))
 (VB 向き合う))
 (N こと))
 (P-ROLE に))
 (VB なる)
 (PU 。)))
 (ID 25_news_KAHOKU_93))

15.6 イ形容詞 (ADJI)

「大きい」「うつくしい」等のイ形容詞 (ADJI) は、例えば命令形を持たない等の独特な活用パラダイムを持っている。ADJI は修飾句や述語拡張形との共起関係に関して制限を有し、文脈によっては焦点について助詞との間に特別な相互作用を見せる。しかし投射に関しては、他の述語と同様の振舞いをする。名詞句の範囲外で主語と共に出現する場合、イ形容詞は主節、CP の下の IP-SUB, IP-ADV, または IP-SMC を投射し、文法機能に関しても文法表示に関しても基本的に動詞や他の述語と同一の制約を持つ。

- 主節中の用例:

(312) 新市を軌道に乗せる意欲は強い。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (N 新市))
 (P-ROLE を))
 (PP (NP (N 軌道))
 (P-ROLE に))
 (VB 乗せる))
 (N 意欲))
 (P-OPTR は))
 (ADJI 強い)
 (PU 。))
 (ID 160_news_KAHOKU_28))

• CP の下の IP-SUB 中の用例:

(313) そんなこともないですか?
 ((CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ (NP (D そんな)
 (N こと))
 (P-OPTR も))
 (ADJI ない)
 (AX です))
 (P-FINAL か)
 (PU ?))
 (ID 21_news_KAHOKU_10414))

• 従属節としての IP-ADV 中の用例:

(314) 人間で言えば80歳近いのに、まだやんちゃですよ」
 ((CP-FINAL (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
 (PP-SCON (IP-ADV (IP-ADV-SCON-CND (NP-SBJ *speaker*)
 (NP-OB1 *pro*)
 (PP (NP (N 人間))
 (P-ROLE で))
 (VB 言え)
 (P-CONN ば))
 (PP (NP (NUMCLP (NUM 80)
 (CL 歳)))
 (P-ROLE *に*))
 (ADJI 近い))
 (P-CONN のに))
 (PU 、)
 (ADVP (ADV まだ))
 (ADJN やんちゃ)
 (AX です))
 (P-FINAL よ)
 (PUR 」))
 (ID 8_news_KAHOKU_13153))

• 等位節としての IP-ADV 中の用例:

(315) 家族愛の深さは尊いが、互いを心配するあまり、津波避難が遅れる場合もある。

((IP-MAT (PP-CONJ (IP-ADV (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 家族愛))
(P-ROLE の))
(N 深さ))
(P-OPTR は))
(ADJI 尊い))
(P-CONN が))
(PU 、)
(NP-ADV (IP-EMB (NP-SBJ *pro*))
(PP-OB1 (NP (PRO 互い))
(P-ROLE を))
(VB 心配)
(VB0 する))
(N あまり))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 津波避難))
(P-ROLE が))
(VB 遅れる))
(N 場合))
(P-OPTR も))
(VB ある)
(PU 。))
(ID 45_news_KAHOKU_63))

(316) このいちごは甘くておいしいです。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D;{STRAWBERRY_27} この)
(N いちご))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-CONJ (ADJI 甘く)
(P-CONN て))
(ADJI おいしい)
(AX です)
(PU 。))
(ID 27_misc_BUFFALO))

• IP-SMC 中の用例 ((302) と (305) も参照されたい) :

(317) 阪神大震災でも心の問題は3年目に多くなった。

((IP-MAT (PP (NP (NPR 阪神大震災))
(P-ROLE で)
(P-OPTR も))
(PP-SBJ (NP (PP (NP (N 心))
(P-ROLE の))
(N 問題))
(P-OPTR は))
(PP (NP (NUMCLP (NUM 3)
(CL 年目)))
(P-ROLE に))
(IP-SMC-OB1 (ADJI 多く))
(VB なっ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 25_news_KAHOKU_616))

イ形容詞が主語（空要素も含む）を伴って名詞を修飾する場合、それがイ形容詞単独の修飾であっても、イ形容詞が目的語や副詞句を伴う場合であっても区別は行わない。その多くは関係節（IP-REL）を投射するものとして扱われる。また、主名詞との関係によっては、空所なし名詞修飾節（IP-EMB）を投射するものとして扱われることもある。

• IP-REL の中の用例:

(318) ジョンは赤い車を持っている。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR ジョン))
                    (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                      (ADJI 赤い))
            (N 車))
          (P-ROLE を))
  (VB 持つ)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる)
  (PU 。))
(ID 1191_misc_JSeM_beta_150530))
```

• IP-EMB の中の用例:

(319) おそらくすでに春が近いしるしだろう

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
  (ADVP (ADV おそらく))
  (NP-PRD (IP-EMB (ADVP (ADV すでに))
                (PP-SBJ (NP (N 春))
                        (P-ROLE が))
                (ADJI 近い))
        (N しるし))
  (AX *)
  (MD だろう))
(ID 919_aozora_Harada-1960))
```

2番目の項を必要とする特別な意味を持つ形容詞が多数存在する。このような、2つの項を持つイ形容詞のリスト（網羅的ではない）を、第一目的語を表示する典型的な助詞と共に以下に挙げておく。

いっぱい(で), 睦まじい(と), 親しい(と), ふさわしい(に, と), につかわしい(に, と), ひとしい(に, と), 紛らわしい(に, と), 欲しい(が), 遠い(から), 近い(に), ない(に), 多い(に), 少ない(に), 乏しい(に), 厚い(に), 優しい(に), 冷たい(に), 甘い(に), よそよそしい(に), 厳しい(に), うるさい(に), くちやかましい(に), 恥ずかしい(に), 悪い(に), 弱い(に), 強い(に), 詳しい(に), 明るい(に), 暗い(に), 疎い(に, から), 鋭い(に), 鈍い(に), 忙しい(に, で)

「欲しい」のように両方の項の名詞句が「が」により表示されるものもあることに注意が必要である。この種の文と、二重主語文とは注意深く区別しなければならない。「が」で表示された名詞句のうちの片方のみを述語と組み合わせ、文脈を用いて適切な文の意味を得ることができるならば、そのような名詞句は同じ述語の主語あるいは第一目的語である。例えば、「私がチョコレートが欲しい」という文が与えられたとして、以下に示すどちらの文も、文脈を与えれば適切である。

1. 私が欲しい
2. チョコレートが欲しい

この場合は、「私」は NP-SBJ であり、「チョコレート」は NP-OB1 となる。

一方、「象が鼻が長い」のような文では、「象」は SBJ、「鼻」は SBJ2 の二重主語文である。なぜなら「象が長い」は「象が鼻が長い」という文の意味を念頭に置かなければ「長い」の主語が「象」とは解釈できないからである。

15.7 特別な場合（イ形容詞と関連して）

助動詞的な働きをするイ形容詞「ほしい」は IP-SMC-OB1 を補部としてとり、この補部は常に主語ではない要素からコントロールを受ける。この IP-SMC は (VB ...) (P-CONN て) あるいは (VB0 ...) (P-CONN て) と分析される。

(320) 私に何をしてほしいの？

```
( (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
  (PP-DOB1 (NP (PRO 私))
    (P-ROLE に))
  (IP-SMC-OB1 (PP-OB1 (NP (WPRO 何))
    (P-ROLE を))
    (VB し)
    (P-CONN て))
  (ADJI ほしい)
  (FN の))
  (PU ?))
  (ID 329_textbook_purple_intermediate))
```

15.8 テンス標識 (AXD)

過去テンスおよび完了アスペクトの「た・だ」はテンス標識 (AXD) とラベル付けされる。動詞連用形に接続し、終止・連体形として使用される。AXD のラベルは古語の「き・し、たり、り」にも与えられる。

(321) 本当に喜べる日はもう少し先となった。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
  (ADVP (ADJN 本当)
    (AX に))
  (VB 喜べる))
  (N 日))
  (P-OPTR は))
  (IP-SMC-OB1 (ADVP (ADVP (ADV もう))
    (ADV 少し))
  (NP-PRD (N 先))
  (AX と))
  (VB なっ)
  (AXD た)
  (PU 。))
  (ID 9_news_KAHOKU_117))
```

- 「た・だ」は、ただし、動詞が名詞を修飾する際に、過去や完了でなく状態としての意味をもち、形容詞に近い役割を果たすことがある。その場合には、AXD ではなく AX のラベルを与えられる（詳しくは、15.10 節を参照）。

15.9 助動詞 (AX)

助動詞 (AX) は次のような要素に対するラベルとして用いられる。以下に主な助動詞を挙げる。このうち、最後の「コピュラ」については、15.12でより詳しく見る。

- イ形容詞と同じ活用形を持つ派生接尾辞：がたい、たい、やすい、らしい
- ナ形容詞・名詞と同じふるまいをする派生接尾辞：がち、そう、っぱなし
- 動詞と同じ活用形を持つ派生接尾辞：がる、ちまう、ます、まする、やがる、ごたる
- いわゆる「比況・例示」の助動詞：ごとし (ごとく/ごとき)
- 未然形に後続し、意志や推量を表す助動詞：う/よう
- テンス／アスペクト的な意味を持たない「た/だ」
- コピュラ：だ (で/な/の/に), です (でし/でしょ), じゃ・じゃあ, たる (たら/たり), なる (なら/なり), や (やっ/やん), だんし, でっしゃ

なお、イ形容詞と同じ活用形を持つ派生接尾辞の中でも「づらい」(しづらい、分かりづらい、見えづらい、等)については、先行する動詞語幹と合わせて単一の形容詞 (ADJI) として扱われる。

15.10 「た・だ」の特別な場合

動詞によっては助動詞「た・だ」を伴って名詞を修飾する際に、過去や完了の意味をもち、単に被修飾名詞の状態を叙述することがある。このような「た・だ」は、言い切りの形としては「ている・でいる」で意味を変えることなく置き換えられるのが特徴である。そのような場合、「た・だ」は AXD ではなく AX としてラベル付けされる。

- 折れ曲がった道 → 道が折れ曲がっている (≠ 道が折れ曲がった)

以下に AX としての「た」を伴う例を挙げる:

安定した, 生きた, 落ち着いた, 思いあがった, 思い切った, 思い詰めた, 折れ曲がった, 限られた, 固めた, 勝ち誇った, 兼ねた, かぶった, 加味した, 冠った, 刈り込んだ, かわいた, 組み合わせた, 悟り切った, 覚ました, 従った, しぼった, 緊めた, 湿った, しゃれた, すぐれた, 背負った, 洗練された, 想定した, 相当した, そろった, 対応した, 体感した, たたえた, 立て切った, 立てた, 付いた, 使い古した, 使った, 突き上げた, 包まれた, 詰まった, 積もった, 吊るした, 説いた, ねじれた, 載せた, ばかげた, 離れた, はめた, 控えた, 含めた, 伏せた, 肥った, 古びた, 平然とした, 向いあった, 面した, 用いた, 持った, 盛り込んだ, やせ衰えた, 緩めた, 汚れた, 連携した

15.11 モーダル要素 (MD, ADJI-MD, ADJN-MD)

MD, ADJI-MD, ADJN-MDは、文のモダリティを指定するのに寄与する語を支配する特別なカテゴリーである (以下MDで代表する)。そのような語をMDノードの下に分離しておくことの利点として、以下が挙げられる:

1. モダリティを指定する表現の、少なくともいくつかを特定するのに役に立つ— MDとは指定されていない要素が、モダリティに影響を与えるケースも数多くあることに注意。

2. 項構造を完全に書き出すことが不適切であるような場合に、依存関係を作り出す必要がなくなる（例えば、補語をとる名詞由来であったり、助詞と動詞から構成されたりするモーダル表現のうち、元来の意味を読み解くのが難しい表現など）
3. モーダルな関係を合成的に説明するために重要な形態的・意味的な情報を取り出すことが可能である（例えば、否定など）。

モーダル (MD) に属する要素の大部分は用言の終止・連体形に接続する。以下が典型例である：

- かもしれない、そう (伝聞)、だろう、ちがいない、べし、みたい、よう (推測)、らしい

以下に注意を要する例を挙げる：

- 「かもしれない」「かもしれません」は間接疑問を表す終助詞「か」の後に、それを選択する可能動詞未然形「しれ」が後続する、複雑な文法化表現の一部分である。

(322) 彼は飲み物を勧めるかもしれません。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼))
                    (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (NP (N 飲み物))
          (P-ROLE を))
  (VB 勧める)
  (MD かもしれません)
  (PU 。))
(ID 359_textbook_djg_intermediate))
```

- 終止形の用言に後接する「そう」は伝聞を意味し、必ずコピュラを伴う。動詞連用形、イ形容詞語幹、およびナ形容詞本体に接続するAXとしての「そう」の用法に付いては 15.9 節を参照。

(323) 大昔、火星に水があったそうだ。

```
( (IP-MAT (NP-TMP (N 大昔))
  (PU 、)
  (PP (NP (N 火星))
      (P-ROLE に))
  (PP-SBJ (NP (N 水))
          (P-ROLE が))
  (VB あっ)
  (AXD た)
  (MD そう)
  (AX だ)
  (PU 。))
(ID 600_textbook_particles))
```

- 「だろう」「であろう」「でしょう」はコピュラから派生したものであり、述語に推量のモダリティを加える。

(324) 先生でもわからないでしょう。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 先生))
(P-OPTR でも))
(VB わから)
(NEG ない)
(MD でしょう)
(PU 。))
(ID 132_textbook_particles))

- 「違うない」とその変形は確実性を意味する構文の一部分。

(258) その国はたいへん美しいに違うない。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D その)
(N 国))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADV たいへん))
(ADJI 美しい)
(P-ROLE に)
(MD 違うない)
(PU 。))
(ID 210_textbook_TANAKA))

- 終止・連体形に後続する「よう」についての詳細は 25.3参照。述語の未然形に後接する「よう」はAXとタグ付けされる。

上記から示唆されるように、モダリティと関係がある（そして独立の単位をなすと見なされることもある）一方で、MDというラベルをもたない表現も存在する。「なければならない」および「はず」が代表的な例である。NPCMJにおいて、前者は元の条件文的な構造を維持されており、V「なら」を支配するVB2によって特徴づけられる。後者はFNというタグをもつ。詳しくは、それぞれ15.4節および15.20節を参照。

ADJI-MDは2種類のモダリティ構文で用いられるイ形容詞を支配するカテゴリーである。1つは「良い」を含む、許可や望ましさを表す構文（「ても良い」「たら良い」「ば良い」「と良い」等）であり、もう1つは不必要性を表す構文（「までもない」等）である。合成的構造を維持することにより、これらの構文のバリエーションを捉えることが可能となる。

(326) 窓を開けてもいい？

((CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
(PP-OB1 (NP (N 窓))
(P-ROLE を))
(VB 開け)
(P-CONN て)
(P-OPTR も)
(ADJI-MD いい))
(PU ?))
(ID 594_textbook_purple_basic))

(327) どうしたらいいですか。

((CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
(ADVP-CMPL (WADV どう))
(VB し)
(P-CONN たら))

(ADJI-MD いい)
 (AX です))
 (P-FINAL か)
 (PU 。))
 (ID 556_textbook_purple_basic))

(328) 歴史は歴史家に任せて、小説家は小説を書けばよいのだ。

((IP-MAT (IP-ADV-CONJ (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (N 歴史)
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (N 歴史家))
 (P-ROLE に))
 (VB 任せ)
 (P-CONN て))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (N 小説家))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (N 小説))
 (P-ROLE を))
 (VB 書け)
 (P-CONN ば)
 (ADJI-MD よい)
 (FN の)
 (AX だ)
 (PU 。))

(ID 53_aozora_Nomura-13-1954))

(329) 南十字星が見えるといいな。

((CP-FINAL (IP-SUB (PP-SBJ (NP (N 南十字星))
 (P-ROLE が))
 (VB 見える)
 (P-CONN と)
 (ADJI-MD いい))
 (P-FINAL な)
 (PU 。))

(ID 535_textbook_particles))

(330) すしが日本の代表的な料理であることは言うまでもない。

((IP-MAT (NP-SBJ *arb*)
 (PP-OB1 (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N すし))
 (P-ROLE が))
 (NP-PRD (PP (NP (NPR 日本))
 (P-ROLE の))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 代表的)
 (AX な))
 (N 料理))
 (AX で)
 (VB2 ある))
 (N こと))

(P-OPTR は))
 (VB 言う)
 (P-OPTR までも)
 (ADJI-MD ない)
 (PU 。))
 (ID 152_textbook_djg_advanced))

ADJN-MDは許可あるいは禁止を表す構文（「て結構だ」「てはだめだ」等）で用いられるナ形容詞を支配するカテゴリーである。これらの構文を分析的に扱うことの根拠はADJI-MDの場合と同様である。

(331) 大臣は退席をされて結構でございます。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 大臣))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (N 退席))
 (P-ROLE を))
 (VB さ)
 (VB2 れ)
 (P-CONN て)
 (ADJN-MD 結構)
 (AX で)
 (VB2 ござい)
 (AX ます)
 (PU 。))
 (ID 17_diet_kaigiroku-8))

(332) ここで止めては駄目だ

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP (NP (PRO ここ))
 (P-ROLE で))
 (VB 止め)
 (P-CONN て)
 (P-OPTR は)
 (ADJN-MD 駄目)
 (AX だ))
 (ID 127_dict_pth_r))

15.12 コピュラ表現

コピュラは多くの場合ナ形容詞 (ADJN) や名詞句 (NP) に後続するが、副詞句 (ADV) や助詞句 (PP) 等に後続することもある。コピュラの機能は、主語名詞句を他の名詞句等と関連付けることであり、それには次の3つの基本的な意味的タイプがある。

- (i) 同一性 (identity) 「遊び人の金さんは奉行の遠山景元だ」
- (ii) 属性叙述 (property ascription) 「油揚げは狐色だ」
- (iii) 指定 (specification) 「勝つのは俺だ」

15.12.1 コピュラおよびコピュラの脱落

この節ではコピュラの形式と分布について記述する。コピュラ「だ」とそれに類する要素は、AX とラベル付けされる。複合的形式の「である」もまたコピュラの機能を果たす。この形式は以下のように分析される。

(... (AX で)
(VB2 ある))

コピュラの否定形もまた複合的形式によって表される。多くの場合、コピュラと否定の「ない」の間にはとりたて助詞が挿入される。

(... (AX で)
(P-OPTR は)
(NEG ない))

「だ」とそれに類する要素は、名詞述語 (NP-PRD) やナ形容詞 (ADJN) に後続する他に、形式名詞 (例えば, (FN の)) やモーダル要素 ((MD みたい), (MD べき), (MD そう)) の後にも現れる。

単純な (肯定・非過去・非意志形の) コピュラ「だ」は、「らしい, みたい, かもしれない, にちがいない」等のモーダル要素や、助詞「なら」等の前では生起不可能だが、「である」はこの位置に出現することができる。前者の場合、コピュラのゼロ形式 (AX *) がモーダルや「なら」の前に挿入される。

(333) 札は十円札らしい。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 札))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (NUMCLP (NUM 十)
(CL 円))
(N 札))
(AX *)
(MD らしい)
(PU 。))

(ID 509_aozora_Natsume-1908))

意志／推量形 (未然形) の表現では、コピュラのゼロ形式 (AX *) にモーダル助動詞の「だろう」「でしょう」「であろう」が後続する。

(334) これはあなたがたにとって、小さいことであろうか。

((CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ (NP (PRO これ))
(P-OPTR は))
(PP (NP (PRO あなたがた))
(P-ROLE にとって))
(PU 、)
(NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(ADJI 小さい))
(N こと))
(AX *)
(MD であろう))
(P-FINAL か)
(PU 。))

(ID 551_bible_ot))

終助詞 (P-FINAL) 「か」「さ」等の直前で、「だ」は省略される。埋め込まれた間接疑問節においても「だ」は省略されることが多い (ただし、「だか」という連続が出現することもある)。

(335) 「私は涙というものがどんなものを知らなかった。」

```
( (IP-MAT (PUL 「)
  (PP-SBJ (NP (PRO 私))
    (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 涙))
    (P-ROLE という))
    (N もの))
    (P-ROLE が))
    (NP-PRD (WD どんな)
    (N もの))
    (AX *))
    (P-FINAL か))
    (P-ROLE を))
  (VB 知ら)
  (NEG なかつ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 78_aozora_Yuki-1-2000))
```

(336) なぜだかは分かりません。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (PP (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
    (ADVP-PRD (WADV なぜ))
    (AX だ))
    (P-FINAL か))
    (P-OPTR は))
  (VB 分かり)
  (AX ませ)
  (NEG ん)
  (PU 。))
(ID 303_aozora_Hayashida-2015))
```

また、とりたて助詞 (P-OPTR) 「なら」の前でも「だ」は省略される。

(337) 「ハンドガンなら持ってるよ」

```
( (CP-FINAL (PUL 「)
  (IP-SUB (NP-SBJ *speaker+pro*)
    (PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-SBJ *pro*)
    (NP-PRD; {HANDGUN} (N ハンドガン))
    (AX *))
    (P-OPTR なら))
    (NP-OB1; {HANDGUN} *pro*)
    (VB 持つ)
    (VB2 てる))
  (P-FINAL よ)
  (PUR 」))
(ID 268_fiction_DICK-1952))
```

「ね」「よ」等いくつかの終助詞の前では「だ」は任意的である。これらの「だ」が省略されるすべての場合のアノテーションにおいて、コピュラのゼロ形式を補充する必要はない。

(338) あなたは女よ。

((CP-FINAL (IP-SUB (PP-SBJ (NP; {HEARER_1312} (PRO あなた))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (N 女)))
(P-FINAL よ)
(PU 。))
(ID 1313_textbook_kisonihongo))

他方、終助詞の中にも「ぞ、ぜ、わ、な」のように、直前の「だ」を省略できないものもある。また、伝聞を表すモーダル助動詞「そう」の後では「だ」は省略できない。さらに、従属節を導く助詞「けれど、とも、から、し、が」等の直前でも「だ」は省略することができない。

述語の拡張形である (FN の) (AX だ) の場合にも、「だ」の省略に関して以上と同じようなことが言える。例えば、終助詞「か」の前で単純な語形「だ」は通常省略されるが、丁寧形等の複合的な語形は省略されない。

- のだ/*のだから/のか;
- んだ/*んだから/んか;
- のです/のですか;
- んです/んですか; 等

15.12.2 コピュラの形

コピュラは以下に見るように、様々な活用形を持つ。

- だ/だっ/だろ/だい/で/に/と/の/な
- です/でし/でしょ
- や/やっ/やん
- じゃ
- たる/たら/たり
- なる/なら/なり
- だんし
- でっしや

このような活用形のうち、コピュラ「だ」の連用形「で」は、「ある、いる、ござる」を従えて複合的なコピュラを作るほか、単独で従属節の終末部を構成するコピュラとして出現することができる。

(339) <SL 銀河> 客車は4両編成で、定員180人を予定。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRN (PUL <)
 (NP (NPR S L 銀河))
 (PUR >))
 (N 客車))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-CONJ (NP-PRD (NUMCLP (NUM 4)
 (CL 両))
 (N 編成))
 (AX で))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (N 定員)
 (NUMCLP (NUM 180)
 (CL 人)))
 (P-ROLE を))
 (VB 予定)
 (PU 。))
 (ID 30_news_KAHOKU_1917))

(340) 仙台は静かでもとてもきれいでした。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 仙台))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-CONJ (ADJN 静か)
 (AX で))
 (ADVP (ADV とても))
 (ADJN きれい)
 (AX だし)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 9_misc_EXAMPLE))

上記の例における (AX で) は「であって」と交替可能である。

古いコンピュータ「なり」の変化形のひとつ「なら」は、同形の「なら」が接続助詞およびとりたて助詞にもあることに注意されたい。

「に」と「と」はコンピュータの連用形が期待されるとき現れる。「に」は特に、ナ形容詞 (ADJN) の後に現れるが、小節 (IP-SMC) では述語名詞句の後 (NP-PRD) に現れることもある。「と」も同じような状況で現れる。このような「に」や「と」は (AX に) や (AX と) のように分析される (詳細については、25.1.1節-25.1.3節を参照)。

(341) 子供は一生懸命に手拭を見ていた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 子供))
 (P-OPTR は))
 (ADVP (ADJN 一生懸命)
 (AX に))
 (PP-OB1 (NP (N 手拭))
 (P-ROLE を))
 (VB 見)
 (P-CONN て)
 (VB2 い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 262_aozora_Natsume-1908))

(342) 全学級の大騒ぎになった。

((IP-MAT (NP-SBJ; {AKUN_AGITATING} *pro*)
 (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (PP (NP (Q 全学級))
 (P-ROLE の))
 (N 大騒ぎ))
 (AX に))
 (VB なっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
(ID 60_aozora_Dazai-1-1940))

(343) 急に室の中が暗く陰気となった。

((IP-MAT (ADVP (ADJN 急)
 (AX に))
 (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 室))
 (P-ROLE の))
 (N 中))
 (P-ROLE が))
 (IP-SMC-OB1 (IP-ADV-CONJ (ADJI 暗く))
 (ADJN 陰気)
 (AX と))
 (VB なっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
(ID 52_aozora_Ogawa-1909))

「に」または「と」が「ある」と縮約した「なる」「たる」はコンピュータの連体形として用いられる。

(344) あれは無意味なる沈鬱である。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO あれ))
 (P-OPTR は))
 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 無意味)
 (AX なる))
 (N 沈鬱))
 (AX で)
 (VB2 ある)
 (PU 。))
(ID 13_aozora_Terada-1929))

(345) 彼には確固たる考えがある。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 確固)
 (AX たる))
 (N 考え))
 (P-ROLE が))

((IP-MAT (PP-SCON-CND (IP-ADV (PP-SBJ (NP (N 家庭))
(P-ROLE が))
(ADJN 不安定)
(AX だ))
(P-CONN と))
(PP-SBJ (NP (PP (NP (N 子ども))
(P-ROLE の))
(N 状態))
(P-OPTR は))
(IP-SMC-OB1 (ADJI 良く))
(VB なら)
(NEG ない)
(PU 。))
(ID 39_news_KAHOKU_616))

• 等位節としての IP-ADV の中の例:

(340) 仙台は静かでもとてもきれいでした。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 仙台))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-CONJ (ADJN 静か)
(AX で))
(ADVP (ADV とても))
(ADJN きれい)
(AX でし)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 9_misc_EXAMPLE))

• IP-SMC の中の例:

(350) またも不思議に思って彼を見つめた。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
(IP-ADV-CONJ (NP-DOB1 *pro*)
(PP (ADVP (ADV また))
(P-OPTR も))
(IP-SMC-OB1 (ADJN 不思議)
(AX に))
(VB 思っ)
(P-CONN て))
(PP-OB1 (NP (PRO 彼))
(P-ROLE を))
(VB 見つめ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 93_aozora_Hayashida-2015))

• IP-REL の中の例:

(351) 『可哀そうな男だ。』

((IP-MAT (PUL 『)
 (NP-SBJ *hearer*)
 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 可哀そう)
 (AX な))
 (N 男))
 (AX だ)
 (PU 。))
 (ID 156_aozora_Togawa-1937-1))

• IP-EMB の中の例:

(352) 大衆が静かなことは日本人の特徴である。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 大衆))
 (P-ROLE が))
 (ADJN 静か)
 (AX な))
 (N こと))
 (P-OPTR は))
 (NP-PRD (PP (NP (N 日本人))
 (P-ROLE の))
 (N 特徴))
 (AX で)
 (VB2 ある)
 (PU 。))
 (ID 40_aozora_Hayashida-2015))

イ形容詞の場合と同じく、ナ形容詞にコンピュータの連用形の「に」「と」が続き、副詞的に使用される場合、これは副詞句 (ADVP) を投射する。

(353) カメラ付き携帯電話の普及などで、一般の人々が写真や映像を撮影し提供する機会が飛躍的に増えた。

((IP-MAT (PP (NP (PP (NP (N カメラ付き携帯電話))
 (P-ROLE の))
 (N 普及))
 (P-OPTR など)
 (P-ROLE で))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 一般)
 (AX の))
 (N 人々))
 (P-ROLE が))
 (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (CONJP (NP (N 写真))
 (P-CONN や))
 (NP (N 映像)))
 (P-ROLE を))
 (VB 撮影)
 (VB0 し))
 (NP-OB1 *pro*)
 (VB 提供)
 (VB0 する))

(N 機会))
 (P-ROLE が))
 (ADVP (ADJN 飛躍的)
 (AX に))
 (VB 増え)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 24_news_KAHOKU_39))

(354) 彼は公然と語っているのに、人々はこれに対して何も言わない。

((IP-MAT (PP-SCON (IP-ADV (NP-OB1 *pro*)
 (PP-SBJ (NP (PRO 彼))
 (P-OPTR は))
 (ADVP (ADJN 公然)
 (AX と))
 (VB 語っ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる))
 (P-CONN のに))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (N 人々))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (PRO これ))
 (P-ROLE に対して))
 (NP-OB1 (WPRO 何)
 (P-OPTR も))
 (VB 言わ)
 (NEG ない)
 (PU 。))
 (ID 560_bible_nt))

「好きだ」「嫌いだ」「上手だ」のようなナ形容詞は「が」が付加された名詞句を2つ持つが、そのうちの1つだけが主語 (SBJ) の役割を持つものとして分析される。2つめの名詞句は第一目的語 (OB1) の役割を与えられる。

(355) 鈴木さんが一番英語が上手です。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 鈴木さん))
 (P-ROLE が))
 (ADVP (ADV 一番))
 (PP-OB1 (NP (N 英語))
 (P-ROLE が))
 (ADJN 上手)
 (AX です)
 (PU 。))
 (ID 493_textbook_purple_basic))

この種の形容詞を伴う文といわゆる二重主語文とは細心の注意を払って区別する必要がある。「が」あるいは「は」が後接する名詞句の片方を取り出しても、残りの名詞句が (文脈が与えられれば) 述語と共に文として自立した意味をもち、述語に対する項としての役割を果たしている場合、それは述語の主語 (SBJ) または第一目的語 (OB1) であり二重主語文ではない。以下の例において「必要だ」は二項述語であり、「専用アプリのインストール」は第一目的語 (OB1) である一方で、「簡単」は「スマホやタブレット端末」と「操作」を主語とする二重主語文の述語である。

(356) スマホやタブレット端末は専用アプリのインストールが必要だが、操作は簡単。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (CONJP (NP (N スマホ))
(P-CONN や))
(NP (N タブレット端末)))
(P-OPTR は))
(PP-CONJ (IP-ADV (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 専用アプリ))
(P-ROLE の))
(N インストール))
(P-ROLE が))
(ADJN 必要)
(AX だ))
(P-CONN が))
(PU 、)
(PP-SBJ2 (NP (N 操作))
(P-OPTR は))
(ADJN 簡単)
(PU 。))
(ID 74_news_KAHOKU_97))
```

また、形態としてはナ形容詞に類似しているが、名詞修飾の位置にしか出現しないために、伝統文法で「連体詞」として分類されている「大きな」「小さな」「可笑しい」のような語がある。これらは単独の用法では PNL とラベル付けされる (16.4.2 節を参照)。

15.14 ナ形容詞分析の特例と例外

通常の名詞修飾が存在すると同時に、まったく同じ語幹に対して「な」の代りに「の」が後接された形式が存在することがある (例: 不思議な／の, 当たり前な／の, キレイ好きな／の, 等)。「別な食べ物・別の食べ物」「特別な措置・特別な措置」のように語の中には、名詞修飾の際に意味を変えることなしに、コンピュータ連体形の「な」と「の」を許容する。違う分析をする理由が特にない限りは、これらもまた ADJN と分析する。

ただし、「元気な子供」「元気の源」のように、「な」と「の」によって属性叙述かそうでないかが表現しわけられることがある。このような場合には、前者の「元気」を ADJN と、後者の「元気」を N とラベル付けする。また、「鮮やかなピンクの花・鮮やかなピンクな花」のように、「な・の交代」が認められる要素が名詞修飾を受ける場合は N とラベル付けする。

ただし、「よう」「はず」「ふう」のように、通常の名詞と同様に修飾を受け、また格助詞が付加できるにもかかわらず、名詞を修飾する際に、「の」ではなく「な」を後接させる語が存在する。これらは FN (名詞) として分析する (15.20 節を参照)。

15.15 名詞句述語 (NP-PRD)

名詞句述語は、主要部として N (名詞), NPR (固有名詞), Q (量化詞), PRO (代名詞), WPRO (疑問代名詞) 等を持ち、NP-PRD とラベル付けされる。名詞句述語はコンピュータと結合し、(1) 主語名詞句の属性の指示, (2) 主語名詞句との同一関係の叙述, あるいは (3) 集団を指示する名詞のメンバーの特定, もしくは属性を指示する名詞の値の特定, のいずれかを行う。

NP-PRD により構成された述語は、他の種類の述語と同様に、主語と共起して節を投射する。

- 主節中の用例:

(357) 暗黒エネルギーの正体を探ることが現代宇宙論の最大のテーマです。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 暗黒エネルギー))
 (P-ROLE の))
 (N 正体))
 (P-ROLE を))
 (VB 探る))
 (N こと))
 (P-ROLE が))
 (NP-PRD (PP (NP (N 現代宇宙論))
 (P-ROLE の))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 最大)
 (AX の))
 (N テーマ))
 (AX です)
 (PU 。))
 (ID 14_news_KAHOKU_11382))

• CP 下の IP-SUB の中の用例:

(358) ー審査委員長一押し¹の提案は何ですか。

((CP-QUE (IP-SUB (SYM ー)
 (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (N 審査委員長一押し))
 (AX の))
 (N 提案))
 (P-OPTR は))
 (NP-PRD (WPRO 何))
 (AX です))
 (P-FINAL か)
 (PU 。))
 (ID 101_news_KAHOKU_52))

• 従属節として用いられた IP-ADV の中の用例:

(359) 自分は虜だから、腰をかける訳に行かない。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 自分))
 (P-OPTR は))
 (PP-SCON (IP-ADV (NP-PRD (N 虜))
 (AX だ))
 (P-CONN から))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (N 腰))
 (P-ROLE を))
 (VB かける)
 (FN 訳)
 (P-ROLE に)
 (VB2 行か)
 (NEG ない)
 (PU 。))
 (ID 297_aozora_Natsume-1908))

- 等位節として用いられた IP-ADV の中の用例:

(360) 藤原氏は小保内氏の側近で、昨年 3 月に退任。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{PERSON} (NPR 藤原氏))
      (P-OPTR は))
  (IP-ADV-CONJ (NP-PRD (PP (NP;{PERSON} (NPR 小保内氏))
      (P-ROLE の))
    (N 側近))
    (AX で))
  (PU 、)
  (PP-TMP (NP (N 昨年)
    (NUMCLP (NUM 3)
      (CL 月)))
    (P-ROLE に))
  (VB 退任)
  (PU 。))
(ID 127_news_KAHOKU_28))
```

- IP-SMC の中の用例:

(361) その間が、たっぷり一時間はあった様に思われます。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
      (PP-DOB1 (NP (D その)
        (N 間))
      (P-ROLE が))
  (PU 、)
  (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (IP-EMB (PP;*SBJ* (NP (ADVP (ADV たっぷり))
      (NUMCLP (NUM 一)
        (CL 時間)))
      (P-OPTR は))
    (VB あっ)
    (AXD た))
    (N 様))
    (AX に))
  (VB 思わ)
  (VB2 れ)
  (AX ます)
  (PU 。))
(ID 249_aozora_Edogawa-1929))
```

- IP-REL の中の用例:

(362) 国際学術コンペの審査委員長で、フロリダ大西洋大教授のフランク・シュニツドマンさんに聞いた。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
      (NP-OB1 *pro*)
      (PP (NP;{PERSON} (IP-REL (NP-SBJ *T*)
        (IP-ADV-CONJ (NP-PRD (PP (NP (N 国際学
術コンペ))
      (P-ROLE の))
```

(N 審査委員長))
 (AX で))
 (PU 、)
 (NP-PRD (N フロリダ大西洋大教授))
 (AX の))
 (NPR フランク・シュニッドマンさん))
 (P-ROLE に))
 (VB 聞い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 82_news_KAHOKU_52))

• IP-EMB の中の用例:

(363) だとすると、彼が犯人である可能性は低い。

((IP-MAT (CONJ だとすると)
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP; {TANAKA_175} (PRO 彼))
 (P-ROLE が))
 (NP-PRD (N 犯人))
 (AX で)
 (VB2 ある))
 (N 可能性))
 (P-OPTR は))
 (ADJI 低い)
 (PU 。))
 (ID 176_textbook_kisonihongo))

(364) 「先生、この人が生れつき盲人なのは、だれが罪を犯したためですか。」

((CP-QUE (PUL 「
 (IP-SUB (NP-VOC (N 先生))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (D この)
 (N 人))
 (P-ROLE が))
 (NP-ADV (N 生れつき))
 (NP-PRD (N 盲人))
 (AX な))
 (N の))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (NP-PRD (IP-EMB (PP-SBJ (NP (WPRO だれ))
 (P-ROLE が))
 (PP-OB1 (NP (N 罪))
 (P-ROLE を))
 (VB 犯し)
 (AXD た))
 (N ため))
 (AX です))
 (P-FINAL か)

(PU 。))
(ID 749_bible_nt))

15.16 助詞句述語 (PP-PRD)

名詞句 (NP) や副詞 (ADV) 等に格助詞 (P-ROLE) やとりたて助詞 (P-OPTR) が後続し、そこにさらにコピュラが後続することがある (擬似分裂文が典型的である)。この場合、助詞の投射した助詞句 (PP) に述語としての拡張タグを付け、PP-PRD とする。

(365) 第二は、本法改正の遡及適用についてであります。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NUMCLP (NUM 第二)))
(P-OPTR は))
(PU 、)
(PP-PRD (NP (PP (NP (N 本法改正))
(P-ROLE の))
(N 遡及適用))
(P-ROLE について))
(AX で)
(VB2 あり)
(AX ます)
(PU 。))
(ID 19_diet_kaigiroku-4))

(366) 私が持っているのは本だけです。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
(PP-SBJ (NP (PRO 私))
(P-ROLE が))
(VB 持つ)
(P-CONN て)
(VB2 いる))
(N の))
(P-OPTR は))
(PP-PRD (NP (N 本))
(P-OPTR だけ))
(AX です)
(PU 。))
(ID 420_textbook_TANAKA))

15.17 副詞句述語 (ADVP-PRD)

副詞 (ADV) を主要部とする副詞句 (ADVP) が、後続するコピュラを伴って述語となることがある。この場合、副詞の投射した副詞句に述語としての拡張タグを付け、ADVP-PRD とする。この種の構文には典型的には「そう」のような指示的な副詞が含まれる。

(367) ルールはこうだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N ルール))
(P-OPTR は))
(ADVP-PRD (ADV こう))
(AX だ)
(PU 。))
(ID 40_news_KAHOKU_179))

15.18 IPが述語となるケース (IP-ADV-PRD, IP-NMZ-PRD)

少数ながら、IP-ADVあるいはIP-NMZが後続するコピュラを伴って述語となることがある。この場合も拡張タグPRDを用いて、IP-ADV-PRDないしIP-NMZ-PRDとする。とりわけ後者のケースには、「だけでなく」や「ではなく」などで表される並列や対比の構造が典型的に含まれる。

(368) 視覚的だったり聴覚からであったり、感触からであったり抽象的な捉え方もしますし、動きながらだったり

((FRAG (IP-ADV-CONJ (PP-CONJ (IP-ADV (IP-ADV-CONJ (NP-SBJ; {THINK_ABOUT_WORLD} *pro*)
 (ADJN 視覚的) (IP-ADV-CONJ (IP-ADV-CONJ (AX
 だっ) (P-CONN
 たり)) (PP-PRD (NP
 (N 聴覚)) (P-ROLE
 から)) (AX で)
 (VB2 あっ)
 (P-CONN た
 り)) (PU 、)
 (PP-PRD (NP (N 感触))
 (P-ROLE から))
 (AX で)
 (VB2 あっ)
 (P-CONN たり))
 (NP-SBJ *arb*)
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 抽象的)
 (AX な))
 (N 捉え方))
 (P-OPTR も))
 (VB し)
 (AX ます))
 (P-CONN し))
 (PU 、)
 (IP-ADV-PRD (VB 動き)
 (P-CONN ながら))
 (AX だっ)
 (P-CONN たり)))
 (ID 196_ted_talk_11))

(369) 今後は2グループの構想だけでなく、地元自治体も新設医学部を支援するような施策づくりが望まれる。

((IP-MAT (PP-TMP (NP (N 今後))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-CONJ (IP-NMZ-PRD (NP-SBJ (PP (NP (NUMCLP (NUM 2)
(CL グループ))))
(P-ROLE の))
(N 構想))
(VB *))
(P-OPTR だけ)
(AX で)
(NEG なく))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*))
(NP-PRD (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 地元自治体))
(P-OPTR も))
(PP-OB1 (NP (N 新設医学部))
(P-ROLE を))
(VB 支援)
(VB0 する))
(N よう))
(AX な))
(N 施策づくり))
(P-ROLE が))
(VB 望ま)
(VB2 れる)
(PU 。))
(ID 89_news_KAHOKU_93))

15.19 CPが述語となるケース (CP-THT-PRD, CP-QUE-PRD)

CP-THTあるいはCP-QUEがコピュラを伴って述語となることがある。それぞれ24.17.6節, 24.16.4節を参照。

15.20 形式名詞 (FN) +コピュラ (AX)

「形式名詞+コピュラ」は次のような文法機能を持つ。主節の終末部に現れる場合、アスペクト, 情報構造, モダリティ, 証拠性等, 様々な役割を果たす。この種の語のうち基本的なものには, 「はず」(見込み), 「わけ」(根拠, 結論), 「もの」(習慣, 不可避性)がある。この他に, 多様な文脈で現れる以下の語を付け加えることができる: 「ふう」(様態), 「つもり, 気, 魂胆」(意図), 「ところ」(始動, 完了, 仮定), 「ため」(理由, 原因), 「せい, おかげ」(原因), 「ほう」(選択肢), 「まま」(現状維持), 等。これらの語のほとんどは名詞修飾節内部の主語表示における「が/の交替」を許さない(これらを含むコピュラ文自体が名詞を修飾する場合を除く)。これらの語の品詞タグは本コーパスではFNとする。主節の終末部に現れる場合, 直接IPに支配されるものとしてアノテーションされる。

(370) こう感じている酔客は多いはずだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*))
(ADVP (ADV こう))
(VB 感じ)
(P-CONN て))

(VB2 いる))
 (N 酔客))
 (P-OPTR は))
 (ADJI 多い)
 (FN はず)
 (AX だ)
 (PU 。))
 (ID 52_news_KAHOKU_107))

形式名詞の一部（例えば、「はず」や「わけ」）は、名詞述語に係る場合、その述語のコピュラが「な」形連体形になる場合がある。

(371) この計画は、実現不可能なわけでもない。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D この)
 (N 計画))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (ADJN 実現不可能)
 (AX な)
 (FN わけ)
 (AX で)
 (P-OPTR も)
 (NEG ない)
 (PU 。))
 (ID 142_textbook_particles))

15.21 のだ構文

文末の「のだ」を構成する「の」も FN（形式名詞）とラベル付けされ、動詞等の文構成素と同レベルに置かれて、直接 IP に支配されるものとしてアノテーションされる。このようなフラットなアノテーションを行うのは、(1) 形式名詞「の」の前の節が文に埋め込まれていると解釈した場合に生じる、スコープを決定するという困難を避ける；(2) 名詞修飾節に見られるような「が／の交替」が認められない、という理由がある。

(372) 田中が会いに来たのではない。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP; {TANAKA_730} (NPR 田中))
 (P-ROLE が))
 (PP-PRP (IP-NMZ (VB 会い))
 (P-ROLE に))
 (VB 来)
 (AXD た)
 (FN の)
 (AX で)
 (P-OPTR は)
 (NEG ない)
 (PU 。))
 (ID 730_textbook_kisonihongo))

「のだ」構文の主要部として現在形の名詞述語が現われる場合、「な」形連体形のコピュラが使用されることに注意。

(373) この猫は、いわば、我が家の一員なのです。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (D この)
                      (N 猫))
                    (P-OPTR は))
  (PU 、)
  (ADVP (ADV いわば))
  (PU 、)
  (NP-PRD (PP (NP (NP-POS (PRO 我が))
                  (N 家))
              (P-ROLE の))
          (N 一員))
  (AX な)
  (FN の)
  (AX です)
  (PU 。))
(ID 713_textbook_TANAKA))
```

15.22 「の」をコンピュータの連体形と見なす際の基準

「の」はコンピュータとして AX とラベル付けされるのか助詞 (P-ROLE) としてラベル付けされるのか判断が難しいことがある。本アノテーションでは原則として、「NP₁ の NP₂」を「[NP NP₂]は NP₁である」や「NP₁である NP₂」と言い換えることに問題がなく、また、NP₁ と NP₂ が同格関係にある場合には、「の」をコンピュータと見なし、AX とラベル付けする。この際の修飾句は関係節 (IP-REL) (または、空所なし名詞修飾節 (IP-EMB)) とされる。

(374) 「そこに小さなマッチ売りの少女がいる。

```
( (IP-MAT (PUL 「)
  (PP (NP (PRO そこ))
      (P-ROLE に))
  (PP-SBJ (NP (PNL 小さな)
              (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                      (NP-PRD (N マッチ売り))
                      (AX の))
              (N 少女))
      (P-ROLE が))
  (VB いる)
  (PU 。))
(ID 225_aozora_Yuki-1-2000))
```

ただし、上記の原則だけでは「の」の扱いに迷いが生じる可能性がある。以下では、このように迷いが生じる可能性のあるケースにおける本アノテーションでの方針を述べる。

- 「NP₁ のため」(原因, 理由): 「NP₁ のため」で原因や理由を表す場合は、「の」を AX とした上、修飾句全体を IP-EMB とする。この用法においては、「の」を「である」に置き換えて、「NP₁ であるため」を命題内容を変えずに得ることが可能である。

(375) 被災地ではまだ、保護者が大変な時期のため、子どもがうまく甘えられない面もある。

```
( (IP-MAT (PP (NP (N 被災地))
              (P-ROLE で))
```

(P-OPTR は))
 (NP-ADV (IP-EMB (ADVP (ADV まだ))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (N 保護者))
 (P-ROLE が))
 (NP-PRD (IP-EMB (ADJN 大変)
 (AX な))
 (N 時期))
 (AX の))
 (N ため))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 子ども))
 (P-ROLE が))
 (ADVP (ADJI うまく))
 (VB 甘え)
 (VB2 られ)
 (NEG ない))
 (N 面))
 (P-OPTR も))
 (VB ある)
 (PU 。))
 (ID 99_news_KAHOKU_55))

- 「NP₁ のため」(受益者・目的) : ただし, 「NP₁ のため」が受益者や目的を表す場合には, 「の」を「である」で置き換えることができない。この「の」は P-ROLE とする。

(376) 彼女は彼のために口添えした。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼女))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (PP (NP (PRO 彼))
 (P-ROLE の))
 (N ため))
 (P-ROLE に))
 (VB 口添え)
 (VB0 し)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 532_textbook_TANAKA))

(377) この「毒殺未遂事件」の正体は、反政宗派一掃のための自作自演説もある。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP; {MASAMUNE_ASSASSINATE_THEORY} (D この)
 (PUL 「)
 (N 毒殺未遂事
 件)
 (PUR 」))
 (P-ROLE の))
 (N 正体))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)

(PP-OB1 (NP (NML (PP (NP (PP (NP (N 反政宗派一掃))
(P-ROLE の))
(N ため))
(P-ROLE の))
(N 自作自演))
(N 説))
(P-OPTR も))
(VB ある)
(PU 。))
(ID 46_wikipedia_Datemasamune))

- 「NP₁ のせい」(原因, 理由): 「NP₁ のせい」の「の」は「である」と置き換えが可能な場合と不可能な場合がある。前者の「の」は AX と, 後者の「の」は P-ROLE とする。

(378) 彼女はガンのせいで死んだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼女))
(P-OPTR は))
(PP (NP (PP (NP (N ガン))
(P-ROLE の))
(N せい))
(P-ROLE で))
(VB 死ん)
(AXD だ)
(PU 。))
(ID 443_textbook_TANAKA))

(379) あなたのせいで、こんなことになったんです。

((IP-MAT (NP-SBJ; {SITUATION_87} *pro*)
(PP (NP (PP (NP; {HEARER_87} (PRO あなた))
(P-ROLE の))
(N せい))
(P-ROLE で))
(PU 、)
(ADVP-CMPL (NP-PRD; {AFTERMATH_87} (D こんな)
(N こと))
(AX に))
(VB なっ)
(AXD た)
(FN ん)
(AX です)
(PU 。))
(ID 87_textbook_kisonihongo))

- 「NP₁ のこと」の「の」は多くの場合「である」と置換えが不可能であり, P-ROLE とされる。しかし, 「NP₁ の」が性質を表し, 「こと」を主要部とする関係節 (IP-REL) と解釈できる場合もあるので注意されたい。

(380) 旦那さんが本当のことを言わないんですか。

((CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ (NP (N 旦那さん))
(P-ROLE が))
(PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*))
(ADJN 本当)
(AX の))
(N こと))
(P-ROLE を))
(VB 言わ)
(NEG ない)
(FN ん)
(AX です))
(P-FINAL か)
(PU 。))
(ID 688_textbook_kisonihongo))

- 「NP₁ のよう」: 「NP₁ のよう」では、(以下の (381) のように) 「である」と置換えが可能な場合は「の」を AX とした上で修飾句全体を IP-EMB とする。そうでない場合 (例えば、(382) では)、P-ROLE とされる。

(381) どうやら全員ご賛成のようですので、そのように決めさせていただきます。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
(NP-DOB1 *hearer*)
(PP-SCON (IP-ADV (NP-SBJ *exp*)
(NP-PRD (IP-EMB (NP-OB1; {SOLUTION_613} *pro*)
(ADVP (ADV どうやら))
(NP-SBJ (Q 全員))
(VB ご賛成)
(AX の))
(N よう))
(AX です))
(P-CONN ので))
(PU 、)
(IP-SMC-OB1 (NP-CZZ *speaker*)
(NP-OB1; {ISSUE_613} *pro*)
(PP (NP; {SOLUTION_613} (D その)
(N よう))
(P-ROLE に))
(VB 決め)
(VB2 させ)
(P-CONN て))
(VB いただき)
(AX ます)
(PU 。))
(ID 614_textbook_kisonihongo))

(382) ブラウンさんは日本人のような考え方をする。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR ブラウンさん))
(P-OPTR は))
(PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*))
(NP-PRD (PP (NP (N 日本人))
(P-ROLE の))

(N よう))
 (AX な))
 (N 考え方))
 (P-ROLE を))
 (VB する)
 (PU 。))
 (ID 104_textbook_djg_intermediate))

- 「NP₁ の NP₂」の例の中には、NP₁ と「の」の間に何らかの格助詞を補うことのできるものがある。例えば、「物理の本」「母のプレゼント」は「物理についての本」、「母からのプレゼント／母へのプレゼント」のように「について」「から」「へ」を補うことができる。このような例は文脈によっては「(この) 本は物理だ」「(この) プレゼントは母だ」のように「の」を「だ」「である」で置き換えられるかもしれないが、現行のアノテーションでは P-ROLE としておくことにする。

(383) ジャックはどうしても私の手紙に返事を書こうとしない。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR ジャック))
 (P-OPTR は))
 (PP-SCON-CND (IP-ADV (ADVP-CMPL (WADV どう))
 (VB し)
 (P-CONN て))
 (P-OPTR も))
 (PP (NP (PP (NP (PRO 私))
 (P-ROLE の))
 (N 手紙))
 (P-ROLE に))
 (PP-OB1 (NP (N 返事))
 (P-ROLE を))
 (VB 書こ)
 (AX う)
 (AX と)
 (VB2 し)
 (NEG ない)
 (PU 。))
 (ID 873_textbook_TANAKA))

- 「じゃがいもの皮むき」「佐藤の参加」「酒の酔い (がまわってきた)」「明日の開催」等、NP₂ が事態を表し、NP₁ がその事態の補語を表す場合も、「の」を P-ROLE としてアノテーションする。

(384) 近代的な官僚制の誕生と産業革命の開始とともに始まったのです

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP (NP (CONJP (NP (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 近代的)
 (AX な))
 (N 官僚制))
 (P-ROLE の))
 (N 誕生))
 (P-CONN と))
 (NP (PP (NP (N 産業革命))

```

(P-ROLE の))
(N 開始))
(P-ROLE とともに))
(VB 始まっ)
(AXD た)
(FN の)
(AX です)
(ID 83_ted_talk_8))

```

- 「多くの意見」「二人の学生」「幅2センチの紐」等のように、量化詞あるいは数量詞が NP₁ の主要部であり、それが N₂ の数量あるいは属性を表している場合、「の」は AX とされる。このとき、「NP₁ の」が量化の働きをしていれば、それを示すために関係節のラベル IP-REL に;* が加えられる（詳細は 20 節を参照）。

(385) 洪水で 3 人の人が行方不明だ。

```

( (IP-MAT (PP (NP (N 洪水))
(P-ROLE で))
(PP-SBJ (NP (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (NUMCLP (NUM 3)
(CL 人))))
(AX の))
(N 人))
(P-ROLE が))
(NP-PRD (N 行方不明))
(AX だ)
(PU 。))
(ID 470_textbook_TANAKA))

```

ただし、「NP₁ の」が NP₂ の数量も属性も表していない場合は、他の名詞句と同じような扱いを受け、「の」が P-ROLE として分析されることに注意されたい。

(386) 彼は二人の結婚に立ち会った。

```

( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼))
(P-OPTR は))
(PP (NP (PP (NP (NUMCLP (NUM 二人)))
(P-ROLE の))
(N 結婚))
(P-ROLE に))
(VB 立ち会っ)
(AXD た)
(PU . ))
(ID 1529_dict_vv-lexicon))

```

15.22.1 連体形「の」の等位節テスト

「である」の置き換えだけでは「の」が連体形のコピュラである場合をすべて識別できるわけではない。例えば、「昔、子供の頃」にこのテストを適用すると、*「昔、子供である頃」が得られ、不合格である。しかし「である」ではなく「であった」で置き換えた、「昔、子供であった頃」は可能である。したがって、この例はコピュラ分析が適切である。別のテストとして、等位節を利用するものが挙げられる。コピュラは等位節の前件では連用形の「で」となる。もし、問題となっている表現からコピュラ節と等位関

係にある節を作ると、前の節では「まだ子供でウブだった頃」、後ろの節では「まだウブで子供の頃」となるため、「の」がコピュラとして分析できることが分かる。以下の(362)はその実例のひとつである。

(362) 国際学術コンペの審査委員長で、フロリダ大西洋大教授のフランク・シュニッドマンさんに聞いた。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
      (NP-OB1 *pro*)
      (PP (NP;{PERSON} (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                                (IP-ADV-CONJ (NP-PRD (PP (NP (N 国際学
                                                                (P-ROLE の))
                                                                (N 審査委員長))
                                                                (AX で))
                                                                (PU 、)
                                                                (NP-PRD (N フロリダ大西洋大教授))
                                                                (AX の))
                                                                (NPR フランク・シュニッドマンさん))
                                (P-ROLE に))
                                (VB 聞い)
                                (AXD た)
                                (PU 。))
                                (ID 82_news_KAHOKU_52))
```

16 名詞句 (NP)

名詞句 (NP) は名詞的な要素を主要部 (名詞 (N), 固有名詞 (NPR), 代名詞 (PRO), 疑問代名詞 (WPRO), 等) とする。量化詞 (Q), 数量詞句 (NUMCLP) も名詞句の主要部となる。

IP によって直接支配される NP はすべて何らかの機能をラベル付けされる。そのような NP に関する議論は 9.1.2 および 9.2.2 を参照されたい。述語となった NP については 15.15 節を参照されたい。

16.1 名詞句の主要部

明示的な主要部を伴わない NP は、空の名詞的要素を持つと考えられる。これは、いわゆる N-bar 削除 (あるいは、所有者句の短縮) に見られる (24.2 節を参照)。この空の主要部はアノテーション中に明示的に表記されることはないが、それが投射する NP の中に潜在的に存在する。

(388) 三番目のにも仁王はいなかった。

```
( (IP-MAT (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                        (NP-PRD (NUMCLP (NUM 三)
                                         (CL 番目)))
                        (AX の)))
      (P-ROLE に)
      (P-OPTR も)
      (PP-SBJ (NP (NPR 仁王))
              (P-OPTR は))
      (VB い)
```


(NEG なかつ)

(AXD た)

(PU 。)

(ID 388_aozora_Natsume-1908))

名詞 (N) は言語の中で最大のクラスである。以下はコーパス中で最も頻度の高い名詞のいくつかを挙げたリストだが、形式名詞や関係名詞が多く含まれることに注意。

こと, の, よう, もと, 人, 中, ため, 方, 今, ところ, 前, ほう, 時, 家, 後, 子供, とが, 上, 部屋, 先生, うち, 父

なお、形式名詞は述語本体に後続し、述語拡張系を作ることがあるが、この場合の形式名詞には、N ではなく、FN というラベルが与えられること注意されたい (15.2 節および 15.20 を参照)。

固有名詞 (NPR) は2番目に大きなクラスである。以下にコーパス中で最も多く現れる固有名詞のいくつかを挙げる。

日本, 太郎, ヘプバーン, ヨーロッパ, グレゴール, イエス, 花子, スミス, 東京, ジョン, アメリカ, 大阪, 政宗, 中国, ジョーンズ, 仙台, 京都, 東北

代名詞 (PRO) および空要素 (*pro*) を主要部とする NP にはソート情報が付与されることがある。ソート情報については ?? 節を参照。使用頻度の高い代名詞 (PRO) は以下のとおり。

ここ, そこ, あそこ, こちら, そちら, あちら, こっち, そっち, あっち, これ, それ, あれ, これら, それら, あれら私, 私たち, おれ, 我々, 僕, うち, あなた, 君, おまえ, 彼, 彼ら, あいつ,

再帰代名詞は、本アノテーションでは他の代名詞と同様に PRO のラベルを与えられる。以下に見るように、再帰代名詞のリストはそれほど大きくはない。また、「彼ら自身」のように再帰代名詞が他の名詞や代名詞に対して同格的に現れた場合には、再帰代名詞 (PRO) の投射する NP を括弧挿入句 (PRN) の下に置き、PRN が名詞あるいは代名詞と共に名詞句を構成するものとしてアノテーションされる (PRN については 19 節を参照)。また、代名詞の「わが (我が)」のアノテーションについては 16.3 節を参照。

己, おのれ, 自分, ご自分, 自身, ご自身, 自ら, みずから, 自体, そのもの, その物

(389) 「彼ら自身の民族。

((FRAG (PUL 「)
(NP (PP (NP (PRO 彼ら)
(PRN (NP (PRO 自身))))
(P-ROLE の))
(N 民族))
(PU 。))

(ID 415_fiction_DICK-1952))

疑問代名詞 (WPRO) は典型的には疑問節で用いられる。使用頻度の高い疑問代名詞 (WPRO) は以下のとおりである。

いくつ, いくら, いずれ, いつ, おいくら, だれ, どこ, どちら, どちら様, どっち, なた, どれ, なに, なん, 何, 何れ, 誰

疑問代名詞にとりたて助詞「か」「も」あるいは「でも」等が後接すると、量化された意味を持つ構成素が作られる。これには、例えば、「だれか」のように不定の意味を持つもの、「どれも」のように全称量化の意味を持つもの、また「いつでも」のように認容の意味を持つものがある（詳しくは 20.1.3 節を参照）。一般に、WPRO を主要部とする NP と同様に、疑問を表す語 WPRO, WD, WADV, WNUM のいずれかを含む句は、疑問の焦点を受けたり、量化がなされたりする。

(390) 誰が買ったチョコレートもおいしい。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
                          (PP-SBJ (NP (WPRO 誰))
                                      (P-ROLE が))
                                (VB 買った)
                                (AXD た))
                              (N チョコレート))
                          (P-OPTR も))
  (ADJI おいしい)
  (PU 。))
(ID 6_misc_BUFFALO))
```

量化詞 (Q) は補部の役割を持つ名詞、浮遊量子、指示表現等の主要部となることができる。出現頻度の高い量化詞 (Q) の例をいくつか以下に挙げる。量化表現に関しては、20 節を参照のこと。

いっぱい, いろいろ, 大勢, 多く, 数多く, かなり, 十分, 少し, すべて, 全(員), 全体, 全部, それぞれ, たくさん, 多少, 多数, 一人一人, 複数, ほとんど, みんな, 毎日, 全国, 全員, 両手, 各地, 毎年, 各々, 毎朝, 全体, 各号

数詞 (NUM) または疑問数詞 (WNUM) を伴う量化表現を NUMCLP (助数詞句) とラベル付けする。NUMCLP は典型的には「三人」「4台」のように NUM または WNUM と助数詞 (CL) から成るが、NUM または WNUM のみから成ることもある。詳細は 20.1.2 節を参照のこと。

16.2 中間名詞節 (NML)

節以外の構成素の等位接続（詳細は 18 節を参照）を除き、本アノテーション体系においては NP が積み上がることは基本的にはない。どうしても中間的な名詞句が必要な場合は、NML が使われる。これが起きるのは、(i) 並列された要素を修飾する語句が存在する場合、または (ii) 並列された要素に同格的な量化句が後続する場合である。前者の例を挙げる。

(391) /意思表示の時期・方法探る

```
( (IP-MAT (NP-SBJ; {REGION} *pro*)
  (PU /)
  (NP-OB1 (PP (NP (N 意思表示))
              (P-ROLE の))
    (NML (CONJP (NP (N 時期)))
          (PU ・)
          (NP (N 方法))))
  (VB 探る))
(ID 11_news_KAHOKU_89))
```

後者の例は以下のとおり。

(392) 中立的な立場の素粒子物理学者や経済学者ら10人程度で構成し計画を検証する。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                                (ADJN 中立的)
                                (AX な))
                                (N 立場))
                                (P-ROLE の))
                                (NML (CONJP (NP (N 素粒子物理学者))
                                        (P-CONN や))
                                        (NP (N 経済学者)))
                                (N ら)
                                (PRN (NP;* (NUMCLP (NUM 10)
                                                    (CL 人))
                                                    (N 程度))))
                                (P-ROLE で))
    (IP-ADV-CONJ (NP-OB1;{WORKINGGROUP} *pro*)
    (VB 構成)
    (VB0 し))
    (PP-OB1 (NP (N 計画))
    (P-ROLE を))
    (VB 検証)
    (VB0 する)
    (PU 。))
(ID 24_news_KAHOKU_89))
```

16.3 所有名詞句 (NP-POS)

所有名詞句 (NP-POS) は代名詞「わが (我が)」の投射する NP である。「わが (我が)」は後続する名詞と助詞を介さずに直接に結びつくため、(NP-POS (PRO わが)) が後続の名詞と姉妹の関係を作るものとする。

(393) 母親は我が子に駆け寄った。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 母親))
                    (P-OPTR は))
    (PP (NP (NP-POS (PRO 我が))
            (N 子))
        (P-ROLE に))
    (VB 駆け寄っ)
    (AXD た)
    (PU . ))
(ID 736_dict_vv-lexicon))
```

16.4 名詞修飾部

16.4.1 限定詞 (D) と疑問限定詞 (WD)

NP を談話領域に関係づけることによってその NP の指示対象を規定する表現は限定詞と呼ばれる。限定詞は D と、疑問限定詞は WD とラベル付けされる。限定詞は通常は句を投射せず、それが修飾する名詞に隣接して現れる。主な限定詞 (D) のリストを以下に示す。

この、その、あの、こんな、そんな、あんな、こういう、そういう、ああいう、こういった、そういった、ああいった、こうした、そうした、ある、いわゆる、あらゆる、さらなる、例の

疑問限定詞 (WD) には次のようなものがある。

どの、どんな、どういう、どういった、どのような、いかなる

限定詞 (D) も疑問限定詞 (WD) も通常、句の主要部となることはなく、名詞 (N) に対する単一の単語から成る修飾部として名詞句 (NP) の直下に現れる。

(269) この点は何の作物についても言えることでもあります。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D この)
(N 点))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
(PP (NP (WD どの)
(N 作物))
(P-ROLE について)
(P-OPTR も))
(VB 言える))
(N こと))
(AX で)
(VB2 あり)
(AX ます)
(PU 。))
(ID 36_diet_kaigiroku-7))

ただし、例外的に D ないし WD が NP の主要部としてアノテートされることがある。そのような例のひとつとして、「この・くらい、その・くらい、あの・くらい、どの・ぐらいい」における「この、その、あの、どの」が挙げられる。以下の (395) に見るように、このとき「この、その、あの、どの」は NP の主要部となり、そこに P-OPTR 「くらい、ぐらいい」が付加されて、PP を作る。

(395) ロンドンではどのくらい雪が降りますか。

((CP-QUE (IP-SUB (PP (NP (NPR ロンドン))
(P-ROLE で)
(P-OPTR は))
(PP-MSR (NP (WD どの))
(P-OPTR くらい))
(PP-SBJ (NP (N 雪))
(P-ROLE が))
(VB 降り)
(AX ます))
(P-FINAL か)
(PU 。))
(ID 464_textbook_purple_basic))

また、以下の (396) の「その」は NP の主要部となり、それが VB 「取り扱う」の主語として機能している。

(396) 五その取り扱う個人情報の量及び利用方法からみて個人の権利利益を害するおそれが少ないものとして政令で定める者

する語を含む。

ただの, ずぶの, まったくの, まるっきりの, たいした, とんだ, れっきとした, ふとした, だいそれた, いろんな, ひよんな, いわゆる, たんなる, なだたる, あらぬ, よからぬ, おもわぬ, みちならぬ, あるまじき, きたるべき, あしき, よき, くしき, はずべき, おおきな, ちいさな, おかしな, ちょっとした

上に挙げた語のうちどれも、主節や従属節の中で述語として使用されることはほぼない。しかしながら、いくつかの語（特に、おおきな、ちいさな、おかしな）は、副詞的句に修飾されたり、或いは「目が大きな子犬」のように、二重主語構文の NP-SBJ に相当する主名詞を修飾する関係節の主要部となることができる。こういった場合は PNL は IP-REL の直下に置かれる。

(397) 自分でも驚くほど大きな声が出ました。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                               (PP-SCON (IP-ADV (NP-SBJ *speaker*)
                                                (PP (NP (PRO 自分))
                                                    (P-ROLE で)
                                                    (P-OPTR も))
                                                (VB 驚く))
                                                (P-OPTR ほど))
                               (PNL 大きな))
                               (N 声))
                               (P-ROLE が))
                               (VB 出)
                               (AX まし)
                               (AXD た)
                               (PU 。))
  (ID 104_news_KAHOKU_34))
```

句カテゴリー PNLP については 16.5.6 節を参照のこと。

16.5 名詞修飾節

名詞修飾節とは、述語の連体形が主要部となり、後続する N, PRO, WPRO, Q, または NPR を修飾する節である。いくつかのコンピュータの短縮形や化石化した形式を除いて、述語の連体形は過去終止形や非過去終止形と区別することはできない。名詞修飾節は、空所のある節、空所の無い節、および補文の3つの種類に分けられる。第一のグループの名詞修飾節は、主名詞（修飾される名詞）に対応する空所（トレース）を含んでいる。この種の名詞修飾節においては、主名詞を（格役割を表す要素を加えた上で）その空所に入れることで、完全な文を復元することが出来る。このような「空所を持つ」名詞修飾節は IP-REL (関係節) とラベル付けされる。第二の名詞修飾節は、主名詞が節内部で格役割を果たさないものであり、IP-EMB (空所なし名詞修飾節) とラベル付けされる。第三の名詞修飾節は、「という」「との」等の複合的な補文助詞を伴って後続する N, PRO, WPRO, Q, NPR を修飾するものである。それは通常 CP-THT に支配される IP-SUB という形式を取る。

16.5.1 関係節 (IP-REL)

関係節構造では、主要部の関係節における文法機能を特定するための情報を伴ったトレースが節の先頭に置かれる（8 節を参照）。(398) では、(NP-SBJ *T*) のようにトレースが関係節における主語であることが示されている。

(398) 彼は紙であふれた机にもたれている。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼))
                    (P-OPTR は))
  (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                  (PP (NP (N 紙))
                      (P-ROLE で))
                  (VB あふれ)
                  (AX た))
      (N 机))
    (P-ROLE に))
  (VB もたれ)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる)
  (PU 。))
```

(ID 173_aozora_Yuki-1-2000))

以下は、トレースが第一目的語の文法役割を果たす例である。

(399) 何か欲しいものはないの?」

```
( (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
                 (NP; *OB1* (WPRO 何)
                           (P-OPTR か))
                 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
                                     (NP-SBJ *hearer*)
                                     (ADJI 欲しい))
                           (N もの))
                       (P-OPTR は))
                 (ADJI ない)
                 (FN の))
  (PU ?)
  (PUR 」))
```

(ID 93_aozora_Harada-1960))

次に長距離依存の例を示す。関係節の中にさらに節が埋め込まれており、トレースはその埋め込まれた節における第一目的語の文法役割を果たしている。

(400) おばあさんに作ってもらった「きび団子」を持って出発しました。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ; {MOMOTARO} *pro*)
  (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP; {KIBIDANGO_TEN_MADE_BY_GRANDMOTHER} (IP-REL
  (NP-SBJ; {MOMOTARO} *pro*)
```

(PP-DOE

(NP; {GRANDMOTHER} (N おばあさん))

に))

(IP-SMC

(NP-OB1 *T*)

作っ

て))

(VB

もらっ)
 た)) (AXD
 「) (PUL
 きび団子) (NPR
 」)) (PUR

(P-ROLE を))

(VB 持つ)
 (P-CONN て))

(VB 出発)
 (VB0 し)
 (AX まし)
 (AXD た)
 (PU 。))

(ID 12_misc_momotaro))

次の例では、関係節の中にさらに別の関係節が、その中にさらにまた別の関係節が埋め込まれている。

(401) これは、ジャックが建てた家に置かれた麦芽を食べたねずみです。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{REF3} (PRO これ))
 (P-OPTR は))

(PU 、)

(NP-PRD;{RAT} (IP-REL (NP-SBJ *T*))

(PP-OB1 (NP;{MALT} (IP-REL (NP-SBJ *T*))

(NP-LGS *pro*))

(PP (NP;{HOUSE}

(IP-REL (NP-OB1 *T*))

(NP;{JACK} (NPR ジャック))

が))

建て)

た))

家))

(N

(P-ROLE に))

(VB 置か)

(PASS れ)

(AXD た))

(N 麦芽))

(P-ROLE を))

(VB 食べ)

(AXD た))

(N ねずみ))

(AX です)

(PU 。))
 (ID 4_misc_CALDECOTT-1878))
 次の例では、2つの関係節が1つの主名詞を共有している。

(402) 最も貧しい10億人を表した向こうにある箱が見えますか？
 ((CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADVP (ADV 最も))
 (ADJI 貧しい))
 (NUMCLP (NUM 10億)
 (CL 人)))
 (P-ROLE を))
 (VB 表し)
 (AX た))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP (NP (N 向こう))
 (P-ROLE に))
 (VB ある))
 (N 箱))
 (P-ROLE が))
 (VB 見え)
 (AX ます))
 (P-FINAL か)
 (PU ?))
 (ID 101_ted_talk_7))

次の例では主名詞が2つの等位接続された節によって修飾されている。このような場合、本アノテーションでは関係節のうちの主節 (IP-REL) にトレースを置き、等位された節 (CONJ の拡張タグが与えられる) が ATB 抽出によってそれを受け継ぐ。

(403) 彼女はピアノが弾けそして絵もかける人です。
 ((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{WOMAN_27} (PRO 彼女))
 (P-OPTR は))
 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (N ピアノ))
 (P-ROLE が))
 (VB 弾け))
 (CONJ そして)
 (PP-OB1 (NP (N 絵))
 (P-OPTR も))
 (VB かける))
 (N 人))
 (AX です)
 (PU 。))
 (ID 27_misc_EXAMPLE))

16.5.2 空所なし名詞修飾節 (IP-EMB)

もうひとつの名詞修飾節はそれだけで充足した構造をなし、修飾される名詞が修飾節の中で直接的な文法役割を持つことはない。このタイプの名詞修飾節は IP-EMB とラベル付けされる。

よく見られるタイプの空所なし名詞修飾節構造は、非飽和名詞を修飾するものである。多くの非飽和名詞（「こと」「ため」「の」「よう」等）はほとんどの場合に修飾要素を伴って現れ、また修飾要素がない場合は、慣用的な表現である（「為になる話」「事が運ばない」「モノを言うのは金だ」等）。これらの要素は修飾節の項として復元することができないので、それを修飾する節は IP-EMB（空所なし名詞修飾節）なのである。

(404) かけぶとんをはねのけるのは、まったく簡単だった。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
                               (PP-OB1 (NP (N かけぶとん))
                                             (P-ROLE を))
                                             (VB はねのける))
                               (N の))
                               (P-OPTR は))
  (PU 、)
  (ADVP (ADV まったく))
  (ADJN 簡単)
  (AX だっ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID107_aozora_Harada-1960))
```

(405) 沿線には大学が多いため学生利用が多い。

```
( (IP-MAT (NP-ADV (IP-EMB (PP (NP (N 沿線))
                                   (P-ROLE に)
                                   (P-OPTR は))
                               (PP-SBJ (NP (N 大学))
                                         (P-ROLE が))
                               (ADJI 多い))
  (N ため))
  (PP-SBJ (NP (N 学生利用))
           (P-ROLE が))
  (ADJI 多い)
  (PU 。))
(ID 7_wikipedia_KYOTO_19))
```

(406) 私がするようにやってみてください。

```
( (CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
                (PP (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP;{SPEAKER_1168} (PRO 私))
                                         (P-ROLE が))
                                         (VB する))
                (N よう))
                (P-ROLE に))
  (VB やっ)
  (P-CONN て)
  (VB2 み)
  (P-CONN て)
  (VB2 ください))
  (PU 。))
(ID 1168_textbook_kisonihongo))
```

言語表現, 思考, 知覚, 感覚, 出来事, 動作, 性質, 原因, 結果, 様態, 描写等の命題的な内容を持つ名詞に対して, その内容を補充する名詞修飾節も, IP-EMB としてはラベル付けされる。このような名詞の中には絵画名詞 (picture nouns) も含まれる。

(407) 子供が笑っている写真が置いてあった。

```
( (IP-MAT (NP-LGS *pro*)
  (PP-SBJ (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 子供))
    (P-ROLE が))
    (VB 笑っ)
    (P-CONN て)
    (VB2 いる))
  (N 写真))
  (P-ROLE が))
  (VB 置い)
  (P-CONN て)
  (PASS *)
  (VB2 あっ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID1218_textbook_kisonihongo))
```

また, 「時」「間」「前」「後」等の, いわゆる「相対名詞」(寺村秀夫 1984, 日本語記述文法研究会 2009a) の項として, 名詞修飾節が何らかの基準を与えるような場合も, そのような節はIP-EMB としてラベル付けされる。

(408) 画面が見えなくなる前に

```
( (FRAG (PP (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 画面))
  (P-ROLE が))
  (IP-SMC-OB1 (VB 見え)
    (NEG なく))
  (VB なる))
  (N 前))
  (P-ROLE に)))
(ID 37_misc_KNB))
```

「以来」「以降」に先行し, これを修飾する節の述語動詞は決まって「テ形」となるが, このような名詞修飾節も IP-EMB としてラベル付けする。

(409) 肝臓を患って以来、酒はやめている。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (NP-TMP (IP-EMB (PP-OB1 (NP (N 肝臓))
    (P-ROLE を))
    (VB 患っ)
    (P-CONN て))
  (N 以来))
  (PU 、)
  (PP-OB1 (NP (N 酒))
    (P-OPTR は))
  (VB やめ)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる))
```

(PU 。))

(ID 142_textbook_djg_advanced))

「とき(時)」「際」「場合」等の名詞が名詞修飾節を伴う場合は、これらが修飾節中で任意文法役割を持つと見なせることから、関係節 (IP-REL) とする考え方もありうる。しかし、本アノテーションでは「前」「後」等の相対名詞との連続を重視して、原則としてIP-EMBとして扱う。

(410) 今度彼に会ったときにこれを渡して下さい。

```
( (CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
  (PP-TMP (NP (IP-EMB (NP-TMP (N 今度))
    (PP (NP;{MAN_1273} (PRO 彼))
      (P-ROLE に))
    (VB 会っ)
    (AXD た))
    (N とき))
    (P-ROLE に))
  (NP-OB2;{MAN_1273} *pro*)
  (PP-OB1 (NP;{STUFF_1273} (PRO これ))
    (P-ROLE を))
  (VB 渡し)
  (P-CONN て)
  (VB2 下さい))
  (PU 。))
```

(ID 1273_textbook_kisonihongo))

勿論、文法役割がはっきりしている場合は関係節 (IP-REL) を採用する：

(411) そして意外な時に出て来て外界をのぞく事がある。

```
( (IP-MAT (CONJ そして)
  (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
    (IP-ADV-CONJ (PP-TMP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
      (ADJN 意外)
      (AX な))
      (N 時))
      (P-ROLE に))
      (VB 出)
      (P-CONN て)
      (VB2 来)
      (P-CONN て))
      (PP-OB1 (NP (N 外界))
        (P-ROLE を))
      (VB のぞく))
      (N 事))
      (P-ROLE が))
      (VB ある)
      (PU 。))
    (ID 67_aozora_Terada-1921))
```

これとは逆に、名詞修飾節と主名詞との間に明確な文法関係が成り立っていない場合、その節はIP-EMBとして扱われる。

(412) 魚が焼けるにおいがする。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 魚))
(P-ROLE が))
(VB 焼ける))
(N におい))
(P-ROLE が))
(VB する)
(PU 。))
(ID 1216_textbook_kisonihongo))

16.5.3 名詞を修飾する補部節 (CP-THT)

補文助詞 (P-COMP) 「という」あるいは「との」の投射する補部節 (CP-THT) が名詞を修飾することがある。

(413) 外国人に日本語を教えるという仕事は容易な仕事ではない。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (CP-THT (IP-SUB (NP-SBJ *arb*)
(P-OB2 (NP (N 外国人))
(P-ROLE に))
(P-OB1 (NP (N 日本語))
(P-ROLE を))
(VB 教える))
(P-COMP という))
(N 仕事))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(ADJN 容易)
(AX な))
(N 仕事))
(AX で)
(P-OPTR は)
(NEG ない)
(PU 。))
(ID 1221_textbook_kisonihongo))

(414) この計画の狙いは何かとの質問があった。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (CP-THT (CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ (NP (PP (NP;{PLAN_1210}
(D この
(N
計画))
(P-ROLE の))
(N 狙い))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (WPRO 何))
(AX *))
(P-FINAL か))
(P-COMP との))
(N 質問))
(P-ROLE が))
(VB あっ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 1210_textbook_kisonihongo))

16.5.4 主要部内在型関係節

主要部内在型関係節の例はコーパス内でそれほど多くはないが、一定数存在する。主要部内在型関係節では、主要部「の」と同一指示と見なされる構成素 (NP または PP) の直前に (PP (NP *T*) (P-ROLE *.e*)) を置く。

(415) 財布が落ちているのを拾った。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ;{SPEAKER_34} *speaker*)
  (PP-OB1 (NP (IP-REL (PP (NP *T*)
    (P-ROLE *.e*))
    (PP-SBJ (NP (N 財布))
      (P-ROLE が))
    (VB 落ち)
    (P-CONN て)
    (VB2 いる))
      (N の))
    (P-ROLE を))
    (VB 拾っ)
    (AXD た)
    (PU 。))
  (ID 34_misc_EXAMPLE))
```

(416) それから星の破片の落ちたのを拾って来て、かろく土の上へ乗せた。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (CONJ それから)
  (PP-OB1 (NP (IP-REL (PP (NP *T*)
    (P-ROLE *.e*))
    (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 星))
      (P-ROLE の))
      (N 破片))
      (P-ROLE の))
    (VB 落ち)
    (AXD た))
      (N の))
    (P-ROLE を))
    (IP-ADV-CONJ (VB 拾っ)
      (P-CONN て)
      (VB2 来)
      (P-CONN て))
    (PU 、)
    (ADVP (ADJI かろく))
    (PP (NP (PP (NP (N 土))
      (P-ROLE の))
      (N 上))
      (P-ROLE へ))
    (VB 乗せ)
    (AXD た)
    (PU 。))
  (ID 50_aozora_Natsume-1908))
```

16.5.5 残留代名詞

被修飾の主名詞と同一指示となる指示代名詞，または指示的表現が名詞修飾節の中に現れることがある。これは関係節 (IP-REL) の特別なタイプであり，主名詞が関係節の中で任意文法役割を持つか，あるいは文法役割を帯びた名詞句を修飾する構成素 (所有格PP や関係節等) の内部からの「移動」である時に見られることがある。このときトレースは (P-ROLE ***) の投射する PP の下に置かれる。同時に，同一指示の要素にはソート情報が与えられる。

(28) 有間皇子がどうしてもそこから逃れることのできなかつた悲運

```
( (FRAG (NP;{MISFORTUNE} (IP-REL (PP-SBJ (NP (NPR 有間皇子))
(P-ROLE が))
(PP-SCON-CND (IP-ADV (ADVP-CMPL (WADV ど
う))
(VB し)
(P-CONN て))
(P-OPTR も))
(PP-OB1 (NP (IP-EMB (PP (NP *T*)
(P-ROLE ***)
(PP (NP;{MISFORTUNE}
(P-ROLE から))
(VB 逃れる))
(N こと))
(P-ROLE の))
(VB でき)
(NEG なかつ)
(AXD た))
(N 悲運)))
(ID 7_misc_EXAMPLE2))
```

(418) 自分の兄弟だけがその中で苦しんでいる壕のなか

```
( (FRAG (NP (PP (NP;{FOXHOLE_45} (IP-REL (PP (NP *T*)
(P-ROLE ***)
(PP-SBJ (NP (PP (NP;{SELF} (PRO
自分))
(P-ROLE の))
(N 兄弟))
(P-OPTR だけ)
(P-ROLE が))
(PP (NP (D;{FOXHOLE_45} その)
(N 中))
(P-ROLE で))
(VB 苦しん)
(P-CONN で)
(VB2 いる))
(N 壕))
(P-ROLE の))
(N なか))
(ID 8_misc_EXAMPLE2))
```

16.5.6 連体句 (PNLP)

PNLP のカテゴリは下記の図式によっては適切に表すことができない名詞修飾を指すのに用いられる。

1. (NP (D ...) (N ...))
2. (NP (PNL ...) (N ...))
3. (NP (PP (NP ...) (P-ROLE の)) (N ...))
4. (NP (IP-REL ...) (N ...))
5. (NP (IP-EMB ...) (N ...))
6. (NP (CP-THT (IP-SUB ...) (P-COMP という)) (N ...))

例えば、名詞修飾を行うイ形容詞の中には、修飾先の主名詞がいかなる直接的な意味でもその形容詞の主語ではなく、修飾要素が主名詞の命題的内容を表すこともないものが存在する。

(419) 昨晚古い友人が訪ねて来た

```
( (IP-MAT (NP-TMP (N 昨晚))
  (PP-SBJ (NP (PNLP (ADJI 古い))
              (N 友人))
            (P-ROLE が))
  (VB 訪ね)
  (P-CONN て)
  (VB2 来)
  (AXD た))
(ID 2_misc_EXAMPLE2))
```

連体句 (PNLP) は連体詞 (PNL) を主要部とするものではないことに注意されたい。PNL はそれ自体修飾されることはなく、主節でも副詞節でも述語の位置に現れることはなく、いくつかの例外的な場合を除いて、N を修飾し、その N の投射する NP の元に置かれる (16.4.2 節を参照)。

16.6 呼格名詞句 (NP-VOC)

呼格 (呼び掛け) は NP-VOC とラベル付けされる。

(25) 「先生、もうお忘れですか？」

```
( (CP-QUE (PUL 「)
  (IP-SUB (NP-VOC; {ADDRESSEE} (N 先生))
           (CLEAN *VOC*)
           (NP-SBJ; {ADDRESSEE} *hearer*)
           (PU 、)
           (NP-OB1 *pro*)
           (ADVP (ADV もう))
           (VB お忘れ)
           (AX です))
  (P-FINAL か)
  (PU ?)
  (PUR 」))
(ID 92_aozora_Hayashida-2015))
```


(421) 『芳一 』

```
( (FRAG (PUL 『
      (NP-VOC (NPR 芳一))
      (PU ! )
      (PUR 』 ))
  (ID 42_aozora_Togawa-1937-1))
```

(422) ……芳一、まア喜べ！——

```
( (CP-IMP (PU ……))
  (IP-SUB (NP-VOC;{HOICHI} (NPR 芳一))
    (CLEAN *VOC*)
    (NP-SBJ;{HOICHI} *hearer*)
    (PU 、 )
    (INTJ まア)
    (VB 喜べ))
  (PU !—))
(ID 227_aozora_Togawa-1937-1))
```

上記(422)のように、命令文における呼格NPは、空要素との関連付けを必要とする。詳細は、11.3を参照されたい。

17 副詞句 (ADVP)

副詞句 (ADVP) は通常、述語を意味的に修飾する。ADVP はまた、名詞を修飾し、量、度合、程度等を表すこともある。

(423) けれども耕助のいかりはなかなか解けませんでした。

```
( (IP-MAT (CONJ けれども)
  (PP-SBJ (NP (PP (NP (NPR 耕助))
    (P-ROLE の))
    (N いかり))
    (P-OPTR は))
  (ADVP (ADV なかなか))
  (VB 解け)
  (AX ませ)
  (NEG ん)
  (AX だし)
  (AXD た)
  (PU 。))
  (ID 674_aozora_Miyazawa-1934))
```

(424) 学校の最も近くに住んでいるのは佐藤さんです。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
  (PP (NP (PP (NP (N 学校))
    (P-ROLE の))
    (ADVP (ADV 最も))
    (N 近く))
    (P-ROLE に))
  (VB 住ん
```

(P-CONN で)
 (VB2 いる))
 (N の))
 (P-OPTR は))
 (NP-PRD (NPR 佐藤さん))
 (AX です)
 (PU 。))
 (ID 18_misc_EXAMPLE2))

ADVの主要部は多くの場合、副詞(ADV)あるいは疑問副詞(WADV)である。場合によっては修飾部や補部を伴うこともある。本コーパスにおいて比較的頻度の高いADVには次のようなものがある。このリストに見るように、動詞の「テ形」から派生したものも多い。

もう, そう, ちょっと, まだ, また, すぐ, とても, 少し, まず, もし, やはり, 一番, こう, ただ, あまり, 特に, もっときわめて, 次いで, 追って, 初めて, 総じて, 改めて, 時として, etc.

疑問副詞(WADV)には次のようなものがある。

いかが, いかにか, いくら, どう, どうして, どのように, どんなに, なぜ, 何故, なんて

ADVは格助詞(P-ROLE)と共に用いられることもある。このようなP-ROLEの代表的なものは、「に」「の」である(コーパス中には「として」「という」「で」等の例も見られる)。このP-ROLEは、ADVの投射するADVPの姉妹であり、かつ助詞句(PP)を投射するものとしてアノテートされる。

(425) すぐに決着するわ。」

((CP-FINAL (IP-SUB (NP-SBJ *pro*))
 (PP (ADVP (ADV すぐ))
 (P-ROLE に))
 (VB 決着)
 (VB0 する))
 (P-FINAL わ)
 (PU 。)
 (PUR 」))
 (ID 402_fiction_DICK-1952))

(426) 彼はあまりの悲しみに泣き叫んだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*))
 (ADJN あまり)
 (AX の))
 (N 悲しみ))
 (P-ROLE に))
 (VB 泣き叫ん)
 (AXD だ)
 (PU .))
 (ID 2029_dict_vv-lexicon))

なお、副詞的表現の中には「と」や「に」で終わるものもある。これらのうち、「と」や「に」を除外すると語として成立しないものは、一語のADVとして扱われる。

きつと, やつと, ちよつと, ずつと, じつと, そつと, とつとと, さつと, さつさと, ふわつと, etc.

特に, さらに, ついに, 現に, 主に, すでに, おおいに, ただちに, etc.

一方で, 随意的に省くことのできるような「と」で終わる副詞的表現も存在する。このようなケースでは, 「と」は独立した一語として扱われ, AX とラベル付けされる。ただし最大投射が ADVP であることには変わらない。

(427) ドールはゆっくりと携帯武器をはずした。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR ドール))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADV ゆっくり)
(AX と))
(PP-OB1 (NP (N 携帯武器))
(P-ROLE を))
(VB はずし)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 351_fiction_DICK-1952))

(428) 息切れが早くもはっきりと表われ始めた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 息切れ))
(P-ROLE が))
(PP (ADVP (ADJI 早く))
(P-OPTR も))
(ADVP (ADV はっきり)
(AX と))
(VB 表われ)
(VB2 始め)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 814_aozora_Harada-1960))

ADVに加えて, イ形容詞 (ADJI) の連用形も ADVP を投射できる (優しく, 早く, しかたなく, 大きく, 小さく, 等)。

(429) 僕の友だちは優しく、寛大に微笑んだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP; {PRINCE} (PP (NP; {BOKU} (PRO 僕))
(P-ROLE の))
(N 友だち))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADJI 優しく))
(PU 、)
(ADVP (ADJN 寛大)
(AX に))
(VB 微笑ん)
(AXD だ)
(PU 。))
(ID 97_fiction_SAINTE-EXUPERY-1943))

また, コピュラの連用形 (AX) の「に」あるいは「と」は, ナ形容詞 (ADJN) に後続した場合に ADVP を投射できる (不機嫌に, きれいに, しずかに, やわらかに, 茫然と, 公然と, 等; 上記 (429) の「寛大に」も参照)。

(430) ドールは不機嫌に言った。

((IP-MAT (NP-OB1 *pro*)
(PP-SBJ (NP (NPR ドール))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADJN 不機嫌)
(AX に))
(VB 言っ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 179_fiction_DICK-1952))

(431) 彼は茫然と、立ちすくんだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADJN 茫然)
(AX と))
(PU 、)
(VB 立ちすくん)
(AXD だ)
(PU 。))
(ID 204_aozora_Dazai-2-1940))

ADVP はとりたて助詞を伴うことができる。

(432) たまにはおごれよ。

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
(PP (ADVP (ADV たまに))
(P-OPTR は))
(VB おごれ))
(P-FINAL よ)
(PU 。))
(ID 288_textbook_purple_intermediate))

ADVP は並列構造の中に現れることがある。多くの場合、並列される副詞句は「そして」「かつ」「あるいは」といった接続詞で結ばれる。

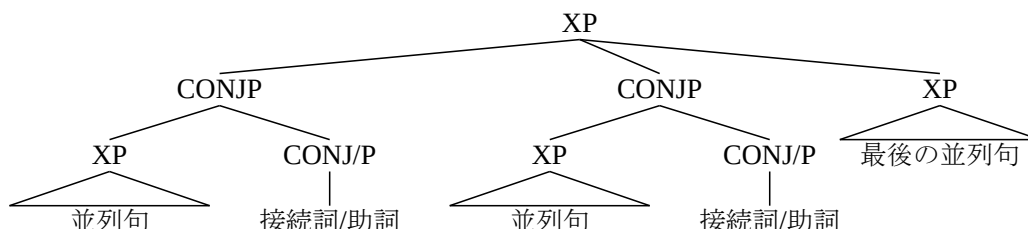
(433) 彼らは狙いをうまく、そして完全に定めた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼ら))
(P-OPTR は))
(PP-OB1 (NP (N 狙い))
(P-ROLE を))
(ADVP (CONJP (ADVP (ADJI うまく))
(PU 、)
(CONJ そして))
(ADVP (ADJN 完全)
(AX に)))
(VB 定め)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 138_fiction_DICK-1952))

18 副詞節でない要素の並列 (CONJP)

この節では副詞節 (IP-ADV) ではない要素の並列を扱う。このような真の並列は2つ以上の副詞句 (ADVP) の間、助詞句 (PP) の間、名詞句 (NP) の間、疑問節 (CP-QUE) の間などで生じうる。

これらが接続助詞や等位接続詞によって結び付けられる時、最後を除く全ての並列句は CONJP とラベル付けされる。CONJP の主要部は CONJ あるいは P となる。これらは最後の並列句と結びつけられ、句を構成する。次のスキーマを参照のこと。



括弧表示では以下のようなになる。

```
(XP (CONJP (XP 並列句)
            (CONJ/P 助詞/接続詞))
  (CONJP (XP 並列句)
          (CONJ/P 助詞/接続詞))
  (XP 最後の並列句))
```

句の並列の際に現れる接続助詞には様々なものがある。詳しくは 14.4 節を参照。また、次に示すように、並列を示すために使われる決まった構造がいくつかある。

～も～も、～か～か、～なり～なり、～とか～とか、～など～など、～だの～だの、～だとか～だとか、～やら～やら

18.1 名詞句 (NP) の並列

接続助詞 (P-CONN) あるいは等位接続詞 (CONJ) は、非終端の NP を支配する CONJP の主要部となることができる。

(434) 昔々、ある所におじいさんとおばあさんがおりました。

```
( (IP-MAT (NP-TMP (N 昔々))
  (PU 、)
  (PP (NP; {GRANDPARENT_INHABITANCE} (D ある)
      (N 所))
    (P-ROLE に))
  (PP-SBJ (NP (CONJP (NP; {GRANDFATHER} (N おじいさん))
                    (P-CONN と))
            (NP; {GRANDMOTHER} (N おばあさん)))
    (P-ROLE が))
  (VB おり)
  (AX まし)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 2_misc_momotaro))
```

(435) まず、租税及び印紙収入について申し上げます。

```

( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (ADVP (ADV まず))
  (PU 、)
  (PP (NP (CONJP (NP (N 租税))
                  (CONJ 及び))
        (NP (N 印紙収入)))
    (P-ROLE について))
  (VB 申し上げ)
  (AX ます)
  (PU 。))
(ID 38_diet_kaigiroku-13))

```

P-CONN と CONJ はひとつの CONJP の下で共起することもある。

(436) この申込書は本人か、もしくは保証人が記入しなければならない。

```

( (IP-MAT (PP-OB1 (NP (D この)
                     (N 申込書))
              (P-OPTR は))
  (PP-SBJ (NP (CONJP (NP (N 本人))
                      (P-CONN か)
                      (PU 、)
                      (CONJ もしくは))
            (NP (N 保証人)))
    (P-ROLE が))
  (VB 記入)
  (VB0 し)
  (NEG なけれ)
  (P-CONN ば)
  (VB2 なら)
  (NEG ない)
  (PU 。))
(ID 249_textbook_djg_advanced))

```

いくつかの接続助詞は同じ助詞と対で用いられることがある。この時、後ろの接続助詞が並列構造全体をマークして前節で示したようなタイプの構造を作る。並列構造全体をマークする助詞は、並列が総記的なものか、そうでないかを示す。これらの並列リストを閉じる助詞は、並列句をまとめた NP の下に置かれる（詳細は、14.11 節を参照）。

(437) こうして天と地と、その万象とが完成した。

```

( (IP-MAT (CONJ こうして)
  (PP-SBJ (NP (CONJP (NP (N 天))
                      (P-CONN と))
            (CONJP (NP (N 地))
                      (P-CONN と))
            (PU 、)
            (NP (D その)
                 (N 万象))
            (P-CONN と))
    (P-ROLE が))
  (VB 完成)
  (VB0 し)
  (AXD た)

```

(PU 。))
(ID 72_bible_ot))

(438) 私は電車かバスかで行きます。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
(P-OPTR は))
(PP (NP (CONJP (NP (N 電車))
(P-CONN か))
(NP (N バス))
(P-CONN か))
(P-ROLE で))
(VB 行き)
(AX ます)
(PU 。))
(ID 74_textbook_djg_basic))

18.2 助詞句 (PP) の並列

助詞句 (PP) もまた、非節的等位接続構造をなすことがある。上で述べたような対で用いる助詞については、(437) や (211) が示すように、それ自体としてPPを投射しないことに注意。

(439) 終日近鉄線内のみ、もしくは地下鉄烏丸線内のみ運用もある。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(NP-MSR (N 終日))
(PP-PRD (CONJP (PP (NP (N 近鉄線内))
(P-OPTR のみ))
(PU 、)
(CONJ もしくは))
(PP (NP (N 地下鉄烏丸線内))
(P-OPTR のみ)))
(AX の))
(N 運用))
(P-OPTR も))
(VB ある)
(PU 。))
(ID 33_wikipedia_KYOTO_19))

(211) 捕り方衆の叫び声があっちからもこっちからも聞こえて来る。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 捕り方衆))
(P-ROLE の))
(N 叫び声))
(P-ROLE が))
(PP (CONJP (PP (NP (PRO あっち))
(P-ROLE から))
(P-CONN も))
(PP (NP (PRO こっち))
(P-ROLE から))
(P-CONN も))
(VB 聞こえ)

(P-CONN て)
 (VB2 来る)
 (PU 。))
 (ID 5_aozora_Kunieda-1925))

18.3 副詞句 (ADVP) の並列

副詞句 (ADVP) の並列は通常、「また」「かつ」「しかも」「しかし」等の等位接続詞を伴う。

(441) 涼しさの生じるためには、どうも時間的にまた空間的に温度の短週期的変化のあることが必要条件であるらしい。

((IP-MAT (PP (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 涼しさ))
 (P-ROLE の))
 (VB 生じる))
 (N ため))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (ADVP (WADV どう)
 (P-OPTR も))
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (ADVP (CONJP (ADVP (ADJN 時間的)
 (AX に))
 (CONJ また))
 (ADVP (ADJN 空間的)
 (AX に))
 (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 温度))
 (P-ROLE の))
 (N 短週期的変化))
 (P-ROLE の))
 (VB ある))
 (N こと))
 (P-ROLE が))
 (NP-PRD (N 必要条件))
 (AX で)
 (VB2 ある)
 (MD らしい)
 (PU 。))
 (ID 14_aozora_Terada-1929))

(442) そんな服を着たまま、この老人はひどく窮屈に、しかし安らかに眠っていた。

((IP-MAT (NP-ADV (IP-EMB (PP-OB1 (NP (D そんな)
 (N 服))
 (P-ROLE を))
 (VB 着)
 (AXD た))
 (N まま))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP; {FATHER} (D この)

(N 老人))
 (P-OPTR は))
 (ADVP (CONJP (ADVP (ADVP (ADJI ひどく))
 (ADJN 窮屈)
 (AX に))
 (PU 、)
 (CONJ しかし))
 (ADVP (ADJN 安らか)
 (AX に)))
 (VB 眠っ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (FN の)
 (AX だっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 855_aozora_Harada-1960))

18.4 疑問節 (CP-QUE) の並列

疑問節 (CP-QUE) が並列されることがあり、その際明示的な接続詞を伴うこともあれば伴わないこともある。それぞれの並列要素に「か」のような同じ助詞が後続する場合、2種類のアノテーションが考えられる。一つは、「か」を P-FINAL とし、CP-QUE を投射させる方法であり、もう一つは、「か」を P-CONN とし、18.1 節のような構造を作る方法である。このうちのどちらを選択すべきかは、並列の性質によって決まる。疑問節が単に等位接続されている場合は、(443)のように前者の方法が採られ、疑問節が互いに排他的な選択肢 (オルタナティブ) となっている場合は、(444)のように後者が採用される。

(443) それは、わたしがどこからきたのか、また、どこへ行くのかを知っているからである。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO それ))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-PRD (IP-ADV (NP-SBJ *speaker*)
 (PP-OB1 (CP-QUE (CONJP (CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ
 (NP;{JESUS} (PRO わたし))
 (P-ROLE
 が))
 (PP (NP
 (WPRO どこ))
 (P-ROLE
 から))
 (VB き)
 (AXD た)
 (FN の))
 (P-FINAL か)
 (PU 、))
 (CONJ また)
 (PU 、))
 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*))

(PP (NP (WPRO ど
 (P-ROLE へ))
 (VB 行く)
 (FN の))
 (P-FINAL か)))
 (P-ROLE を))
 (VB 知っ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる))
 (P-CONN から))
 (AX で)
 (VB2 ある)
 (PU 。))
 (ID 635_bible_nt))

(444) 傘を駅に置き忘れたのか事務所に忘れたのか、はっきり覚えていません。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (CP-QUE-OB1 (CONJP (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
 (PP-OB1 (NP; {UMBRELLA} (N 傘))
 (P-ROLE を))
 (PP (NP (N 駅))
 (P-ROLE に))
 (VB 置き)
 (VB2 忘れ)
 (AXD た)
 (FN の)))
 (P-CONN か))
 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
 (NP-OB1; {UMBRELLA} *pro*)
 (PP (NP (N 事務所))
 (P-ROLE に))
 (VB 忘れ)
 (AXD た)
 (FN の)))
 (P-CONN か))
 (PU 、)
 (ADVP (ADV はっきり))
 (VB 覚え)
 (P-CONN て)
 (VB2 い)
 (AX ませ)
 (NEG ん)
 (PU 。))
 (ID 87_textbook_djg_intermediate))

ただし、疑問文の発話が複数引用されていると考えられる場合には、multi-sentenceというタグを用いることに注意（詳しくは 24.5 節参照）。

(445) え？どの医者がそんな便利な診断書をくれるんですか、と伊沢が仰天して訊ねると、仕立屋の方が呆気にとられた面持で、なんですか、よそじゃ、そうじゃないんですか、と訊いた。

((IP-MAT (PP-SCON (IP-ADV (CP-THT-OB1 (multi-sentence (INTJP (INTJ え)
 (PU ?))
 (CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ
 (NP (WD どの)
 医者))
 が))
 (PP-OB1
 (NP (D そんな)
 (NP-SBJ *T*))
 便利)
 な))
 診断書))
 を))
 くれる)
 ん)
 です))
 (P-FINAL か)))
 (PU 、)
 (P-COMP と))
 (PP-SBJ (NP (NPR 伊沢))
 (P-ROLE が))
 (IP-ADV-CONJ (VB 仰天)
 (VB0 し)
 (P-CONN て))
 (VB 訊ねる))
 (P-CONN と))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 仕立屋))
 (P-ROLE の))
 (N 方))
 (P-ROLE が))
 (PP (NP (IP-EMB (VB 呆気にとられ)
 (AXD た))
 (N 面持))
 (P-ROLE で))
 (PU 、)
 (CP-THT-OB1 (multi-sentence (CP-QUE (IP-SUB (NP-PRD (WPRO なん))
 (AX です))
 (P-FINAL か))
 (PU 、)
 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *pro*))

```

(P-ROLE じゃ))
(PU 、)
(ADVP-PRD (ADV そう))
(AX じゃ)
(NEG ない)
(FN ん)
(AX です))
(P-FINAL か))
(PU 、)
(P-COMP と))
(VB 訊い)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 19_aozora_Sakaguchi-1947))

```

19 括弧挿入句 (PRN)

PRN のラベルは括弧に入れられた要素に与えられる。また、同格的 (appositive) な関係にある 2 つの要素の一方にも与えられる。括弧付けされた内容を区切るダッシュや括弧 (PUL および PUR) は、PRN ノードの内に含まれる。

PRN に入れられた要素の品詞は様々であり、機能は様々である。その機能のうちのいくつかは、意味論的に大きな影響を及ぼしさえする。具体的には、PRN の機能としては、副次的な言及や詳細の追加をすることもあるし、また修飾先と同等の機能を果たすこともある。さらに、修飾先を量化させる力を持つこともある。

(446) ◦国務大臣 (三塚博君)

```

( (FRAG (SYM ◦)
  (NP (N 国務大臣)
    (PRN (PUL ()
      (NP (NPR 三塚博君))
      (PUR ) ))))
  (ID 18_diet_kaigiroku-13))

```

(447) 津波を防御した仙台東部道路の内陸側に立地する = 仙台市若林区荒井東

```

( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
  (PP (NP (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
    (PP-OB1 (NP (N 津波))
    (P-ROLE を))
    (VB 防御)
    (VB0 し)
    (AXD た))
    (NPR 仙台東部道路))
    (P-ROLE の))
    (N 内陸側))
    (P-ROLE に))
    (VB 立地)
    (VB0 する)
    (META (SYM =)

```

(NP;{LOC} (NPR 仙台市)
 (NPR 若林区)
 (NPR 荒井東))))
 (ID 34_news_KAHOKU_78))

同格的として PRN を与えられる要素には次のようなものがある。

- ある名詞 (N), 固有名詞 (NPR), 代名詞 (PRO) に対して補足的な情報を与える要素。多くの場合, 名詞・固有名詞・代名詞の直前または直後に置かれるが, 間に他の修飾句が置かれることもある。

(448) 東北の空の玄関口・仙台空港は、16年3月の民営化方針が正式決定した。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{FAC} (PRN (NP (PP (NP (PP (NP;{NORP} (NPR 東北))
 (P-ROLE の))
 (N 空))
 (P-ROLE の))
 (N 玄関口))))
 (PU ・)
 (NPR 仙台空港))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-SBJ2 (NP (PP (NP (NUMCLP (NUM 16)
 (CL 年))
 (NUMCLP (NUM 3)
 (CL 月))
 (P-ROLE の))
 (N 民営化方針))
 (P-ROLE が))
 (VB 正式決定)
 (VB0 し)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 86_news_KAHOKU_78))

(449) 我々が——我々日本帝国人民が偉いか、

((CP-QUE (IP-SUB (FS (PP (NP (PRO 我々))
 (P-ROLE が))
 (PU —)
 (PP-SBJ (NP (PRO 我々)
 (PRN (NP (N 日本帝国人民))))
 (P-ROLE が))
 (ADJI 偉い))
 (P-FINAL か)
 (PU 、))
 (ID 190_aozora_Kobayashi-1929))

- 発話への挿入としてのPRN。挿入的な発話 (IP-MATかCPのいずれか) を取り, 別の節の要素となる。

(450) 答えるべき質問は—もう時間ですね—毎日の生活の中でどうすればより多くの時間をフローの状態にできるか

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (PP (NP *T*)
(P-ROLE *に*))
(NP-SBJ *speaker+pro*)
(VB 答える)
(MD べき)
(N 質問))
(P-OPTR は))
(PRN (PU --)
(CP-FINAL (IP-SUB (ADVP (ADV もう))
(NP-PRD (N 時間))
(AX です))
(P-FINAL ね))
(PU --))
(CP-QUE-PRD (IP-SUB (NP-SBJ *arb*)
(PP (NP (PP (NP (PP (NP (Q 毎日))
(P-ROLE の))
(N 生活))
(P-ROLE の))
(N 中))
(P-ROLE で))
(IP-ADV-SCON-CND (ADVP-CMPL (WADV どう))
(VB すれ)
(P-CONN ば))
(PP-OB1 (NP (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (ADV より)
(Q 多く))
(AX の))
(N 時間))
(P-ROLE を))
(IP-SMC-CNT (NP-PRD (PP (NP (N フロー))
(P-ROLE の))
(N 状態))
(AX に))
(VB できる))
(P-FINAL か))
(AX *))
(ID 136_ted_talk_3))

- ある名詞 (N), 固有名詞 (NPR), 代名詞 (PRO) の直後に置かれた, 再帰代名詞 (PRO) を主要部とする名詞句 (NP) (再帰代名詞については, 16.1 節を参照)

(451) ——それは支配人自身だった。

((IP-MAT (PU —)
(PP-SBJ (NP (PRO それ))
(P-OPTR は))
(NP-PRD;{MANAGER} (N 支配人)
(PRN (NP (PRO 自身))))
(AX だっ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 158_aozora_Harada-1960))

(452) そして私はその中に現実の私自身を見失うのを楽しんだ。

((IP-MAT (CONJ そして)
 (PP-SBJ (NP (PRO 私))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (D その)
 (N 中))
 (P-ROLE に))
 (PP-OB1 (NP (IP-EMB (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 現実))
 (P-ROLE の))
 (PRO 私)
 (PRN (NP (PRO 自身))))))
 (P-ROLE を))
 (VB 見失う))
 (N の))
 (P-ROLE を))
 (VB 楽しん)
 (AXD だ)
 (PU 。))
(ID 27_aozora_Kajii-1925))

- ある名詞 (N), 固有名詞 (NPR), 代名詞 (PRO) の直後に置かれた助数詞句 (NUMCLP), 量化詞 (Q), 量化名詞 (QN) を主要部とする名詞句 (NP) で, その直前の名詞を量化させるもの。このようなパターンでは, その投射する NP に;* が加えられる (20.5.2 節を参照)。

(453) 社員全員が昇進を目指している。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 社員)
 (PRN (NP;* (Q 全員))))))
 (P-ROLE が))
 (PP-OB1 (NP (N 昇進))
 (P-ROLE を))
 (VB 目指し)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (PU 。))
(ID 71_misc_JSeM_beta_150530))

(454) うち多賀城市は対象の農地97ヘクタールの工事が全て完了した。

((IP-MAT (ADVP (ADV うち))
 (PP-SBJ (NP (NPR 多賀城市))
 (P-OPTR は))
 (PP-SBJ2 (NP (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (N 対象))
 (AX の))
 (N 農地))
 (PRN (NP;* (NUMCLP (NUM 97)
 (CL ヘクタール))))))
 (P-ROLE の))
 (N 工事))
 (P-ROLE が))

(NP;*SBJ* (Q 全て))
 (VB 完了)
 (VB0 し)
 (AXD た)
 (PU 。))

(ID 46_news_KAHOKU_84))

- 「発言」,「質問」,「答え」,「動機」,「傾向」等の抽象名詞より前の位置に,それらの名詞の内容をより明確に示すような,遊離したと考えられるような,補部節(CP-THT)あるいは疑問節(CP-QUE)が置かれることがある。これらのCPは,PRNによって保護した上で,*ICH*分析(8.2節を参照)を施すことにする(詳細は24.17.3と24.16.2節を参照)。

(455) 芸術界で今何が起きているか動向が分かるとされるものでした

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (NP-PRD (IP-EMB (NP-LGS *arb*)
 (CP-THT-SBJ (IP-SUB (PRN-1 (CP-QUE (IP-SUB (PP
 (NP (N 芸術界)) (P-ROLE
 で)) (NP-TMP
 (N 今)) (PP-SBJ
 (NP (WPRO 何)) (P-ROLE
 が)) (VB
 起こっ) (P-CONN
 て) (VB2
 いる)) (P-FINAL か)))
 (PP-SBJ (NP (N 動向)
 (PRN *ICH*-1))
 (P-ROLE が))
 (VB 分かる))
 (P-COMP と))
 (VB さ)
 (PASS れる))
 (N もの))
 (AX でし)
 (AXD た))
 (ID 20_ted_talk_10))

(456) 真宗の寺院建築には他にも内陣に比べて外陣が広いなど、他宗に見られない特徴がある。

((IP-MAT (PP (NP (PP (NP (NPR 真宗))
 (P-ROLE の))
 (N 寺院建築))


```

                (P-ROLE に)
                (P-OPTR は))
        (PP (NP (N 他))
          (P-ROLE に)
          (P-OPTR も))
        (PRN-1 (CP-THT (IP-SUB (PP (NP (N 内陣))
                                   (P-ROLE に比べて))
                                (PP-SBJ (NP (N 外陣))
                                           (P-ROLE が))
                                (ADJI 広い))
              (P-OPTR など)))
        (PU 、)
        (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                           (NP-LGS *arb*)
                           (PP (NP (N 他宗))
                               (P-ROLE に))
                           (VB 見)
                           (PASS られ)
                           (NEG ない))
              (N 特徴)
              (PRN *ICH*-1))
          (P-ROLE が))
        (VB ある)
        (PU 。))
(ID 31_wikipedia_KYOTO_3))

```

20 量化表現

本節では量化に用いられる要素を主要部とする様々な表現について見る。これらの要素は、(i) 数詞を含まず、それ独自で量化の機能を果たすもの、(ii) 数詞を含むもの、(iii) 不定性を表す疑問詞で、助詞「も」「か」と結びついて量化表現となるものの3つに分類することができる。これらの要素を、これから「量化作用素」と呼ぶことにする。量化作用素は、修飾要素を含んで、直ちにNPを投射する。このNP投射を「量化的NP」と呼ぶことにする。量化的NPは、独立した構成素として振る舞うこともあれば、量化の領域を表現する「ホスト名詞」と結合することもある。

20.1 3種類の量化作用素

20.1.1 量化詞 (Q)

数詞 (NUM) あるいは疑問数詞 (WNUM) なしで、独立して量化作用素となる語をQ (量化詞) とラベル付けする。Qは常に名詞句 (NP) を投射する。

(457) 泥棒は店から宝石をすべて奪い去った。

```

( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 泥棒))
                    (P-OPTR は))
  (PP-OB2 (NP (N 店))
          (P-ROLE から))
  (PP-OB1 (NP (N 宝石))
          (P-ROLE を))

```

(NP;*OB1* (Q すべて))
 (VB 奪い去っ)
 (AXD た)
 (PU .))
 (ID 338_dict_vv-lexicon))

本コーパスにおいて比較的頻度の高い Q を以下に示す。

全て, ことごとく, よろず, 一同, 一切, 全部, 皆, 全, 全員, 全額, 全体, 全量, 全般, 全域, 全長, 全国, 全世帯, 全世界, 等

おのおの (各々), それぞれ, めいめい, 各, 各位, 各国, 各地, 各駅, 各戸, 各所, 各要素, 各紙, 各自, 各項目

毎回, 毎夜, 毎年, 毎年度, 毎度, 毎日, 毎時, 毎晩, 毎月, 毎朝, 毎秒, 毎試合, 毎週, 毎号

両方, 双方, 兩人, 兩件, 兩側, 兩國, 兩手, 兩日, 兩案, 兩者, 兩親, 兩論, 兩足, 兩郡, 兩陣營, 兩面, 兩駅, 同士, 共

多く, 多勢, 多少, 多数, 多額, かなり, ぎょうさん, 大半, 大抵, 大方, たくさん, たっぷり, 誰一人, すこし, ちょっと, なにひとつ, ほとんど, もろもろ, 一杯, 一部, 半分, 半数, 大部分, 大量, 定量, 小量, 少量, 少し, 少数, 幾分, 幾多, 悉く, 数々, 数多, 数多く, 殆ど, 倍, 倍量, 若干

20.1.2 助数詞句 (NUMCLP)

数詞 (NUM) または疑問数詞 (WNUM) を伴う量化表現を, 序数的か基数的かに関わらず, NUMCLP (助数詞句) とラベル付けする。

(458) その学会にはおよそ 1 5 0 0 人の会員がいる。

((IP-MAT (PP (NP (D その)
 (N 学会))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR は))
 (PP-SBJ (NP (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (ADV およそ)
 (NUMCLP (NUM 1 5 0 0)
 (CL 人))))
 (AX の))
 (N 会員))
 (P-ROLE が))
 (VB いる)
 (PU .))
 (ID 454_textbook_djg_advanced))

(459) このアートは何百年も続いているのです

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D この)
 (N アート))
 (P-OPTR は))
 (PP-MSR (NP (NUMCLP (WNUM 何百)
 (CL 年))))

(P-OPTR も))
 (VB 続い)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (FN の)
 (AX です))
 (ID 18_ted_talk_1))

(460) 第一章総則

((FRAG (NP (NUMCLP (NUM 第一)
 (CL 章))
 (N 総則)))
 (ID 2_law_h15A119))

NUMCLPは典型的にはNUMまたはWNUMと助数詞(CL)から成るが、NUMまたはWNUMだけで、CLを伴うことなくNUMCLPを作ることもある。これには2つの場合があり、1つはCLが本当でない場合である。

(461) 私はまだ十八ですわ。

((CP-FINAL (IP-SUB (PP-SBJ (NP (PRO 私))
 (P-OPTR は))
 (ADVP (ADV まだ))
 (NP-PRD (NUMCLP (NUM 十八)))
 (AX です))
 (P-FINAL わ)
 (PU 。))
 (ID 213_textbook_djg_gram_terms))

(462) もう六時半で、針は落ちつき払って進んでいく。

((IP-MAT (IP-ADV-CONJ (NP-SBJ *pro*)
 (ADVP (ADV もう))
 (NP-PRD (NUMCLP (NUM 六)
 (CL 時))
 (NUMCLP (NUM 半)))
 (AX で))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (N 針))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-CONJ (VB 落ちつき払))
 (P-CONN て))
 (VB 進ん)
 (P-CONN で)
 (VB2 いく)
 (PU 。))
 (ID 51_aozora_Harada-1960))

もう1つは、「一人」(ひとり)「二人」(ふたり)のように、熟字訓で読まれる場合である。

(463) 第2テノールの一人はパヴァロッティだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 第2テノール))
(P-ROLE の))
(NUMCLP (NUM 一人)))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (NPR パヴァロッチィ))
(AX だ)
(PU 。))
(ID 229_misc_JSeM_beta_150530))

ここから分かることとして、NUMCLPの主要部となる必須要素はNUMのほうである。

CL(助数詞)は基本的に名詞的な性質を持つ。典型的なCLには次のようなものがある。

円, 回, 階, 階建て, ヶ月, ヶ国, 項, 号, 時, 時間, 時間目, セット, 足, (いく)つ, 月, 度, 名, 日, 人, 年, 年間, パーセント, 杯, 匹, 分, 本, 枚, 面

しかし、CLはこれらだけに限らない。以下の例(464)のように、一般名詞であっても、柔軟にCLの役割を果たすことがある。「特別委員会」が一般名詞であることは、項位置への出現可能性から明らかである。「*個が開かれた」と「特別委員会が開かれた」を比較のこと)。

(464) 次に、ただいま決定いたしました特別委員会を除く四特別委員会につきましては、理事会で合意いたしましたとおり設置することとし、本日の本会議において議決するに御異議ありませんか。

((CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
(PP (NP (N 次))
(P-ROLE に))
(PU 、)
(PP (IP-NMZ (IP-ADV-CONJ (PP (NP (IP-EMB (NP-ADV (IP-EMB
(PP (NP (IP-EMB (NP-SBJ *exp*))
(NP (IP-REL (NP-SBJ *T*))
(N ただいま))
決定)
いたし)
まし)
た))
特別委員会))
を))
除く))
(NUMCLP (NUM 四)
特別委員会))))

(NM

(P-ROLE

につきますて)

は))

、)

(NP (N 理事会))

で))

合意)

いたし)

まし)

た))

おり))

(P-OPTR

(PU

(PP

(P-ROLE

(VB

(VB0

(AX

(AXD

(N と

(VB 設置)

(VB0 する))

(N こと))

(P-ROLE と))

(VB し))

(PU 、)

(PP (NP (PP (NP (N 本日))

(P-ROLE の))

(N 本会議))

(P-ROLE において))

(VB 議決)

(VB0 する))

(P-ROLE に))

(NP-OB1 (N 御異議))

(VB あり)

(AX ませ)

(NEG ん))

(P-FINAL か)

(PU 。))

(ID 28_diet_kaigiroku-14))

NUMCLPはその複合的な成り立ちにも拘わらず、あたかも1語かのように、Nとして振る舞う。NUMCLPは、Qと同様に、常にNPを投射する。数量表現への修飾は、NUMCLP投射とそのさらに上のNP投射の間で行われる。

(465) この店は朝7時から営業している。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP; {SHOP_219} (D この)

(N 店))

(P-OPTR は))

(PP-TMP (NP (N 朝)

(NUMCLP (NUM 7)

(CL 時)))

(P-ROLE から))
 (VB 営業)
 (VB0 し)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (PU 。))
 (ID 219_textbook_kisonihongo))

(466) この3年間は消費が冷え込んでいる。

((IP-MAT (PP-TMP (NP (D この)
 (NUMCLP (NUM 3)
 (CL 年間)))
 (P-OPTR は))
 (PP-SBJ (NP (N 消費))
 (P-ROLE が))
 (VB 冷え込ん)
 (P-CONN で)
 (VB2 いる)
 (PU .))
 (ID 2499_dict_vv-lexicon))

(467) がらんとした旅館の一室。

((FRAG (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADVP-CMPL (ADV がらんと))
 (VB し)
 (AX た))
 (PP (NP (N 旅館))
 (P-ROLE の))
 (NUMCLP (NUM 一)
 (CL 室)))
 (PU 。))
 (ID 20_aozora_Kajii-1925))

(468) 各店も対策に追われる1年になるだろう。

((IP-MAT (NP-SBJ *exp*)
 (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (IP-EMB (PP-SBJ (NP (Q 各店))
 (P-OPTR も))
 (PP-LGS (NP (N 対策))
 (P-ROLE に))
 (VB 追わ)
 (PASS れる))
 (NUMCLP (NUM 1)
 (CL 年)))
 (AX に))
 (VB なる)
 (MD だろう)
 (PU 。))
 (ID 62_news_KAHOKU_113))

20.1.3 疑問詞を伴う量化表現 (W表現)

疑問詞 (すなわち, 疑問代名詞 (WPRO), 疑問限定詞 (WD), 疑問副詞 (WADV), および疑問数詞 (WNUM)) を含む表現は, 助詞「か」または「も」を伴って, 量化作用素をつくる。便宜的にこれらを「W表現」と呼ぶことにする。

W 表現が「も」を伴う場合, 表現全体は譲歩 (自由選択) という量化の働きを持つ。

(469) 試験に通りさえすれば, 何も問題はない。

```
( (IP-MAT (IP-ADV-SCON-CND (NP-SBJ;{MAN_830} *pro*)
  (PP (NP (N 試験))
    (P-ROLE に))
  (VB 通り)
  (P-OPTR さえ)
  (VB2 すれ)
  (P-CONN ば))
  (PU 、)
  (NP;*SBJ* (WPRO 何)
    (P-OPTR も))
  (PP-SBJ (NP (N 問題))
    (P-OPTR は))
  (ADJI ない)
  (PU 。))
(ID 830_textbook_kisonihongo))
```

(470) 会計士は誰も会議に出席しなかった。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 会計士))
  (P-OPTR は))
  (NP;*SBJ* (WPRO 誰)
    (P-OPTR も))
  (PP (NP (N 会議))
    (P-ROLE に))
  (VB 出席)
  (VB0 し)
  (NEG なかつ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 1024_misc_JSeM_beta_150530))
```

(471) 津波は誰にも止められない。

```
( (IP-MAT (PP-OB1 (NP (N 津波))
  (P-OPTR は))
  (PP-SBJ (NP (WPRO 誰))
    (P-ROLE に)
    (P-OPTR も))
  (VB 止め)
  (VB2 られ)
  (NEG ない)
  (PU 。))
(ID 57_news_KAHOKU_63))
```

W 表現が「か」を伴う場合, 表現全体で不定指示の存在量的な働きをする。

(472) 社員が誰か移動を希望している。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 社員))
                    (P-ROLE が))
  (NP;*SBJ* (WPRO 誰)
            (P-OPTR か))
  (PP-OB1 (NP (N 移動))
          (P-ROLE を))
  (VB 希望)
  (VB0 し)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる)
  (PU 。))
(ID 27_misc_JSeM_beta_150530))
```

また、複合的な助詞「もかも」が W表現に付く例があり、自由選択としての解釈を受ける。本コーパスではこのような表現は全体で一語として扱われ、Qとアノテートされる。

(473) 「何もかもが失敗だ、ワトスン

```
( (IP-MAT (PUL 「)
  (PP-SBJ (NP (Q 何もかも))
          (P-ROLE が))
  (NP-PRD (N 失敗))
  (AX だ)
  (PU 、)
  (NP-VOC;{WATSON} (NPR ワトスン)))
(ID 329_aozora_Doyle-1905))
```

20.2 量化的NPの真正な等位接続と、見せかけの等位接続

量化作用素は、(NPを投射しながら)並列句(CONJP) (18節を参照)を構成することがある。以下の例では選言的な接続助詞(P-CONN)「か」が2つの数量表現NPを等位接続する。

(474) たとえばこのあいだも二晩か三晩かかって小さな額ぶちをつくりました。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ;{GREGOR} *pro*)
  (ADVP (ADV たとえば))
  (PP-TMP (NP (D この)
             (N あいだ))
          (P-OPTR も))
  (IP-ADV-SCON (NP-SBJ *exp*)
               (NP-OB1 *pro*)
               (NP-MSR (CONJP (NP (NUMCLP (NUM 二)
                                         (CL 晩)))
                              (P-CONN か))
                       (NP (NUMCLP (NUM 三)
                                     (CL 晩))))))
  (VB かかっ)
  (P-CONN て))
  (PP-OB1 (NP;{FRAME} (PNL 小さな)
          (N 額ぶち)))
```


(P-ROLE を))
 (VB つくり)
 (AX まし)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 196_aozora_Harada-1960))

また、次の例では NUMCLP が投射する複数の NP が、対応する、音形のあるような P-CONN なしで等位接続されている。

(475) つづいて和尚は、第二、第三、第四の抽斗を開けた

((IP-MAT (IP-ADV-CONJ (NP-SBJ *exp*)
 (VB つづい)
 (P-CONN て))
 (PP-SBJ (NP (N 和尚))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (CONJP (NP (NUMCLP (NUM 第二))))
 (PU 、)
 (CONJP (NP (NUMCLP (NUM 第三))))
 (PU 、)
 (NP (NUMCLP (NUM 第四))))
 (AX の))
 (N 抽斗))
 (P-ROLE を))
 (VB 開け)
 (AXD た))

(ID 45_aozora_Togawa-1937-3))

以上は、意味の観点から考えても真正の等位接続である。

一方で、連続した量化作用素が真正の等位接続として分析できない場合は、それぞれの量化作用素にNPを投射させることをせず、同一のNP投射を共有し、その下で並置されるものとする。日付や時刻などが典型例である。

(476) さわやかな九月一日の朝でした。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN さわやか)
 (AX な))
 (PP (NP (NUMCLP (NUM 九)
 (CL 月))
 (NUMCLP (NUM 一)
 (CL 日)))
 (P-ROLE の))
 (N 朝))
 (AX でした)
 (AXD た)
 (PU 。))

(ID 16_aozora_Miyazawa-1934))

(477) 六時半にW君が来た。

```
( (IP-MAT (PP-TMP (NP (NUMCLP (NUM 六)
                             (CL 時))
                             (NUMCLP (NUM 半))))
      (P-ROLE に))
  (PP-SBJ (NP (NPR W君))
    (P-ROLE が))
  (VB 来)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 111_aozora_Dazai-1-1940))
```

もう1つの真正でない例は、NUMCLPの重畳で、分配性と全体性を強調するような構文である。

(478) 「それを一枚一枚はがして、貧しい人にあげなさい。

```
( (CP-IMP (PUL 「)
  (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
    (PP-OB1 (NP (PRO それ))
      (P-ROLE を))
    (IP-ADV-CONJ (NP;*OB1* (NUMCLP (NUM 一)
                                     (CL 枚))
                                     (NUMCLP (NUM 一)
                                     (CL 枚)))
      (VB はがし)
      (P-CONN て))
    (PU 、)
    (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                    (ADJI 貧しい))
      (N 人))
      (P-ROLE に))
    (VB あげ)
    (VB2 なさい))
  (PU 。))
(ID 271_aozora_Yuki-1-2000))
```

20.3 量化的NPとホスト名詞との関連付け

量化的NPがある別のNPと量化的な関係にあるとは、当該の量化的NPが、もう一方のNPの数量または割合を特定しているとき（すなわち、もう一方のNPが量化的NPの量化域になっているとき）にいう。このとき、量化的NPではないほうのNPは、「ホストNP」と呼ばれる。例えば、(479)では、量化的NP「多く」があり、そのホストNPは「人」である。「多く」は、「人」の数量が一定以上あることを示している。

(479) 多くの人とその本を褒めちぎっている。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
                             (NP-PRD (Q 多く))
                             (AX の))
      (N 人))
      (P-ROLE が))
  (PP-OB1 (NP (D その)
    (N 本))
    (P-ROLE を))
```

(VB 褒めちぎっ)
(P-CONN て)
(VB2 いる)
(PU .))

(ID 2898_dict_vv-lexicon))

量化的NPと、それが隣接するNPとの間の関係は、いつも量化的であるとは限らない。(480)は明らかな非量化的な関係の例である(「両腕」は「父親」の数量を示しているわけではない)：

(480) それを見て母親は改めて大きな叫び声を上げ、テーブルから逃げ出し、かけていった父親の両腕のなかに倒れてしまった。

((IP-MAT (IP-ADV-SCON (PP-OB1 (NP (PRO それ))
(P-ROLE を))
(VB 見)
(P-CONN て))
(PP-SBJ (NP;{MOTHER} (N 母親))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-CONJ (IP-ADV-CONJ (ADVP (ADV 改めて))
(PP-OB1 (NP (PNL 大きな)
(N 叫び声))
(P-ROLE を))
(VB 上げ))
(PU 、)
(PP (NP (N テーブル))
(P-ROLE から))
(VB 逃げ出し))
(PU 、)
(PP (NP (PP (NP (PP (NP;{FATHER} (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(VB かけ)
(P-CONN て)
(VB2 いった)
(AXD た))
(N 父親))
(P-ROLE の))
(Q 両腕))
(P-ROLE の))
(N なか))
(P-ROLE に))
(VB 倒れ)
(P-CONN て)
(VB2 しまっ)
(AXD た)
(PU .))

(ID 414_aozora_Harada-1960))

しかも、20.5.3 節で見ると、これらの関係が量化的か否かについて、統語的配置から一意的に決まるとも限らない。このため、量化的NPともう1つのNPとの関係が確かに量化的である場合、ソート情報(?? 節を参照)を追加することで量化的関係を明示する。大まかな方針としては、

- 量化表現がホスト名詞の投射の内側にあるときには、;* が量化表現の投射する IP-REL に添えられる；

(481) すべての日本人研究者がノーベル賞を欲しがっている。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{PERSON} (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
                                     (NP-PRD (Q すべて))
                                     (AX の))
                                     (N 日本人研究者))
      (P-ROLE が))
  (PP-OB1 (NP (N ノーベル賞))
    (P-ROLE を))
  (ADJI 欲し)
  (AX がっ)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる)
  (PU 。))
(ID 44_misc_JSeM_beta_150530))
```

- 量化表現がホスト名詞から遊離しているときには、;*SBJ*、;*OB1*など、ホストの文法役割が量化表現の投射する NP に添えられる (9 節も参照)；

(482) ステーキ用の肉がたくさん冷凍庫に入っている。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N ステーキ用))
                              (P-ROLE の))
                              (N 肉))
      (P-ROLE が))
  (NP;*SBJ* (Q たくさん))
  (PP (NP (N 冷凍庫))
    (P-ROLE に))
  (VB 入っ)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる)
  (PU 。))
(ID 155_misc_JSeM_beta_150530))
```

- また、量化子NPが独立した項であり、同時に、先行する主題化された NP の割合を表すような場合がある。この場合、主題NPを表す空代名詞 *pro*が量化子NPの所有者位置におかれ、主題NPと空代名詞の両方に同一のソート情報を加えることにする (20.5.6 節を参照)。

(483) 集合は半分が駄目だ

```
( (IP-MAT (PP (NP;{WHOLE_47} (N 集合))
      (P-OPTR は)
      (P-ROLE ***)
      (PP-SBJ (NP (PP (NP;{WHOLE_47} *pro*)
                    (P-ROLE *の*))
                  (Q 半分))
              (P-ROLE が))
      (ADJN 駄目)
      (AX だ))
(ID 10_misc_EXAMPLE2))
```

(484) 人間の体は60%が水、

```

( (IP-MAT (PP-TPC (NP;{BODY} (PP (NP (N 人間))
                                (P-ROLE の))
                                (N 体))
      (P-OPTR は)
      (P-ROLE ***)
      (PP-SBJ (NP (PP (NP;{BODY} *pro*)
                    (P-ROLE *の*))
                (NUMCLP (NUM 60)
                        (CL %)))
              (P-ROLE が))
      (NP-PRD (N 水))
      (AX *)
      (PU 、))
  (ID 332_textbook_djg_advanced))

```

20.4 連体修飾するW表現のためのフラットなアノテーション

W表現による量化的NPには、「だれ+も」「何+か」のように、W表現+P からなるもの(485)があり、また、「どの+人+も」のように、W表現+N+P からなるものもある(486)。

(485) 振り返って後ろを見たが、誰もいなかった。

```

( (IP-MAT (PP-CONJ (IP-ADV (NP-SBJ *pro*)
                          (IP-ADV-CONJ (VB 振り返っ)
                                          (P-CONN て))
                          (PP-OB1 (NP (N 後ろ))
                                   (P-ROLE を))
                          (VB 見)
                          (AXD た))
      (P-CONN が))
      (PU 、)
      (NP-SBJ (WPRO 誰)
              (P-OPTR も))
      (VB い)
      (NEG なかつ)
      (AXD た)
      (PU . ))
  (ID 2817_dict_vv-lexicon))

```

(486) どの社員も異動を希望していない。

```

( (IP-MAT (NP-SBJ (WD どの)
                  (N 社員)
                  (P-OPTR も))
      (PP-OB1 (NP (N 異動))
              (P-ROLE を))
      (VB 希望)
      (VB0 し)
      (P-CONN て)
      (VB2 い)
      (NEG ない))

```

(PU 。))

(ID 127_misc_JSeM_beta_150530))

W表現+P (例:「だれも」)は、それ全体で量化的NPとなり、さらにホストNPを外部に持つことがある。例えば、(487)では、「誰も」のホストNPは、主語NP「会計士たち」である。

(487) 会計士たちは誰も会議に出席しなかった。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 会計士たち))

(P-OPTR は))

(NP;*SBJ* (WPRO 誰)

(P-OPTR も))

(PP (NP (N 会議))

(P-ROLE に))

(VB 出席)

(VB0 し)

(NEG なかつ)

(AXD た)

(PU 。))

(ID 1020_misc_JSeM_beta_150530))

一方で、W表現+N+P (例:「何の+N+P」「どの+N+P」)については、その中のNはいつも量化的NPの量化域となるのであり、意味的な観点からは、NはW表現のホスト名詞と呼ばれてしかるべきものである。しかし、本ツリーバンクにおける構文の検索の便宜のことを考慮し、この構文に対して、特別に、フラットなアノテーションを行う。ソート情報は使われない。

(488) 私たちには何の問題もないわ。

((CP-FINAL (IP-SUB (PP-SBJ (NP (PRO 私たち))

(P-ROLE に)

(P-OPTR は))

(PP-OB1 (NP (PP (NP (WPRO 何))

(P-ROLE の))

(N 問題))

(P-OPTR も))

(ADJI ない))

(P-FINAL わ)

(PU 。))

(ID 608_fiction_DICK-1952))

(489) どの取引先からも注文が来ました。

((IP-MAT (PP (NP (WD どの)

(N 取引先))

(P-ROLE から)

(P-OPTR も))

(PP-SBJ (NP (N 注文))

(P-ROLE が))

(VB 来)

(AX まし)

(AXD た)

(PU 。))

(ID 4_textbook_purple_intermediate))

W表現の「ホスト名詞」は、実質的には、(487)のように W表現から遊離している名詞句ばかりである。

20.5 量化的NPの様々な構文

日本語において、量化的NPは様々な構文を取りうる。

- [N の] Q/NUMCLP/W (例：学生の全員が / 学生の3人が / 学生のだれもが)
- N Q/NUMCLP (例：学生全員が / 学生3人が)
- [Q/NUMCLP/W の] N (例：全員の学生が / 3人の学生が / どれかの学生が)
- N ... [Q/NUMCLP/W] (もしくは逆順のもの) (例：学生が全員 (逮捕された) / 学生が3人 (逮捕された) / 学生はだれも (逮捕されなかった))
- [Q/NUMCLP/W] (独立, 項的) (例：全員が / 3人が / だれもが)
- [Q/NUMCLP/W] (独立, 副詞的) (例：数日 (休んだ) / 3日 (休んだ) / 何日も (休んだ))

以下、これらの構文を一つ一つ解説する。

20.5.1 主要部として働く Q / NUMCLP / W表現で、修飾を受けるような場合：[N の] Q/NUMCLP/W

その量化の範囲が、自らを修飾する連体修飾句 (所有格PPであることが多い) で示されるような量化詞のアノテーションは、通常のNPのアノテーションと何ら変わりはない。ソート情報は不要である。

(490) ヨーロッパ人の全員がヨーロッパの中を自由に移動できる。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N ヨーロッパ人))
                        (P-ROLE の))
                        (Q 全員))
                        (P-ROLE が))
  (PP-OB1 (NP (PP (NP (NPR ヨーロッパ))
                    (P-ROLE の))
          (N 中))
          (P-ROLE を))
  (ADVP (ADJN 自由)
        (AX に))
  (VB 移動)
  (VB0 できる)
  (PU 。))
(ID 311_misc_JSeM_beta_150530))
```

20.5.2 同格の Q / NUMCLP : N Q/NUMCLP

Q や NUMCLP が、何かしらの名詞の直後に現れる場合がある。このような場合、ホストの投射する NP の下に PRN を置き、Q または NUMCLP の投射する NP をその下に配置する：(NP (N ホスト) (PRN (NP (Q/NUMCLP 量化表現))))

(491) 初の仙台公演ではビゼーの華麗な音楽に彩られた名作「カルメン」全4幕を上演します。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
  (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
    (ADJN 初)
    (AX の))
    (N 仙台公演))
    (P-ROLE で)
    (P-OPTR は))
  (PP-OB1 (NP (PRN (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
    (PP-LGS (NP (PP (NP (NPR ビゼー))
      (P-ROLE の))
      (IP-REL (NP-SBJ *T*)
        (ADJN 華麗)
        (AX な))
        (N 音楽))
      (P-ROLE に))
      (VB 彩ら)
      (PASS れ)
      (AX た))
      (N 名作))))
    (PUL 「)
    (NPR カルメン)
    (PUR 」)
    (PRN (NP (Q 全)
      (NUMCLP (NUM 4)
        (CL 幕))))))
    (P-ROLE を))
  (VB 上演)
  (VB0 し)
  (AX ます)
  (PU 。))
(ID 51_news_KAHOKU_61))
```

Q または NUMCLP が投射する量化的NPが、直前の名詞を量化させている場合には、これらの中に量化的関係があると認め、最小のソート情報;* が量化的NPに添えられる((NP (N ホスト) (PRN (NP;* (Q/NUMCLP 量化表現))))。この[ホスト+ Q/NUMCLP]という対の作るホスト名詞は通常、特定の指示対象を持つ。そして、この外側のより大きなNPは、直後に助詞が続いたり、それ自身が名詞述語 (NP-PRD) になったりする。

(492) 社員全員が書庫の鍵を持っている。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 社員)
  (PRN (NP;* (Q 全員))))
  (P-ROLE が))
  (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 書庫))
    (P-ROLE の))
    (N 鍵))
    (P-ROLE を))
  (VB 持つ)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる))
```


(PU 。))
(ID 320_misc_JSeM_beta_150530))

(493) 宮城県内外の自治体職員や企業の防災担当者ら40人が参加。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 宮城県内外))
(P-ROLE の))
(NML (CONJP (NP (N 自治体職員))
(P-CONN や))
(NP (PP (NP (N 企業))
(P-ROLE の))
(N 防災担当者)))
(N ら)
(PRN (NP;* (NUMCLP (NUM 40)
(CL 人))))))
(P-ROLE が))
(VB 参加)
(PU 。))

(ID 12_news_KAHOKU_34))

上記以外の場合はソート情報はつけない。以下の例(494)は、単なる同格であって、量化関係にはない(「僕たち」と呼ばれうるものが3つ存在しているわけではない)。

(494) ナニーが先頭になって、僕たち三人はベッドの足元にひざまずいた。

((IP-MAT (IP-ADV-CONJ (PP-SBJ (NP;{NANNIE} (NPR ナニー))
(P-ROLE が))
(IP-SMC-OB1 (NP-PRD (N 先頭))
(AX に))
(VB なっ)
(P-CONN て))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP;{SPEAKER+AUNT+NANNIE} (PRO 僕たち)
(PRN (NP (NUMCLP (NUM 三)
(CL 人))))))
(P-OPTR は))
(PP (NP (PP (NP (N ベッド))
(P-ROLE の))
(N 足元))
(P-ROLE に))
(VB ひざまずい)
(AXD た)
(PU 。))

(ID 121_aozora_Joyce-1914))

NUMCLPの直後に括弧で囲まれたNUMCLPがあるときは、後者を投射するNPをPRNで包む。

(495) 1926年(大正15年)に仙台市電が開業した。

((IP-MAT (PP (NP (NUMCLP (NUM 1926)
(CL 年)
(PRN (PUL ()
(NP (NPR 大正)
(NUMCLP (NUM 15)

```

                                (CL 年))
                        (PUR ) ))))
                (P-ROLE に))
        (PP-SBJ (NP (NPR 仙台市電))
                (P-ROLE が))
        (VB 開業)
        (VB0 し)
        (AXD た)
        (PU 。))
(ID 157_wikipedia_Sendai_City))

```

20.5.3 Qによる連体修飾：[Qの]N

[Q+の]という形式をとる連体修飾表現には、それが指示表現か数量表現であるかに応じて、2種類の異なる分析が可能であり、アノテーションに際してはこれらのうちの1つを選ばなくてはならない。例えば、(496)に含まれる、「両方のチーム」という表現は、それだけでは意味的に曖昧である。「2つのチーム（例えば、巨人と阪神）の双方」という解釈が可能で、また、「両方の個体（例えば、孫正義と王貞治）の経営する（1つの）チーム」という解釈もありうる。前者の場合、Qを伴う表現は、ホスト名詞の数量を真正に示している。後者の場合、Qを伴う表現は指示表現である。どちらがアノテーションとして適切かということは、文脈を参照することによってはじめて決定することができる。今問題にしている例については、述語「攻め合う」により、「両方」が「チーム」を量化していると確定するのに十分な文脈が提供されている。そこで、この例における[Q+の]はIP-REL;*とラベル付けされる。

(496) 両方のチームが攻め合った。

```

( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
                            (NP-PRD (Q 両方))
                            (AX の))
                            (N チーム))
                (P-ROLE が))
        (VB 攻め)
        (VB2 合っ)
        (AXD た)
        (PU . ))
(ID 1413_dict_vv-lexicon))

```

以下は、真正に量的であるNPの追加の例である：

(497) この音楽は一部の人々に熱狂的に支持されている。

```

( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (D この)
                        (N 音楽))
                (P-OPTR は))
        (PP-LGS (NP (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
                            (NP-PRD (Q 一部))
                            (AX の))
                            (N 人々))
                (P-ROLE に))
        (ADVP (ADJN 熱狂的)
              (AX に))
        (VB 支持)

```

(VB0 さ)
(PASS れ)
(P-CONN て)
(VB2 いる)
(PU 。))
(ID 20_misc_EXAMPLE2))

(498) 空には無数の星がきらめいていた。

((IP-MAT (PP (NP (N 空))
(P-ROLE に)
(P-OPTR は))
(PP-SBJ (NP (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (Q 無数))
(AX の))
(N 星))
(P-ROLE が))
(VB きらめい)
(P-CONN て)
(VB2 い)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 640_textbook_TANAKA))

Qを含む表現が指示表現である場合、[Q+の]はPPとして分析され、ソート情報;*は用いられない(例:(NP (PP (NP (Q 両方) の) (N チーム))).連体修飾表現のIP-REL分析と属格PP分析の選択については、15.22節を参照。以下は追加の例である:

(499) 津波の爪痕を目に焼き付け、体験談をそれぞれの地元に持ち帰る

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
(IP-ADV-SCON (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 津波))
(P-ROLE の))
(N 爪痕))
(P-ROLE を))
(PP (NP (N 目))
(P-ROLE に))
(VB 焼き付け))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP (N 体験談))
(P-ROLE を))
(PP (NP (PP (NP (Q それぞれ))
(P-ROLE の))
(N 地元))
(P-ROLE に))
(VB 持ち帰る))
(ID 65_news_KAHOKU_39))

20.5.4 NUMCLPによる連体修飾:[NUMCLPの]N

NUMCLPの投射するNPが「の」を伴って連体修飾を行うときには、量化的NPと、修飾されるNとの関係に従って、3つの分析が可能である。

1つめは、NUMCLPの投射するNPがNの数量を表す場合である。[NUMCLP+の]はIP-REL;*とラベル付けされる。

(500) 二人の剣豪はお互いに剣を突き返した.

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
                                (NP-PRD (NUMCLP (NUM 二人)))
                                (AX の))
                                (N 剣豪))
      (P-OPTR は))
  (PP (NP (PRO お互い))
    (P-ROLE に))
  (PP-OB1 (NP (N 剣))
    (P-ROLE を))
  (VB 突き返し)
  (AXD た)
  (PU . ))
(ID 1660_dict_vv-lexicon))
```

次の例 (501) も数量表現の一種であるが、NUMCLP の投射する NP が個数ではなく、割合を示している。このときも、IP-REL にはソート情報 ;* が添えられる。

(501) この1956年にアメリカで行われた調査では30%の人が人生が非常に幸せだと答えています

```
( (IP-MAT (PP (NP (D この)
                  (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                           (NP-LGS *pro*)
                           (PP (NP (NUMCLP (NUM 1956)
                                           (CL 年)))
                               (P-ROLE に))
                           (PP (NP (NPR アメリカ))
                               (P-ROLE で))
                           (VB 行わ)
                           (PASS れ)
                           (AXD た))
                  (N 調査))
      (P-ROLE で)
      (P-OPTR は))
  (PP-SBJ (NP (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
                    (NP-PRD (NUMCLP (NUM 30)
                                      (CL %)))
                    (AX の))
          (N 人))
    (P-ROLE が))
  (CP-THT-OB1 (IP-SUB (PP-SBJ (NP (N 人生))
                                (P-ROLE が))
                (ADVP (ADJN 非常)
                      (AX に))
                (ADJN 幸せ)
                (AX だ))
    (P-COMP と))
  (VB 答え)
  (P-CONN て)
  (VB2 い)
```

(AX ます))
(ID 21_ted_talk_3))

2つめの場合は、NUMCLPの投射するNPがNの大きさ、順序等何らかの属性を表す場合である。このとき、[NUMCLP+の]はIP-RELまたはIP-EMBとラベル付けされるが、ソート情報;*を添えることはない。

(502) すべての四本足の哺乳類は四本足の動物だ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL;* (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (Q すべて))
(AX の))
(IP-REL (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (NUMCLP (NUM 四)
(CL 本))
(N 足))
(AX の))
(N 哺乳類))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (NUMCLP (NUM 四)
(CL 本))
(N 足))
(AX の))
(N 動物))
(AX だ)
(PU 。))
(ID 1323_misc_JSeM_beta_150530))

(503) 不意に第二のアイデアが起こった。

((IP-MAT (ADVP (ADJN 不意)
(AX に))
(PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (NUMCLP (NUM 第二)))
(AX の))
(N アイデア))
(P-ROLE が))
(VB 起こっ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 134_aozora_Kajii-1925))

(504) 「ハイ、あれが二十五歳の時のお話でございますよ」

((CP-FINAL (PUL 「)
(IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
(INTJ ハイ)
(PU 、)
(NP-PRD (PP (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (PRO あれ))
(P-ROLE が))
(NP-PRD (NUMCLP (NUM 二十五)
(CL 歳)))

(AX の))
 (N 時))
 (P-ROLE の))
 (N お話))
 (AX で)
 (VB2 ござい)
 (AX ます))
 (P-FINAL よ)
 (PUR 』))
 (ID 146_aozora_Edogawa-1929))

3つめの分析は、NUMCLPの投射するNPが何らかの指示対象を持つ場合である。このとき、[NUMCLP+の]はPPとしてラベル付けされる。PPにソート情報;*を添えることはない。

(505) 運命が二人の仲を引き裂いた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 運命))
 (P-ROLE が))
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (NUMCLP (NUM 二人)))
 (P-ROLE の))
 (N 仲))
 (P-ROLE を))
 (VB 引き裂い)
 (AXD た)
 (PU .))
 (ID 2537_dict_vv-lexicon))

(506) 二月十七日の晩であった。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (NP-PRD (PP (NP (NUMCLP (NUM 二)
 (CL 月))
 (NUMCLP (NUM 十七)
 (CL 日)))
 (P-ROLE の))
 (N 晩))
 (AX で)
 (VB2 あっ)
 (AXD た)
 (PU .))
 (ID 28_aozora_Mori-1912))

20.5.5 遊離量化表現の Q / NUMCLP / W 表現

量化詞の遊離とは、それ自体で独立した節レベルの構成素を作ると同時に、節レベルのホスト名詞を量化することからそう呼ばれる。この場合の量化詞NPは必ずホスト名詞を量化する。そのために、どの名詞句がホストなのかを示すために、;*SBJ*、;*OB1*等のように文法役割を伴ったソート情報が明記される。遊離量化詞は、基本的に、何かしらの項をそのホスト名詞とし、自身は格助詞を伴わない。

(507) 店には、人がいっぱいいる。

((IP-MAT (PP (NP (N 店))
(P-ROLE に)
(P-OPTR は))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (N 人))
(P-ROLE が))
(NP; *SBJ* (Q いっぱい))
(VB いる)
(PU 。))
(ID 103_textbook_kisonihongo))

(508) 彼女は夫の欠点をひとつひとつ言い立てた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼女))
(P-OPTR は))
(PP-OB1 (NP (PP (NP (N 夫))
(P-ROLE の))
(N 欠点))
(P-ROLE を))
(NP; *OB1* (NUMCLP (NUM ひと)
(CL つ))
(NUMCLP (NUM ひと)
(CL つ)))
(VB 言い立て)
(AXD た)
(PU .))
(ID 93_dict_vv-lexicon))

ホスト名詞が文中に明示されていない場合、その存在はゼロ代名詞によって示される。格標識を伴わない量化子に対しては、それが単独で項としてのNPをなすアノテーションも考えられるが、本コーパスではゼロ代名詞からの遊離というアノテーションを優先的に行う。

(509) 部長が、すべてうまく行くように取り計らってくれた。

((IP-MAT (NP-OB1 *pro*)
(PP-SBJ (NP (N 部長))
(P-ROLE が))
(PU 、)
(PP (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
(NP; *SBJ* (Q すべて))
(ADVP (ADJI うまく))
(VB 行く))
(N よう))
(P-ROLE に))
(VB 取り計らっ)
(P-CONN て)
(VB2 くれ)
(AXD た)
(PU .))
(ID 1977_dict_vv-lexicon))

(510) 『みな私の手落ちだ！——

((IP-MAT (PUL 『)
 (NP-SBJ *pro*)
 (NP;*SBJ* (Q みな))
 (NP-PRD (PP (NP (PRO 私))
 (P-ROLE の))
 (N 手落ち))
 (AX だ)
 (PU !—))
 (ID 220_aozora_Togawa-1937-1))
 NUMCLP も遊離して現れることがある。

(511) 台所にお酒が二升あった。

((IP-MAT (PP (NP (N 台所))
 (P-ROLE に))
 (PP-SBJ (NP;{DAZAI_LIQUOR_2_SHO} (N お酒))
 (P-ROLE が))
 (NP;*SBJ* (NUMCLP (NUM 二)
 (CL 升)))
 (VB あっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 103_aozora_Dazai-1-1940))

(512) 彼女はブーツを一足買った。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼女))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (N ブーツ))
 (P-ROLE を))
 (NP;*OB1* (NUMCLP (NUM 一)
 (CL 足)))
 (VB 買った)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 789_textbook_TANAKA))

以下は、NUMCLP による量化的 NP のホスト名詞がゼロ代名詞である例である。

(513) するとまた一匹あらわれた。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (CONJ すると)
 (ADVP (ADV また))
 (NP;*SBJ* (NUMCLP (NUM 一)
 (CL 匹)))
 (VB あらわれ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 620_aozora_Natsume-1908))

W表現も遊離しうる。

(514) 「ここには、生きているものはだれもないよ、

((CP-FINAL (PUL 「)
 (IP-SUB (PP (NP (PRO ここ))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (VB 生き)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる))
 (N もの))
 (P-OPTR は))
 (NP;*SBJ* (WPRO だれ)
 (P-OPTR も))
 (VB い)
 (NEG ない))
 (P-FINAL よ)
 (PU 、))

(ID 405_fiction_DICK-1952))

以下は、遊離したW表現のホスト名詞がゼロ代名詞である例である。

(515) 巴里の有名な貿易商、山田和市氏の夫人と令嬢で、どちらも相当に日本語を話す。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (IP-ADV-CONJ (NP-PRD (PP (NP (PRN (NP (PP (NP (NPR 巴里))
 (P-ROLE の))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 有名)
 (AX な))
 (N 貿易商)))
 (PU 、)
 (NPR 山田和市氏))
 (P-ROLE の))
 (NML (CONJP (NP (N 夫人))
 (P-CONN と))
 (NP (N 令嬢))))
 (AX で))
 (PU 、)
 (NP;*SBJ* (WPRO どちら)
 (P-OPTR も))
 (ADVP (ADJN 相当)
 (AX に))
 (PP-OB1 (NP (N 日本語))
 (P-ROLE を))
 (VB 話す)
 (PU 。))

(ID 11_aozora_Hisao-1939))

遊離した Q / NUMCLP / W表現はホスト名詞よりも後に現れる例が多いが、ホスト名詞に先行して現れる例もある。

(516) しかしその海岸一帯には、たくさん不思議な事が見聞きされる。

((IP-MAT (NP-LGS *arb*)
 (CONJ しかし)
 (PP (NP (D その)
 (N 海岸一帯))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (NP;*SBJ* (Q たくさん))
 (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 不思議)
 (AX な))
 (N 事))
 (P-ROLE が))
 (VB 見聞き)
 (VB0 さ)
 (PASS れる)
 (PU 。))
 (ID 9_aozora_Togawa-1937-1))

(517) 「もう一つルビーを持っていきましょうか」

((CP-QUE (PUL 「)
 (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
 (NP;*OB1* (ADV もう)
 (NUMCLP (NUM 一)
 (CL つ)))
 (PP-OB1 (NP (N ルビー))
 (P-ROLE を))
 (VB 持つ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いき)
 (AX ましよ)
 (AX う))
 (P-FINAL か)
 (PUR 」))
 (ID 181_aozora_Yuki-1-2000))

(518) 彼ら三人しか客が乗っていない電車には、暖かい陽がふり注いでいた。

((IP-MAT (PP (NP (IP-REL (PP (NP *T*)
 (P-ROLE *に*))
 (PP;*SBJ* (NP;{FATHER+MOTHER+GRETE} (PRO 彼ら)
 (PRN (NP (NUMCLP

(NUM 三)

人))))))

(CL

(P-OPTR しか))
 (PP-SBJ (NP (N 客))
 (P-ROLE が))
 (VB 乗っ)
 (P-CONN て)
 (VB2 い)

(NEG ない))
 (N 電車))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJI 暖かい))
 (N 陽))
 (P-ROLE が))
 (VB ふり注い)
 (P-CONN で)
 (VB2 い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 1224_aozora_Harada-1960))

(519) 誰も消火に手伝う者はいなかった。

((IP-MAT (NP;*SBJ* (WPRO 誰)
 (P-OPTR も))
 (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP (NP (N 消火))
 (P-ROLE に))
 (VB 手伝う))
 (N 者))
 (P-OPTR は))
 (VB い)
 (NEG なかつ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 442_aozora_Sakaguchi-1947))

20.5.6 Qによる指示表現, NUMCLPによる指示表現

量化表現 QあるいはNUMCLPが主要文法役割を表す助詞でマークされ(従って, 20.5.5節のもののように遊離しているわけではない), そのホストが特定性を持つ時, ホストと量化表現は「全体-部分」の関係を持つが, このような量化表現は項として, つまり, 指示的な表現として扱われる。ホストNPは, (P-ROLE ***)の補部となり, さらにソート情報を付与される。加えてこれと同じソート情報をもつゼロ代名詞が, (NP (PP (NP;{WHOLE} *pro*) (P *の*)) (Q ...))のような形で, QあるいはNUMCLPの補部として導入される。

(520) 自分たちはほとんどが次男坊ばかりですから」

((FRAG (PP (IP-ADV (PP-TPC (NP;{WHOLE} (PRO 自分たち))
 (P-OPTR は)
 (P-ROLE ***)
 (PP-SBJ (NP (PP (NP;{WHOLE} *pro*)
 (P-ROLE *の*))
 (Q ほとんど))
 (P-ROLE が))
 (PP-PRD (NP (N 次男坊))

(P-OPTR ばかり))
 (AX です))
 (P-CONN から)
 (PUR 』))
 (ID 247_aozora_Hayashida-2015))

(521) 県内で48店舗を持つ同生協は、被害が大きかった2店が閉店した。

((IP-MAT (PP-TPC (NP;{COOP} (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP (NP (N 県内))
 (P-ROLE で))
 (PP-OB1 (NP (NUMCLP (NUM 48)
 (CL 店舗)))
 (P-ROLE を))
 (VB 持つ))
 (N 同生協))
 (P-OPTR は)
 (P-ROLE ***)
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (PP (NP;{COOP} *pro*)
 (P-ROLE *の*))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP-SBJ2 (NP (N 被害))
 (P-ROLE が))
 (ADJI 大きかつ))
 (AXD た))
 (NUMCLP (NUM 2)
 (CL 店)))
 (P-ROLE が))
 (VB 閉店)
 (VB0 し)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 19_news_KAHOKU_39))

(522) 製造業は14業種のうち11業種、非製造業は12業種のうち9業種が上向いた。

((IP-MAT (IP-ADV-CONJ (PP-TPC (NP;{MANUFACTURING_INDUSTRY} (N 製造業))
 (P-OPTR は)
 (P-ROLE ***)
 (NP-ADV (PP (NP (PP (NP;{MANUFACTURING_INDUSTRY} *pro*)
 (P-ROLE *の*))
 (NUMCLP (NUM 14)
 (CL 業種)))
 (P-ROLE の))
 (N うち))
 (NP-SBJ (NUMCLP (NUM 11)
 (CL 業種))))
 (PU 、)
 (PP-TPC (NP;{NON_MANUFACTURING_INDUSTRY} (N 非製造業))
 (P-OPTR は)

(P-ROLE ***)
 (NP-ADV (PP (NP (PP (NP; {NON_MANUFACTURING_INDUSTRY} *pro*)
 (P-ROLE *の*))
 (NUMCLP (NUM 1 2)
 (CL 業種)))
 (P-ROLE の))
 (N うち))
 (PP-SBJ (NP (NUMCLP (NUM 9)
 (CL 業種)))
 (P-ROLE が))
 (VB 上向い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 15_news_KAHOKU_113))

20.5.3 節で簡単に述べたように、文脈さえあれば、量化表現を数量表現でなく独立した指示表現として扱うのに十分な根拠が与えられる。しかし一方で、量化表現の中には、それ自体が含む要素のおかげで指示表現としての解釈を受けるものがある。例えば、Q や NUMCLP が節構成素の主要部となり、限定詞 (D) または定名詞句によって修飾されて定指示となる場合である (20.1.2 節を参照)。このような量化表現は指示表現として取り扱うことができ、20.5.1 節で述べられているように、ソート情報によって明示的要素あるいは空要素にリンクされることはない。例えば、以下の(523)において、量化詞「すべて」は「の」が付加された名詞句によって修飾されており、これが量化表現全体を定としている。このような指示的な量化表現は、必須項として助詞のマーキングを受ける強い傾向がある。

(523) 国内企業のすべてが週休二日制を導入している。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 国内企業))
 (P-ROLE の))
 (Q すべて))
 (P-ROLE が))
 (PP-OB1 (NP (N 週休二日制))
 (P-ROLE を))
 (VB 導入)
 (VB0 し)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (PU 。))
 (ID 48_misc_JSeM_beta_150530))

(524) アンケートは県内の沿岸自治体 15 市町の 245 校を対象に実施した。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (N アンケート))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV2-SCON (PP-DOB1 (NP (PP (NP (PP (NP (N 県内))
 (P-ROLE の))
 (N 沿岸自治体)
 (NUMCLP (NUM 1 5)
 (CL 市町)))
 (P-ROLE の))
 (NUMCLP (NUM 2 4 5)

(CL 校))
 (P-ROLE を))
 (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (N 対象))
 (AX に))
 (VB 実施)
 (VB0 し)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 24_news_KAHOKU_2275))

(525) 本年度は2月1日から3月10日まで計約1800人が参加した。

((IP-MAT (PP-TMP (NP (N 本年度))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (NUMCLP (NUM 2)
 (CL 月))
 (NUMCLP (NUM 1)
 (CL 日)))
 (P-ROLE から))
 (PP (NP (NUMCLP (NUM 3)
 (CL 月))
 (NUMCLP (NUM 10)
 (CL 日)))
 (P-ROLE まで))
 (PP-SBJ (NP (N 計)
 (NUMCLP (NUM 約1800)
 (CL 人)))
 (P-ROLE が))
 (VB 参加)
 (VB0 し)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 64_news_KAHOKU_39))

20.5.7 ホストなしの副詞的な Q または NUMCLP

Q あるいは NUMCLP に由来する、節の構成素としての NP は、ホスト名詞を量化するのではなく、それ単体で副詞的に機能することがある。最も典型的なのは、時間や、期間、距離、度合いを示す場合である。このような場合、Q あるいは NUMCLP の投射する NP はソート情報を与えられることなく、NP-TMP, NP-ADV あるいは NP-MSR としてラベル付けされる (拡張タグ TMP, ADV, MSR については 9.2.2 節を参照)。

(526) 尿道をつくる工程と似ていますがもう少し複雑です

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP-CONJ (IP-ADV (PP-OB1 (NP (IP-EMB (NP-SBJ *speaker+pro*)
 (PP-OB1 (NP (N 尿道))
 (P-ROLE を))
 (VB つくる))
 (N 工程))
 (P-ROLE と))
 (VB 似)

(P-CONN て)
 (VB2 い)
 (AX ます))
 (P-CONN が))
 (NP-ADV (ADV もう)
 (ADV 少し))
 (ADJN 複雑)
 (AX です))
 (ID 86_ted_talk_9))

(527) 全国平均を5.3ポイント下回った。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (N 全国平均))
 (P-ROLE を))
 (NP-ADV (NUMCLP (NUM 5.3)
 (CL ポイント))))
 (VB 下回っ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 22_news_KAHOKU_113))

(528) 私は、もう少しここで待とう、と考えていた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{SPEAKER_1088} (PRO 私))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (CP-THT-OB1 (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
 (ADVP (ADVP (ADV もう))
 (ADV 少し))
 (PP (NP;{CURRENT_PLACE_1088} (PRO ここ))
 (P-ROLE で))
 (VB 待と)
 (AX う))
 (PU 、)
 (P-COMP と))
 (VB 考え)
 (P-CONN て)
 (VB2 い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 1088_textbook_kisonihongo))

(529) スミスは2年間バーミンガムに住んだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR スミス))
 (P-OPTR は))
 (NP-MSR (NUMCLP (NUM 2)
 (CL 年間)))
 (PP (NP (NPR バーミンガム))
 (P-ROLE に))
 (VB 住ん)
 (AXD だ)

(PU 。))
(ID 1724_misc_JSeM_beta_150530))

21 句読点

一般的規則として、multi-sentence を例外として、句読点は可能なかぎり高い位置に置かれる。

(530) 希望者は、住所、氏名、および、電話番号を記入して下さい。

((CP-IMP (IP-SUB (PP-SBJ (NP (N 希望者))
(P-OPTR は))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP (CONJP (NP (N 住所)))
(PU 、)
(CONJP (NP (N 氏名))
(PU 、)
(CONJ および))
(PU 、)
(NP (N 電話番号)))
(P-ROLE を))
(VB 記入)
(VB0 し)
(P-CONN て)
(VB2 下さい))
(PU 。))

(ID 882_textbook_kisonihongo))

また、IP-ADV に対して明示的な等位接続詞（「かつ」等）が後続する場合、IP-ADV と等位接続詞の間に読点が挿入されうることには注意すること。

(531) 彼女は一流のピアニストで、かつ優れた随筆家だ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 彼女))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-CONJ (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(ADJN 一流)
(AX の))
(N ピアニスト))
(AX で))
(PU 、)
(CONJ かつ)
(NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(VB 優れ)
(AX た))
(N 随筆家))
(AX だ)
(PU 。))

(ID 192_textbook_djg_advanced))

19 節でも述べたように、PRN を区切るダッシュや括弧 (PUL および PUR) は、例外として、PRN ノードの内に含まれる。

22 メタデータ (META)

テキストには、舞台の指示や話題の人物の身元に関するメタデータが含まれることがある。この種の情報は、META のラベルを付加して扱う。

(532) 週末は人並みが絶えない=昨年 1 1 月

```
( (IP-MAT (PP-TMP (NP (N 週末))
                    (P-OPTR は))
  (PP-SBJ (NP (N 人並み))
          (P-ROLE が))
  (VB 絶え)
  (NEG ない)
  (META (SYM =)
        (NP (N 昨年)
            (NUMCLP (NUM 1 1)
                    (CL 月))))))
(ID 22_news_KAHOKU_457))
```

23 会話特有の表現

この節では、会話に特有の表現がどのようにアノテートされているかについて説明する。

23.1 間投詞句 (INTJP)

間投詞のための品詞タグは、INTJ である。

INTJ とラベル付けされた個々の単語は、たとえ節のレベルの構成素であっても INTJP を投射することはない。

(533) 「ああ、王は伶俐だ。

```
( (IP-MAT (PUL 「)
  (INTJ ああ)
  (PU 、)
  (PP-SBJ (NP (N 王))
          (P-OPTR は))
  (ADJN 伶俐)
  (AX だ)
  (PU 。))
(ID 84_aozora_Dazai-2-1940))
```

INTJP のラベルは、以下のような場合に使用される。

- 間投詞が独立した発話をなす場合。通常、「もしもし」「はい」等がこれに該当する。このようなINTJPは、主節であることもあれば、引用節であることもある。

```
(INTJP (INTJ もしもし)
      (PU 。))
```

```
(INTJP (INTJ はい)
      (PU 。))
```

(534) すると帽子屋さんは、おやおやと思いました。

((IP-MAT (CONJ すると)
 (PP-SBJ (NP (N 帽子屋さん))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (CP-THT-OB1 (INTJP (INTJ おやおや))
 (P-COMP と))
 (VB 思い)
 (AX まし)
 (AXD た)
 (PU 。))
(ID 55_aozora_Niimi-1943))

- 間投詞が助詞と共起する場合。

(IP-IMP (NP-SBJ *hearer*)
 (INTJP (INTJ すみません)
 (P が))
 (PU ,)
 (PP (NP (N 塩))
 (P を))
 (NP-OB1 *を*)
 (VB 取っ)
 (P て)
 (VB2 ください)
 (PU 。))

- 間投詞ではない語または句が、全体として間投句として使用されている場合。例えば、以下の例では、助詞である「ね」と「が」が、PPを投射する代わりにINTJPを投射している。

(INTJP (IP-SUB (ADVP (ADV そう))
 (AX です))
 (P-FINAL ね))
(INTJP (NP (PRO それ))
 (P-CONN が))

以下の実例では、「見えるかいて」というCP-THTが、全体として、間投句的に振る舞っている。

(535) じゃ、私の顔が見えるかいと一心に聞くと、見えるかいて、そら、そこに、写ってるじゃありませんかと、にこりと笑って見せた。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP-SCON (IP-ADV (NP-SBJ *speaker*)
 (CP-THT-OB1 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (CONJ じゃ)
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (PP (NP
(PRO 私))

(P-ROLE

の))

(N 顔))
(P-ROLE が))
(VB 見える))
(P-FINAL かい))
(P-COMP と))
(PP (NP (N 一心))
(P-ROLE に))
(VB 聞く))
(P-CONN と))
(PU 、)
(CP-THT-ADV (CP-FINAL (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
(INTJP (CP-THT (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ
speaker))
(NP-OB1
hearer))
(VB
見える))
(P-FINAL か
い))
(P-COMP って)))
(PU 、)
(INTJ そら)
(PU 、)
(PP (NP (PRO そこ))
(P-ROLE に))
(PU 、)
(VB 写っ)
(VB2 てる)
(AX じゃ)
(VB2 あり)
(AX ませ)
(NEG ん))
(P-FINAL か))
(P-COMP と))
(PU 、)
(ADVP (ADV にこりと))
(VB 笑っ)
(P-CONN て)
(VB2 見せ)
(AXD た)
(PU 。))

(ID 18_aozora_Natsume-1908))

INTJやINTJPの並列は、CONJP(18節を参照)によってなされるのではなく、単なる並置によってなされる。

(536) あー、はいはいはい、特にね
((CP-FINAL (IP-SUB (INTJ あー)
(PU 、)
(INTJ はい)

(INTJ はい)
 (INTJ はい)
 (PU 、)
 (ADVP (ADV 特に))
 (P-FINAL ね)
 (ID 45_spoken_JM10))

(537) ああそうだ、こうやればよさそうだな」

((CP-FINAL (IP-SUB (INTJ ああ)
 (INTJ そうだ)
 (PU 、)
 (NP-SBJ;{CONFIDENCE} *pro*)
 (IP-ADV-SCON-CND (NP-SBJ;{SHERLOCK+WATSON} *speaker+pro*)
 (ADVP (ADV こう))
 (VB やれ)
 (P-CONN ば))
 (ADJI よさ)
 (AX そう)
 (AX だ))
 (P-FINAL な)
 (PUR 」))
 (ID 579_aozora_Doyle-1905))

23.2 言い誤り (FS)

FS は言い誤りを示し、特に発話データにおいて、繰り返しや言い直しなどが生じた場合に用いられる。

(538) 「ひ、ひ、人殺しイ……」

((FRAG (PUL 「)
 (NP (FS (N ひ)
 (PU 、))
 (FS (N ひ)
 (PU 、))
 (N 人殺しイ))
 (PU ……))
 (PUR 」))
 (ID 41_aozora_Kunieda-1925))

(539) この場所このアリーナもまたギリシャの円形劇場のように忘我の状態のため
 の場所です

((IP-MAT (FS (NP-SBJ (D この
 (N 場所)))
 (PP-SBJ (NP (PP (NP (PRO ここ))
 (P-ROLE の))
 (N アリーナ))
 (P-OPTR も))
 (ADVP (ADV また))
 (PP (NP (PP (NP (PP (NP (NPR ギリシャ))
 (P-ROLE の))

(N 円形劇場))
(P-ROLE の))
(N よう))
(P-ROLE に))
(NP-PRD (PP (NP (PP (NP (PP (NP (N 忘我))
(P-ROLE の))
(N 状態))
(P-ROLE の))
(N ため))
(P-ROLE の))
(N 場所))
(AX です))
(ID 46_ted_talk_3))

23.3 省略

種々の省略は、会話体のテキストに（それだけに限らないのではあるが）よく見られる。以下、これらの省略のアノテーションの仕方をまとめる。

ゼロ代名詞、すなわち主要文法役割を果たす名詞句の省略については8節を参照のこと。

NPの文法役割（主要なものであれ、そうでないものであれ）を示す助詞が省略された場合、そのようなNPには、NP-SBJやNP-OB1のように、文法役割が直接タグ付けされる。

(540) ご飯食べた？

((CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
(NP-OB1 (N ご飯))
(VB 食べ)
(AXD た))
(PU ?))
(ID 968_textbook_kisonihongo))

(541) あれ、雨降ってる。

((IP-MAT (INTJ あれ)
(PU 、)
(NP-SBJ (N 雨))
(VB 降っ)
(VB2 てる)
(PU 。))
(ID 969_textbook_kisonihongo))

主要文法役割は任意文法役割に優先する。以下の例の「あいつ」については、(PP-TPCを投射する)話題標識「は」が省略されていると考えることができる一方で、主語-SBJの文法役割も果たしている。このとき、タグ-SBJが優先され、-TPCは付加されない。

(542) あいつ、どこ行ったのかな。

((CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ;{MEN_971} (PRO あいつ))
(PU 、)
(NP-LOC (WPRO どこ))
(VB 行っ))

(AXD た)
 (FN の))
 (P-FINAL かな)
 (PU 。))
 (ID 971_textbook_kisonihongo))

以下は真正な NP-TPC の例である：

(543) 仮校舎、不自由続く
 ((IP-MAT (SYM □)
 (NP-TPC (N 仮校舎))
 (PU 、)
 (NP-SBJ (N 不自由))
 (VB 続く))
 (ID 50_news_KAHOKU_37))

名詞句内の主要部の省略については 24.2 節を参照のこと。

IP-ADV における主要部の省略に関する議論については 24.3 節を参照のこと。

23.4 付け足し

ある句や句の連なりが、述語クラスターの直後、あるいは文末助詞の後ろに、外置されることがある。このとき、それらの句は、ギャップのある文を補う付け足し(afterthought)と見なされる。

主節に対して何かしらの文法役割をもった句が外置される場合、当該句は文本体と *ICH* を用いたインデックス付与によって関係づけられる (8.2 節を参照)。すなわち、外置された句が本来あるべき場所に、インデックスを伴う *ICH* を置き、それを支配するノードのラベルとして、外置された句の主要タグと (あれば) 拡張タグをともに指定し (例 (29) では、(PP-SBJ *ICH*-1))、外置された句自体に対しては、主要タグとインデックスのみを指定する (例 (29) では、(PP-1 神戸は))。

(29) 美しい街ですよ、神戸は。

((CP-FINAL (IP-SUB (PP-SBJ *ICH*-1)
 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJI 美しい))
 (N 街))
 (AX です))
 (P-FINAL よ)
 (PU 、)
 (PP-1 (NP (NPR 神戸))
 (P-OPTR は))
 (PU 。))
 (ID 989_textbook_kisonihongo))

(545) 来た、来た、バスが。

((CP-FINAL (IP-SUB (PP-SBJ *ICH*-1)
 (IP-ADV-CONJ (VB 来)
 (AXD た))
 (PU 、)
 (VB 来)
 (AXD た))
 (PU 、)

(PP-1 (NP (N バス))
 (P-ROLE が))
 (PU 。))
 (ID 990_textbook_kisonihongo))

(546) /生きる、全てを糧に

((CP-FINAL (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
 (PU /)
 (IP-ADV-SCON *ICH*-1)
 (VB 生きる))
 (PU 、)
 (IP-ADV-1 (PP-OB1 (NP (Q 全て))
 (P-ROLE を))
 (PP-OB2 (NP (N 糧))
 (P-ROLE に))))))
 (ID 3_news_KAHOKU_55))

23.5 縮約

2つの形態素の間で縮約が生じる場合、当該の語形のタグ付けは、2者のうち全体の意味にとって決定的な方（典型的には2番目の要素）のタグをとる。これにより、「てる (<ている)」、「ちゃう (<てしまう)」、「てく (<ていく)」、「とく (<ておく)」は全て VB2 とラベル付けされる。以下に例を挙げる。

(547) 僕、もうやめちゃうけど、君はどうするの。

((CP-QUE (IP-SUB (PP-CONJ (IP-ADV (NP-SBJ;{SPEAKER_992} (PRO 僕))
 (PU 、)
 (ADVP (ADV もう))
 (VB やめ)
 (VB2 ちゃう))
 (P-CONN けど))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP;{HEARER_992} (PRO 君))
 (P-OPTR は))
 (ADVP-CMPL (WADV どう))
 (VB する)
 (FN の))
 (PU 。))
 (ID 992_textbook_kisonihongo))

(548) ここに置いとくよ。

((CP-FINAL (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
 (NP-OB1;{SUTFF_998} *pro*)
 (PP (NP;{CURRENT_POSITION_998} (PRO ここ))
 (P-ROLE に))
 (VB 置い)
 (VB2 とく))
 (P-FINAL よ)
 (PU 。))
 (ID 998_textbook_kisonihongo))

24 様々な構文

この節では、様々な構文のアノテーションについて説明する。

24.1 二重主語文

日本語には「二重主語文」と呼ばれる構文があり、頻繁に使用される。

(549) 神戸は夜景がきれいだ。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP; {KOBE} (NPR 神戸))
    (P-OPTR は))
  (PP-SBJ2 (NP (N 夜景))
    (P-ROLE が))
  (ADJN きれい)
  (AX だ)
  (PU 。))
(ID 762_textbook_kisonihongo))
```

上の例文において、助詞「は」と「が」は両方とも、それぞれ NP に対し文法上の主語であるという表示を行っている。2番目の主語（述語に近い方）は、他の要因からは独立して、述語に対して単純に主語の役割を果たしている。最初の（左側の）主語は、2番目の主語や述語、あるいはこれら2つが形作る叙述（詳細は以下を参照のこと）との関係に依存する。本アノテーションの枠組みでは、最初の主語は SBJ と、2番目の「が」の付いた主語は SBJ2 とラベル付けされる。これらは両方ともコントロール元の項となることができる。

関係節を除いた節の中で最初の主語は典型的には「は」「も」「なら」「だって」等のとりたて助詞によってマークされる。この構文のもう1つの特徴は、適切な文脈さえ与えられれば最初の主語は「が」でも表示されうることである。これは、関係節の中でも可能である。

- ・ オランダがチューリップが綺麗なことは知れ渡っている。

また、以下のように特別な焦点を伴う場合にも現れる。

- ・ Q. ヨーロッパ旅行、どこが良かった？ A. オランダがチューリップが綺麗だったわ。

2つの主語および述語の間にどのような関係が成り立つかによって、この種の文は少くとも3つのタイプに分けられる（[日本語記述文法研究会 2009b](#), pp. 186-189 を参照のこと）。これらのタイプの区別はアノテーションには記されないが、それに関する知識は、この構文を認識するに際して有用である。

最初のタイプは、「は」が表示する最初の主語が「が」の表示する2番目の主語を意味的に修飾するものである。そのため、「AはBがC(だ)」の文は、ほぼ意味の変更を伴わず「AのBがC(だ)」と言い換えることができる。以下に例を挙げる。

- ・ 象は鼻が長い → 象の鼻が長い
- ・ 神戸は夜景がきれいだ → 神戸の夜景がきれいだ
- ・ 日本語は文字が複雑だ → 日本語の文字が複雑だ

第二のタイプには述語名詞が現れ、最初の主語がこの述語名詞の項として解釈できる。すなわち、「AはBがCだ。」は「BがAのCだ」と言い換えられる。典型的には、CはAの重要または不可欠な側面を表す。例を以下に示す。

- カキ料理は広島が本場だ。(→ 広島がカキ料理の本場だ)
- あの店はあさってがオープンだ。(→ あさってがあの店のオープンだ)

第三のタイプにおいては、2つの主語や述語の間に特定の関係が成り立たない。最初の主語は、2番目の主語と述語が形作る叙述と関係する。例えば、

- このにおいは、ガスが漏れているな。

この文においては、「この匂い」は「ガス」や「漏れている」と修飾 - 被修飾や項 - 述語の関係にない。「ガス」と「漏れている」とが構成する叙述に対し、総体的に関係づけられている。

二重主語文は日本語に広く見られる。関係節のトレースや、省略によるゼロ代名詞、あるいは上位の節からのコントロールという形で、音形をもたない空要素が二重主語文の SBJとして解釈されることがある。下の例文で、IP-MATの主語は話し手であるが、同時に二重主語文である IP-ADV へのコントロールを行っている。

(550) 実家が塩釜の海産物屋なので、浜のにおいの中で育った。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (PP-SCON (IP-ADV (PP-SBJ2 (NP (N 実家))
    (P-ROLE が))
    (NP-PRD (PP (NP (N 塩釜))
      (P-ROLE の))
      (N 海産物屋))
    (AX な))
    (P-CONN ので))
  (PU 、)
  (PP (NP (PP (NP (PP (NP (N 浜))
    (P-ROLE の))
    (N におい))
    (P-ROLE の))
    (N 中))
    (P-ROLE で))
  (VB 育っ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 33_news_KAHOKU_303))
```

この種の構文と「が」によって表示される第一目的語 (NP-OB1) を持つ文との区別に注意する必要がある。15.6 節で詳細に説明したように、「が」が NP-OB1 を表示する文において、NP-OB1 が表現されない場合、NP-SBJ は依然として述語の主語としての解釈が可能である。これに対して大多数の二重主語文では、NP-SBJ を単純に述語の主語として解釈することはできない。さらに、「が」表示の目的語を伴う述語は数が限られているのに対し、二重主語構文に関しては、NP-SBJ の関連性が見出される限りにおいて、述語のタイプについての制限はほぼ存在しない。

以下の例文は、SBJ2 が主題化されて左方移動し、SBJ が総記の焦点化を受けて出来たと考えることが可能である。

- チューリップはオランダが奇麗だ。
- 歌は太郎が上手い。
- 編集は教科書が難しい。

このような例を二重主語文として扱うべきかどうかは、明らかでない。

また、三重主語文や四重主語文も可能であることはよく知られている。例えば、「日本は女性は平均寿命が長い。」1つの節の中にいくつの主語が許されるかについて、今後調査する必要がある。本コーパスでは、SBJ と SBJ2 以外に主語のための拡張タグを用いない。

さらに、第一のタイプの二重主語文の定義は、他動詞「ある」(所有の「ある」)の構文にも当てはまる。しかし、本アノテーションではこのような構文における「が」を伴う名詞句は NP-OB1 として扱われる。

24.2 N-bar 削除

稀ではあるが、主要部としての名詞が削除され、「の」が導く助詞句が一般化された個体を限定するような例がある。

(551) すごいいいデザインののがあってこれに決めた !!

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (NP-OB1 *pro*)
  (IP-ADV-SCON (PP-SBJ (NP (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
    (ADV (ADVI すごい))
    (ADVI いい))
    (N デザイン))
    (P-ROLE の)))
    (P-ROLE が))
    (VB あっ)
    (P-CONN て))
  (PP (NP (PRO これ))
    (P-ROLE に))
  (VB 決め)
  (AXD た)
  (PU !!))
  (ID 107_misc_KNB))
```

この現象は「N-バー削除」と呼ばれる。この場合、主要部は空のままにし、明示的なアノテーションを行わない。

24.3 右方節点繰上げ構文

等位節では、すべての節に共通の述語が最後のものをのぞいて削除されていると見なすことのできる例がある。

(552) 右から開くと防災マップ、左から開くと高齢者見守りのマップとなるようにデザインした。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ;{AAT} *pro*)
  (NP-OB1;{AAT_MAP} *pro*)
  (PP (NP (IP-EMB (NP-SBJ;{AAT_MAP} *pro*)
    (IP-ADV-CONJ (PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-SBJ *arb*)
      (NP-OB1;{AAT_MAP}
      *pro*)
      (PP (NP (N 右))
        (P-ROLE か
        ら))
```

(VB 開く))
(P-CONN と))
(NP-OB1 (N 防災マップ))
(PU 、)
(PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-SBJ *arb*)
(NP-OB1;{AAT_MAP} *pro*)
(PP (NP (N 左))
(P-ROLE から))
(VB 開く))
(P-CONN と))
(IP-SMC-OB1 (NP-PRD (PP (NP (N 高齢者見守り))
(P-ROLE の))
(N マップ))
(AX と))
(VB なる))
(N よう))
(P-ROLE に))
(VB デザイン)
(VB0 し)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 13_news_KAHOKU_33))

これはいわゆる「右方節点繰上げ (Right-node raising)」と呼ばれる現象である。このような例では、非終結節でない節の述語は空のまま、つまり明示的なアノテーションを行わないことに注意されたい。

(553) 最終的に舞台のアンネ役はスーザン・ストラスバーグが、映画のアンネ役はミリー・パーキンスが演じた。

((IP-MAT (ADVP (ADJN 最終的)
(AX に))
(IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 舞台))
(P-ROLE の))
(N アンネ役))
(P-OPTR は))
(PP-SBJ (NP (NPR スーザン・ストラスバーグ))
(P-ROLE が))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP (PP (NP (N 映画))
(P-ROLE の))
(N アンネ役))
(P-OPTR は))
(PP-SBJ (NP (NPR ミリー・パーキンス))
(P-ROLE が))
(VB 演じ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 129_wikipedia_Audrey_Hepburn))

(554) 太郎は小説が、花子は詩が、好きだ。


```

(P-OPTR も))
(VB 変わっ)
(AXD た)
(PUR 」)))))
(PU 、)
(PP-LGS (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(NP-OB1 *pro*)
(ADJN 初めて)
(AX の))
(N 人))
(P-ROLE から))
(PP-SBJ (NP (PP (CP-THT (PUL 「)
(IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
(CP-THT-OB1 (IP-SUB (PP-SBJ (NP
(IP-REL (NP-SBJ *T*)
(ADJN こんな)
に))
多様)
な))
意見))
が))
(VB ある))
(P-COMP と)
(P-OPTR は))
(VB 思わ)
(NEG なかつ)
(AXD た))
(PUR 」)
(P-OPTR など))
(P-ROLE の))
(N 回答))
(P-ROLE が))
(VB 寄せ)
(PASS られ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 15_news_KAHOKU_34))

```

24.4 動詞なしの付帯状況構文

述語を欠くという点で「右方節点繰上げ (Right-node raising)」に似ているが、後続の叙述と並行的というよりは、それに対して副詞的に働くという点で異なる構文がある。これを付帯状況構文と呼ぶ。この構文は [A を B に] のような形をとっており、右方節点繰上げ構文と異なって IP-ADV-SCON 下に置かれる。これらはさらに異なる構造を持つ

2つのタイプに分けられる。

「に」を「として」で置き換え、文意が変わらない場合、「に」はコピュラ (AX) の連用形, [B に]は小節 (IP-SMC-OB1) と分析される。

(556) この研究は中島教授を中心に進められている。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (D この)
                      (N 研究))
                    (P-OPTR は))
  (IP-ADV-SCON (PP-DOB1 (NP (NPR 中島教授))
                        (P-ROLE を))
               (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (N 中心))
                            (AX に)))
  (NP-LGS *pro*)
  (VB 進め)
  (PASS られ)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる)
  (PU 。))
(ID 415_textbook_djg_advanced))
```

(557) 親鸞は、ここを拠点に精力的な布教活動を行う。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 親鸞))
                    (P-OPTR は))
  (PU 、)
  (IP-ADV-SCON (PP-DOB1 (NP (PRO ここ))
                        (P-ROLE を))
               (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (N 拠点))
                            (AX に)))
  (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                    (ADJN 精力的)
                    (AX な))
           (N 布教活動))
          (P-ROLE を))
  (VB 行う)
  (PU 。))
(ID 77_wikipedia_KYOTO_7))
```

「に」を「として」で置き換えられない場合、「に」は格助詞, [B に]は助詞句 (PP-OB2) と分析される。

(558) オリンピックを前に、選手たちは泳ぎ込んだ。

```
( (IP-MAT (IP-ADV-SCON (PP-DOB1 (NP (NPR オリンピック))
                                  (P-ROLE を))
                        (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (N 前))
                                      (AX に)))
  (PU 、)
  (PP-SBJ (NP (N 選手たち))
          (P-OPTR は))
  (VB 泳ぎ込ん)
  (AXD だ)
  (PU 。))
(ID 569_dict_vv-lexicon))
```

(559) 地図を手に目的地を探した。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (IP-ADV-SCON (PP-DOB1 (NP (N 地図))
    (P-ROLE を))
    (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (N 手))
      (AX に)))
  (PP-OB1 (NP (N 目的地))
    (P-ROLE を))
  (VB 探し)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 1166_textbook_kisonihongo))
```

24.5 複数の文から成る引用

IP-MAT, IP-IMP や CP レベルの節が連続して引用されたり、あるいは発話・思考内容を表す補部名詞句を表示する助詞「という」「といった」等が後接する場合、これらの節は multi-sentence の下に直接置かれる。FRAG や INTJP が独立した複数の発話をなす場合も直接 multi-sentence の下に置かれる。

(560) 「イライラが募るのか。明らかに震災後の現象だ」と校長は対応に困惑する。

```
( (IP-MAT (CP-THT-OB1 (multi-sentence (PUL 「
  (CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ (NP (N イラ
    (P-ROLE が))
    (VB 募る)
    (FN の))
    (P-FINAL か)
    (PU 。))
  (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
    (ADVP (ADJN 明らか)
      (AX に))
    (NP-PRD (PP (NP (N 震災後))
      (P-ROLE の))
      (N 現象))
    (AX だ))
  (PUR 」))
  (P-COMP と))
  (PP-SBJ (NP (N 校長))
    (P-OPTR は))
  (PP (NP (N 対応))
    (P-ROLE に))
  (VB 困惑)
  (VB0 する)
  (PU 。))
(ID 21_news_KAHOKU_37))
```

(561) 私的日記にとどまらない、「誰かのためになる」「役に立つ」「琴線に触れる」ようなブログが、読み手の共感を得る。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP (NP (N 私的日記))
 (P-ROLE に))
 (VB とどまら)
 (NEG ない))
 (PU 、)
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (multi-sentence (IP-MAT (PUL 「)
 (IP-SMC-OB1
 (NP-PRD (PP (NP (WPRO 誰)

か))

の))

ため))

に))

役))

に))

琴線))

に))

(N

(AX

(VB なる)

(PUR 』))

(IP-MAT (PUL 「)

(PP (NP (N

(P-ROLE

(VB 立つ)

(PUR 』))

(IP-MAT (PUL 「)

(PP (NP (N

(P-ROLE

(VB 触れる)

(PUR 』)))

(N よう))

(AX な))

(N ブログ))

(P-ROLE が))

(PU 、)

(PP-OB1 (NP (PP (NP (N 読み手))

(P-ROLE の))

(N 共感))

(P-ROLE を))

(VB 得る)

(PU 。))

(ID 11_news_KAHOKU_87))

CP-THT 下での IP-SUB などとは異なり, multi-sentence タグはそれ自体が統語的な島を作り出すわけではないことに注意されたい。島の効果が生じるのはむしろ, 発話レベルのカテゴリ (つまり IP-MAT, IP-IMP, FRAG, INTJP, CP-QUE, CP-EXL, CP-FINAL) のみを multi-sentence の下に許しているからである。

24.6 焦点を伴う擬似分裂文

焦点を伴う擬似分裂文はコピュラ文と分析され、典型的には名詞「の」がトレースを持つ IP-REL に修飾されて主語となる。この主語は擬似分裂文の前提部分を形作る。焦点部分はコピュラによる叙述が表し、それは典型的には NP-PRD によって構成される。

(562) 太郎が勉強しているのは日本史だ。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
                        (PP-SBJ (NP;{TARO_1062} (NPR 太郎))
                                (P-ROLE が))
                        (VB 勉強)
                        (VB0 し)
                        (P-CONN て)
                        (VB2 いる))
                    (N の))
                (P-OPTR は))
    (NP-PRD (N 日本史))
    (AX だ)
    (PU 。))
  (ID 1062_textbook_kisonihongo))
```

焦点部分を PP-PRD が占めることもある。

(563) 「わたしたちが信じるのは、もうあなたが話してくれたからではない。

```
( (IP-MAT (PUL 「)
    (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-OB1 *pro*)
                      (PP-SBJ (NP;{SAMARITANS} (PRO わたしたち))
                              (P-ROLE が))
                      (VB 信じる))
        (N の))
        (P-OPTR は))
    (PU 、)
    (ADVP (ADV もう))
    (PP-PRD (IP-ADV (NP-OB1 *pro*)
                  (PP-SBJ (NP;{WOMAN} (PRO あなた))
                          (P-ROLE が))
                  (VB 話し)
                  (P-CONN て)
                  (VB2 くれ)
                  (AXD た))
        (P-CONN から))
    (AX で)
    (P-OPTR は)
    (NEG ない)
    (PU 。))
  (ID 284_bible_nt))
```

一方で、IP-RELではなく IP-EMBをもつと分析される擬似分裂文も存在する。焦点要素が前提部分の理由を表すケースが典型的である。このようなケースは、IP-REL分析を仮定した場合トレースとして何を置くべきかが自明ではないため、IP-EMBが置かれている。

(564) あなたがたが信じないのは、わたしの羊でないからである。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-OB1 *speaker*)
 (PP-SBJ (NP (PRO あなたがた))
 (P-ROLE が))
 (VB信じ)
 (NEG ない))
 (N の))
 (P-OPTR は))
 (PU、)
 (PP-PRD (IP-ADV (NP-SBJ *hearer*)
 (NP-PRD;{SHEEP} (PP (NP;{JESUS} (PRO わたし))
 (P-ROLE の))
 (N 羊))
 (AX で)
 (NEG ない))
 (P-CONN から))
 (AX で)
 (VB2 ある)
 (PU。))
 (ID 900_bible_nt))

また、等位接続された複数の擬似分裂文の場合、そのうちの一つでも IP-EMB分析が強いられるのであれば、残りの擬似分裂文も (IP-REL分析が可能であっても) IP-EMB分析がなされる。

(565) 二人が知り合ったのは友人を介してであり、ヘプバーンとドッティとの結婚生活が終わりを迎えようとしていた時期だった。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (NUMCLP (NUM 二人)))
 (P-ROLE が))
 (VB 知り合っ)
 (AXD た))
 (N の))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-CONJ (PP-PRD (NP (N 友人))
 (P-ROLE を介して))
 (AX で)
 (VB2 あり))
 (PU、)
 (NP-PRD (IP-EMB (PP-SBJ (NP (PP (NP (CONJP (NP (NPR ヘプバーン))
 (P-CONN と))
 (NP (NPR ドッティ))
 (P-CONN と))
 (P-ROLE の))
 (N 結婚生活))
 (P-ROLE が))
 (PP-OB1 (NP (N 終わり))
 (P-ROLE を))
 (VB 迎え)
 (AX よう)
 (AX と)
 (VB2 し)
 (P-CONN て)
 (VB2 い))

(AXD た))
 (N 時期))
 (AX だっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 304_wikipedia_Audrey_Hepburn))

焦点を伴う擬似分裂文と同じ形をしているが、分裂文に特徴的な「質問／答え」のペアが想定できない文もある。このような文を擬似分裂文から区別する特別なアノテーションは行わない。

(566) 津波に対抗して堤防を高くするのは、技術力に依存した20世紀型の発想。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
 (IP-ADV-CONJ (PP (NP (N 津波))
 (P-ROLE に))
 (VB 対抗)
 (VB0 し)
 (P-CONN て))
 (PP-OB1 (NP (N 堤防))
 (P-ROLE を))
 (IP-SMC-CNT (ADJI 高く))
 (VB する))
 (N の))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP (NP (N 技術力))
 (P-ROLE に))
 (VB 依存)
 (VB0 し)
 (AXD た))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (NUMCLP (NUM 20)
 (CL 世紀))
 (N 型))
 (AX の))
 (N 発想))
 (AX *)
 (PU 。))
 (ID 97_news_KAHOKU_78))

24.7 二重ヲ格構文

助詞「を」を伴う助詞句 (PP-OB1) に、さらに「を」を伴う他動詞的な動作名詞 (VB) と VB0 が続くような「二重ヲ格構文」が、例えば国会議事録のような改まった発話状況で稀に用いられることがある。このような場合、2つめの「を」は IP に直接支配される構成素として扱うことにする：

(567) ただいま議題となりました法律案につきまして、経済産業委員会における審査の経過と結果を御報告を申し上げます。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (IP-SMC-OB1 (NP-TMP (N ただいま))
 (NP-PRD (N 議題))
 (AX と))
 (VB なり)
 (AX まし)
 (AXD た))
 (N 法律案))
 (P-ROLE につきました))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (PP (NP (N 経済産業委員会))
 (P-ROLE における))
 (N 審査))
 (P-ROLE の))
 (NML (CONJP (NP (N 経過))
 (P-CONN と))
 (NP (N 結果))))))
 (P-ROLE を))
 (VB 御報告)
 (P-ROLE を)
 (VB0 申上げ)
 (AX ます)
 (PU 。))
 (ID 145_diet_kaigiroku-17))

(568) また材料も厳選されたものを素材に応じてあくぬきなどをしながら、味をひきだす技術が要求される。

((IP-MAT (NP-LGS;{CRAFTSMAN} *pro*)
 (CONJ また)
 (PP-TPC (NP (N 材料))
 (P-OPTR も))
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ;{CRAFTSMAN} *pro*)
 (IP-ADV-SCON (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-LGS;{CRAFTSMAN}
 pro))
 (VB 厳選)
 (VB0 さ)
 (PASS れ)
 (AXD た))
 (N もの))
 (P-ROLE を))
 (PP (NP (N 素材))
 (P-ROLE に応じて))
 (VB あくぬき)
 (P-OPTR など)
 (P-ROLE を)
 (VB0 し)
 (P-CONN ながら))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (N 味))

(P-ROLE を))
 (VB ひきだす))
 (N 技術))
 (P-ROLE が))
 (VB 要求)
 (VB0 さ)
 (PASS れる)
 (PU 。))
 (ID 57_wikipedia_KYOTO_16))

24.8 直接受動文

直接受動文は、SBJ が主要な述語の被動者あるいは受領者 (Patient/Recipient) の意味役割を果たし、主体 (Agent) の意味役割を果たす名詞句が (もしあれば)、格助詞「に」「から」「によって」等を伴う文である。これは、元来 OB1 あるいは OB2 であったものが主語の位置に昇格し、SBJ であったものが斜格の位置に降格したものと考えることができる。主体の意味役割を持つ NP あるいは PP は LGS (論理的な主語) の拡張タグを与えられる。受動を表す助動詞は PASS とラベル付けされる。

(569) そうすればお父さんからぶたれないだろう」

((IP-MAT (NP-SBJ *hearer*))
 (IP-ADV-SCON-CND (ADVP-CMPL (ADV そう))
 (VB すれ)
 (P-CONN ば))
 (PP-LGS (NP (N お父さん))
 (P-ROLE から))
 (VB ぶた)
 (PASS れ)
 (NEG ない)
 (MD だろう)
 (PUR ー))
 (ID 231_aozora_Yuki-1-2000))

受動構文に基づいて二重主語構文を形成することが可能である。

(570) ジョンは論文が受理された。

((IP-MAT (NP-LGS *pro*))
 (PP-SBJ (NP (NPR ジョン))
 (P-OPTR は))
 (PP-SBJ2 (NP (N 論文))
 (P-ROLE が))
 (VB 受理)
 (VB0 さ)
 (PASS れ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 1209_misc_JSeM_beta_150530))

(571) 金庫の中身は、大部分がテーブルの上に出されていた。

```

( (IP-MAT (NP-LGS *pro*)
  (PP-SBJ (NP;{SAFE_INSIDE} (PP (NP;{SAFE} (N 金庫))
    (P-ROLE の))
    (N 中身))
    (P-OPTR は))
  (PU 、)
  (PP-SBJ2 (NP (Q 大部分))
    (P-ROLE が))
  (PP (NP (PP (NP;{OLDACRE_HOUSE_BEDROOM_TABLE} (N テーブル))
    (P-ROLE の))
    (N 上))
    (P-ROLE に))
  (VB 出さ)
  (PASS れ)
  (P-CONN て)
  (VB2 い)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 397_aozora_Doyle-1905))

```

24.8.1 受動文における目的語

目的語を2つ取る他動詞の受動文においては、OB1とOB2のどちらも主語の位置に昇格が可能である。残りの目的語は文法役割を変えない。

(572) 二第三者に提供される個人データの項目

```

( (FRAG (LST (LS 二))
  (NP (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
    (NP-LGS *pro*)
    (PP-OB2 (NP (N 第三者))
      (P-ROLE に))
    (VB 提供)
    (VB0 さ)
    (PASS れる))
    (N 個人データ))
    (P-ROLE の))
    (N 項目)))
(ID 125_law_h15A119))

```

このことから、OB1とPASSが同一のIPに共起するのは、主語がOB2の位置から昇格した場合だけである。

(573) 難しい時代に直面する今、私たちは構想力を問われている。

```

( (IP-MAT (NP-LGS *)
  (NP-TMP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
    (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
      (ADJI 難しい))
      (N 時代))
      (P-ROLE に))
    (VB 直面)
    (VB0 する))
    (N 今))

```

(PU 、)
 (PP-SBJ (NP (PRO 私たち))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP (N 構想力))
 (P-ROLE を))
 (VB 問わ)
 (PASS れ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (PU 。))

(ID 12_news_KAHOKU_706))

論理的な主語が OB2 と同じ節の中に現れる場合、通常は「に」以外の「から」「によって」「により」等の助詞による表示を受ける。

(574) その後、禅宗の最高峰を極めた臨済宗は、南宋時代の中国に渡り学んだ栄西らによって、鎌倉時代に日本に伝えられている。

((IP-MAT (NP-TMP (D その)
 (N 後))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (NPR 禅宗))
 (P-ROLE の))
 (N 最高峰))
 (P-ROLE を))
 (VB 極め)
 (AXD た))
 (NPR 臨済宗))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-LGS (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (IP-ADV-CONJ (PP (NP (PP (NP (N 南宋時代))
 (P-ROLE の))
 (NPR 中国))
 (P-ROLE に))
 (VB 渡り))
 (VB 学ん)
 (AXD だ))
 (NPR 栄西ら))
 (P-ROLE によって))
 (PU 、)
 (PP (NP (N 鎌倉時代))
 (P-ROLE に))
 (PP-OB2 (NP (NPR 日本))
 (P-ROLE に))
 (VB 伝え)
 (PASS られ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (PU 。))

(ID 13_wikipedia_KYOTO_2))

24.9 使役文

使役構文は、述語の項フレームに対する新しい項（使役者 causer）が付け加えられるという点で結合価を増加させる構文である。使役構文において、主動詞（VB）、主語以外の項、主動詞の意味上の主体（被使役者 causee）および統語上の主語（使役者 causer）はすべて姉妹関係に置かれる。被使役者（典型的には「に」または「を」を付加される）は CZZ と拡張ラベル付けされる。助動詞「(さ)せる」(VB2) は述語の直後に置かれる。

(575) 私は弟にケーキを食べさせた。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{SPEAKER_15} (PRO 私))
      (P-OPTR は))
  (PP-CZZ (NP (N 弟))
    (P-ROLE に))
  (PP-OB1 (NP (N ケーキ))
    (P-ROLE を))
  (VB 食べ)
  (VB2 させ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 15_misc_EXAMPLE))
```

(576) 「どこからパンを買ってきて、この人々に食べさせようか」。

```
( (CP-QUE (PUL 「)
  (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
    (IP-ADV-CONJ (PP (NP (WPRO どこ))
      (P-ROLE から))
    (PP-OB1 (NP (N パン))
      (P-ROLE を))
    (VB 買っ)
    (P-CONN て)
    (VB2 き)
    (P-CONN て))
    (PU 、)
    (PP-CZZ (NP (D この)
      (N 人々))
      (P-ROLE に))
    (NP-OB1 *pro*)
    (VB 食べ)
    (VB2 させ)
    (AX よう))
    (P-FINAL か)
    (PUR 」)
    (PU 。))
(ID 398_bible_nt))
```

24.10 使役受動文

使役受動文における主語は、統語的には使役を表す VB2 「(さ)せ」と受動を表す PASS 「られ」とが合わさった要素の主語でありながら、意味上は主動詞の主体でもある。また、拡張タグ LGS を付加された項は VB2 「(さ)せ」が述語とともに表す使役的事象の主体に当たる。

(577) 高津さんはその事件を調べさせられた。

((IP-MAT (NP-LGS *pro*)
 (PP-SBJ (NP;{TAKATSU_435} (NPR 高津さん))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP;{CASE_425} (D その)
 (N 事件))
 (P-ROLE を))
 (VB 調べ)
 (VB2 させ)
 (PASS られ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 435_textbook_kisonihongo))

(578) そこで妹は母親の忠告によって自分の決心をひるがえさせられたりしてはいなかった。

((IP-MAT (CONJ そこで)
 (PP-SBJ (NP;{GRETE} (N 妹))
 (P-OPTR は))
 (PP-LGS (NP (PP (NP;{MOTHER} (N 母親))
 (P-ROLE の))
 (N 忠告))
 (P-ROLE によって))
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (PRO 自分))
 (P-ROLE の))
 (N 決心))
 (P-ROLE を))
 (VB ひるがえさ)
 (VB2 せ)
 (PASS られ)
 (P-CONN たり)
 (VB2 し)
 (P-CONN て)
 (P-OPTR は)
 (VB2 い)
 (NEG なかつ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 704_aozora_Harada-1960))

24.11 間接受動文

直接受動文 (24.8 節を参照) と異なり、間接受動構文における助動詞「れる・られる」は PASS2 のラベルを与えられる。間接受動構文は、影響を受ける者を表す SBJ が項フレームに加えられる一方で、主動詞の論理的主語が LGS に降格して「に」によって示されるという点で、結合価を増加させる構文である。この2つの項は主動詞 (VB)、受動を表す PASS2 「れる・られる」や主動詞の他の項と姉妹関係に置かれ、SBJ と LGS 以外の項の文法役割は主動詞に対するものがそのまま引き継がれる。

(579) 太郎が花子に泣かれた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{PERSON} (NPR 太郎))
(P-ROLE が))
(PP-LGS (NP;{PERSON} (NPR 花子))
(P-ROLE に))
(VB 泣か)
(PASS2 れ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 1822_misc_JSeM_beta_150530))

(580) 太郎は先生に絵をほめられた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{TARO_413} (NPR 太郎))
(P-OPTR は))
(PP-LGS (NP (N 先生))
(P-ROLE に))
(PP-OB1 (NP (N 絵))
(P-ROLE を))
(VB ほめ)
(PASS2 られ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 413_textbook_kisonihongo))

24.12 テアル構文

テアル構文は、意図的な行為の結果について動作主性を背景化して描写するために用いられる、状態的な構文である。

テアル構文の分析は元の動詞が他動詞か自動詞かによって2つに分かれる。前者では、元の他動詞の目的語がテアル構文でどのような助詞をとるかという観点からさらに2つに分かれる。元の動詞の名詞句目的語が助詞「が」をとる場合（または、名詞修飾節において「の」をとる場合）、その名詞句は主語（SBJ）としてアノテーションされ、(P-CONN て)の後にノード (PASS *)が導入される。また、CP-THTがテアル形の伝達動詞（例：「書いてある」）の項として用いられ、同じ節に明示的な主語が無い場合も、そのようなCP-THTは拡張タグ-SBJを与えられ（24.17.2節も参照）、同様に(PASS *)ノードが導入される。このような場合、元の他動詞の主語は完全に抑制され、元の目的語が主語に昇格していると分析されるわけだが、他の名詞句の文法的役割（特に、OB2）テアル構文においても変わることはない。

(407) 子供が笑っている写真が置いてあった。

((IP-MAT (NP-LGS *pro*)
(PP-SBJ (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 子供))
(P-ROLE が))
(VB 笑っ)
(P-CONN て)
(VB2 いる))
(N 写真))
(P-ROLE が))
(VB 置い)
(P-CONN て)
(PASS *)
(VB2 あっ))

(AXD た)
(PU 。))

(ID 1218_textbook_kisonihongo))

テアル構文において、元の動詞の名詞目的語がそのまま助詞「を」をとる場合、あるいは助詞なしで現れる場合、あるいはとりたて助詞をとって現れる場合、これはOB1として扱われる。主語がないように見える場合は、虚辞を主語として(NP-SBJ *exp*)のように補う。元の動詞に対して項の配置、格が変わらないので、(PASS *)を導入することはない。

(582) 丁度便所の坑の傍に、実をむしり残した向日葵の茎を二三本縛り寄せたのを、一本の棒に結び付けてある。

((IP-MAT (NP-SBJ *exp*)
(ADVP (ADV 丁度))
(PP-OB1 (NP (IP-EMB (PP-OB1 (NP (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(PP (NP (PP (NP
(PP (NP (N 便所)) (P-ROLE
の)) (N
坑)) (N
(P-ROLE
の)) (N 傍))
(P-ROLE に))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP (N
実)) (P-ROLE
を)) (P-ROLE
(VB むしり)
(VB2 残し)
(AX た))
(N 向日葵))
(P-ROLE の))
(N 茎))
(P-ROLE を))
(NP; *OB1* (NUMCLP (NUM 二三)
(CL 本)))
(VB 縛り寄せ)
(AXD た))
(N の))
(P-ROLE を))
(PU 、)
(PP (NP (IP-REL; * (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (NUMCLP (NUM 一)
(CL 本)))
(AX の))
(N 棒))
(P-ROLE に))
(VB 結び付け)

(P-CONN て)
 (VB2 ある)
 (PU 。))
 (ID 127_aozora_Mori-1912))

(583) この生け花はなかなか見事に生けてある。

((IP-MAT (NP-SBJ *exp*)
 (PP-OB1 (NP (D この)
 (N 生け花))
 (P-OPTR は))
 (ADVP (ADVP (ADV かなか))
 (ADJN 見事)
 (AX に))
 (VB 生け)
 (P-CONN て)
 (VB2 ある)
 (PU 。))
 (ID 199_textbook_djg_intermediate))

このような扱いは関係節におけるトレースおよび空要素一般に対しても適用される。

(584) それから水に漬けてある豆だとか慈姑だとか。

((FRAG (CONJ それから)
 (NP (CONJP (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
 (NP-SBJ *exp*)
 (PP (NP (N 水))
 (P-ROLE に))
 (VB 漬け)
 (P-CONN て)
 (VB2 ある))
 (N 豆))
 (P-CONN だとか))
 (NP (N 慈姑))
 (P-CONN だとか))
 (PU 。))
 (ID 59_aozora_Kajii-1925))

元の動詞が自動詞（あるいは複合動詞）の場合、主語は NP-SBJ とラベル付けされ、(PASS *) は導入されない。自動詞からのテアル構文は、その自動詞が非対格動詞または受動化された動詞であるときに可能なようである。

(585) 台所に、まだ酒が残って在る筈だ。

((IP-MAT; {DAZAI_LIQUOR_REMAINING} (PP (NP (N 台所))
 (P-ROLE に))
 (PU 、)
 (ADVP (ADV まだ))
 (PP-SBJ (NP; {DAZAI_LIQUOR_REMAINDER} (N
 酒))
 (P-ROLE が))
 (VB 残っ)
 (P-CONN て)
 (VB2 在る)

(FN 筈)
(AX だ)
(PU 。)

(ID 131_aozora_Dazai-1-1940))

(586) 黄色く薄濁りした液体が一ぱいつまってる一升瓶は、どうにも不潔な、卑猥な感じさえして、恥ずかしく、眼ざわりでならぬのである。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-OB2 *T*)
(PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(ADVP (ADJI 黄色く))
(VB 薄濁り)
(VB0 し)
(AX た))
(N 液体))
(P-ROLE が))
(NP;*SBJ* (Q 一ぱい))
(VB つまっ)
(P-CONN て)
(VB2 在る))
(N 一升瓶))
(P-OPTR は))
(PU 、)
(IP-ADV-CONJ (ADVP (WADV どう)
(P-OPTR にも))
(PP-SBJ2 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(ADJN 不潔)
(AX な))
(PU 、)
(IP-REL (NP-SBJ *T*)
(ADJN 卑猥)
(AX な))
(N 感じ))
(P-OPTR さえ))
(VB し)
(P-CONN て))
(PU 、)
(IP-ADV-CONJ (ADJI 恥ずかしく))
(PU 、)
(ADJN 眼ざわり)
(AX で)
(VB2 なら)
(NEG ぬ)
(FN の)
(AX で)
(VB2 ある)
(PU 。))

(ID 68_aozora_Dazai-1-1940))

(587) 汚れたすじが四方の壁に沿って引かれてあるし、そこかしこにはごみと汚れものとのかたまりが横たわっている始末だ。

((IP-MAT (PP-CONJ (IP-ADV (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(VB 汚れ)
(AX た))
(N すじ))
(P-ROLE が))
(IP-ADV-CONJ (PP (NP (PP (NP (N 四方))
(P-ROLE の))
(N 壁))
(P-ROLE に))
(VB 沿っ)
(P-CONN て))
(NP-LGS;{GRETE} *pro*)
(VB 引か)
(PASS れ)
(P-CONN て)
(VB2 ある))
(P-CONN し))
(PU 、)
(NP-SBJ *pro*)
(NP-PRD (IP-EMB (PP-LOC (NP (PRO そこかしこ))
(P-ROLE に)
(P-OPTR は))
(PP-SBJ (NP (PP (NP (CONJP (NP (N ごみ))
(P-CONN と))
(NP (N 汚れもの))
(P-CONN と))
(P-ROLE の))
(N かたまり))
(P-ROLE が))
(VB 横たわっ)
(P-CONN て)
(VB2 いる))
(N 始末))
(AX だ)
(PU 。))

(ID 894_aozora_Harada-1960))

節同士の等位接続は、テアル構文にも見られる。

(588) 瓦斯煖炉が焚いて、電燈が付けてある。

((IP-MAT (IP-ADV-CONJ (PP-SBJ (NP (N 瓦斯煖炉))
(P-ROLE が))
(VB 焚い)
(P-CONN て)
(PASS *))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (N 電燈))
(P-ROLE が))
(VB 付け)
(P-CONN て)
(PASS *)
(VB2 ある)

(PU 。))
(ID 220_aozora_Mori-1912))

24.13 テモラウ構文とテアゲル/クレル構文

「てもらう」「てあげる」「てくれる」は、伝統的な日本語学では一括して論じられることが多いが、本アノテーションでは「てもらう」と「てあげる」「てくれる」とで異なる扱いがなされる。「動詞-てもらう」の「もらう」は動詞 VB とされ、小節 IP-SMC (10.3 節を参照のこと) を埋め込む。「に」格名詞句による IP-SMC のコントロールについては、14.2.3 節を参照のこと。

(589) 私は父にカメラを買ってもらいました。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
(P-OPTR は))
(PP-DOB1 (NP (N 父))
(P-ROLE に))
(IP-SMC-OB1 (PP-OB1 (NP (N カメラ))
(P-ROLE を))
(VB 買っ)
(P-CONN て))
(VB もらい)
(AX まし)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 166_textbook_djg_basic))

「もらう」の謙譲語である「いただく」も同じ分析を受ける。

これに対して、「あげる」「くれる」は補助動詞 VB2 とされ、それらが後接している動詞句は埋め込まれるのでなく、「あげる」「くれる」と同一のレベルで IP-MAT に直接支配される。

(590) 私は友達にお金を貸してあげた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
(P-OPTR は))
(PP-OB2 (NP (N 友達))
(P-ROLE に))
(PP-OB1 (NP (N お金))
(P-ROLE を))
(VB 貸し)
(P-CONN て)
(VB2 あげ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 15_textbook_djg_gram_terms))

(591) 道男は私をなぐさめてくれました。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR 道男))
(P-OPTR は))
(PP-OB1 (NP (PRO 私))
(P-ROLE を))
(VB なぐさめ)

(P-CONN て)
 (VB2 くれ)
 (AX まし)
 (AXD た)
 (PU 。))

(ID 114_textbook_djg_basic))

「あげる」「くれる」のそれぞれ尊敬語である「さしあげる」「くださる」についても同様である。

24.14 比較構文

2つの活動あるいは出来事を比較する場合、典型的には比較の基準をなす側が助詞「より」を伴う節によって表され、主たる出来事の方は形式名詞 (N) により作られる SBJ となる。

(592) 理屈をひねくり回すより、やってみることが大切だ。

((IP-MAT (PP-SCON (IP-ADV (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (N 理屈))
 (P-ROLE を))
 (VB ひねくり回す))
 (P-CONN より))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
 (NP-OB1 *pro*)
 (VB やっ)
 (P-CONN て)
 (VB2 みる))
 (N こと))
 (P-ROLE が))
 (ADJN 大切)
 (AX だ)
 (PU .))
 (ID 2663_dict_vv-lexicon))

24.15 移動の目的を表す節

移動動詞は、移動の目的を表す動作名詞句あるいは連用節を伴うことがある。名詞句は動作名詞 (例えば、「買い物」) — 「遊び」のような動詞派生の動作名詞を含めて— を主要部とし、助詞「に」が続く。連用節は動作動詞を主要部とした IP-NMZ に助詞「に」が続く。この、「に」は拡張タグ -PRP を伴う PP を投射する。

(199) 彼女のお母さんは買い物に行きました。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (PRO 彼女))
 (P-ROLE の))
 (N お母さん))
 (P-OPTR は))
 (PP-PRP (NP (N 買い物))
 (P-ROLE に))
 (VB 行き)
 (AX まし)

(AXD た)
(PU 。))
(ID 237_textbook_TANAKA))

(594) メロスは、それゆえ、花嫁の衣裳やら祝宴の御馳走やらを買いに、はるばる市に
やって来たのだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NPR メロス))
(P-OPTR は))
(PU 、)
(ADVP (ADV それゆえ))
(PU 、)
(PP-PRP (IP-NMZ (PP-OB1 (NP (CONJP (NP (PP (NP (N 花嫁))
(P-ROLE の))
(N 衣裳))
(P-CONN やら))
(NP (PP (NP (N 祝宴))
(P-ROLE の))
(N 御馳走))
(P-CONN やら))
(P-ROLE を))
(VB 買い))
(P-ROLE に))
(PU 、)
(ADVP (ADV はるばる))
(PP (NP (N 市))
(P-ROLE に))
(VB やって来)
(AXD た)
(FN の)
(AX だ)
(PU 。))

(ID 15_aozora_Dazai-2-1940))

移動の目的を表す連用節の場合、移動動詞の主語が連用節のコントロールの先行詞となる
場合が多い。ただし、「行かせる」や「派遣する」のように移動動詞が使役述語となる
ときは、主語でない項が目的を表す節の主語をコントロールすることもある。

(595) 小僧にききにこさせるだけでほんとうに十分ではないだろうか

((CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
(IP-ADV-SCON (NP-SBJ *pro*)
(PP-CZZ (NP (N 小僧))
(P-ROLE に))
(PP-PRP (IP-NMZ (NP-OB1 *pro*)
(VB きき))
(P-ROLE に))
(VB こ)
(VB2 させる)
(P-OPTR だけ)
(AX で))
(ADVP (ADJN ほんとう)
(AX に))

(ADJN 十分)
 (AX で)
 (P-OPTR は)
 (NEG ない)
 (MD だろう))
 (P-FINAL か))
 (ID 162_aozora_Harada-1960))

移動の目的を表す句が動作名詞を主要部とするとき、項構造をもつことはない。

24.16 間接疑問文および関連する構文

24.16.1 項としての間接疑問文

典型的な間接疑問文では、疑問節 (CP-QUE) が格助詞 (P-ROLE) を後接させた形で現れ、それを受ける述語が上位の節に存在する。疑問節が主要文法役割を果たす場合は、疑問節 (CP-QUE) を支配する助詞句 (PP) に適切な拡張タグが加えられる。以下にくつかの例を挙げる。

• CP-QUE + を - OB1

(596) その日何をしていたかを詳しく説明しなさい。

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (PP-OB1 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (NP-TMP; {DAY_1069} (D その)
 (N 日))
 (PP-OB1 (NP (WPRO 何))
 (P-ROLE を))
 (VB し)
 (P-CONN て)
 (VB2 い)
 (AXD た))
 (P-FINAL か))
 (P-ROLE を))
 (ADVP (ADJI 詳しく))
 (VB 説明)
 (VB0 し)
 (VB2 なさい))
 (PU 。))
 (ID 1069_textbook_kisonihongo))

• CP-QUE + が - SBJ

(597) わいせつ画像は、それそのものが問題なのではなく、それを誰が見るかが問題だと思う。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP-TPC (NP (N わいせつ画像))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (CP-THT-OB1 (IP-SUB (IP-ADV-CONJ (PP-SBJ (NP (PRO それ)
 (PRN (NP (PRO その
 もの))))))

(P-ROLE が))
 (NP-PRD (N 問題))
 (AX な)
 (FN の)
 (AX で)
 (P-OPTR は)
 (NEG なく))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (CP-QUE (IP-SUB (PP-OB1 (NP (PRO そ
 れ))
 (P-ROLE を))
 (PP-SBJ (NP (WPRO 誰))
 (P-ROLE が))
 (VB 見る))
 (P-FINAL か))
 (P-ROLE が))
 (NP-PRD (N 問題))
 (AX だ))
 (P-COMP と))
 (VB 思う)
 (PU 。))
 (ID 479_textbook_djg_advanced))

• CP-QUE + に – OB1

(598) 折り紙の最強のツールは、我々が部品をどうやって作るかに関係しています

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 折り紙))
 (P-ROLE の))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 最強)
 (AX の))
 (N ツール))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ (NP (PRO 我々))
 (P-ROLE が))
 (PP-OB1 (NP (N 部品))
 (P-ROLE を))
 (ADVP (WADV どうやって))
 (VB 作る))
 (P-FINAL か))
 (P-ROLE に))
 (VB 関係)
 (VB0 し)
 (P-CONN て)
 (VB2 い)
 (AX ます))
 (ID 66_ted_talk_1))

• CP-QUE + で

(PU ,)
 (PP (NP (WD どのような)
 (N 問題))
 (P-ROLE に))
 (PP-OB1 (NP (N 関心))
 (P-ROLE を))
 (VB 持つ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる))
 (P-FINAL か))
 (P-ROLE について))
 (VB 討議)
 (VB0 し)
 (AX たい))
 (P-COMP と))
 (VB 思い)
 (AX ます)
 (PU 。))
 (ID 2_book_excerpt-31))

格助詞がなく，とりたて助詞のみが疑問節 (CP-QUE) に後続しており，そのとりたて助詞を格助詞「が」や「を」に置き換えて不自然でない例がある。この場合，適切な拡張タグがとりたて助詞の投射する助詞句 (PP) に加えられる。

• CP-QUE + は – OB1

(601) 鈴木さんが大学に入ったかどうかは知りません。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (PP-OB1 (CP-QUE (IP-SUB (PP-SBJ (NP (NPR 鈴木さん))
 (P-ROLE が))
 (PP (NP (N 大学))
 (P-ROLE に))
 (VB 入っ)
 (AXD た))
 (P-FINAL かどうか))
 (P-OPTR は))
 (VB 知り)
 (AX ませ)
 (NEG ん)
 (PU 。))
 (ID 78_textbook_djg_basic))

• CP-QUE + さえ – OB1

(602) どうして食っているかさえ分らなかった。

((IP-MAT (NP-SBJ *arb*)
 (PP-OB1 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
 (NP-OB1 *pro*)
 (ADVP (WADV どうして))
 (VB 食っ)
 (P-CONN て))

(VB2 いる))
 (P-FINAL か))
 (P-OPTR さえ))
 (VB 分ら)
 (NEG なかつ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 28_aozora_Murou-1922))

また、格助詞もとりたて助詞も伴わない裸の疑問文 (CP-QUE) の中には、格助詞「が」や「を」等を補っても不自然でない例がある。その場合、拡張タグは CP-QUE に直接加えられる。ただし、同格的な疑問文はさらに特別のアノテーションを必要とする (次節を参照)。

(603) 自分が何を求めているのか頭の中ではっきりしたのです

((IP-MAT (CP-QUE-SBJ (IP-SUB (PP-SBJ (NP (PRO 自分))
 (P-ROLE が))
 (PP-OB1 (NP (WPRO 何))
 (P-ROLE を))
 (VB 求め)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (FN の))
 (P-FINAL か))
 (PP (NP (PP (NP (N 頭))
 (P-ROLE の))
 (N 中))
 (P-ROLE で))
 (ADVP-CMPL (ADV はっきり))
 (VB し)
 (AXD た)
 (FN の)
 (AX です))
 (ID 22_ted_talk_10))

(604) 山はもう寒いか聞いてください。

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*))
 (CP-QUE-OB1 (IP-SUB (NP-SBJ *exp*))
 (PP-LOC (NP (N 山))
 (P-OPTR は))
 (ADVP (ADV もう))
 (ADJI 寒い))
 (P-FINAL か))
 (VB 聞い)
 (P-CONN て)
 (VB2 ください))
 (PU 。))
 (ID 710_textbook_purple_intermediate))

24.16.2 同格的な間接疑問文

裸の疑問節には、上位の節の述語と名詞項の両方と密接な関係を持つものがある。このような文では、名詞項を潜伏疑問と解釈することができる。ただし、疑問節 (CP-QUE) と潜伏疑問と解釈される名詞の間に隣接性の条件はないため、両者の間の同格関係を示すために、*ICH* (Interpret Constituent Here) と PRN のタグを利用する。

以下の例では、疑問節「芸術界で今何が起きているか」は述語「分かる」の第一目的語であると解釈できる(「が」を補うことができる)。同時に、その後に見れた第一目的語名詞句「動向(が)」は意味的にその前の疑問節と関係していると解釈できる。アノテーションとしては、まず適切な番号を付けた PRN (通常は PRN-1) の下に CP-QUE を置く。次に、名詞句 (NP) の下の、該当する名詞 (N) の姉妹位置に PRN を加え、その子ノードとして同じ番号を付けた *ICH* (通常は *ICH*-1) を置く。

(455) 芸術界で今何が起きているか動向が分るとされるものでした

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
      (NP-PRD (IP-EMB (NP-LGS *arb*)
                      (CP-THT-SBJ (IP-SUB (PRN-1 (CP-QUE (IP-SUB (PP
(NP (N 芸術界))
(P-ROLE
で))
(NP-TMP
(N 今))
(PP-SBJ
(NP (WPRO 何))
(P-ROLE
が))
(VB
起こっ)
(P-CONN
て)
(VB2
いる))
(P-FINAL か)))
(PP-SBJ (NP (N 動向)
            (PRN *ICH*-1))
(P-ROLE が))
(VB 分かる))
(P-COMP と))
(VB さ)
(PASS れる))
(N もの))
(AX だし)
(AXD た))
(ID 20_ted_talk_10))
```

疑問節と結びつく名詞句の主要部が代名詞であったり、指示詞的な限定詞によって修飾されることもある。

(606) しかし、どうしていま見えるようになったのか、それは知りません。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker+pro*)
      (CONJ しかし))
```

(PU 、)
 (PRN-1 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
 (ADVP (WADV どうして))
 (NP-TMP (N いま))
 (PP (NP (IP-EMB (NP-SBJ2 *pro*)
 (VB 見える))
 (N よう))
 (P-ROLE に))
 (VB なっ)
 (AXD た)
 (FN の))
 (P-FINAL か)))

(PU 、)
 (PP-OB1 (NP (PRO それ)
 (PRN *ICH*-1))
 (P-OPTR は))
 (VB 知り)
 (AX ませ)
 (NEG ん)
 (PU 。))

(ID 795_bible_nt))

また、「見当がつく」、「意見が分かれる」、「議論をする」といった表現と共に用いられた時のように、疑問節 (CP-QUE) を述語が直接受けるわけではないが、「見当」「意見」「議論」といった名詞の内容が疑問節 (CP-QUE) によって示されるような例がある。このような場合にも、上記と同じように *ICH*, PRN のタグを利用する。

(607) それにどっちににげていったらいいのかけんとうもつきません。

((IP-MAT (NP-SBJ;{PETER} *pro*)
 (CONJ それに)
 (PRN-1 (CP-QUE (IP-SUB (IP-ADV (NP-SBJ;{PETER} *pro*)
 (PP (NP;{LOC} (WPRO どっち))
 (P-ROLE に))
 (VB にげ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いっ)
 (P-CONN たら))
 (ADJI いい)
 (FN の))
 (P-FINAL か)))
 (PP-OB1 (NP (N けんとう)
 (PRN *ICH*-1))
 (P-OPTR も))
 (VB つき)
 (AX ませ)
 (NEG ん)
 (PU 。))

(ID 44_fiction-locked_POTTER-1902))

24.16.3 副詞的な疑問節 (CP-QUE-ADV)

典型的な間接疑問文とは異なり、それを受ける述語が上位の節に存在せず、また、格助詞もとりたてて助詞も補うことのできない場合、CP-QUEには拡張タグADVを加える。このような副詞的な疑問節 (CP-QUE-ADV) は多くの場合、自問的である。

(608) その勢いに驚いたものか、捕り手はパッと左右へ開いた。

```
( (IP-MAT (CP-QUE-ADV (IP-SUB (NP-SBJ;{POLICE} *pro*)
                                (PP (NP (D;{KOSAKA_JINNAI} その)
                                        (N 勢い))
                                        (P-ROLE に))
                                (VB 驚い)
                                (AXD た)
                                (FN もの))
                                (P-FINAL か))
  (PU 、)
  (PP-SBJ (NP;{POLICE} (N 捕り手))
    (P-OPTR は))
  (ADVP (ADV パッと))
  (PP (NP (N 左右))
    (P-ROLE へ))
  (VB 開い)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 350_aozora_Kunieda-1925))
```

(609) たとえば、紅茶を入れたのに、どういうわけか、コーヒーを入れたと勘違いしてしまう。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ;{PERSON_8} *arb*)
  (ADVP (ADV たとえば))
  (PU 、)
  (PP-SCON (IP-ADV (PP-OB1 (NP (N 紅茶))
                            (P-ROLE を))
                (VB 入れ)
                (AXD た))
            (P-CONN のに))
  (PU 、)
  (CP-QUE-ADV (IP-SUB (NP-SBJ *exp*)
                      (NP-PRD (WD どういう)
                              (N わけ))
                      (AX *))
              (P-FINAL か))
  (PU 、)
  (CP-THT-OB1 (IP-SUB (NP-SBJ;{PERSON_8} *pro*)
                (PP-OB1 (NP (N コーヒー))
                        (P-ROLE を))
                (VB 入れ)
                (AXD た))
              (P-COMP と))
  (VB 勘違い)
```

(VB0 し)
 (P-CONN て)
 (VB2 しまう)
 (PU 。))

(ID 8_book_excerpt-4))

裸の疑問節 (CP-QUE) が副詞的に用いられているのか、項なのか判断に迷う場合がある。例えば、以下の例の疑問節は「を」を補い「間違いがないかどうかを見直してください」とすることができるので、疑問節が第一目的語となっていると考え、CP-QUE-OB1 のラベルを与えてもいいように思われる。しかし、この例は（「を」を伴わない）疑問節の他に、「を」を伴う明らかな第一目的語「書類（を）」を含んでおり、また、疑問節と名詞が同格的でもない。したがって CP-QUE の方には ADV の拡張タグを与えることになる。ただし、上で示した例とは異なり、この場合の副詞的な疑問節は必ずしも自問的なものではない。

(610) 間違いがないかどうか、書類をよく見直してください。

((CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (CP-QUE-ADV (IP-SUB (PP-SBJ (NP (N 間違い))
 (P-ROLE が))
 (ADJI ない))
 (P-FINAL かどうか))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (N 書類))
 (P-ROLE を))
 (ADVP (ADJI よく))
 (VB 見直し)
 (P-CONN て)
 (VB2 ください))
 (PU .))
 (ID 3069_dict_vv-lexicon))

24.16.4 述語としての疑問節 (CP-QUE-PRD)

疑問節 (CP-QUE) はコピュラ (AX) 「だ」「です」等を後続させて述語として用いられることがある。この場合は、CP-QUE のラベルに拡張タグ PRD を加える。

(611) 重要なのはこれらのシンボルが何を意味しているかです

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 重要)
 (AX な))
 (N の))
 (P-OPTR は))
 (CP-QUE-PRD (IP-SUB (PP-SBJ (NP (PP (NP (PRO これら))
 (P-ROLE の))
 (N シンボル))
 (P-ROLE が))
 (PP-OB1 (NP (WPRO 何))
 (P-ROLE を))
 (VB 意味し)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる))

(P-FINAL か))
 (AX です))
 (ID 69_ted_talk_1))

24.16.5 引用された疑問節

疑問節 (CP-QUE) に補文助詞 (P-COMP) 「と」等が後続することがある。このような「引用」の疑問文は、多くの場合伝達動詞や認識動詞の補部となる。

• CP-QUE + と

(612) 刑事は裏の窓を閉めたかと聞いた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 刑事))
 (P-OPTR は))
 (CP-THT-OB1 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 裏))
 (P-ROLE の))
 (N 窓))
 (P-ROLE を))
 (VB 閉め)
 (AXD た))
 (P-FINAL か))
 (P-COMP と))
 (VB 聞い)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 499_textbook_purple_intermediate))

• CP-QUE + って

(613) うん、行こうかなーって思ってる。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (INTJ うん)
 (PU 、)
 (CP-THT-OB1 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
 (VB 行こ)
 (AX う))
 (P-FINAL かなー))
 (P-COMP って))
 (VB 思っ)
 (VB2 てる)
 (PU 。))
 (ID 82_spoken_JF15))

また、「という」「との」等の補文助詞 (P-COMP) は疑問節 (CP-QUE) に後続し、名詞修飾節を作る (例 (414) も参照)。

• CP-QUE + という

(614) 問題は誰が社長をやり、誰が社長代行をやるかということだった。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 問題))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (CP-THT (CP-QUE (IP-SUB (IP-ADV-CONJ (PP-SBJ (NP (WPRO
誰))
(P-ROLE が))
(PP-OB1 (NP (N 社
長))
(P-ROLE を))
(VB やり))
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (WPRO 誰))
(P-ROLE が))
(PP-OB1 (NP (N 社長代行))
(P-ROLE を))
(VB やる))
(P-FINAL か))
(P-COMP という))
(N こと))
(AX だっ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 9_book_excerpt-30))

24.17 様々な補部節 (CP-THT)

24.17.1 伝達動詞・認識動詞の補部としての補部節

典型的には、補部節 (CP-THT) は、「と」等の補文助詞 (P-COMP) を伴って、伝達動詞 (言う、伝える、等) や認識動詞 (思う、考える、等) の補部となることができる。この場合、補部節は拡張タグ OB1 を与えられる。このような補部節は、実際の発話を直接引用したと解釈できるものもあれば、そうでないものもある。

(615) 「私はむしろあなたを気に入ってるの」と彼女は言った。

((IP-MAT (CP-THT-OB1 (IP-SUB (PUL 「
(PP-SBJ (NP (PRO 私))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADV むしろ))
(PP-OB1 (NP (PRO あなた))
(P-ROLE を))
(VB 気に入っ)
(VB2 てる)
(FN の)
(PUR 」))
(P-COMP と))
(PP-SBJ (NP (PRO 彼女))
(P-OPTR は))
(VB 言っ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 211_fiction_DICK-1952))

(616) 彼がそんなに美しい死体になるとは誰も思わなかったでしょう。」

((IP-MAT (CP-THT-OB1 (IP-SUB (PP-SBJ (NP;{FLYNN} (PRO 彼))
(P-ROLE が))
(IP-SMC-OB1 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*))
(ADVP (ADJN そ
んな)
(AX に))
(ADJI 美しい))
(N 死体))
(AX に))
(VB なる))
(P-COMP と)
(P-OPTR は))
(NP-SBJ (WPRO 誰)
(P-OPTR も))
(VB 思わ)
(NEG なかつ)
(AXD た)
(MD でしょう)
(PU 。)
(PUR 」))
(ID 156_aozora_Joyce-1914))

24.17.2 項としての補部節

補部節 (CP-THT) が格助詞を伴って主要文法役割を果たす項となった例も、それほど頻度は高くないものの、存在する。以下の例ではそれぞれ、補部節に格助詞「が」と「を」が後続している。このような場合は、格助詞の投射する助詞句 (PP) に適宜、SBJ あるいは OB1 の拡張タグを加える。

• CP-THT + が

(617) 複数回答の結果、「家計的に苦しい児童・生徒が増えている」が小中学校ともに最多だった。

((IP-MAT (NP-ADV (PP (NP (N 複数回答))
(P-ROLE の))
(N 結果))
(PU 、)
(PP-SBJ (CP-THT (IP-SUB (PUL 「)
(PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*))
(ADVP (ADJN 家計的)
(AX に))
(ADJI 苦しい))
(NML (CONJP (NP (N 児童))
(PU ・))
(NP (N 生徒))))
(P-ROLE が))
(VB 増え)
(P-CONN て)
(VB2 いる)
(PUR 」))
(P-ROLE が))
(PP (NP (N 小中学校)

(PRN (NP;* (Q とも)))
 (P-ROLE に))
 (ADJN 最多)
 (AX だっ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 12_news_KAHOKU_616))

• CP-THT + を

(618) ワニ君連を代表して、花束を持ってお見舞いに来たアシ君が、槿子の（秋作さん、秋作さん）を聞いてしまって、これを『社交室』へ急報した。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (NPR ワニ君連))
 (P-ROLE を))
 (VB 代表)
 (VB0 し)
 (P-CONN て))
 (PU 、)
 (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (N 花束))
 (P-ROLE を))
 (VB 持つ)
 (P-CONN て))
 (PP (NP (N お見舞い))
 (P-ROLE に))
 (VB 来)
 (AXD た))
 (NPR アシ君))
 (P-ROLE が))
 (PU 、)
 (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (PP (NP (NPR 槿子))
 (P-ROLE の))
 (CP-THT (FRAG (PUL ()
 (NP-VOC (NPR 秋作さん))
 (PU 、)
 (NP-VOC (NPR 秋作さん))
 (PUR)))))
 (P-ROLE を))
 (VB 聞い)
 (P-CONN て)
 (VB2 しまっ)
 (P-CONN て))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (PRO これ))
 (P-ROLE を))
 (PP (NP (PUL 『
 (N 社交室)
 (PUR 』))
 (P-ROLE へ))
 (VB 急報)
 (VB0 し)

(AXD た)

(PU 。))

(ID 736_aozora_Hisao-1939))

以下の例のように、補文助詞 (P-COMP) 「って」「なんて」を伴った CP-THT は、格助詞を伴わずに主語となることがある。このとき、拡張タグは CP-THT に直接加えられる。

• CP-THT + って

(619) 漢字を覚えるって大変ですね。

((CP-FINAL (IP-SUB (CP-THT-SBJ (IP-SUB (NP-SBJ *arb*)
(PP-OB1 (NP (N 漢字))
(P-ROLE を))
(VB 覚える))
(P-COMP って))
(ADJN 大変)
(AX です))
(P-FINAL ね)
(PU 。))
(ID 356_textbook_djg_basic))

• CP-THT + なんて

(620) そんなにいつまでもしよげているなんて、あなたらしくないことよ。

((CP-FINAL (IP-SUB (CP-THT-SBJ (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
(ADVP (ADJN そんな)
(AX に))
(PP (NP (WPRO いつ))
(P-ROLE まで)
(P-OPTR も))
(VB しよげ)
(P-CONN て)
(VB2 いる))
(P-OPTR なんて))
(PU 、)
(NP-PRD (PRO あなた))
(AX らしく)
(NEG ない))
(P-FINAL こと)
(P-FINAL よ)
(PU 。))
(ID 379_textbook_particles))

受動の「られ・れ」を後続させた伝達動詞・認識動詞が、補部節 (CP-THT) と共起している文では、主語が明示されないことが多い。そのため、何を文の主語と考えるべきかしばしば判断に迷う。以下の例では、補部節によって示された伝達内容の受け手が主語であると考え（「[私が]8時までに来いと言われた」）、ゼロ代名詞 (*speaker*) を主語として補うことができる。

(621) 8時までに来いと言われたんだ。

```

( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (NP-LGS *pro*)
  (CP-THT-OB1 (CP-IMP (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
    (PP (NP (NUMCLP (NUM 8)
      (CL 時)))
      (P-ROLE まで)
      (P-ROLE に))
      (VB 来い)))
    (P-COMP と))
  (VB 言わ)
  (PASS れ)
  (AXD た)
  (FN ん)
  (AX だ)
  (PU 。))
  (ID 301_textbook_purple_intermediate))

```

しかし、以下の例では、具体的な伝達内容の受け手がいるとは考えられず、故に、これを主語とした受動文だとは考えにくい。また、他に主語と見なすべき名詞句も存在しない。このような場合には、補部節を主語であると考え、CP-THT に SBJ の拡張タグを加えることにする。

(622) 運動は体にいいと言われている。

```

( (IP-MAT (NP-LGS *arb*)
  (CP-THT-SBJ (IP-SUB (PP-SBJ (NP (N 運動))
    (P-OPTR は))
    (PP (NP (N 体))
      (P-ROLE に))
      (ADJI いい))
    (P-COMP と))
  (VB 言わ)
  (PASS れ)
  (P-CONN て)
  (VB2 いる)
  (PU 。))
  (ID 251_textbook_djg_advanced))

```

伝達動詞・認識動詞が補部節 (CP-THT) と共にテアル構文で用いられた場合も、主語と見なすべき名詞句が明確に存在しない場合には、補部節を主語としてアノテーションすることにする。

(623) なんか、国際交流セミナーっていうやつ、あるって書いてあったんだけどー。

```

( (FRAG (PP (IP-ADV (ADVP (ADV なんか))
  (PU 、)
  (CP-THT-SBJ (IP-SUB (NP-SBJ (PP (NP (N 国際交流セミナー))
    (P-ROLE っていう))
    (N やつ))
    (PU 、)
    (VB ある))
    (P-COMP って))
  (VB 書い)
  (P-CONN て)

```



```

(PASS *)
(VB2 あっ)
(AXD た)
(FN ん)
(AX だ)
(P-CONN けど)
(SYM -)
(PU 。))
(ID 31_spoken_JF6))

```

24.17.3 同格的な補部節

疑問節 (CP-QUE) と同様に、補部節 (CP-THT) も、上位の節の述語とその項である名詞句の両方と意味的に結びつくことがある。例えば、以下の例の補部節 (CP-THT) は、述語となった認識動詞「聞きます」の補部であるが、同時に、第一目的語 (OB1) となった名詞句「話 (を)」の内容を表している。このような補部節 (CP-THT) と名詞句の同格関係を示すために、同格の疑問節 (CP-QUE) で用いたように、*ICH* と PRN-n (n は適切な番号) を用いる。

(624) やんちゃで済まされないことが多く、地域の方からは、震災後から荒れるようになったと話を聞きます。

```

( (IP-MAT (IP-ADV-CONJ (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
(NP-SBJ *pro*)
(PP (NP (N やんちゃ))
(P-ROLE で))
(VB 済まさ)
(VB2 れ)
(NEG ない))
(N こと))
(P-ROLE が))
(ADJI 多く))
(PU 、)
(NP-SBJ *speaker*)
(PP (NP (PP (NP (N 地域))
(P-ROLE の))
(N 方))
(P-ROLE から)
(P-OPTR は))
(PU 、)
(PRN-1 (CP-THT (IP-SUB (NP-SBJ *pro*)
(PP (NP (N 震災後))
(P-ROLE から))
(PP (NP (IP-EMB (VB 荒れる))
(N よう))
(P-ROLE に))
(VB なっ)
(AXD た))
(P-COMP と)))
(PP-OB1 (NP (N 話)
(PRN *ICH*-1))
(P-ROLE を))

```

(VB 聞き)
(AX ます)
(PU 。))

(ID 103_news_KAHOKU_37))

補部節と結びつく名詞句の主要部が代名詞であったり、指示詞的な限定詞によって修飾されたりすることもある。

(625) 坂本君、あの一国際交流問題とか、興味あるとか、そういうこと言ってたからー

((FRAG (PP (IP-ADV (NP-SBJ (NPR 坂本君))
(PU 、)
(INTJ あの一)
(PRN-1 (CP-THT (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
(PP-OB2 (NP (N 国際交流問題))
(P-OPTR とか))
(PU 、)
(NP-OB1 (N 興味))
(VB ある))
(P-OPTR とか)))
(PU 、)
(NP-OB1 (D そういう)
(N こと)
(PRN *ICH*-1))
(VB 言っ)
(VB2 て)
(AXD た))
(P-CONN からー)))

(ID 11_spoken_JM1))

また、述語が補部節 (CP-THT) を直接受けるわけではないが、補部節と述語の項となった名詞句の間に、上記と同様の同格関係が認められる例がある。この場合にも、*ICH* と PRN-n のタグを利用する。

(626) 「えい！」と初めて声を掛け、右手寄りにツツ——と詰める。

((IP-MAT (NP-SBJ; {TOBISAWA_JINNAI} *pro*)
(IP-ADV-CONJ (PRN-1 (CP-THT (INTJP (PUL 「
(INTJ えい)
(PU !)
(PUR 」))
(P-COMP と)))
(ADVP (ADV 初めて))
(PP-OB1 (NP (N 声)
(PRN *ICH*-1))
(P-ROLE を))
(VB 掛け))
(PU 、)
(PP (NP (N 右手寄り))
(P-ROLE に))
(ADVP (ADV ツツ——と))
(VB 詰める)
(PU 。))

(ID 128_aozora_Kunieda-1925))

24.17.4 目的を表す補部節

補部節 (CP-THT) が同じ節の述語の項でなく、また、節中の他の名詞との意味的な結びつきもない場合がある。こうした場合のうち、補部節に意志を表す助動詞 (AX) の「よう・う」あるいは否定的意志を表す助動詞 (NEG)「まい」が含まれ、かつ補部節が同じ節の述語の動作の目的を表す場合は、CP-THT に特別の拡張タグ PRP を加える (PRP は、次節で見る拡張タグ ADV の特殊なものと言える)。

(627) 僕は僕を子供だとほのめかしたコターのじいさんに腹を立てていたけれども、
彼が言い終えなかったセンテンスから意味を引き出そうと頭を悩ましていた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP; {SPEAKER} (PRO 僕))
(P-OPTR は))
(P-CONJ (IP-ADV (PP (NP; {COTTER} (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(P-DOB1 (NP; {SPEAKER}
(PRO 僕))
(P-ROLE を))
(CP-THT-OB1 (IP-SMC (NP-PRD
(N 子供))
(AX
だ))
(P-COMP と))
(VB ほのめかし)
(AXD た))
(IP-REL (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (NPR コター))
(AX の))
(N じいさん))
(P-ROLE に))
(PP-OB1 (NP (N 腹))
(P-ROLE を))
(VB 立て)
(P-CONN て)
(VB2 い)
(AXD た))
(P-CONN けれども))
(PU 、)
(CP-THT-PRP (IP-SUB (NP-SBJ; {SPEAKER} *speaker*)
(PP (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
(PP-SBJ (NP; {COTTER} (PRO 彼))
(P-ROLE が))
(VB 言い)
(VB2 終え)
(NEG なかつ)
(AXD た))
(N センテンス))
(P-ROLE から))
(PP-OB1 (NP (N 意味))
(P-ROLE を))
(VB 引き出そ)
(AX う))
(P-COMP と))

(PP-OB1 (NP (N 頭))
(P-ROLE を))
(VB 悩まし)
(P-CONN て)
(VB2 い)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 64_aozora_Joyce-1914))

(628) マラソンは苦しかったが、友達に遅れまいと一所懸命走った。
((IP-MAT (PP-CONJ (IP-ADV (PP-SBJ (NP (N マラソン))
(P-OPTR は))
(ADJI 苦しかっ)
(AXD た))
(P-CONN が))
(PU 、)
(NP-SBJ *speaker*)
(CP-THT-PRP (IP-SUB (NP-SBJ *soeaker*)
(PP (NP (N 友達))
(P-ROLE に))
(VB 遅れ)
(NEG まい))
(P-COMP と))
(ADVP (ADV 一所懸命))
(VB 走っ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 1028_textbook_particles))

24.17.5 副詞的な補部節(CP-THT-ADV)

補部節 (CP-THT) が上位の節の述語とも直接的に結びつかず、また、文中の名詞との意味的な結びつきもなく、また、行為の目的を表すものでもない場合、それは、副詞的な働きを持つ補部節として、ADV の拡張タグを加えられる。

(629) 警備員は「ちょっと待って」と私たちを引き止めた。
((IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 警備員))
(P-OPTR は))
(CP-THT-ADV (CP-IMP (PUL 「)
(IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
(ADVP (ADV ちょっと))
(VB 待っ)
(P-CONN て))
(PUR 」))
(P-COMP と))
(PP-OB1 (NP (PRO 私たち))
(P-ROLE を))
(VB 引き止め)
(AXD た)
(PU .))
(ID 2586_dict_vv-lexicon))

24.17.6 述語としての補部節 (CP-THT-PRD)

補部節 (CP-THT) にコピュラを含む助動詞 (AX) が後続し、補部節自体が述語となっていると見なされるとき、CP-THT に拡張タグ PRD を加える。

(630) 彼女とはただお茶を飲んで話をしたというだけだ。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (PP (NP (PRO 彼女))
    (P-ROLE と)
    (P-OPTR は))
  (ADVP (ADV ただ))
  (CP-THT-PRD (IP-SUB (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (N お茶))
    (P-ROLE を))
    (VB 飲ん)
    (P-CONN で))
    (PP-OB1 (NP (N 話))
    (P-ROLE を))
    (VB し)
    (AXD た))
    (P-COMP という)
    (P-OPTR だけ))
    (AX だ)
    (PU 。))
  (ID 399_textbook_djg_intermediate))
```

(631) 書類についても、オールデイカーの個人的な仕事も、まったく知らない——だそうだ。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *exp*)
  (CP-THT-PRD (IP-SUB (NP-SBJ;{MRS_LEXINGTON} *pro*)
    (NP-OB1 (CONJP (PP (NP;{DOCUMENTS} (N 書類))
    (P-ROLE について))
    (P-CONN も))
    (PU 、)
    (NP (PP (NP;{OLDACRE} (NPR オールデ
イカー))
    (P-ROLE の))
    (IP-REL (NP-SBJ *T*)
    (ADJN 個人的)
    (AX な))
    (N 仕事))
    (P-CONN も))
    (PU 、)
    (ADVP (ADV まったく))
    (VB 知ら)
    (NEG ない)))
    (PU —)
    (AX だ)
    (MD そう)
    (AX だ)
    (PU 。))
  (ID 423_aozora_Doyle-1905))
```

24.18 目的語繰り上げ構文

目的語繰り上げ構文において、補部節あるいは小節の論理的主語は助詞「を」により表示され、主節の中で、この節を選択する述語の姉妹の位置を占める。この論理的主語は拡張タグ DOB1 を与えられる。

24.18.1 補部節からの繰り上げ

この文型において、補部節は CP-THT-OB1 が支配する IP-SMCとして分析され、その中の主語位置は主節中の DOB1 がコントロールする。

(632) 自分はこの言葉を面白いと思った。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 自分))
                    (P-OPTR は))
  (PP-DOB1 (NP (D この)
              (N 言葉))
           (P-ROLE を))
  (CP-THT-OB1 (IP-SMC (ADJI 面白い))
             (P-COMP と))
  (VB 思っ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 374_aozora_Natsume-1908))
```

(633) 警察はAを犯人だと断定した。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (N 警察))
                    (P-OPTR は))
  (PP-DOB1 (NP (NPR A))
           (P-ROLE を))
  (CP-THT-OB1 (IP-SMC (NP-PRD (N 犯人))
                     (AX だ))
             (P-COMP と))
  (VB 断定)
  (VB0 し)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 1095_textbook_kisonihongo))
```

主節述部は「思う」や「考える」「感じる」のような態度動詞であるのが普通だが、「する」や「扱う」のような動詞が用いられることもある。

(82) 温度を一定だとする

```
( (IP-MAT (NP-SBJ; {SPEAKER_30} *speaker*)
  (PP-DOB1 (NP (N 温度))
           (P-ROLE を))
  (CP-THT-OB1 (IP-SMC (ADJN 一定)
                    (AX だ))
             (P-COMP と))
  (VB する))
(ID 30_misc_EXAMPLE))
```

24.18.2 小節からの繰り上げ

この構文で小節に現れる述語は、イ形容詞、形容詞的屈折を行うモーダル、あるいはコピュラに限られる。これらはいずれも連用形で現れる。埋め込まれた節は IP-SMC-OB1 のタグを与えられ、CP-THT をさらに投射することはない。

(635) お手伝いできないのを心苦しく思います。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
  (PP-DOB1 (NP (IP-EMB (NP-OB1 *pro*)
    (VB お手伝い)
    (VB0 でき)
    (NEG ない))
    (N の))
    (P-ROLE を))
  (IP-SMC-OB1 (ADJI 心苦しく))
  (VB 思い)
  (AX ます)
  (PU 。))
  (ID 697_textbook_purple_basic))
```

(636) 彼らの出身の村や町には、戦死者を名誉に思って祈念碑が建立されるでしょう。

```
( (IP-MAT (PP-LOC (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
  (NP-PRD (PP (NP (PRO 彼ら))
    (P-ROLE の))
    (N 出身))
    (AX の))
    (NML (CONJP (NP (N 村))
      (P-CONN や))
      (NP (N 町))))
    (P-ROLE に)
    (P-OPTR は))
  (PU 、)
  (IP-ADV-CONJ (NP-SBJ *pro*)
    (PP-DOB1 (NP (N 戦死者))
      (P-ROLE を))
    (IP-SMC-OB1 (ADJN 名誉)
      (AX に))
    (VB 思っ)
    (P-CONN て))
  (NP-LGS *pro*)
  (PP-SBJ (NP (N 祈念碑))
    (P-ROLE が))
  (VB 建立)
  (VB0 さ)
  (PASS れる)
  (MD でしょう)
  (PU 。))
  (ID 280_aozora_Hayashida-2015))
```

これらの構文は自発・可能用法の「れる・られる」を伴う述語で頻繁に用いられる。

(361) その間が、たっぷり一時間はあった様に思われます。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (PP-DOB1 (NP (D その)
 (N 間))
 (P-ROLE が))
 (PU 、)
 (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (IP-EMB (PP;*SBJ* (NP (ADVP (ADV たっぶり))
 (NUMCLP (NUM 一)
 (CL 時間)))
 (P-OPTR は))
 (VB あっ)
 (AXD た))
 (N 様))
 (AX に))
 (VB 思わ)
 (VB2 れ)
 (AX ます)
 (PU 。))
 (ID 249_aozora_Edogawa-1929))

(638) 親不知の断崖を通過する頃、車内の電燈と空の明るさと同じに感じられた程、夕闇が迫って来た。

((IP-MAT (NP-TMP (IP-EMB (NP-SBJ *speaker*)
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (NPR 親不知))
 (P-ROLE の))
 (N 断崖))
 (P-ROLE を))
 (VB 通過)
 (VB0 する))
 (N 頃))
 (PU 、)
 (PP-SCON (IP-ADV (NP-SBJ *speaker*)
 (PP-DOB1 (NP (CONJP (NP (PP (NP (N 車内))
 (P-ROLE の))
 (N 電燈))
 (P-CONN と))
 (NP (PP (NP (N 空))
 (P-ROLE の))
 (N 明るさ))
 (P-CONN と))
 (P-ROLE が))
 (IP-SMC-OB1 (ADJN 同じ)
 (AX に))
 (VB 感じ)
 (VB2 られ)
 (AXD た))
 (P-OPTR 程))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (N 夕闇))
 (P-ROLE が))
 (VB 迫っ)
 (P-CONN て)

(VB2 来)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 37_aozora_Edogawa-1929))

24.19 主語繰り上げ構文

主語繰り上げ構文は目的語繰り上げ構文を受動化したものである。この場合も，埋め込まれた節を IP-SMC とし，コントロール関係を維持する。繰り上げられた主語は拡張タグ DSBJ を与えられる。

24.19.1 補部節から主語位置に至る繰り上げ

この文型において，補部節は CP-THT-SBJ が支配する IP-SMC として分析され，その中の主語位置は主節中の DSBJ がコントロールする。

(639) 温度は一定だとされる

((IP-MAT (NP-LGS *pro*)
 (PP-DSBJ (NP (N 温度))
 (P-OPTR は))
 (CP-THT-SBJ (IP-SMC (ADJN 一定)
 (AX だ))
 (P-COMP と))
 (VB さ)
 (PASS れる))
 (ID 31_misc_EXAMPLE))

(640) 招き猫の置物は、幸運を招き込むと言われます。

((IP-MAT (NP-LGS *arb*)
 (PP-DSBJ (NP (PP (NP (N 招き猫))
 (P-ROLE の))
 (N 置物))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (CP-THT-SBJ (IP-SMC (PP-OB1 (NP (N 幸運))
 (P-ROLE を))
 (VB 招き込む))
 (P-COMP と))
 (VB 言わ)
 (PASS れ)
 (AX ます)
 (PU .))
 (ID 2991_dict_vv-lexicon))

24.19.2 小節から主語位置に至る繰り上げ

この構文で小節に現れる述語は，イ形容詞，形容詞的屈折を行うモーダル，あるいはコピュラに限られる。これらはいずれも連用形で現れる。埋め込まれた節は IP-SMC-SBJ のタグを与えられ，CP-THT をさらに投射することはない。

(641) 救心という薬は味も効能も仁丹ぐらいにしか思われてないが、ベラボーに高価なところが信仰されるのかも知れない。

```
( (IP-MAT (NP-LGS *arb*)
  (PP-CONJ (IP-ADV (PP-DSBJ (NP (PP (NP (N 救心))
    (P-ROLE という))
    (N 薬))
    (P-OPTR は))
  (IP-SMC-SBJ (NP-SBJ2 (CONJP (NP (N 味))
    (P-CONN も))
    (NP (N 効能))
    (P-CONN も))
  (PP-PRD (NP (N 仁丹))
    (P-OPTR ぐらい))
  (AX に)
  (P-OPTR しか))
  (VB 思わ)
  (PASS れ)
  (VB2 て)
  (NEG ない))
  (P-CONN が))
  (PU 、)
  (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
    (ADVP (ADJN ベラボー)
    (AX に))
    (ADJN 高価)
    (AX な))
    (N ところ))
  (P-ROLE が))
  (VB 信仰)
  (VB0 さ)
  (PASS れる)
  (FN の)
  (MD かも知れない)
  (PU 。))
  (ID 31_aozora_Sakaguchi-1950))
```

25 曖昧な語形

一般的に、同形ではあるが異なる機能を持つ語を品詞ラベル、構造的位罫、文法的機能の点で区別可能にする、というのが本アノテーションのポリシーである。これは主として、助詞、コピュラ、助動詞、モーダル要素に当てはまる。

25.1 「助詞」対「コピュラ」

様々な機能を持つ要素にひとつの品詞を与えることは、分析が単純化される一方で、機能と意味における重要な区別を見えなくしてしまう。基本的な機能要素に見られる多種多様な用法を選び分ける最初のステップとして、「で」「に」「と」「の」という同一の音韻形式における助詞としての機能とコピュラとしての機能の区別を以下に示す。

25.1.1 で

「で」には (1) 文法役割を示す助詞としての機能, (2) 動詞につく接尾辞としての機能, (3) コピュラの非定形の機能がある。(1)はNPをとってPPを投射する。(2)は一部の子音動詞(五段動詞)の連用形に後続する。(3)は述語名詞句に後続してIPを投射する。

文法役割を示す助詞(P-ROLE)としての「で」には複数の用法があるが,それらの一々を品詞タグの違いとして区別することはしない。以下の例では動作の行われる場所や機会を示している。

(642) 共通のルールをつくる過程では,交渉と説得が行われる。

```
( (IP-MAT (NP-LGS *pro*)
  (PP (NP (IP-EMB (NP-SBJ; {COUNTRIES+ORGANIZATIONS} *pro*)
    (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
      (ADJN 共通)
      (AX の))
      (N ルール))
      (P-ROLE を))
      (VB つくる))
      (N 過程))
      (P-ROLE で)
      (P-OPTR は))
      (PU 、)
      (PP-SBJ (NP (CONJP (NP (N 交渉)
        (P-CONN と))
        (NP (N 説得)))
        (P-ROLE が))
      (VB 行わ)
      (PASS れる)
      (PU 。))
      (ID 64_news_KAHOKU_33))
```

(643) 翌年、慶長20年(1615年)の大坂の役(夏の陣)道明寺の戦いでは後藤基次らと戦った。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ; {MASAMUNE} *pro*)
  (NP-TMP (N 翌年))
  (PU 、)
  (PP (NP; {BATTLE_DOMYOJI} (NML (PP (NP (NPR 慶長)
    (NUMCLP (NUM 20)
    (CL 年)
    (PRN (PUL ( )
    (NP (NUMCLP
      (NUM 1615)
      (CL
      年)))
      (PUR )))))
      (P-ROLE の))
      (NPR 大坂の役)
      (PRN (PUL ( )
      (NP (N 夏の陣))
      (PUR ))))
```

(NPR 道明寺の戦い))

(P-ROLE で)
(P-OPTR は))
(PP (NP (NPR 後藤基次ら))
(P-ROLE と))
(VB 戦っ)
(AXD た)
(PU 。))

(ID 89_wikipedia_Datemasamune))

以下の例では尺度の中での位置を示している。

(644) 天正12年(1584年)10月に18歳で家督を相続し、伊達家17代を継承する。

((IP-MAT;{MASAMUNE_INHERITANCE} (NP-SBJ;{MASAMUNE} *pro*)
(IP-ADV-CONJ (PP (NP (NPR 天正)
(NUMCLP (NUM 12)
(CL 年)
(PRN (PUL ()
(NP (NUMCLP
(NUM 1584)
(CL 年)))
(PUR)
(CL
(NUMCLP (NUM 10)
(CL 月)))
(P-ROLE に))
(PP (NP (NUMCLP (NUM 18)
(CL 歳)))
(P-ROLE で))
(PP-OB1 (NP;{DATE_FAMILY_LORD}
(N 家督))
(P-ROLE を))
(VB 相続)
(VB0 し))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP;{DATE_FAMILY} (N 伊達家)
(NUMCLP (NUM 17)
(CL 代)))
(P-ROLE を))
(VB 継承)
(VB0 する)
(PU 。))

(ID 12_wikipedia_Datemasamune))

(645) うん、後で返事しても、いい？

((CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
(INTJ うん)
(PU 、)
(PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-SBJ *speaker*)
(PP-TMP (NP (N 後))

(P-ROLE で))
 (VB 返事)
 (VB0 し)
 (P-CONN て))
 (P-OPTR も))
 (PU 、)
 (ADJI いい))
 (PU ?))
 (ID 56_spoken_JF4))

以下の例では道具, 原因, あるいは理由を示している。

(646) その中のどのわざのために、わたしを石で打ち殺そうとするのか」。

((CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *hearer*)
 (PP (NP (PP (NP (PP (NP (D その)
 (N 中))
 (P-ROLE の))
 (WD どの)
 (N わざ))
 (P-ROLE の))
 (N ため))
 (P-ROLE に))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP;{JESUS} (PRO わたし))
 (P-ROLE を))
 (PP (NP (N 石))
 (P-ROLE で))
 (VB 打ち殺そ)
 (AX う)
 (AX と)
 (VB2 する)
 (FN の))
 (P-FINAL か)
 (PUR 」)
 (PU 。))
 (ID 911_bible_nt))

(647) 太郎は風邪で学校を休んだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{TARO_232} (NPR 太郎))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (N 風邪))
 (P-ROLE で))
 (PP-OB1 (NP (N 学校))
 (P-ROLE を))
 (VB 休ん)
 (AXD だ)
 (PU 。))
 (ID 232_textbook_kisonihongo))

(648) 取材で行く西日本は東北とは食べ物も建造物も違う。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-LOC *T*)
(NP-SBJ *speaker*)
(PP (NP (N 取材))
(P-ROLE で))
(VB 行く))
(NPR 西日本))
(P-OPTR は))
(PP (NP (NPR 東北))
(P-ROLE と)
(P-OPTR は))
(NP-SBJ2 (CONJP (NP (N 食べ物))
(P-CONN も))
(NP (N 建造物))
(P-CONN も))
(VB 違う)
(PU 。))
(ID 12_news_KAHOKU_303))

以下の例では材料を表している。

(649) この煙突はレンガで出来ている。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (D この)
(N 煙突))
(P-OPTR は))
(PP (NP (N レンガ))
(P-ROLE で))
(VB 出来)
(P-CONN て)
(VB2 いる)
(PU 。))
(ID 366_textbook_TANAKA))

これらの意味の違いに対しては品詞ラベルとしての区別は行わない。PP への拡張タグの付加による任意格役割の区別については、9.2.1 節を参照のこと。

それに対して、接尾辞の「で」「て」の異形態は、「泳ぐ」、「読む」等の語幹が有声軟口蓋あるいは鼻音で終わる動詞の音便形に後続する。このような「で」は P-CONN (接続助詞) とラベル付けされる。

(650) また、ヘプバーンは縁起を担いで自身のラッキーナンバーである「55」番の楽屋を求めた。

((IP-MAT (CONJ また)
(PU 、)
(PP-SBJ (NP (NPR ヘプバーン))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (N 縁起))
(P-ROLE を))
(VB 担い)
(P-CONN で))
(PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (PP (NP (PRO 自身))
(P-ROLE の))
(N ラッキーナンバー))

(AX で)
 (VB2 ある))
 (NUMCLP (PUL 「
 (NUM 55)
 (PUR 」)
 (CL 番)))

(AX の))
 (N 楽屋))
 (P-ROLE を))
 (VB 求め)
 (AXD た)
 (PU 。))

(ID 175_wikipedia_Audrey_Hepburn))

最後に、コンピュータの連用形「で」は、AX とラベル付けされ、NP-PRD の後に現れ、IP-ADV を投射する。

(651) ハリウッド黄金時代に活躍した女優で、映画界ならびにファッション界のアイコンとして知られる。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (IP-ADV-CONJ (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP (NP (NPR ハリウッド黄金時代))
 (P-ROLE に))
 (VB 活躍)
 (VB0 し)
 (AXD た))
 (N 女優))
 (AX で))
 (PU 、)
 (NP-LGS *arb*)
 (PP (NP (PP (NP (CONJP (NP (N 映画界))
 (CONJ ならびに))
 (NP (N ファッション界))
 (P-ROLE の))
 (N アイコン))
 (P-ROLE として))
 (VB 知ら)
 (PASS れる)
 (PU 。))

(ID 3_wikipedia_Audrey_Hepburn))

また、分析的なコンピュータ (AX で) (VB2 ある) あるいは (AX で) (VB2 ござい) (AX ます) の中に現れる。

(652) 一人は、W君とって、初対面の人である。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (NUMCLP (NUM 一人)))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (IP-ADV-CONJ (PP (NP;{WKUN} (NPR W君))
 (P-ROLE と))
 (VB いった)
 (P-CONN て))

(PU 、)
 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (N 初対面))
 (AX の))
 (N 人))
 (AX で)
 (VB2 ある)
 (PU 。))

(ID 8_aozora_Dazai-1-1940))

コンピュータ「で」と助詞「で」の区別が容易でないときがある。以下の例のように事態を描写する際に用いられる「で」はその一例である。このような「で」は、名詞に後続する場合 P-ROLE として分析される。

(653) 刺身は生で食べる。

((IP-MAT (NP-SBJ *arb*)
 (PP-OB1 (NP (N 刺身))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP (N 生))
 (P-ROLE で))
 (VB 食べる)
 (PU 。))

(ID 777_textbook_kisonihongo))

ただし、ADJN に続く「で」は AX として分析される。

(654) 崖を必死でよじ登った。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (N 崖))
 (P-ROLE を))
 (ADVP (ADJN 必死)
 (AX で))
 (VB よじ登っ)
 (AXD た)
 (PU .))

(ID 3296_dict_vv-lexicon))

さらに、IP-ADV において、そう、べき、もの、よう、わけ、ごとく、がち、みたい、そう、ところ、っぱなし、等のような、モダリティ的・アスペクトの意味を持つ形式名詞 (FN)、助動詞 (AX)、あるいはモーダル (MD) に続く「で」は AX として分析される。このような「で」を、上記の要素を後続させる「だ」や「です」といった AX の活用形と見なしているのである。

(655) お湯が煮え立ったところで、材料をいれる。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (IP-ADV-SCON (PP-SBJ (NP (N お湯))
 (P-ROLE が))
 (VB 煮え立っ)
 (AXD た)
 (FN ところ)
 (AX で))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (N 材料))

(P-ROLE を))
 (VB 入れる)
 (PU .))
 (ID 2110_dict_vv-lexicon))

(656) 至極簡単明瞭な名だが、この名前、世間にザラにありそうで、滅多にないから不思議である。

((IP-MAT (PP-CONJ (IP-ADV (NP-SBJ;{KODO_REALNAME} *pro*)
 (ADVP (ADV 至極))
 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 簡単)
 (AX *))
 (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (ADJN 明瞭)
 (AX な))
 (N 名))
 (AX だ))
 (P-CONN が))
 (PU 、)
 (NP-SBJ *pro*)
 (PP-SCON (IP-ADV (NP-SBJ;{KODO_REALNAME} (D この)
 (N 名前))
 (PU 、)
 (IP-ADV-CONJ (PP (NP (N 世間))
 (P-ROLE に))
 (ADVP (ADJN ザラ)
 (AX に))
 (VB あり)
 (AX そう)
 (AX で))
 (PU 、)
 (ADVP (ADJN 滅多)
 (AX に))
 (ADJI ない))
 (P-CONN から))
 (ADJN 不思議)
 (AX で)
 (VB2 ある)
 (PU .))
 (ID 9_aozora_Nomura-7-1954))

(657) 私は先生の部屋に行ったが、入れ違ったようで会えなかった。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-CONJ (PP-CONJ (IP-ADV (PP (NP (PP (NP (N 先生))
 (P-ROLE の))
 (N 部屋))
 (P-ROLE に))
 (VB 行っ)
 (AXD た))

(P-CONN が))

(PU 、)

(VB 入れ違っ)

(AXD た)

(MD よう)

(AX で))

(VB 会え)

(NEG なかつ)

(AXD た)

(PU .))

(ID 191_dict_vv-lexicon))

以上の「で」という音韻形式に対する扱いは多くの面で「に」「と」「の」にも当てはまる。詳細はそれぞれ異なるが、これらの形式はすべてその構造的位置に応じてコンピュータとしての機能を持つ。

25.1.2 に

文法役割を示す助詞「に」は、P-ROLE とラベル付けされ、必須の文法役割と任意の文法役割の両方をマークする。必須文法役割を示す「に」は、可能の意味を持つ「できる」「難しい」、状態性の「必要だ」「無理だ」、知覚を表す「分かる」「見える」「欲しい」等の述語の主語 (SBJ)、「似る」「勝つ」「当たる」「飽きる」等の動詞、「詳しい」「弱い」「等しい」「厳しい」等のイ形容詞、「必死だ」「反対だ」等のナ形容詞の第一目的語 (OB1)、「あげる」「送る」等の三項動詞の第二目的語 (OB2)、使役動詞の被使役者 (CZZ)、IP-SMC-OB1を選択する「もらう」「ほしい」等の述語の派生された目的語 (DOB1)、直接受動の論理的主語 (LGS) をマークする (詳細は14.2.3 節を参照)。

任意文法役割の「に」は、時間、非動作的動詞に対する空間的位置、「行く」「着く」等の移動動詞の着点 (Goal)、「借りる」「貰う」「いただく」等の動詞の起点 (Source)、「捕まる」「見つかる」「教わる」「弱る」等の非対格動詞における降格された動作主 (Agent)、「満ちる」「溢れる」「まみれる」等の動詞の動作主とも解される参与者をマークする。このように「に」は様々な任意文法役割をマークするが、それらを品詞タグにより区別することはしない。

移動の目的を表す節に用いられる「に」がある。この場合、目的を表す節を名詞化節 (IP-NMZ) とした上で、それを補部としてとり、助詞句 (PP-PRP) を投射しているものとして分析される (24.15節を参照)。

(658) わたしは彼を起しに行く。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{JESUS} (PRO わたし))
(P-OPTR は))
(PP-PRP (IP-NMZ (PP-OB1 (NP (PRO 彼))
(P-ROLE を))
(VB 起し))
(P-ROLE に))
(VB 行く)
(PUR))
(PU .))
(ID 946_bible_nt))

「に」もコンピュータとして分析される場合がある。ADJN に後続する「に」が ADVP を投射する場合、これは AX と分析される。

(659) また、供養墓が他の大名などと同様に高野山奥の院にある。

((IP-MAT (CONJ また)
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (N 供養墓))
 (P-ROLE が))
 (ADVP (PP (NP (PP (NP (N 他))
 (P-ROLE の))
 (N 大名))
 (P-OPTR など)
 (P-ROLE と))
 (ADJN 同様)
 (AX に))
 (PP (NP (NPR 高野山奥の院))
 (P-ROLE に))
 (VB ある)
 (PU 。))
 (ID 242_wikipedia_Datemasamune))
 小節 (IP-SMC) における「に」も AX として分析される。

(660) 私はこの国に生まれ落ちたことを幸せに思う。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
 (P-OPTR は))
 (PP-DOB1 (NP (IP-EMB (PP (NP (D この)
 (N 国))
 (P-ROLE に))
 (VB 生まれ落ち)
 (AXD た))
 (N こと))
 (P-ROLE を))
 (IP-SMC-OB1 (ADJN 幸せ)
 (AX に))
 (VB 思う)
 (PU .))
 (ID 343_dict_vv-lexicon))

(661) 怖そうにも見えた。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (NP-DOB1 *pro*)
 (IP-SMC-OB1 (ADJI 怖)
 (AX そう)
 (AX に)
 (P-OPTR も))
 (VB 見え)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 270_aozora_Natsume-1908))

「する」「なる」の補部となる IP-SMC に現れた「に」も同様に AX と分析される。

(662) 嗅覚とか味覚を刺激し、心をほぐして豊かにしてくれる。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (CONJP (NP (N 嗅覚))
 (P-CONN とか))

(NP (N 味覚))
 (P-ROLE を))
 (VB 刺激)
 (VB0 し))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (N 心))
 (P-ROLE を))
 (IP-ADV-CONJ (VB ほぐし)
 (P-CONN て))
 (IP-SMC-CNT (ADJN 豊か)
 (AX に))
 (VB し)
 (P-CONN て)
 (VB2 くれる)
 (PU 。))
 (ID 45_news_KAHOKU_303))

(663) ある日、オットーは借金のカタとして自動車を回収する業者＝レポマンのバッドという男と知り合い、自分もレポマンになる事を決める。

((IP-MAT (NP-TMP (D ある)
 (N 日))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP;{YOUTH} (NPR オットー))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-CONJ (PP-OB1 (NP (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (PRN (NP (IP-REL
 (NP-SBJ *T*)
 (PP
 (NP (PP (NP (N 借金))
 の))
 カタ))
 (P-ROL
 として))
 (PP-OB1
 (NP (N 自動車))
 を))
 (VB
 回収)
 (VB0
 する))
 (N 業
 者))
 (SYM =))
 (N レポマン))
 (AX の))
 (NPR バッド))
 (P-ROLE という))

(N 男))
(P-ROLE と))
(VB 知り合い))
(PU 、)
(PP-OB1 (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP;{YOUTH} (PRO 自分))
(P-OPTR も))
(IP-SMC-OB1 (NP-PRD (N レポマン))
(AX に))
(VB なる))
(N 事))
(P-ROLE を))
(VB 決める)
(PU 。))

(ID 5_wikipedia_RepoMan))

「に」の場合も助詞なのかコピュラなのか決めがたい時がある。「ご褒美に」「担保に」「しるしに」等の表現における「に」はコピュラと言えるかもしれない。しかし、現行のアノテーションではこれらは助詞として扱われる。

(664) メロスの十六の妹も、きょうは兄の代りに羊群の番をしていた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PP (NP (NPR メロス))
(P-ROLE の))
(IP-REL (NP-SBJ *T*))
(NP-PRD (NUMCLP (NUM 十六)))
(AX の))
(N 妹))
(P-OPTR も))
(PU 、)
(PP-TMP (NP (N きょう))
(P-OPTR は))
(PP (NP (PP (NP (N 兄))
(P-ROLE の))
(N 代り))
(P-ROLE に))
(PP-OB1 (NP (PP (NP (N 羊群))
(P-ROLE の))
(N 番))
(P-ROLE を))
(VB0 し)
(P-CONN て)
(VB2 い)
(AXD た)
(PU 。))

(ID 133_aozora_Dazai-2-1940))

結果節も IP-SMC として分析することが可能であり、その場合は「に」はコピュラとして分析すべきである。しかし、現行のアノテーションではこれらは助詞として扱われる。ただし、「に」の前の要素が ADJN であれば、「に」は AX として分析される。

(665) どう考え、どう行動するかを判断する力、すなわち「生き抜く力」を身に付けるならば、原発事故のマイナスをプラスに変えられる。

```

( (IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
  (PP-SCON-CND (IP-ADV (PP-OB1 (NP (IP-EMB (NP-SBJ *arb*)
    (PP-OB1 (CP-QUE (IP-SUB
      (NP-SBJ *arb*)
        (IP-ADV-COM
          (ADVP (WADV どう))
            考え))
              (PU
                、)
                  (ADVP
                    (WADV どう))
                      行動)
                        (VB
                          する))
                            (P-FINAL
                              か))
                                (P-ROLE を))
                                  (VB 判断)
                                    (VB0 する))
                                      (N 力)
                                        (PU 、)
                                          (PRN (CONJ すなわち)
                                            (PUL 「)
                                              (NP (IP-EMB (NP-SBJ *arb*)
                                                (VB 生き)
                                                  (VB2 抜く))
                                                  (N 力))
                                                  (PUR 」)))
                                                  (P-ROLE を))
                                                    (VB 身に付ける))
                                                    (P-CONN ならば))
                                                    (PU 、)
                                                      (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 原発事故))
                                                        (P-ROLE の))
                                                          (N マイナス))
                                                          (P-ROLE を))
                                                        (PP (NP (N プラス))
                                                          (P-ROLE に))
                                                        (VB 変え)
                                                          (VB2 られる)
                                                          (PU 。))
                                                        (ID 82_news_KAHOKU_55))

```

25.1.3 と

「と」には、助詞-接続助詞 (P-CONN)、格助詞 (P-ROLE)、および補文助詞 (P-COMP) としての用法とコピュラ (AX) としての用法がある。接続助詞 (P-CONN) として、「と」は名詞を接続することができる。等位接続の前件で

は「と」は CONJP の主要部となるが、後件では「と」は上位の NP の元に置かれることに注意されたい（詳細は 18 節を参照）。

(666) 滝役の千葉治郎は阿部と内田とで決めた。

```
( (IP-MAT (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 滝役))
                        (P-ROLE の))
                        (NPR 千葉治郎))
                (P-OPTR は))
  (PP-SBJ (NP (CONJP (NP (NPR 阿部))
                      (P-CONN と))
            (NP (NPR 内田))
            (P-CONN と))
          (P-ROLE で))
  (VB 決め)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 124_wikipedia_Kamen_Rider))
```

格助詞（文法役割を示す）の「と」は多くの場合は共格的な意味を表す。一部の動詞はこのような「と」を主要文法役割として要求する。

(643) 翌年、慶長20年（1615年）の大坂の役（夏の陣）道明寺の戦いでは後藤基次らと戦った。

```
( (IP-MAT (NP-SBJ;{MASAMUNE} *pro*)
  (NP-TMP (N 翌年))
  (PU 、)
  (PP (NP;{BATTLE_DOMYOJI} (NML (PP (NP (NPR 慶長)
                                         (NUMCLP (NUM 20)
                                         (CL 年)
                                         (PRN (PUL ( )
                                         (NP (NUMCLP
(NUM 1615)
年))))
(PUR )))))
(P-ROLE の))
(NPR 大坂の役)
(PRN (PUL ( )
(NP (N 夏の陣))
(PUR ))))
(NPR 道明寺の戦い))
(P-ROLE で)
(P-OPTR は))
(PP (NP (NPR 後藤基次ら))
(P-ROLE と))
(VB 戦っ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 89_wikipedia_Datemasamune))
```

(668) この年には『昼下りの情事』にも出演しており、ゲーリー・クーパーやモーリス・シュヴァリエと共演した。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (PP (NP (D この)
 (N 年))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-CONJ (PP (NP (PUL 『)
 (NPR 昼下りの情事)
 (PUR 』))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR も))
 (VB 出演)
 (VB0 し)
 (P-CONN て)
 (VB2 おり))
 (PU 、)
 (PP (NP (CONJP (NP (NPR ゲーリー・クーパー))
 (P-CONN や))
 (NP (NPR モーリス・シュヴァリエ)))
 (P-ROLE と))
 (VB 共演)
 (VB0 し)
 (AXD た)
 (PU 。))

(ID 134_wikipedia_Audrey_Hepburn))

そのほかの場合、「と」でマークされた名詞句は動詞の要求する必須項ではない。

(669) お昼に、卒業生と、なんか、ご飯いっしょに食べるんだけど

((FRAG (PP (IP-ADV (NP-SBJ *speaker*)
 (PP (NP (N お昼))
 (P-ROLE に))
 (PU 、)
 (PP (NP (N 卒業生))
 (P-ROLE と))
 (PU 、)
 (ADVP (ADV なんか))
 (PU 、)
 (NP-OB1 (N ご飯))
 (ADVP (ADJN いっしょ)
 (AX に))
 (VB 食べる)
 (FN ん)
 (AX だ))
 (P-CONN けど)))

(ID 47_spoken_JF4))

「と」は、P-COMP (補文助詞) とラベル付けされ、思考動詞、感覚動詞、伝達動詞等の補部節をマークする。

(670) そっか、ごはん、いっしょに食べないかなあと思って。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (INTJ そっか)
 (PU 、)

(CP-THT-OB1 (CP-QUE (IP-SUB (NP-SBJ *speaker+hearer*)
 (NP-OB1 (N ごはん))
 (PU 、)
 (ADVP (ADJN いっしょ)
 (AX に))
 (VB 食べ)
 (NEG ない))
 (P-FINAL かなあ))
 (P-COMP と))
 (VB 思っ)
 (P-CONN て)
 (PU 。))
 (ID 43_spoken_JF1))

また、P-COMP の「と」は命名動詞の項を補語 (CMPL) として表示する (14.6.3 節を参照)。

(671) 日本ではヘップバーンと表記されることも多い。

((IP-MAT (PP (NP (NPR 日本))
 (P-ROLE で)
 (P-OPTR は))
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
 (NP-LGS *arb*)
 (PP-CMPL (NP (NPR ヘップバーン))
 (P-COMP と))
 (VB 表記)
 (VB0 さ)
 (PASS れる))
 (N こと))
 (P-OPTR も))
 (ADJI 多い)
 (PU 。))
 (ID 2_wikipedia_Audrey_Hepburn))

「と」はコンピュータの「に」と非常によく似た位置に出現することがある。以下の例の「と」はナ形容詞の後に現れ、全体として副詞的な表現になっている。このような「と」は (AX と) と分析される。

(672) しかし、ユダヤ人らを恐れて、イエスのことを公然と口にする者はいなかった。

((IP-MAT (CONJ しかし)
 (PU 、)
 (IP-ADV-CONJ (NP-SBJ *pro*)
 (PP-OB1 (NP (N ユダヤ人ら))
 (P-ROLE を))
 (VB 恐れ)
 (P-CONN て))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (NPR イエス))
 (P-ROLE の))
 (N こと))
 (P-ROLE を))

(ADVP (ADJN 公然)
 (AX と))
 (PP-CMPL (NP (N 口))
 (P-ROLE に))
 (VB する))
 (N 者))
 (P-OPTR は))
 (VB い)
 (NEG なかつ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 538_bible_nt))

ただし、普通名詞のあとの「と」は P-ROLE と分析される。

(673) 企画段階で紆余曲折を経た本作は、放映開始されても順風満帆とは行かなかった。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP (NP (N 企画段階))
 (P-ROLE で))
 (PP-OB1 (NP (N 紆余曲折))
 (P-ROLE を))
 (VB 経)
 (AXD た))
 (N 本作))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-SCON (IP-ADV (NP-LGS *pro*)
 (VB 放映開始)
 (VB0 さ)
 (PASS れ)
 (P-CONN て))
 (P-OPTR も))
 (PP (NP (N 順風満帆))
 (P-ROLE と)
 (P-OPTR は))
 (VB 行か)
 (NEG なかつ)
 (AXD た)
 (PU 。))

(ID 81_wikipedia_Kamen_Rider))

同様に、「と」なしで自立できる副詞 (ADV) の後では、「と」は P-ROLE と分析される。一方で、「と」なしで自立できないようなADV (および、ADJN) の場合については、全体で一語として分析される (詳しくは 17 節参照)。

(276) 家事一切に関わらず、のんびりと心のぜいたくをする。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (IP-ADV-CONJ (PP (NP (N 家事)
 (PRN (NP;* (Q 一切))))
 (P-ROLE に))
 (VB 関わら)

(NEG ず))
 (PU 、)
 (ADVP (ADV のんびり)
 (AX と))
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (N 心))
 (P-ROLE の))
 (N ぜいたく))
 (P-ROLE を))
 (VB する)
 (PU 。))
 (ID 15_news_KAHOKU_10414))

(675) 仙台の街を歩くと、妙にホッとしてしまう。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
 (PP-SCON-CND (IP-ADV (PP-OB1 (NP (PP (NP (NPR 仙台))
 (P-ROLE の))
 (N 街))
 (P-ROLE を))
 (VB 歩く))
 (P-CONN と))
 (PU 、)
 (ADVP (ADJN 妙)
 (AX に))
 (ADVP-CMPL (ADV ホッと))
 (VB し)
 (P-CONN て)
 (VB2 しまう)
 (PU 。))
 (ID 25_news_KAHOKU_102))

「と」は「する」や「なる」の補部となった IP-SMC の中にも現れる。

(676) また、この頃ヘプバーンは、アンネ・フランクの『アンネの日記』を題材とした
 舞台作品と映画作品の両方への出演依頼を受けた。

((IP-MAT (CONJ また)
 (PU 、)
 (NP-TMP (D この)
 (N 頃))
 (PP-SBJ (NP (NPR ヘプバーン))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP-OB1 (NP (PP (NP (NPR ア
 ンネ・フランク))
 (P-ROLE の))
 (PUL 『)
 (NPR アンネの日
 記)
 (PUR 』))
 (P-ROLE を))
 (IP-SMC-CNT (NP-PRD (N 題材))

(AX と))
 (VB し)
 (AX た))
 (NML (CONJP (NP (N 舞台作品))
 (P-CONN と))
 (NP (N 映画作品))))
 (P-ROLE の))
 (Q 両方))
 (P-ROLE へ)
 (P-ROLE の))
 (N 出演依頼))
 (P-ROLE を))
 (VB 受け)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 127_wikipedia_Audrey_Hepburn))

(677) 礼に過ぎれば諂 (へつらい) となる。

((IP-MAT (NP-SBJ *arb*)
 (IP-ADV-SCON-CND (PP (NP (N 礼))
 (P-ROLE に))
 (VB 過ぐれ)
 (P-CONN ば))
 (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (N 諂 (へつらい)))
 (AX と))
 (VB なる)
 (PU 。))
 (ID 134_wikipedia_Datemasamune))

「と」と ADJN あるいは NP-PRD の間にコピュラを補って意味に変化がない場合、このような「と」は CP-THT を投射する補文標識 (P-COMP) として分析されることに注意。

(678) いま心配なのは、さまざまな無償の支援を当然と思う雰囲気が生まれることだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
 (NP-SBJ *pro*)
 (NP-TMP (N いま))
 (ADJN 心配)
 (AX な))
 (N の))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (NP-PRD (IP-EMB (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ *pro*)
 (PP-DOB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ
 T))
 (ADJN
 さまざま)
 (AX な))
 (IP-REL (NP-SBJ
 T))
 (ADJN

無償)

(AX の))
(N 支援))
(P-ROLE を))
(CP-THT-OB1 (IP-SMC (ADJN 当
然))
(P-COMP と))
(VB 思う))
(N 雰囲気))
(P-ROLE が))
(VB 生まれる))
(N こと))
(AX だ)
(PU 。))

(ID 83_news_KAHOKU_55))

また、「と」は接続助詞 (P-CONN) として IP-ADV に後続する。

(679) 太平の世になると美食を極めることに目的を変えて料理研究を続けた。

((IP-MAT (NP-SBJ; {MASAMUNE} *pro*)
(PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-SBJ *exp*)
(IP-SMC-OB1 (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(ADJN 太平)
(AX の))
(N 世))
(AX に))
(VB なる))
(P-CONN と))
(IP-ADV-CONJ (PP (NP (IP-EMB (PP-OB1 (NP (N 美食))
(P-ROLE を))
(VB 極める))
(N こと))
(P-ROLE に))
(PP-OB1 (NP (N 目的))
(P-ROLE を))
(VB 変え)
(P-CONN て))
(PP-OB1 (NP (N 料理研究))
(P-ROLE を))
(VB 続け)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 208_wikipedia_Datemasamune))

25.1.4 の

「の」には、格助詞 (P-ROLE)、形式名詞 (N/FN)、およびコピュラ (AX) としての用法がある。

「の」は文法役割を示す格助詞 (P-ROLE) としては、名詞句に付いて、その名詞句が後続する名詞句の補部であることをマークする。ふたつの名詞句は典型的には、所有者/所有物、全体/部分、集合/その一員の関係にある。

(680) 私のゼミの卒業生が集まって食事会をするんですけどもー

```
( (IP-MAT (PP (IP-ADV (PP-SBJ (NP (PP (NP (PP (NP (PRO 私))
(P-ROLE の))
(N ゼミ))
(P-ROLE の))
(N 卒業生))
(P-ROLE が))
(IP-ADV-CONJ (VB 集まっ)
(P-CONN て))
(PP-OB1 (NP (N 食事会))
(P-ROLE を))
(VB する)
(FN ん)
(AX です))
(P-CONN けどもー)))
(ID 15_spoken_JF1))
```

「の」はまた、名詞修飾節の主語をマークする。

(681) 花子の読んだ本

```
( (FRAG (NP (IP-REL (NP-OB1 *T*)
(PP-SBJ (NP (NPR 花子))
(P-ROLE の))
(VB 読ん)
(AXD だ))
(N 本)))
(ID 32_misc_EXAMPLE))
```

(682) 隙のない印象の政宗であるが、酒には減法弱く、酔って失敗した逸話がいくつ
か残されている。

```
( (IP-MAT (IP-ADV-CONJ (NP-SBJ;{MASAMUNE} *pro*)
(PP-CONJ (IP-ADV (NP-PRD (IP-REL (NP-SBJ *T*)
(NP-PRD (IP-EMB (PP-SBJ
(NP (N 隙))
(P-ROL
の))
(ADJI
ない))
(N 印象))
(AX の))
(NPR 政宗))
(AX で)
(VB2 ある))
(P-CONN が))
(PU 、)
(PP (NP (N 酒))
(P-ROLE に)
(P-OPTR は))
(ADVP (ADV 減法))
(ADJI 弱く))
```

(PU 、)
 (NP-LGS *)
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ; {MASAMUNE} *pro*)
 (IP-ADV-CONJ (VB 酔っ
 (P-CONN て))
 (VB 失敗)
 (VB0 し)
 (AXD た))
 (N 逸話))
 (P-ROLE が))
 (NP; *SBJ* (NUMCLP (WNUM いく)
 (CL つ))
 (P-OPTR か))
 (VB 残さ)
 (PASS れ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (PU 。))

(ID 218_wikipedia_Datemasamune))

「の」には伝統的な日本語学で形式名詞とされる用法があり (本アノテーションでの品詞タグはN), 節を名詞化する機能を持つ。このような「の」は擬似分裂文で典型的に用いられる。

(683) 舞台上でイライザを演じていたのはジュリー・アンドリュースだったが、アンドリュースには映画出演の話は来なかった。

((IP-MAT (PP-CONJ (IP-ADV (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP (NP (N 舞台))
 (P-ROLE で))
 (PP-OB1 (NP (NPR イライザ))
 (P-ROLE を))
 (VB 演じ)
 (P-CONN て)
 (VB2 い)
 (AXD た))
 (N の))
 (P-OPTR は))
 (NP-PRD (NPR ジュリー・アンドリュース))
 (AX だっ)
 (AXD た))
 (P-CONN が))
 (PU 、)
 (PP (NP (NPR アンドリュース))
 (P-ROLE に)
 (P-OPTR は))
 (PP-SBJ (NP (PP (NP (N 映画出演))
 (P-ROLE の))
 (N 話))
 (P-OPTR は))
 (VB 来)
 (NEG なかつ))

(N 機会))
(P-ROLE が))
(VB あれ)
(P-CONN ば))
(PU …)
(PU 。))
(ID 20_spoken_JF1))

(687) この行為は秀吉の派手好みの性格を知っての行いと伝えられる。

((IP-MAT (NP-LGS *arb*)
(CP-THT-SBJ (IP-SUB (PP-SBJ (NP;{MASAMUNE_TEE} (D この
(N 行為))
(P-OPTR は))
(NP-PRD (PP (IP-ADV (NP-SBJ;{MASAMUNE} *pro*)
(PP-OB1 (NP (PP (NP;{HIDEYOSHI}
(NPR 秀吉))
(P-ROLE
の))
(IP-REL (NP-SBJ
T)
(NP-PRD
(N 派手好み))
(AX
の))
(N 性格))
(P-ROLE を))
(VB 知っ)
(P-CONN て))
(P-ROLE の))
(N 行い))
(AX *))
(P-COMP と))
(VB 伝え)
(PASS られる)
(PU 。))
(ID 40_wikipedia_Datemasamune))

(688) 岩手が多い傾向は冬期間を除き、震災発生から1年半後の12年9月まで続いた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-EMB (NP-SBJ2 *pro*)
(PP-SBJ (NP (NPR 岩手))
(P-ROLE が))
(ADJI 多い))
(N 傾向))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-SCON (NP-SBJ *exp*)
(PP-OB1 (NP (N 冬期間))
(P-ROLE を))
(VB 除き))
(PU 、)

```

      (PP (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                    (NP-PRD (PP (NP (N 震災発生))
                                (P-ROLE から))
                            (NML (NUMCLP (NUM 1)
                                           (CL 年))
                                (NUMCLP (NUM 半))
                                (N 後))))
                    (AX の))
          (NUMCLP (NUM 1 2)
                  (CL 年))
          (NUMCLP (NUM 9)
                  (CL 月)))
      (P-ROLE まで))
    (VB 続い)
    (AXD た)
    (PU 。))
  (ID 14_news_KAHOKU_65))

```

助詞の「の」とコピュラの「の」の区別については、15.22 節を参照されたい。

25.2 れる・られる

動詞の「れる・られる」形は、母音語幹（上一段・下一段型）動詞および「来る」の未然形に「られる」を、子音語幹（五段型）動詞および「する」の未然形に「れる」を付加することで作られる。動詞「れる・られる」形は、直接受動、間接受動、尊敬のほか、自発と可能の用法も持つため、5通りに曖昧である。以下ではそれらの用法の違いとアノテーション方法について説明する。

25.2.1 直接受動

多くの直接受動文では、**SBJ** が述語 (**VB**) の対象の役割をもち (能動文の **OB1** あるいは **OB2** に対応する)、**LGS** が主体の役割をもつ (能動文の **SBJ** に対応する)。つまり、二項述語の場合、「**A** が **B** に **VB₁** (ら) れる」という文が真であれば、「**B** が **A** を **VB₁**」という文も真となる。

本アノテーション方式では、この用法の「れる・られる」は **PASS** とラベル付けされ、「**NP** に／から／によって」は **LGS** (論理的主語) とラベル付けされる。

```

(689) 太郎は朝早く、友人に電話で起こされた。
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{TARO_415} (NPR 太郎))
              (P-OPTR は))
  (NP-TMP (N 朝早く))
  (PU 、)
  (PP-LGS (NP (N 友人))
           (P-ROLE に))
  (PP (NP (N 電話))
       (P-ROLE で))
  (VB 起こさ)
  (PASS れ)
  (AXD た)
  (PU 。))
  (ID 415_textbook_kisonihongo))

```

24.8 節における議論も参照。

25.2.2 間接受動

間接受動は項の数を増やす構文であり、行為の影響を受ける者が **SBJ** として付け加えられる。同時に、埋め込まれた述部の主語は **LGS** に降格する。埋め込まれた述部のその他の項はその位置と文法役割を保持され、助動詞「れる・られる」は **PASS2** というタグを与えられる。

(690) 太郎が雨に降られた。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{PERSON} (NPR 太郎))
              (P-ROLE が))
  (PP-LGS (NP (N 雨))
          (P-ROLE に))
  (VB 降ら)
  (PASS2 れ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 1824_misc_JSeM_beta_150530))
```

(691) 鈴木さんは昨夜、一晩中子供に泣かれて困った。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{SUZUKI_407} (NPR 鈴木さん))
              (P-OPTR は))
  (IP-ADV-SCON (NP-TMP (N 昨夜))
               (PU 、)
               (NP-MSR (NUMCLP (NUM 一)
                                (CL 晩中)))
               (PP-LGS (NP (N 子供))
                       (P-ROLE に))
               (VB 泣か)
               (PASS2 れ)
               (P-CONN て))
  (VB 困っ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 407_textbook_kisonihongo))
```

所有者が **SBJ** となり、所有物が **OB1** となるような受動文 (持ち主の受身) を直接受動の一種と見なす立場がある。しかし、そのような分析によるほとんどの統語論上の議論には反証がある。本アノテーションでは、「持ち主の受け身」は間接受動として扱われる。

(692) 太郎が泥棒に財布を盗まれた。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP;{PERSON} (NPR 太郎))
              (P-ROLE が))
  (PP-LGS (NP (N 泥棒))
          (P-ROLE に))
  (PP-OB1 (NP (N 財布))
          (P-ROLE を))
  (VB 盗ま)
  (PASS2 れ)
  (AXD た)
  (PU 。))
(ID 1812_misc_JSeM_beta_150530))
```

(693) そうでないものは塵塚に捨てられ、存在をさえ否定された。

```
( (IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
                          (ADVP-PRD (ADV そう))
                          (AX で)
                          (NEG ない))
                          (N もの))
      (P-OPTR は))
  (NP-LGS *pro*)
  (IP-ADV-CONJ (PP (NP (N 塵塚))
                   (P-ROLE に))
               (VB 捨て)
               (PASS られ))
  (PU 、)
  (PP-OB1 (NP (N 存在))
          (P-ROLE を)
          (P-OPTR さえ))
  (VB 否定)
  (VB0 さ)
  (PASS2 れ)
  (AXD た)
  (PU 。))
```

(ID 141_aozora_Terada-1921))

つまり、SBJ が被害を被るか否かということが、間接受動と判断する基準になるわけではない。最も重要なのは、「れる・られる」の付かない元の能動構文と比べて)項が増えているかということである。助詞「を」をとった OB1 があるかどうかという点も判断基準とはならない。「れる・られる」の付かない動詞が三項動詞であり、SBJ が元の能動構文における OB2 に対応する場合は、助詞「を」をとった OB1 があるとしても、直接受動である。

25.2.3 自発

「れる・られる」の自発用法で主動詞となるのは、知覚、思考や感情を表すものに限られる。この用法の「れる・られる」は VB2 とラベル付けされる。

知覚や思考、感情の経験者を表す SBJ (「に」「は」あるいは「には」によってマークされる) は元の動詞の論理的な主語である。元の動詞の内項 (OB1 あるいは DOB1) は「が」によってマークされるが、これは OB1 あるいは DOB1 のままと分析する。助動詞「れる・られる」のタグは VB2 とする。

(694) そういった未来が予想されます

```
( (IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
      (PP-OB1 (NP (D そういった)
                 (N 未来))
              (P-ROLE が))
      (VB 予想)
      (VB0 さ)
      (VB2 れ)
      (AX ます))
```

(ID 59_ted_talk_7))

(695) 私にはその話が不思議に思われた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{SPEAKER_373} (PRO 私))
(P-ROLE に)
(P-OPTR は))
(PP-DOB1 (NP;{STORY_373} (D その)
(N 話))
(P-ROLE が))
(IP-SMC-OB1 (ADJN 不思議)
(AX に))
(VB 思わ)
(VB2 れ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 373_textbook_kisonihongo))

(696) そういう事も今になって考えて見ると、甚だ奇怪に感じられるのである。

((IP-MAT (NP-SBJ *speaker*)
(PP-DOB1 (NP (D そういう)
(N 事))
(P-OPTR も))
(PP-SCON (IP-ADV (NP-SBJ *speaker*)
(NP-OB1 *pro*)
(IP-ADV-SCON (NP-SBJ *exp*)
(IP-SMC-OB1 (NP-PRD (N 今))
(AX に))
(VB なっ)
(P-CONN て))
(VB 考え)
(P-CONN て)
(VB2 見る))
(P-CONN と))
(PU 、)
(IP-SMC-OB1 (ADVP (ADV 甚だ))
(ADJN 奇怪)
(AX に))
(VB 感じ)
(VB2 られる)
(FN の)
(AX で)
(VB2 ある)
(PU 。))
(ID 58_aozora_Edogawa-1929))

また、ここで取り上げたものの他に、自発または類似の意味を表す以下のような動詞が存在する。いくつかは子音語幹（五段活用型動詞）から派生されたものであり、いくつかは自他対における非対格動詞である。

- 見える, 聞こえる, 泣ける, 笑える, 待たれる, 売れる, etc.

これらは独立した動詞（VB）としてラベル付けされる。

25.2.4 可能

母音語幹（上一段・下一段動詞）と不規則動詞「来る」に「られる」を加えて作られる可能形、例えば「見られる」「食べられる」「来られる」は、直接受動、間接受動、自発、尊

敬の形と同じである。母音語幹には「られる」ではなく「れる」を加えた「見れる」「食べれる」「来れる」という口語的な形もある。このような「られる」「れる」はVB2とラベル付けされる。

子音動詞（五段動詞）の場合、「走れる」のように、可能形は語幹にeを付けて作られるが、このような可能形は全体としてひとつのVBとして分析される。

「できる」は動作名詞に続く場合、VB0とラベル付けされる。一般的に、動詞「する」の可能形は補充法による「できる」である。

(697) えっとー、そういった感じでも参加できるんですかー？

((CP-FINAL (IP-SUB (NP-SBJ *speaker*)
 (INTJ えっとー)
 (PU 、)
 (PP (NP (D そういった)
 (N 感じ))
 (P-ROLE で)
 (P-OPTR も))
 (VB 参加)
 (VB0 できる)
 (FN ん)
 (AX です))
 (P-FINAL かー)
 (PU ?))
 (ID 14_spoken_JF2))

OB1が助詞「を」をとる二項動詞の可能形では、必須項に対する助詞のマーキングのパターンは次の3つのうちのいずれかになる。

- SBJがOB1をVB(可能形)
- SBJがOB1がVB(可能形)
- SBJにOB1がVB(可能形)

(698) むしろ、自分がこれまで実際にこのかぼそい脚で身体をひきずってこられたことが不自然に思われた。

((IP-MAT (NP-SBJ; {GREGOR} *pro*)
 (ADVP (ADV むしろ))
 (PU 、)
 (PP-DOB1 (NP (IP-EMB (PP-SBJ (NP; {GREGOR} (PRO 自分))
 (P-ROLE が))
 (PP (NP (PRO これ))
 (P-ROLE まで))
 (PP (ADVP (ADV 実際))
 (P-ROLE に))
 (PP (NP (D この)
 (IP-REL (NP-SBJ *T*))
 (ADJI かぼそい))
 (N 脚))
 (P-ROLE で))
 (PP-OB1 (NP (N 身体))
 (P-ROLE を))
 (VB ひきずっ))

(P-CONN て)
 (VB2 こ)
 (VB2 られ)
 (AXD た))
 (N こと))
 (P-ROLE が))
 (IP-SMC-OB1 (ADJN 不自然)
 (AX に))
 (VB 思わ)
 (VB2 れ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 1121_aozora_Harada-1960))

(699) どうしてこんな妹がかせぐことができるだろうか。

((CP-QUE (IP-SUB (ADVP (WADV どうして))
 (PP-SBJ (NP;{GRETE} (D こんな)
 (N 妹))
 (P-ROLE が))
 (PP-OB1 (NP (IP-EMB (NP-OB1 *pro*)
 (VB かせぐ))
 (N こと))
 (P-ROLE が))
 (VB できる)
 (MD だろう))
 (P-FINAL か)
 (PU 。))
 (ID 609_aozora_Harada-1960))

(700) では私たちに何ができるのでしょうか？

((CP-QUE (IP-SUB (CONJ では)
 (PP-SBJ (NP (PRO 私たち))
 (P-ROLE に))
 (PP-OB1 (NP (WPRO 何))
 (P-ROLE が))
 (VB できる)
 (FN の)
 (MD でしょう))
 (P-FINAL か)
 (PU ?))
 (ID 21_ted_talk_9))

可能形を述語とする構文における主語の扱いは少々複雑である。典型的な主語は生物、感覚を持つもの、人間であり、例えば「一回目で自転車にうまく乗れないのは誰だって一緒だ」のような例では、主語を(NP-SBJ *arb*)とアノテーションすることが極めて自然である。また、(701)のように、主語を文脈から補うことができる場合もある。

(701) この山に登れない。

((IP-MAT (NP-SBJ;{MAN_36} *pro*)
 (PP-OB1 (NP;{MOUNTAIN_36} (D この)
 (N 山))

(P-ROLE が))
 (VB 登れ)
 (NEG ない)
 (PU 。))
 (ID 36_misc_EXAMPLE))

25.2.5 尊敬

尊敬用法の「れる・られる」は VB2 とラベル付けされる。尊敬形を述語とする文では、元の動詞の必須文法役割とそのラベルが保持される。

(702) 鈴木先生はその問題を詳しく調べられた。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{SUZUKI_1302} (NPR 鈴木先生))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP;{PROBLEM_1302} (D その)
 (N 問題))
 (P-ROLE を))
 (ADVP (ADJI 詳しく))
 (VB 調べ)
 (VB2 られ)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 1302_textbook_kisonihongo))

「れる・られる」からの派生ではない尊敬形については、15.5節を参照。

25.3 よう

「よう」に対するラベル付けは次の3つに大別される。

- **AX**：未然形に後続し、意志や推量を表す助動詞「よう」（その異形態として「う」がある）
- **MD**：動詞やイ形容詞の非過去形・過去形、「ナ形容詞の語幹+な/だった」、「名詞+だった」に接続する証拠性 (evidentiality) の意味を持つ「よう (だ)」の「よう」
- **N**：動詞やイ形容詞の非過去形・過去形、「ナ形容詞の語幹+な/だった」、「名詞+だった」に接続するが、証拠性を表さない「よう (だ)」の「よう」および、「名詞+の」に接続する「よう」（証拠的か比喩的かを問わない）

以下では、MD あるいは N とラベル付けされる「よう」のアノテーションについて説明する。

25.3.1 証拠性を表す「よう」

動詞やイ形容詞の非過去形・過去形、「ナ形容詞の語幹+な/だった」、「名詞+だった」に接続する証拠性 (evidentiality), つまり, “It seems that...” の意味を持つ「よう (だ)」の「よう」は MD とラベル付けされる。

(703) この事実から判断すると、あなたの見方は正しくないようだ。

((IP-MAT (PP-SCON-CND (IP-ADV (NP-SBJ;{MAN_221} *pro*)
 (NP-OB1;{CONCLUSION_221} *pro*)
 (PP (NP (D この)
 (N 事実))
 (P-ROLE から))
 (VB 判断)
 (VB0 する))
 (P-CONN と))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (PP (NP;{HEARER_221} (PRO あなた))
 (P-ROLE の))
 (N 見方))
 (P-OPTR は))
 (ADJI 正しく)
 (NEG ない)
 (MD よう)
 (AX だ)
 (PU 。))
 (ID 221_textbook_kisonihongo))

本コーパスでは証拠的用法の「よう」は後述の直喩的用法の「よう」と区別されるが、「どうやら」「どうも」のような推量に関する副詞句を用いて前者を検出することができる：もしそのような副詞句が節全体の意味を大きく変えることなく挿入することができるならば、問題の「ようだ」は証拠的である。

(704) どうも太郎はこのことを知っているようだ。

((IP-MAT (ADVP (WADV どう)
 (P-OPTR も))
 (PP-SBJ (NP;{TARO_119} (NPR 太郎))
 (P-OPTR は))
 (PP-OB1 (NP;{FACT_119} (D この)
 (N こと))
 (P-ROLE を))
 (VB 知っ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる)
 (MD よう)
 (AX だ)
 (PU 。))
 (ID 119_textbook_kisonihongo))

等位節における非終結節に現れた「よう(で)」が証拠性の用法で使われることもある(この場合の「で」はコンピュータの連用形である)。

(657) 私は先生の部屋に行ったが、入れ違ったようで会えなかった。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO 私))
 (P-OPTR は))
 (IP-ADV-CONJ (PP-CONJ (IP-ADV (PP (NP (PP (NP (N 先生))
 (P-ROLE の))
 (N 部屋))
 (P-ROLE に))
 (VB 行っ)
 (AXD た))

(P-CONN が))
 (PU 、)
 (VB 入れ違っ)
 (AXD た)
 (MD よう)
 (AX で))
 (VB 会え)
 (NEG なかつ)
 (AXD た)
 (PU .))
 (ID 191_dict_vv-lexicon))

25.3.2 直喩的な「よう」

直喩的な表現の「よう (だ)」の場合、「よう」は埋め込み節 (IP-EMB) をとる N として扱う。「まるで」「あたかも」のような副詞句は「ようだ」の直喩的用法を示す典型的な語である (これらの副詞句がコピュラと同じ節内に置かれることに注意。この分析は、これらの副詞が「よう」を欠いたコピュラとも共起することから支持される)。

(706) 頬冠りに尻端折り、草履は懐中へ忍ばせたものか、そこだけピクリと脹れているのが蛇が蛙を呑んだようだ。

((IP-MAT (NP-ADV (CONJP (NP (N 頬冠り))
 (P-CONN に))
 (NP (N 尻端折り)))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP (IP-EMB (CP-QUE-ADV (IP-SUB (NP-SBJ; {TOBISAWA_JINNAI}
 pro))
 (PP-OB1 (NP (N 草履))
 (P-OPTR は))
 (PP (NP; {TOBISAWA_JINNAI_BOSOM}
 (PP (NP; {TOBISAWA_JINNAI} *pro*))
 の))
 (N
 懐中))
 (P-ROLE へ))
 (VB 忍ばせ)
 (AXD た)
 (FN もの))
 (P-OPTR か))
 (PU 、)
 (PP-SBJ (NP; {TOBISAWA_JINNAI_BOSOM} (PRO そ
 こ))
 (P-OPTR だけ))
 (ADVP (ADV ピクリ)
 (AX と))
 (VB 脹れ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる))
 (N の))

(P-ROLE が))
 (NP-PRD (IP-EMB (PP-SBJ (NP (N 蛇))
 (P-ROLE が))
 (PP-OB1 (NP (N 蛙))
 (P-ROLE を))
 (VB 呑ん)
 (AXD だ))
 (N よう))
 (AX だ)
 (PU 。))
 (ID 60_aozora_Kunieda-1925))

(707) まるで酔っているようだ。

((IP-MAT (NP-SBJ *pro*)
 (ADVP (ADV まるで))
 (NP-PRD (IP-EMB (VB 酔っ
 (P-CONN て)
 (VB2 いる))
 (N よう))
 (AX だ)
 (PU 。))
 (ID 537_textbook_TANAKA))

IP-EMB を補部にとる「よう (な)」の場合も、「よう」をNとする。

(708) あいつは俺に感謝するどころか、おれの顔に泥をぬるようなことばかりしてく
れる。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (PRO あいつ))
 (P-OPTR は))
 (PP-SCON (IP-ADV (PP-OB1 (NP;{SPEAKER_1197} (PRO 俺))
 (P-ROLE に))
 (VB 感謝)
 (VB0 する))
 (P-OPTR どころか))
 (PU 、)
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD (IP-EMB (PP (NP (PP (NP;{SPEAKER_1197}
 (PRO おれ))
 (P-ROLE の))
 (N 顔))
 (P-ROLE に))
 (PP-OB1 (NP (N 泥))
 (P-ROLE を))
 (VB ぬる))
 (N よう))
 (AX な))
 (N こと))
 (P-OPTR ばかり))
 (VB し)
 (P-CONN て)
 (VB2 くれる)

(PU 。))
 (ID 1197_textbook_kisonihongo))
 知覚動詞の補部となる場合、「ように」の「よう」はN, 「に」はIP-SMC-SBJあるいはIP-SMC-OB1を投射するAXとする。

(709) あたかも日本の製造業全体の競争力は強いかのように思われてきた。

((IP-MAT (ADVP-1 (ADV あたかも))
 (PP-DSBJ (NP;{COMPETITIVENESS} (PP (NP (PP (NP (NPR 日本))
 (P-ROLE の))
 (N 製造業)
 (PRN (NP;* (Q 全体))))
 (P-ROLE の))
 (N 競争力))
 (P-OPTR は))
 (IP-SMC-SBJ (ADVP *ICH*-1)
 (NP-PRD (PP (CP-QUE (IP-SMC (NP-SBJ;{COMPETITIVENESS}
 pro))
 (ADJI 強い))
 (P-FINAL か))
 (P-ROLE の))
 (N よう))
 (AX に))
 (VB 思わ)
 (PASS れ)
 (P-CONN て)
 (VB2 き)
 (AXD た)
 (PU 。))
 (ID 172_textbook_djg_advanced))

(710) 部屋の闇の中で僕は今また麻痺した人の重たい灰色の顔を見たように思った。

((IP-MAT (PP (NP (PP (NP (PP (NP (N 部屋))
 (P-ROLE の))
 (N 闇))
 (P-ROLE の))
 (N 中))
 (P-ROLE で))
 (PP-SBJ (NP;{SPEAKER} (PRO 僕))
 (P-OPTR は))
 (IP-SMC-OB1 (NP-PRD (IP-EMB (NP-TMP (N 今))
 (ADVP (ADV また))
 (PP-OB1 (NP;{VISAGE} (PP (NP;{FLYNN}

(IP-REL (NP-SBJ *T*))

麻痺)

し)

た))

(N

人)) (P-ROLE の))
(IP-REL (NP-SBJ
T)) (ADJI
重たい)) (IP-REL (NP-SBJ
T)) (ADJN
灰色) (AX の))
(N 顔))
(P-ROLE を))
(VB 見)
(AXD た))
(N よう))
(AX に))
(VB 思っ)
(AXD た)
(PU 。))
(ID 65_aozora_Joyce-1914))

25.3.3 「NP+の」に続く「よう (だ)」

「NP+の」に続く「よう (だ)」は、それが証拠性の「よう (だ)」であっても直喩の「よう (だ)」であっても、常にNとラベル付けされる。

(711) 太郎はまだ子供のようだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{TARO_62} (NPR 太郎))
(P-OPTR は))
(ADVP (ADV まだ))
(NP-PRD (PP (NP (N 子供))
(P-ROLE の))
(N よう))
(AX だ)
(PU 。))
(ID 62_textbook_kisonihongo))

(712) この絵は写実的で、写真のようだ。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP;{PICTURE_676} (D この)
(N 絵))
(P-OPTR は))
(IP-ADV-CONJ (ADJN 写実的)
(AX で))
(PU 、)
(NP-PRD (PP (NP (N 写真))
(P-ROLE の))
(N よう))
(AX だ)

(PU 。))
 (ID 676_textbook_kisonihongo))
 「この・その・あの・どの」のような限定詞に続いた「よう (だ)」についても同様である。

(713) このようなことを知っている人は、もはやいない。

((IP-MAT (PP-SBJ (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (PP-OB1 (NP (IP-REL (NP-SBJ *T*)
 (NP-PRD;{FACT_111} (D こ
 の)
 う)) (N よ
 (AX な))
 (N こと))
 (P-ROLE を))
 (VB 知っ)
 (P-CONN て)
 (VB2 いる))
 (N 人))
 (P-OPTR は))
 (PU 、)
 (ADVP (ADV もはや))
 (VB い)
 (NEG ない)
 (PU 。))
 (ID 111_textbook_kisonihongo))

References

- Bies, Ann, Mark Ferguson, Karen Katz, and Robert MacIntyre. 1995. Bracketing guidelines for Treebank II style Penn Treebank project. Tech. Rep. MS-CIS-95-06, LINC LAB 281, University of Pennsylvania Computer and Information Science Department.
- Butler, Alastair. 2015. *Linguistic Expressions and Semantic Processing: A Practical Approach*. Heidelberg: Springer-Verlag.
- Den, Yasuharu, Junpei Nakamura, Toshinobu Ogiso, and Hideki Ogura. 2008. A proper approach to Japanese morphological analysis: Dictionary, model, and evaluation. In *Proceedings of the Sixth International Conference on Language Resources and Evaluation (LREC 2008)*, pages 1019–1024. Marrakech, Morocco: European Language Resources Association (ELRA).
- Levy, Roger and Galen Andrew. 2006. Tregex and Tsurgeon: tools for querying and manipulating tree data structure. In *5th International conference on Language Resources and Evaluation*.
- Maekawa, Kikuo. 2003. Corpus of Spontaneous Japanese: Its design and evaluation. In *Proceedings of the ISCA & IEEE Workshop on Spontaneous Speech Processing and Recognition (SSPR2003)*. Tokyo.
- Maekawa, Kikuo, Makoto Yamazaki, Toshinobu Ogiso, Takehiko Maruyama, Hideki Ogura, Wakako Kashino, Hanae Koiso, Masaya Yamaguchi, Makiro Tanaka, and Yasuharu Den. 2014. Balanced corpus of contemporary written Japanese. *Language Resources and Evaluation* 48(2):345–371.

- Noord, Gertjan van, Gosse Bouma, Frank Van Eynde, Daniël de Kok, Jelmer van der Linde, Ineke Schuurman, Erik Tjong Kim Sang, and Vincent Vandeghinste. 2013. Large scale syntactic annotation of written dutch: Lassy. In P. Spyns and J. Odijk, eds., *Essential Speech and Language Technology for Dutch: resources, tools and applications*, pages 147–164. Springer.
- Randall, Beth. 2009. CorpusSearch 2 Users Guide. (<http://corpussearch.sourceforge.net/CS-manual/Contents.html>).
- Sampson, Geoffrey R. 1995. *English for the Computer: The SUSANNE Corpus and Analytic Scheme*. Oxford: Clarendon Press (Oxford University Press).
- Santorini, Beatrice. 2010. Annotation manual for the Penn Historical Corpora and the PCEEC (Release 2). Tech. rep., Department of Computer and Information Science, University of Pennsylvania, Philadelphia. (<http://www.ling.upenn.edu/histcorpora/annotation>).
- 寺村秀夫. 1984. 日本語のシンタクスと意味, vol. 2. 東京: くろしお出版.
- 日本語記述文法研究会. 2008. 『現代日本語文法』. くろしお出版 6.
- 日本語記述文法研究会. 2009a. 『現代日本語文法』, vol. 2. 東京: くろしお出版.
- 日本語記述文法研究会. 2009b. 『現代日本語文法』. くろしお出版 5.